

[018] 九州文化史研究所所蔵古文書目録 : 三奈木黒田家文書

九州大学九州文化史研究施設

<https://doi.org/10.15017/7157002>

出版情報 : 18, 1994-03-25. 九州大学文学部附属九州文化史研究施設
バージョン :
権利関係 :

九州文化史研究所蔵古文書目録 十八

九州大学九州文化史研究施設

三
奈
木
黒
田
家
文
書

凡例

一、本研究所所蔵に係る古文書目録の第十八輯として、「三奈木黒田家文書」を収録した。

一、三奈木黒田家は、摂津国伊丹の豪族、加藤又左衛門の次男玉松（後に一成）が黒田孝高に養われて一家を立て、黒田姓を与えられたのに始まる。慶長六年（一六〇一）黒田長政が筑前に入国して以来、黒田一成は下座郡に一万二〇〇〇石を与えられた。三奈木村に館を構えるところに、通常は福岡城内の家老屋敷に住んだ。以後、下座郡のほか、夜須・御笠・那珂・粕屋各郡の内に加増をうけ、元禄十五年（二七〇二）二万六二〇五石余となり、明治維新を迎えた。その間、大老とも称されて、福岡藩の筆頭家老としての地位を保った。

同家史料は、約六〇〇〇点からなるが、黒田孝高や長政以降の歴代藩主の書状・知行宛行状をはじめ、福岡藩の行財政関係の貴重なものや、自家の知行地経営、地租改正後の経営史料が多く、また大幅の「福岡城下・博多絵図」などもある。これらは昭和三十年十一月十五日、九州大学文学部箭内健次教授が東京銀行勤務の当主黒田一夫氏より譲渡の意向をうけて、同月二十七日に九州大学へ搬入されて現在に至ったものである。なお、史料目録の一部が『九州文化史研究所紀要』七・十号に収載されている。

一、史料の分類に際しては、三奈木黒田家が福岡藩家老を務めた家柄であり、本藩の行財政に深く関与していることから、この点に留意する分類方法をとった。「三奈木黒田家文書」では、「財政」を福岡藩財政と三奈木黒田家財政とに分け、「黒田家臣・又家来」の項目には同家家臣関係の分類を入れた。同家が代々長崎警備に携わっているところから関係史料も多く、「長崎警備」の項目を設けた。

なお、史料の記載内容により、截然とは分類できぬものもある。また、幾つかの項目に該当するものは、適宜いずれか一方に収めたので、利用者は全項目に目を通していただきたい。

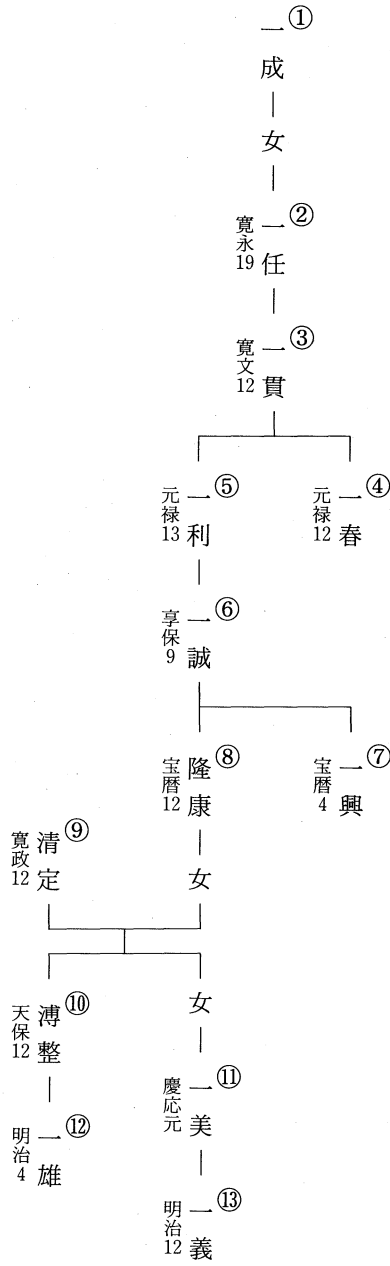
一、形状中、書綴・長綴・小横綴とあるものは、それぞれ書冊様・長帳様・小横帳様の綴にしたものである。なお、明治以降の史料には、冊・綴以外の形状記載は略した。

一、年代を推定したものは、（ ）を付けて区別した。

一、史料題名の下の（ ）内に表示した番号が、その史料の整理番号である。

三奈木黒田家系図

一、本目録の作成には、丸山雍成・田中良之・宮崎克則の合議・協力を得て、楠本美智子があつた。



(年号は家督相続年)

目次

一、江戸時代史料	一頁
1 法 令	一頁
(1) 幕法	一頁
(2) 藩法・家法	一頁
2 領 知	三頁
3 对幕府関係	三頁
4 黒田藩主関係	七頁
(1) 福岡	七頁
(2) 直方	二八頁
(3) 秋月	二九頁
5 家譜・系図	三〇頁
6 藩 政	三四頁
(1) 藩政	三四頁
(2) 役職・勤向	四五頁
(3) 日誌	五四頁
(4) 普請	五七頁
(5) 御首途・御成・御発駕	五八頁
(6) 他領関係	六二頁
(7) 儀礼・儀式	六三頁
(8) その他	六六頁
7 財 政	六七頁

	(1)	福岡藩財政	六七頁
	(2)	三奈木黒田家財政	七二頁
8		黒田家臣・又家来	八二頁
	(1)	知行宛行・俸禄	八三頁
	A	三奈木黒田家	八三頁
	B	その他	八六頁
	(2)	相続・隠居	八七頁
	(3)	履歴・由緒	八八頁
	(4)	称誉・拝領	九一頁
	(5)	諸願	九二頁
	(6)	処罰	九五頁
	(7)	家臣・又家来	九七頁
	A	福岡藩	九七頁
	B	三奈木黒田家	一〇一頁
9		武備・武術	一二九頁
	(1)	兵法	一二九頁
	(2)	武具	一三一頁
	(3)	長崎警備	一三三頁
	(4)	船方	一五四頁
	(5)	備	一五五頁
	(6)	軍事・訓練	一五七頁
	(7)	諸道具由緒	一五八頁
10		浦・町・村	一六〇頁
11		産業	一六八頁
12		土地	一七〇頁
13		交通	一八一頁

14	幕末情報・風聞	一八二頁
15	絵 図	一八六頁
16	三奈木黒田家	一九〇頁
(1)	代々当主関係	一九〇頁
(2)	御名拝領	一九二頁
(3)	屋敷地	一九三頁
(4)	婚姻・生誕	一九四頁
(5)	その他	一九四頁
17	文 化	一九五頁
18	宗 教	二〇九頁
19	書 状	二一四頁
20	その他	二三五頁
二、 明治以降史料		
1	国内政治	二三九頁
2	行 政	二三九頁
3	竹槍一揆	二四一頁
4	三奈木黒田家	二四二頁
(1)	履歴	二四二頁
(2)	旧藩主関係	二四二頁
(3)	一族関係	二四三頁
(4)	旧家臣関係	二四三頁
(5)	華族会	二四五頁
(6)	家政	二四七頁
(7)	家計	二五〇頁
(8)	土地	二八二頁
(9)	冠婚葬祭	二九七頁

(10)	銃器関係	三〇〇頁
(11)	教育	三〇一頁
(12)	寺社	三〇三頁
(13)	日誌	三〇三頁
(14)	褒賞	三〇三頁
(15)	その他	三〇四頁
5	産業	三〇四頁
6	文化	三一三頁
7	書簡	三一五頁
8	その他	三二二頁

一、江戸時代史料

1 法令

(1) 幕法

一 御遺状百ヶ條

(江戸期)

書冊 一冊 (二六〇五)

白川公御家臣江被仰渡の趣(寛政二年)外

二 武家諸法度写

(江戸期)

巻紙 一卷 (五六八)

三 條々

寛永十五年正月十四日

一紙 一通 (六八の二)

戸田左門・松平伊豆。陣中法度

四 松平越中守殿心得書写

(天明八年)

小横帳 一冊 (二四二)

定信公より三奉行三番頭其外万石以下の諸役人中江夫々被相渡書面之趣

五 松平越中守様御心得書写

(天明八年)

書冊 一冊 (四二六三)

定信公より被相渡書面の趣

六 御定書

寛政二年三月二十七日

書冊 一通 (二五四四)

(2) 藩法・家法

七 條々

三奈木黒田家文書 (一、江戸時代史料)

慶長六年卯月六日

卷子 一卷

長政(花押)と黒田惣右衛門外宛。一從他国使者於相越者、一隣国諸大名書状於被差越者、一知行方算用の由外

八 1 御條目(写)

慶長六年卯月六日

書綴 一綴 (一五三八)

長政と黒田惣右衛門外宛

2 條々(写)

慶長六年卯月六日

巻紙 一通 (四七六一)

長政と黒田惣右衛門・栗山四郎右衛門・後藤又兵衛外宛。禁制条令

九 條々(写)

慶長六年卯月六日

一紙 一通 (九〇の二)

長政と黒田惣右衛門・栗山四郎右衛門外宛

一〇 法度(写)

元和三年八月

一紙 一通 (九〇の二)

長政と井上周防・黒田美作外四名宛

一一 長政公御代御書出令條(写)

(慶長と元和)

書冊 一冊 (五二二)

一二 元和三年家訓(写)

(元和三年)

書冊 一冊 (五七四)

一三 小金丸弥大夫所持之一冊写

元和三年法度・茶堂定外

書冊 一冊 (二五五四)

一四 長政公御代治国節儉之御規則載之

(元和八年九月)

書冊 一冊 (一五三九)

一五 御定則

元和八年、天保六年写

書綴 一綴 (二五七四)

一六 長政公御書(写)

(二五四一)

(江戸期)

書冊 一冊

御留守中行跡之事

一七 享保六年家中法令之写

(江戸期)

巻紙 一通

一八 (仮題) 御定書一・二

寛保二年

書冊 二冊

一九 (仮題) 罰則寛

(寛保二年極)

切紙 一通

密通の場合

二〇 (仮題) 罰則

(延享年間)

切紙 二通

律令要略之内、殺害の場合

二一 律令要略

(江戸期)

切紙 一通

殺害の際の罰則

二二 御法令書

(宝曆期)

小横綴 一綴

二三 宝曆十年己未御法寛書

(文政元年九)

長綴(包紙入)二綴

二四 條令

明和二年九月

巻紙 一卷

一庸^ら。三奈木黒田家臣に対して

二五 御壁書写 全

(宝曆・明和期間)

書綴 一綴

二六 三ヶ條御法令ニ繼高公御添書并竹田春庵註解

(江戸期)

書綴 一綴

二七 服忌令

(安永十年)

(二六〇九) 書冊 二冊

二八 服忌令増補

(寛政期)

(二六一〇) 書冊 二冊

二九 寛政四年ヨリ被仰渡帳

(寛政四〜七年)

(二六五二) 書冊 一冊

三〇 (仮題) 達書写

(正徳五年〜文化九年)

(三〇六) 切紙 三通

三一 二男三男双方申合ニ依而他家ニ而養育いたし御法書抜

(寛政三年・文化十年の分)

(二六九二) 長綴 一綴

三二 山御狝御定則

文久二年

(二五四七) 小横綴 一冊

三三 (仮題) 達書

(江戸後期)

(二六五四) 書綴 一綴

三四 内封箱御定書

儉約の儀

(二五五五) 書綴 一綴

三五 溥整公御定令写

文化九年九月

書綴 一綴

井手勘七。凡例

三六 食禄定

(江戸後期)

(五七六) 書冊 一冊

三奈木黒田家臣に対して

三七 御直達草案

(明治初期)十二月

(四四〇二) 切紙 一通

三〇 御直達草案

(明治二年)

切紙 一通

食禄引上候に付一統不動弁無之云々

三 御触状控

明治三年

書冊 一冊

(九四四)

三 御定書写

(江戸期)亥三月朔日

書冊 一冊

(二三九)

吉田齋宮・宮崎藤右衛門・渡辺半左衛門宛

四 條々

(江戸期)

切紙 一通

(四四三四)

一定に加藤忠左衛門宛

2 領地

一 慶長五年小早川殿に御請取被成候御高之覚・御讓金之覚・公義江上納

金之覚・自分納取留メ其外万覚

(江戸期)

小横帳 一冊

(六一一)

二 御国高并公領中津領高共

(江戸期)

切紙(包紙入)三通

(三四〇)

直方領も含む

三 御国郡々之周・一国之周外

(江戸期)

長帳 一冊

(四九〇六)

四 高幸公御家督之節被下置御書

天明二年二月二日

折紙(包紙入)一通

(四〇五)

高幸(花押)。治之公御遺領拝領

五 篠原論地頭付

(文化四年)八年

長帳 一冊

(一二四六)

篠原村と中津領有田村境争論之頭付

三奈木黒田家文書 (一、江戸時代史料)

六 筑前国領地人数帳

文化十三年

小横帳 一冊

(二六七二)

勘定所

七 書状

(江戸期)五月七日

折紙(包紙入)一通

(三三八三)

鍋島八右衛門・多久伊豆外三左衛門外宛。境目之儀に付三左衛門と十左衛門と出合度由申来候

八 一貫公御筆 一軸

(江戸期)五月十九日

卷子(袋入)一卷

(四)

三左衛門覚書、鍋嶋十左衛門境目之儀熟談仕候様にと丹後守様御内意之由

3 对幕府関係

一 東照宮御文之写

(江戸期)二月二十五日

書冊 一冊

(二六〇二)

神君駿府江被為入候頃江戸江御成有之、還御後台徳院之御台様江被進候御文之写

二 (仮題)島原陣後の往返状

1 書状

(寛永十五年)三月十日

卷子 一卷

(二二〇九の二)

高橋次郎兵衛と黒田三左衛門宛。本丸海手門戸口ニ而忠之様家中衆に言を替し申候衆の名元外

2 書状

(寛永十五年)弥生十三日

一通

(二二〇九の二)

吉田齋助と黒三左衛門宛。枝柿の礼、有馬城乗の時分の働きぶりを賞したものと

3 書状

(寛永十五年)三月十五日

(一一〇九の三)

一通

倉田源兵衛と黒田三左衛門宛。嶋原表にての働きぶりを賞したるもの

4 書状

(寛永十五年)三月二三日

(一一〇九の四)

一通

関屋六兵衛と黒田三左衛門宛。嶋原表にての働きぶりを賞したもの

5 書状

(寛永十五年)三月二五日

(一一〇九の五)

一通

高橋二郎兵衛と三左衛門宛。佐々木九郎右衛門儀一ツ書進上

6 書状

(寛永十五年)三月二七日

(一一〇九の六)

一通

浅田平左衛門と黒田三左衛門宛。有馬落城の刻

7 書状

(寛永十五年)六月十三日

(一一〇九の七)

一通

安部井又左衛門と黒田三左衛門宛。傷の痛み具合の窺い外

8 書状

(寛永十五年)

(一一〇九の八)

一通

嶋原においての働き

三 (仮題) 嶋原陣後の往返状

(寛永十五年)三月十三日

(一一〇一の二)

一通

黒田甲斐守長興(花押)と黒田三左衛門宛。有馬の城での働きを賞す

2 書状

(寛永十五年)三月十九日

(一一〇一の二)

一通

林丹波守(花押)と黒田三左衛門宛。有馬表罷立候時暇乞しなかつた託と府

内参着の報知

3 書状

(寛永十五年)卯月十日

(一一一〇の三)

一通

花房助右衛門(花押)と黒田三左衛門宛。落城の節の右衛門佐の働き外

4 書状

(寛永十五年)卯月十一日

(一一一〇の四)

一通

中根大隅守(花押)と黒田三左衛門宛。嶋原での働きぶり

5 書状

(寛永十五年)卯月十二日

(一一一〇の五)

一通

成瀬隼人正(花押)と黒田三左衛門宛。手負の見舞

6 書状

(寛永十五年)卯月二六日

(一一一〇の六)

一通

山岡主計頭(花押)と黒田三左衛門宛。嶋原落城に際しての働きぶり

7 書状

(寛永十五年)五月八日

(一一一〇の七)

一通

林丹波守(花押)と黒田美作宛。嶋原表での働きぶり、児小姓の紹介

8 書状

(寛永十五年)五月十八日

(一一一〇の八)

一通

宗塚(花押)と黒田(田)三左(衛門)宛。嶋原表にての手柄を賞す

9 書状

(寛永十五年)五月二十一日

(一一一〇の九)

一通

大道寺内蔵助(花押)と黒田三左衛門宛。嶋原にての手柄を賞す

四 書状

(寛永十五年)五月十七日

(一一一〇の四)

一通

宗塚と忠之小姓衆宛。嶋原陣手柄外

五 書状

(江戸初期)

一紙

一通

口左衛門と黒美作宛。右衛門佐殿度々之御手から御家中衆御はたらき云々
六 有馬表ニ而拙者手前の儀御尋ニ付申上事
(江戸期)十月二十七日
一紙 一通

黒田三左衛門と黒田清大夫宛。戦の模様
七 (仮題) 一番手と五番手備人数覚
(江戸期)
(一一二二の二)
折紙 三通

八 書状
(江戸期)五月十七日
宗琢と忠之宛。島原戦の模様取沙汰の事
折紙 一通
(一一二二の三)

九 嶋原陣之節從諸方御書簡之内書抜
(江戸期)
卷紙 一通
(二四三五)

一〇 於江戸朝鮮人御馳走次第
天和四年
陣備(動員数書上)
小横綴 一綴
(二七二六)

一一 御書之写
天和四年
朝鮮在陣之刻御連状之写外
書冊 一冊
(二六〇二)

一二 御書八枚
(江戸期)
彦岐島御馳走被仰付被置以家老衆むかひに云々
折紙 八通
(三八)

一三 書状
(江戸期)七月七日
立花五郎左衛門外と黒田三左衛門宛。朝鮮人彦州出船の到来被聞召、其元渡海可
被遊候
折紙 一通
(六五の二)

一四 書状
(江戸期)七月六日
折紙 一通
(六七の二)

三奈木黒田家文書 (一、江戸時代史料)

熊沢八郎左衛門と三左衛門宛。朝鮮通信使監嶋へ渡海
一紙(包紙入)一通
(二二三三)

一五 江戸小作事方ニ詰候大工急ニ御下し被成候付取越候御扶持方上納難成
候間差延被下候様ニと御理り申上ル書付
(延宝三年)
半左衛門外二名と大野助右衛門宛
小横帳 一冊
(二七二五)

一六 米地二万石家範
貞享三年
香西成實。兵役の規格
長綴 一綴
(二二四四)

一七 (仮題) 日光御門跡御登城御能見物覚
寛政七年五月十一日
一綴
(二四三七)

一八 諸国巡見差出ニ付御達之御書付
(寛政十二年カ)
寛政御記録荒増書抜
卷紙(包紙入)二通
(二五九〇)

一九 柳宮秘録
享和三年
書冊 一冊
(三六六八)

二〇 日光御神忌御役人附
文化十二年四月
須原屋茂兵衛
書冊 一冊
(三八二七)

二一 日光御宮御參詣供奉御役人附
文政六年、木版
小横帳 一冊
(二〇三三)

二二 御代替ニ付公義御寺御參詣之儀御改ニ相成候書附
天保六年七月朔日
小横帳 一冊
(二〇二)

二三 松平阿波守様御留守居と大御目付井上美濃守様江相伺書付ニ御付札
有之分写
(文化八年正月五日)天保九年四月写
小横帳 一冊
(二〇一)

御茶壺行逢之節等道中心得

二 諸家御留守居賞罰御達之書付

天保九年十二月

(二四一四)
巻紙(包紙入)一通

葉山小口太右九郎左衛門江遣候書付写

三 御巡見使御帰路御付廻り相勤之節日記

天保九年

(二二四七)
長帳 一冊

四 御巡見使付廻相勤之節絵図類

天保九年

(二八五三)
(包紙入)三枚

五 (仮題)西丸御普請ニ付御手伝被仰付覚

天保十年八月

(二五〇五)
巻紙 一通

六 江戸御政事御改革ニ付御達書并風説書之写

天保十三年九月

(一五六九の二)
書綴 一綴

七 江戸御政事御改革ニ付於大坂表町御奉行市中江御達書之写

天保十三年

(一五六九の二)
書綴 一綴

江戸ニテ風説書写共

三 書状

天保十四年

(二五二二)
切紙(箱入)三通

吉田齋宮と黒田三左衛門宛。利根川分水路普請御用の件、甲斐守様と鴨被下に付その礼

三 松平下野守建白書草稿

文久三年正月

(一四二二)
書冊 一冊

三 京都方御達写

文久三年九月

(四〇三九)
切紙 二通

七卿廃官の達

三 覚

(江戸期)

(二五九〇)
切紙(包紙入)四通

松平美濃守家来守田平左衛門と。寛政元年の御巡見使覚外

四 御巡見使御取扱御次第書写

(江戸期)

(五九六)
小横帳 一冊

五 巡見使曾我又左衛門殿と御渡之書付

(江戸期)正月

(二四〇一の二)
切紙 一通

巡見通行の際の人馬・宿等に付

六 曾我又左衛門殿と御渡之御書附

(江戸期)十二月

(二四〇一の二)
切紙(包紙入)三通

九州御巡見の際の心得

七 御巡見使御帰路御取扱之次第

(江戸後期)

(二六四八)
長綴 一綴

八 御巡見使御取扱御覚日記

(江戸後期)

(二五一六)
小横綴 一綴

九 巡見先々ニ御承り覚外

(江戸期)戌正月

(二四五二)
切紙(包紙入)二通

一〇 日田表・加布里表出張人数組

(江戸後期)

(二二三九)
長帳 一冊

一一 (仮題)覚

(江戸期)

(二七七二)
切紙 一通

大老(酒井雅楽頭)老中名覚

一二 書附写

(江戸期)

(二七三四)
切紙(包紙入)一通

酒井雅楽頭様御在着御礼御使者殿中二而不束の儀

一三 馬込御船倉公義御船之覚

(江戸期)

(二六五七)
切紙 一通

一四 江戸状之写

(三八三四)

(江戸期)三月八日

折紙(包紙入)一通

阿部豊後守忠秋外二名を松平右衛門佐宛。到来物披露報知

翌 御舅入御当日

(二八二四)

(江戸期)

巻紙 一通

書院、小座鋪入大名名元書上

翌 御由緒之覚

(二七五三)

(江戸期)

小横帳 一冊

大名

翌 (仮題)覚

(二五七五)

(江戸期)

書綴 一綴

御老中方、若年寄方その外、御供減少覚

翌 西丸普請ニ付上納金并御用掛り御名元

(二五七二)

(江戸後期)

書冊 一冊

翌 (仮題)名元覚

(四九九九)

(江戸期)

巻紙 一通

尾張大納言外諸大名書上

翌 御三家方御附人

(四七三九)

(江戸期)木版

翌 覚

(四三三二)

(江戸期)甲申四月初七日

一紙 一通

崔知事外。崔天宗の日本人による殺害の事

翌 一成傳取調子書付写

(四〇二二)

(江戸期)

切紙・折紙 各一通

帆柱出しの人足割、夫割之事、付「覚」長政を黒田三左衛門宛。関東御陣江

為御見廻我等罷上り問夫割之事

翌 (仮題)覚

(二四三六)

三奈木黒田家文書 (一)、江戸時代史料)

(江戸期)

巻紙 一通

禮儀賞罰他国懸り合受持外役務内容書上

翌 公儀御再幣大御馬印御昇招書付

(二四〇九)

(江戸期)寅五月十九日、七月二十七日

翌 (仮題)目録

(二八〇〇)

(江戸期)寅

折紙(包紙入)四通外

松平筑前守家来黒田美作一庸を西丸当番大岡兵庫頭内宮崎權平宛。進上目録、付「覚」田主殿を。国許到着御礼之使者美作可差出

翌 (仮題)達

(一九九三の二)

(江戸期)五月廿九日

翌 (仮題)達

折紙(包紙入)一通

松右京を松平筑前守留守居宛。国許到着御礼之使者黒田源左衛門可差出

翌 (仮題)達

(一九九三の二)

(江戸期)六月五日

翌 (仮題)達

切紙(包紙入)一通

松 右近を松平筑前守留守居宛

翌 (仮題)達

(一九九三の三)

(江戸期)六月五日

阿 豊後を松平筑前守留守居宛

翌 柳宮御連枝箔

(四三三〇)

(江戸期)

全 御役鑑

長帳(小) 一冊

(明治初年)木版

全 御役鑑

(三八二八)

全 御役鑑

小横帳(小) 一冊

全 御役鑑

全 御役鑑

全 御役鑑

4 黒田藩主関係

(1) 福岡

一 諸方之來札

天保七年十一月表装

卷子(包紙)二卷

(六三)

1 書状

(江戸期)二月十三日

(六三の一)

一通

大夫と黒田藏人宛。駿府へ参上、頓而可令上洛い

2 書状

(江戸期)二月朔日

(六三の二)

一通

宰相と黒田藏人宛。伊豆の石場へも山より海端迄石を出し申以外

3 書状

(江戸期)五月三日

(六三の三)

一通

宰相と黒田藏人宛。其地本丸普請之儀何も被申談石垣やぐらこわし可被申

4 書状

(江戸期)八月十二日

(六三の四)

一通

宰相と黒田藏人宛。舟材木急度出い様

5 書状

(江戸期)十二月十六日

(六三の五)

一通

宰相と黒田藏人宛。其方むすめ青木弥右衛門方へ可遣い件

6 書状

(江戸期)六月二十一日

(六三の六)

一通

大夫と黒田藏人宛。將軍御上洛、我等も京都に滞留覚悟にい

7 書状

(江戸期)六月三十日

(六三の七)

一通

大夫と黒田藏人宛。十八日建仁寺追上着

8 書状

(江戸期)八月朔日

(六三の八)

一通

9 覚

(江戸期)三月二十三日

(六三の九)

一通

成瀬隼人・安藤帯刀と松平右衛門佐宛。黒田騒動後の国政指南

10 覚

(江戸期)六月十一日

(六三の一〇)

一通

黒田三左衛門宛。長崎御番関係

11 書状

(江戸期)正月六日

(六三の一)

一通

黒田(甲斐守長重)と黒田源左衛門宛。(秋月藩主より)年暮年始の進物の礼

二 國君御代々賜先祖以來御書

1 書状

(江戸期)卯月廿日

(六の一)

一通

如水(花押)と黒田三左衛門宛。素麵の礼、甲斐守上洛次第下国い間

2 書状

(江戸期)極月十六日

(六の二)

一通

如水(花押)と黒田三左衛門宛。鮎等の礼、咳気快氣い而帰宅い可心安い

3 書状

(江戸期)七月十七日

(六の三)

一通

如水(花押)と黒田三左衛門宛。百石に付三石宛貸、米は銘之浜にて大豆は下

4 書状

(江戸期)八月十二日

(六の四)

一通

如水(花押)と栗 四郎右衛門外宛。天守之石垣今日と可被申付以外

5 書状

(江戸期)八月十二日

(六の五)

一通

(江戸期)六月二十七日 一通

黒田甲斐守(花押)と黒田三左衛門宛。ながくから材木の儀

6書状 (江戸期) (六の六) 一通

(江戸期)

甲斐と黒(田)三左衛門宛。それへ参いよし尤い

7書状 (江戸期)正月二日 (六の七) 一通

(江戸期)正月二日

黒 甲(花押)と後 又兵衛・黒 左衛門宛。与介事てつぼうの者つれいての

ぼりの事

8書状 (江戸期)三月二十五日 (六の八) 一通

(江戸期)三月二十五日

甲斐守長政(花押)と後藤又兵衛・黒田三左衛門宛。左太殿と注文の件、豊前

へ大豆有次第上せいへと申件

9書状 (江戸期)八月二十三日 (六の九) 一通

(江戸期)八月二十三日

長政と黒田惣右衛門外宛。天守南の方つきさしの石垣つき可申い

10書状 (江戸期)正月二十二日 (六の一〇) 一通

(江戸期)正月二十二日

甲斐守長政(花押)と黒田三左衛門宛。此方へ上い番之者とも我々江戸と戻

い時分三上いへ

11書状 (江戸期)卯月八日 (六の一一) 一通

(江戸期)卯月八日

甲 長政(花押)と黒田三左衛門宛。夜前林右近屋敷火事出来、飛脚さし越尤

ニい

12書状 (江戸期)二月十五日 (六の一二) 一通

(江戸期)二月十五日

長政(黒印)と黒田三左衛門宛。天守を此月中に柱立可仕い

13書状 (江戸期)五月二十三日 (六の一三) 一通

(江戸期)五月二十三日

黒 甲斐守長政(花押)と黒田三左衛門宛。次左衛門事いまだ此地へ不罷着

い、不審ニ存い

14書状 (江戸期)正月二日 (六の一四) 一通

(江戸期)正月二日

甲(花押)長政)と三左衛門宛。武者ふりに入申い道具取そろへ可被越い

15書状 (江戸期)正月八日 (六の一五) 一通

(江戸期)正月八日

長政(花押)と毛利但馬守外宛。今度之御普請五日十日遅出来い共念を入申

い

16(仮題)申触 (江戸期)十月二十日 (六の一六) 一通

(江戸期)十月二十日

長政(黒印)と井上九郎右衛門外宛。与三兵衛屋敷地形普請の儀無油断可申

付い

17書状 (江戸期)八月十一日 (六の一七) 一通

(江戸期)八月十一日

花押(長政)と三左衛門宛。小者老人ツ、ニ而上可申い

18書状 (江戸期)十二月二日 (六の一八) 一通

(江戸期)十二月二日

長政(花押)と黒田清兵衛尉宛。出船延引、就其船頭与左衛門妻子籠舎

19書状 (江戸期)七月十五日 (六の一九) 一通

(江戸期)七月十五日

長政(花押)と黒(田)清兵衛宛。豊後にて女房どもへ被下い知行之儀、小者共

に預け置いくろの唐犬の事

20書状

（江戸期）一日

花押（忠之）と黒田美作宛。安部四郎五の事外

（六の二〇）

一通

21書状

（江戸期）五月二十五日

忠之（花押）と小河内蔵允・黒田美作宛。春甫のかけ物并丸壺之茶入其方ニ返可申外、岩崎平兵衛ふちはなし可申外

（六の二二）

一通

22書状

（江戸期）五月二十五日

忠之と美作・内蔵丞宛。岩崎平兵衛儀いとまを遣可申外也

（六の二三）

一通

23書状

（江戸期）三月七日

忠之（花押）と小河内蔵丞・黒田美作宛。勘解由召遣い者不届次第有之

（六の二三）

一通

24書状

（寛永九年）八月十日

忠之（花押）と黒田美作宛。御上使衆当国御通ニ付、道柏等肥後へ遣、大膳不届次第第八其節不申付外

（六の二四）

一通

25書状

（江戸期）五月二十三日

忠之（花押）と黒田美作守・小河内蔵允宛。喜多村安右衛門跡目知行之儀、小堀久左衛門所与国中百姓共迷惑仕の由皆々所へ申越外

（六の二五）

一通

26書状

（江戸期）六月朔日

忠之（花押）と黒田美作守・小河内蔵允宛。大蔵源右衛門合力の儀、四つ成之知行五百石の物成納升式百石大坂にて可遣外

（六の二六）

一通

27書状

（六の二七）

（江戸期）八月十四日

忠之と黒田美作・小河内蔵允宛。其元城廻屏矢藏などそこね申外由普請の事、当年国中世間能い哉外

一通

28覚

（江戸期）午ノ三月十六日

忠之（花押）と黒田美作・小河内蔵允宛。宮崎藤右衛門知行所ニ豊前之走り者有之由外

（六の二八）

一通

29覚

（江戸期）午ノ七月十一日

忠之（花押）と黒田美作守外宛。美作事隠居申付、川勝平左衛門借銀不残取立可申外

（六の二九）

一通

30書状

（江戸期）七月三日

忠之と睡鷗宛。万事国中之儀平右衛門・三郎兵衛へ申付様

（六の三〇）

一通

31書状

（江戸期）七月四日

忠之（花押）と黒田睡鷗宛。見廻の礼

（六の三一）

一通

32公事聞ノ覚

（江戸期）

四 甲斐守様伊勢守様御書諸方と来ル御書簡

1 松平右衛門佐領分於筑州相ノ嶋馳走ノ覚書状

（江戸期）七月九日

（六の二六）

一通

宗対馬

2書状

（江戸期）三月十三日

清流院と黒（田）三左衛門宛。おつる祝言の事

（六の二七）

一通

3書状

(江戸期) (六二の八) 一通
久 大和守(花押)と黒田源左衛門宛。 貴殿へ家督并役儀等相続候様と御申
付候由、進物の礼

4書状

(江戸期) (六二の九) 一通
酒 河内守忠明(花押)と黒田源左衛門宛。 家督役儀御申付候由、進物の礼

5書状

(江戸期) (六二の一〇) 一通
酒 雅楽頭忠清(花押)と黒田源左衛門宛。 家督役儀御申付候由、進物の礼

6書状

(江戸期) (六二の一) 一通
保科肥後守(花押)と黒田美作・栗山大膳亮宛。 右衛門佐も近日様子も能様ニ
見及申候

7書状

(江戸期) (六二の一二) 一通
松 肥前守(花押)と黒田三左衛門宛。 右衛門佐殿御無力珍重に存候

五 国君御代々之御書

1書状

(江戸期)三月三日 (二) 一通
光之(花押)と黒田三左衛門宛・小河平右衛門外宛。 其元吊之儀、其元用所
之義伊賀殿差函請可申

2書状

(江戸期)十月二十九日 (一)の二) 一通
光之(花押)と黒田三左衛門宛。 朝鮮信使帰帆之節藍嶋立寄候處馳走無異儀
被申付致出帆註進相達候

3書状

(江戸期)二月廿八日 (一)の三) 一通
光之(花押)と黒田三左衛門宛。 就御即位祭裏江名代の使者其方可差越候

4書状

(江戸期) (一)の四) 一通
光之(花押)と黒田三左衛門外宛。 肥前守御暇今日発足、代替之時節諸事入
念可被申付候

5書状

(江戸期)三月二十四日 (一)の五) 一通
光之(花押)と黒田源左衛門宛。 甲斐守気分悪敷、其方早々出船候而可罷上

6書状

(江戸期)正月三日 (一)の六) 一通
光之(花押)と黒田三左衛門宛。 為年始太刀馬代到来合祝着候

7書状

(江戸期) (一)の七) 一通
松 筑前と黒田源左衛門宛。 内々の儀平左衛門外三人を以被仰越大慶存候

8書状

(江戸期)六月二十八日 (一)の八) 一通
筑前綱政(花押)と黒田源左衛門宛。 地方目録被下候為祝儀有一種到来

9書状

(江戸期)壬五月六日 (一)の九) 一通
肥前綱政(花押)と黒田三左衛門・黒田平左衛門宛。 六郎太夫不勝手に有之、
江戸勤の件

10書状

(江戸期)七月二十七日 (一)の一〇) 一通
肥前綱政(花押)と黒田三左衛門宛。 六郎太夫儀首尾能相済別而取持故と存

候

11書状

（延宝五年）閏十二月二十六日

肥前守綱政（花押）と黒田三左衛門宛。分知領今度被返遣候為祝儀樽看到来令満足候

（一〇の二）

一通

12書状

（江戸期）十一月十五日

肥前守綱政（花押）と黒田三左衛門宛。息三太郎事黒田の名字御免為祝儀樽種到来令満足候

（一〇の二）

一通

13書状

（江戸期）正月十五日

肥前守綱政（花押）と黒田三左衛門宛。為歳暮年頭之祝儀樽着等到来満足候

（一〇の三）

一通

14書状

（江戸期）正月三日

肥前守綱政（花押）と黒田三左衛門宛。為年頭之嘉儀太刀馬代到来令満足候

（一〇の四）

一通

15書状

（江戸期）九月二日

大隅吉之（花押）と黒田三左衛門宛。我等縁組之為祝儀樽看到来令満足候

（一〇の五）

一通

16書状

（江戸期）九月五日

守 弁之助政則（花押）と黒田三左衛門宛。大隅守御縁組為祝儀有一種遂給令満足候

（一〇の六）

一通

六先祖以来從諸方来翰

1書状

（江戸期）三月二十日

卷子（袋入）一卷

（三の二）

一通

黒 甲斐守（花押）と睡鷗宛。天守台普請之刻借用銀返済の件、忠之御立之儀相延候外（秋月藩）

2書状

（江戸期）七月十二日

黒 甲斐守長興と黒田睡鷗宛。下着祝（秋月藩）

（三の二）

一通

3書状

（江戸期）二月十四日

黒 市正高政（花押）と黒 美作宛。貴殿手前之儀具申達候、忠之公合点参候（直方藩）

（三の三）

一通

4書状

（江戸期）十一月二十二日

黒 甲斐守孝政（花押）と黒田美作宛。堀平右衛門事（秋月藩）

（三の四）

一通

5書状

（江戸期）正月二十二日

大音六左衛門・郡正大夫と黒田美作宛。隠居屋敷替の事、大膳女房衆・大膳むすめの処遇に付

（三の五）

一通

6書状

（江戸期）三月二日

直ら。大膳殿江参候て御差物之儀御物かたり申候、別儀なき仰せらる

（三の六）

一通

7書状

寛永四年三月一日

栗山備後入道下庵と黒田三左衛門宛。差物所望候間讓進之候

（三の七）

一通

8書状

（江戸期）南呂（七月）二十二日

一成ら。明晩懸御目可申承候

（三の八）

一通

9書状

（三の九）

(江戸期)十一月朔日 一通

黒 三左衛門ら黒 又左・吉 六郎太宛。大村領きりしたんのせんさくやみ
申候と聞候、なべ嶋志摩守いまた長崎町ニ逗留

10書状 (三の一〇) 一通

(江戸期)正月二日

黒田甲斐長政(花押)と安国□宛

11書状 (三の一一) 一通

(江戸期)六月十七日

松平右馬佐忠政(花押)と長政宛。福岡左衛門太夫殿御事無別条相済申候、従
国本来積廻り候

12書状 (三の一二) 一通

(江戸期)二月廿七日

松平右衛門佐光之(花押)と忠之宛。花入・徳利讃岐殿へ進物の事

七 黒田忠之感状 (五) 一卷子(箱入)一卷

寛永十五年十二月十四日

筑前侍従忠之と黒田三左衛門宛。於原城働之段神妙之至令感悦者也

八 国君御代々賜先祖ノ以来御書 (六一) 一卷子(袋入)一卷

天保七年十一月上旬表装

1書状 (六一の二) 一紙

(江戸期)三月四日

如水(花押)と黒田三左衛門宛。辻堅十人之御触ニ付清右衛門下申候事尤ニ
候

2書状 (六一の二) 一通

(江戸期)二月十四日

如水と黒田清兵衛宛

3書状 (六一の三) 一通

三奈木黒田家文書 (一、江戸時代史料)

(江戸期)三月十八日 一通

如水斎卜庵(黒印)黒 吉右□宛。朝倉山枿一袋進上

4書状 (六一の四) 一通

(江戸期)七月二十四日

如水(花押)と黒田三左衛門宛。礼状・腫物養生の事

5書状 (六一の五) 一通

(江戸期)三月二十八日

長政(花押)と黒田三左衛門宛。所用申付度

6書状 (六一の六) 一通

(江戸期)三月二十七日

甲斐守長政と黒田三左衛門・後藤又兵衛宛。けんくわ出来の由

7書状 (六一の七) 一通

(江戸期)卯月十二日

甲斐守長政(花押)と黒田三左衛門宛。ふし見大書院を見せ候而指図させ可
置外

8書状 (六一の八) 一通

(江戸期)

長政と黒田三左衛門宛。検地申付候

9書状 (六一の九) 一通

(江戸期)六月廿一日

民(花押)と播磨外宛。坂本迄可下候

10書状 (六一の一〇) 一通

(江戸期)九月二十八日

黒(田)筑前守長政と黒田藏人宛。畳面(表)の礼

11書状 (六一の一) 一通

(江戸期)八月二十九日

黒田筑前守長政（花押）と黒田蔵人宛。数寄屋畳表の事

12 書状

（江戸期）十二月二十五日

黒（田）筑前守長政と黒田蔵人宛。礼状

（六一の一二）

一通

13 書状

（江戸期）六月九日

忠之（花押）と井上道柏・黒田美作・小河蔵允宛。蔵人儀に付

（六一の一三）

一通

14 書状

（江戸期）霜月二日

忠之（花押）と黒田美作宛。餅等の礼状

（六一の一四）

一通

15 知行宛行状

天正十八年卯月八日

長政（花押）と織部宛。豊前国宇佐郡三野村之内

（六一の一五）

一通

九 国君御代々賜先祖以来御書

天保七年十一月上旬御仕立ニ相成

（六六）

卷子（袋入）一卷

1 書状

（江戸期）二月二十四日

長政（花押）と後藤又兵衛・黒田三左衛門宛。助五郎事

（六六の一）

一通

2 江戸普請諸事入目算用

（江戸期）十月二十八日

長政（黒印）と毛利但馬守外四名宛

（六六の二）

一通

3 覚

（江戸期）十月二日

忠之（花押）と黒田美作・小河内蔵允宛。家臣の配置

（六六の三）

一通

4 目録

寛永十三年十一月九日

（六六の四）

一通

忠之（黒印）と宮田忠右衛門宛。知行

5 書状

（寛永九年）七月十日

忠之（花押）と黒田美作宛。栗山大膳一件

（六六の五）

一通

6 書状

（江戸期）五月五日

黒田官兵衛高政（花押）と毛利数馬助宛。来十三日の晩可被成御越の由御意（直方藩）

（六六の六）

一通

7 前書

寛永九年七月三日

松平右衛門佐と竹中采女正宛。栗山大膳一件

（六六の七）

一通

8 書状

（江戸期）七月九日

光之（花押）と黒田三左衛門宛。南蛮船帰帆、其方逗留見舞

（六六の八）

一通

9 書状

（江戸期）

松（平）筑前（花押）と黒田三左衛門宛。進物

（六六の九）

一通

10 書状

（江戸期）

松（平）筑前守（花押）と黒田源左衛門宛。進物の礼

（六六の一〇）

一通

11 書状

（江戸期）十二月二十六日

松平右衛門佐と。信濃守病に付下向

（六六の一）

一通

12 書状

（江戸期）

松平筑前（花押）と黒田源左衛門宛。進物の事

（六六の一二）

一通

13 書状 (六六の一三)

(江戸期) 十月八日 一通

松平筑前守(花押)と黒田源左衛門・黒田平右衛門宛。無事大坂着

14 書状 (六六の一四)

(江戸期) 六月十八日 一通

筑前守綱之(花押)と黒田源左衛門宛。家督相続為祝詞進物の礼

15 書状 (六六の一五)

(江戸期) 三月二十五日 一通

芳春院と黒田美作宛。進物の礼

二〇 如水公長政公御遺書写・忠之公御書付・光之公御遺書等之写 (六四)

(元和九年(宝永四年) 卷子(袋入)一卷

二 書状 (六五の三)

(江戸期) 三月六日 折紙 一通

栗山大膳と高木筑後守・小出大和守外宛。依上意当地伺公仕り、右衛門佐於

在所領地被召上との訴え(黒田騒動)。卷子の内にあり

三 書状并目錄 (四六七五)

享和三年閏正月 切紙 二通

如水・長政・忠之御書の写目錄

三三 覚 (四二七二)

(江戸期) 長帳 一冊

長政御書写

三四 長政公忠之公御兩代御書付之内載之 (二六〇四)

(江戸期) 書冊 一冊

三五 (仮題)長政異見会催しの覚書 (三九八九)

(江戸期) 巻紙 一通

三六 長政書状(写) (二七九九)

三奈木黒田家文書 (一、江戸時代史料)

(江戸期) 二月十九日 一紙(包紙入)一通

黒田甲斐守長政と浅 弾少宛。江戸出発の事

一七 長政公御書(写) (一九九〇)

天保四年二月四日差出 包紙のみ

長政公御書郡正太夫家頼牧甚右衛門と差出

一八 (仮題)睡鷗齋覚書 (四二六六)

(江戸期) 書冊 一冊

一九 如水公長政公忠之公御文書載之 (一六〇三)

(江戸期) 書冊 一冊

三〇 如水公長政公忠之公之御書 (一〇)

卷子(袋入)一卷

1 書状 (一〇〇の一)

(江戸期) 正月二十三日 一通

如水と黒田三左衛門宛。あけまきの礼・堤普請外

2 書状 (一〇〇の二)

(江戸期) 二月晦日 一通

長政(黒印)と黒田美作守宛。新正之祝儀三百足到来の礼

3 書状 (一〇〇の三)

(江戸期) 霜月二十二日 一通

長政(花押)と井上九郎右衛門・黒田三左衛門宛

4 書状 (一〇〇の四)

(江戸期) 六月二日 一通

忠之と黒田美作・小河内蔵宛

三 (仮題)孝高・長政・忠之記録 (四八九二)

(江戸期) 巻紙 一通

三三 道下長政公御一代之記 (一六一三)

(江戸期)

長帳 一通

三 光之公御遺言書

宝永三・四年

(二六〇六)

小横帳 一冊

四 花押覚

(江戸期)

(二七〇一)

整之・匡之・忠之分筆順等

五 (仮題)覚

(江戸期)

(三三三三)

忠之公御代一大変之節登姫稻荷宮之神託ニ依而公義御内評之趣託宣有之に付

六 (仮題)治之公・治高公・斉隆公・長順公の元服・家督相続・婚礼の際の祝儀覚

(江戸期)

(二九九八)

七 1口上覚

正徳四年三月十二日

(二七七〇の二)

黒田隠岐守と酒井勘解由外四名宛。肥前守養子の件承知

2覚書状

(正徳四年カ)三月十七日

(二七七〇の二)

黒田清左衛門・斉藤三郎大夫外と黒田美作・郡平馬宛。隠岐守相続の儀

3書状

(正徳四年)三月八日

(二七七〇の三)

矢野安大夫・立花吉右衛門外と黒田美作・郡平馬宛。相続の件

六 黒田美作郡平馬宛書状

(江戸期)四月五日

(九九九)

矢野安大夫・立花吉右衛門外と黒田美作・郡平馬宛。御養子御隠居御願の儀

元 吉之公御婚礼記(写)

(五八三)

(宝永二年九月十日)

長帳(包紙入)一冊

三 口上書之写

(享保四年頃)午三月

(二九九四)

黒田諸左衛門・斉藤三郎大夫外五名宛。黒田隠岐守相続被任候様有之度

三 書状

(江戸期)三月十七日外

(二五一四)

小笠原山城守長矩(花押)と黒田源左衛門宛。右衛門佐・宮内殿掃着祝、筑前殿逼塞、宮内殿惣領職ニ御成候

殿逼塞、宮内殿惣領職ニ御成候

三 小笠原山城守様江御請之御案文

(江戸期)

(二〇九五)

宮内少輔儀相続ニ被仰付候件、筑前守事ハ逼塞

三 書状

(江戸期)六月九日

(二四七の二〇)

美作と源左衛門宛。去月廿九日火災、友泉亭へ御立退被遊ハ過比御帰座

三 御用状

(江戸期)三月十一日

(一九四)

黒田清左衛門外二名と黒田美作・郡平馬宛。相続一件に付僉儀の件長政曾

孫隠岐守へ)

三 菊姫様麻布御入興御行列

宝暦五年十二月七日

(五八二)

三 若殿様御元服ニ付御書

明和三年七月十八日

(四一六)

治之(花押)と黒田源左衛門宛

三 治之様御家督之節御判物

明和七年正月(中は十二月十五日)

(四二二)

治之(花押)と黒田源左衛門宛。継高公隠居(治之)家督相続

三 治高書状

(江戸期)三月七日

折紙(包紙入)一通 (四一〇)

治高と黒田美作宛。元服祝儀到来令祝着候

完 長嵩公御家督初之御書

天明二年十二月十九日

折紙(包紙入)一通 (四一一)

長嵩と黒田美作宛。治高遺領拝領

四 斎隆公御元服被仰付候為御祝儀御着差上候付被下候御書

寛政二年十月

折紙(包紙入)一通 (四〇一)

長溥(花押)と黒田美作宛

四 斎隆公御参詣

寛政五年春夏

二枚 (三五四九)

京龍光院図、姫路心光寺図

四 斎隆公御入部御着城御行列付

寛政五年春

長帳 一冊 (二七〇七)

四 敬徳公御遺事

(寛政期)

書冊 一冊 (二六〇七)

斎隆

四 (仮題)御前様生誕覚

寛政六年十月

切紙 一通 (三七三六)

四 (仮題)覚

(江戸期)

切紙 一通 (二四五四の九)

松平美濃守斎溥

四 長政公御入国と二百年二相当候二付御祝被遊候節調子類

(寛政十一年)

切紙 一通 (二〇〇六)

四 證心院様祖母と奉唱候義二付御用部屋重畳相調子候上相決候節之御用

帳書抜

(一一)

文化十二年

四 若殿様初而被下候御書

文政八年正月(中は十月二十五日)

折紙(包紙入)一通 (四一九)

斎隆(花押)と黒田美作宛

四 若殿様御元服被仰出候節御着差上候二付被下之御書

文政八年正月十八日

折紙(包紙入)一通 (四〇三)

斎溥と黒田美作宛

四 御大禮之節御昇進詔書写

文政十年二月十六日

切紙 一通 (二〇四八)

四 従少将様被下御書

天保五年正月朔日

折紙(包紙入)一通 (四二二)

斎清(花押)と黒田播磨宛

四 待從様御家督被為濟候二付河村五大夫為御使者罷帰候二付御書被下

天保五年十一月十五日

書冊(包紙入)二冊 (一八五)

四 於御本丸斎溥公御繼目御礼図式

天保六年八月廿五日

一紙(包紙入)一枚 (三八六三)

四 主水源左衛門演説之大意書取

天保八年

切紙(包紙入)一通 (二四九一)

養子之儀

四 御入国式百五十年且去冬御昇進御束御祝御囃組并献立(覚)

嘉永二年十二月

切紙(包紙入)一通 (三八四二)

四 溥整様と御下ケ被成候御書

元治元年正月朔日、二月九日

折紙(包紙入)一通 (四〇七)

四 溥(花押)と黒田播磨宛

折紙(包紙入)一通

折紙(包紙入)一通

五 1 書状

(江戸期) 四月五日 卷紙 一通 (二九九六の二)

大音六左衛門外方黒田美作・郡平馬宛。御養子・御隠居の儀

2 書状

(江戸期) 三月二十二日 一紙(包紙)一通 (二九九六の二)

吉田式部・黒田鞠負方黒田美作・郡平馬宛。直方御領之儀、菊千代相統の儀

3 書状

(江戸期) 三月十九日 一紙(包紙)一通 (二九九六の三)

大音六左衛門・齊藤丹下・野村太郎兵衛方黒田美作・郡平馬宛。相統の儀

五 木姓相生之御名

(江戸期) 切紙(包紙)一通 (二六五五)

岩尾名相撰候節之書付

五 御由緒書

(江戸期) 小横帳 一冊 (四二六一)

六 (仮題)覚

(江戸期) 切紙 一通 (四四五五)

御両公様由緒の件

六 婚礼行列

(江戸期) 長帳 一冊 (五八〇)

六 書拔

(江戸期) 小横帳 一冊 (五六六)

太閤記外より長政・如水関係

六 加藤忠左衛門方先年差出候書付

(江戸期) 十月十三日 長綴(包紙)二綴 (二二〇五)

御前御行状風説云々

六 お鶴様婚礼一巻

(江戸期) 切紙 六通 (二〇四四)

付、給地と禄高(重臣分)書付一通

六 西御丸二而之御口上外

(江戸期) 卷紙 一通 (四二二〇)

家督初而御暇被仰出

六 齊溥書状(写)

(江戸期) 正月十八日 切紙(包紙)一通 (二五七六)

齊溥方黒田美作宛。元服祝到来に付礼

六 書状

(江戸後期) 一紙 一通 (三六〇)

齊溥方。下関止宿挨拶礼状

六 黒田播磨宛書状

(江戸期) 切紙(包紙)一〇通 (八五)

1 書状

(江戸期) 正月朔日 折紙(包紙)一通 (八五の二)

齊溥(花押)方黒田播磨宛。年頭祝儀到来

2 書状

(江戸期) 四月十九日 折紙(包紙)一通 (八五の二)

齊清(花押)方黒田播磨宛。一字遣候付樽肴到来

3 書状

(江戸期) 正月朔日 折紙(包紙)一通 (八五の三)

齊溥(花押)方黒田播磨宛。年頭之嘉儀

4 書状

(江戸期) 正月朔日 折紙(包紙)一通 (八五の四)

慶賢(花押)方黒田播磨宛

5書状

(江戸期)十二月二十九日

齋溥と黒田播磨宛。道具増為祝儀到来

折紙(包紙入一通)

(八五の五)

6書状

(江戸期)正月朔日

慶賛(花押)と黒田播磨宛。年頭の嘉儀到来

折紙(包紙入一通)

(八五の六)

7書状

(江戸期)十一月十五日

齋溥(花押)と黒田播磨宛。家督相続之為祝詞到来

折紙(包紙入一通)

(八五の七)

8書状

(江戸期)正月朔日

慶賛(花押)と黒田播磨宛。年頭の嘉儀到来

折紙(包紙入一通)

(八五の八)

9書状

(江戸期)十二月二十八日

齊溥(花押)と黒田播磨宛。昇進為祝儀到来

折紙(包紙入一通)

(八五の九)

10書状

(江戸期)正月朔日

慶賛(花押)と黒田播磨宛。年頭の嘉儀到来

折紙(包紙入一通)

(八五の一〇)

㊦書状

(江戸期)十一月十三日

慶賛と黒田播磨宛。加冠状被下候付樽有到来の礼、長崎警備に付賞す

切紙(包紙入二通)

(八四)

㊧家督之節被仰付書写

(江戸期)

黒田源左衛門宛

切紙(包紙入一通)

(一九五九)

㊨家督の節御書

(江戸期)十二月十五日

切紙(包紙入一通)

(四〇八)

三奈木黒田家文書 (一、江戸時代史料)

太刀馬代到来令祝着候也

㊩侍従様御書

(江戸期)十二月二十八日

播磨宛。孫作云々言上の件

切紙(包紙入一通)

(二四四三)

㊪(仮題)覚

(明治初年)三月十五日

長知と黒田播磨宛。再職被仰付候ニ付進物の礼

切紙 一通

(四八七二)

㊫(仮題)年頭御書

(江戸期)正月三日

筑前守綱之と黒田源左衛門宛

折紙(包紙入一通)

(一九八六)

㊬年頭御書

(江戸期)正月

綱政(花押)と黒田源左衛門宛

折紙(包紙入一通)

(二七六〇の一)

㊭年頭御書

(江戸期)正月

綱政(花押)と黒田源左衛門宛

折紙(包紙入一通)

(二七六〇の二)

㊮年頭御書

(江戸期)正月

綱政(花押)と源左衛門宛

折紙(包紙入一通)

(二七六〇の三)

㊯年頭御書

(江戸期)正月

綱政(花押)と黒田源左衛門宛

折紙(包紙入一通)

(二七六〇の四)

㊰(仮題)年頭御書

(江戸期)

継高(花押)と黒田美作宛

折紙(包紙入一通)

(二七六一の一)

㊱(仮題)年頭御書

折紙(包紙入一通)

(二七六一の二)

(江戸期)

折紙(包紙入)一通

継高(花押) 〆黒田美作宛

六三(仮題)年頭御書

(一七六一の三)

(江戸期)

折紙(包紙入)一通

継高(花押) 〆黒田美作宛

六三 年頭御書

(一七六一の四)

(江戸期)子年

折紙(包紙入)一通

継高(花押) 〆黒田美作宛

六四 御書

(一七六一の五)

寛政七年

折紙(包紙入)一通

継高(花押) 〆黒田美作宛

六五(仮題)年頭御書

(一七六一の六)

(江戸期)辰正月

折紙(包紙入)一通

継高(花押) 〆黒田美作宛

六六 年頭御書

(一七六一の七)

(江戸期)

折紙(包紙入)二通

継高(花押) 〆黒田源左衛門宛

六七 隼之助様御智御養子并御道具御増彼是御献上被成候節之御書 (四一八)

宝曆十四年正月

折紙(包紙入)一通

継高(花押) 〆黒田源左衛門宛

六八(仮題)年頭御書

(一九八〇の一)

明和三年正月

折紙(包紙入)一通

継高(花押) 〆黒田源左衛門宛

六九(仮題)年頭御書

(一九八〇の二)

明和五年正月朔日

折紙(包紙入)一通

継高(花押) 〆黒田源左衛門宛

七〇(仮題)年頭御書

(一九八〇の三)

(江戸期)午ノ年

折紙(包紙入)一通

継高(花押) 〆黒田美作宛

七〇(仮題)年頭御書

(一九八〇の四)

(江戸期)

折紙(包紙入)一通

継高(花押) 〆黒田美作宛

七一(仮題)年頭御書

(一九八〇の五)

(江戸期)正月朔日

折紙(包紙入)一通

継高(花押) 〆黒田美作宛

七二(仮題)年頭御書

(一九八〇の六)

(江戸期)寅正月朔日

折紙(包紙入)一通

継高(花押) 〆黒田美作宛

七三(仮題)年頭御書

(一九八〇の七)

(江戸期)正月朔日

折紙(包紙入)一通

継高(花押) 〆黒田美作宛

七四(仮題)年頭御書

(一九八〇の八)

(江戸期)正月朔日

折紙(包紙入)一通

継高(花押) 〆黒田美作宛

七五(仮題)年頭御書

(一九八〇の九)

(江戸期)正月朔日

折紙(包紙入)一通

継高(花押) 〆黒田美作宛

七六 年頭御書

(一九八〇の一〇)

(江戸期)正月朔日

折紙(包紙入)一通

継高(花押) 〆黒田美作宛

七七(仮題)継高御書

(一九八〇の一)

(江戸期)正月廿二日

折紙(包紙入)一通

繼高(花押)と黒田美作宛。昇進祝に付

九 年頭御書

(江戸期)丑年

重政(花押)と黒田美作宛

(一七六二の二)
折紙(包紙入)一通

一〇 年頭御書

(江戸期)子ノ年

重政(花押)と黒田美作宛

(一七六二の二)
折紙(包紙入)一通

一一 (仮題) 年頭御書

(江戸期)正月朔日

重政(花押)と黒田美作宛

(一七六二の三)
折紙(包紙入)一通

一二 (仮題) 年頭御書

(江戸期)亥正月

重政(花押)と黒田玉松宛

(一七六二の四)
折紙(包紙入)一通

一三 年頭御書

(江戸期)正月

重政(花押)と黒田美作宛

(一七六二の五)
折紙(包紙入)一通

一四 (仮題) 御書

(江戸期)二月二日

重政(花押)と黒田美作宛。我等元服に付

(一九八一の二)
折紙(包紙入)一通

一五 (仮題) 年頭御書

(江戸期)巳ノ年正月朔日

重政(花押)と黒田美作宛

(一九八一の二)
折紙(包紙入)一通

一六 (仮題) 年頭御書

(江戸期)午ノ年正月三日

重政(花押)と黒田美作宛

(一九八一の三)
折紙(包紙入)一通

一七 卯年頭御書

(江戸期)正月二日

重政(花押)と黒田美作宛

(一九八一の四)
折紙(包紙入)一通

一八 (仮題) 年頭御書

(江戸期)西正月朔日

重政(花押)と黒田美作宛

(一九八一の五)
折紙(包紙入)一通

一九 (仮題) 年頭御書

(江戸期)辰正月三日

重政(花押)と黒田美作宛

(一九八一の六)
折紙(包紙入)一通

二〇 (仮題) 年頭御書

(江戸期)寅正月二日

重政(花押)と黒田美作宛

(一九八一の七)
折紙(包紙入)一通

二一 (仮題) 年頭御書

明和二年正月

高満(花押)と黒田源左衛門宛

(一七六三の二)
折紙(包紙入)一通

二二 (仮題) 年頭御書

明和三年

高満(花押)と黒田源左衛門宛

(一七六三の二)
折紙(包紙入)一通

二三 (仮題) 年頭御書

明和四年

治之(花押)と黒田源左衛門宛

(一七六三の三)
折紙(包紙入)一通

二四年頭御書

明和五年

治之(花押) 〆源左衛門宛

(二七六三の四)

折紙(包紙入)一通

二五(仮題)年頭御書

明和六年

治之 〆黒田源左衛門宛

(二七六三の五)

折紙(包紙入)一通

二六年頭御書

明和七年正月

治之(花押) 〆黒田源左衛門宛

(二七六三の六)

折紙(包紙入)一通

二七(仮題)年頭御書

安永七年正月

治之(花押) 〆黒田美作宛

(二七六三の七)

折紙(包紙入)一通

二八 治之様御家督之節御書

明和七年正月十八日

治之(花押) 〆黒田源左衛門宛

(四一七)

折紙(包紙入)一通

二九年頭御書

宝暦四年正月朔日

高満(花押) 〆黒田源左衛門宛

(二九八二の一)

紙 一通

三〇(仮題)年頭御書

明和九年

治之(花押) 〆黒田源左衛門宛

(二九八二の二)

折紙(包紙入)一通

三一年頭御書

安永三年正月

治之(花押) 〆黒田源左衛門宛

(二九八二の四)

折紙(包紙入)一通

三二年頭御書

(二九八二の五)

安永五年正月朔日

治之(花押) 〆黒田美作宛

折紙(包紙入)一通

三三年頭御書

安永九年正月朔日

治之(花押) 〆黒田美作宛

(一九八二の六)

折紙(包紙入)一通

三四 高幸公御家督之節被下候御書

天明二年三月

高幸(花押) 〆黒田美作宛

(四二五)

折紙(包)一通

三五 長且高公御家督御祝儀御樽肴差上候二付被為下候御書

天明二年十二月二十八日

齊隆黒印 〆黒田美作宛

(四二四)

折紙(包紙)一通

三六年頭御書

天明四年正月

長嵩(黒印) 〆黒田美作宛

(二七六四の一)

折紙(包紙入)一通

三七 雅之助様御書

天明五年正月

雅之助黒印 〆黒田源左衛門宛

(二七六四の二)

折紙(包紙入)一通

三八(仮題)年頭御書

天明五年正月朔日

雅之助(齊隆) 〆黒田美作宛

(一九八二の三)

折紙(包紙入)一通

三九年頭御書

天明六年

長嵩 〆黒田美作宛

(一七六四の三)

折紙(包紙入)一通

三〇年頭御書

天明八年正月

長嵩(花押) 〆黒田美作宛

(一七六四の四)

折紙(包紙入)一通

一三 年頭御書

天明九年二月

長嵩(花押) 〆黒田美作宛

(一七六四の五)
折紙(包紙入)一通

一三 (仮題) 年頭御書

享和三年正月

雅之助(黒印) 〆黒田源左衛門宛

(一七六四の六)
折紙(包紙入)一通

一三 (仮題) 年頭御書

享和四年正月

雅之助(黒印) 〆黒田源左衛門宛

(一七六四の七)
折紙(包紙入)一通

一三 年頭御書

寛政三年正月

斉隆(花押) 〆黒田美作宛

(一七六四の八)
折紙(包紙入)一通

一三 (仮題) 年頭御書

(江戸期)

斉隆(花押) 〆黒田美作宛

(一七六四の九)
折紙(包紙入)一通

一三 年頭御書

寛政四年正月朔日

斉隆 〆黒田美作宛

(一九八三の二)
折紙(包紙入)一通

一三 年頭御書

寛政五年正月十四日

斉隆 〆黒田美作宛

(一九八三の二)
折紙(包紙入)一通

一三 年頭御書

天明三年正月

長嵩 〆黒田美作宛

(一九八三の三)
折紙(包紙入)一通

一三 年頭御書

天明七年

(一九八三の四)
折紙(包紙入)一通

一四 年頭御書

長嵩 〆黒田美作宛

(一九八三の五)
折紙(包紙入)一通

一四 年頭御書

寛政二年正月朔日

長嵩 〆黒田美作宛

(一九八七)
折紙(包紙入)一通

一四 御書

享和元又は二年

斉隆黒印 〆黒田源左衛門宛

(一七六五の二)
折紙(包紙入)一通

一四 (仮題) 年頭御書

文化三年

長順(花押) 〆黒田源左衛門宛

(一七六五の二)
折紙(包紙入)一通

一四 年頭御書

文化四年

長順(花押) 〆黒田源左衛門宛

(一七六五の二)
折紙(包紙入)一通

一四 (仮題) 年頭御書

文化五年

長順(花押) 〆黒田源左衛門宛

(一七六五の三)
折紙(包紙入)一通

一四 (仮題) 年頭御書

文化八年

斉清(花押) 〆黒田源左衛門宛

(一七六五の四)
折紙(包紙入)一通

一四 年頭御書

文化十年正月

斉清(花押) 〆黒田美作宛

(一七六五の五)
折紙(包紙入)一通

一四 御書

文化十四年正月

(一七六五の六)
折紙(包紙入)一通

文政四年

齊清(花押)と黒田美作宛

折紙(包紙入)一通

一四 (仮題) 年頭御書

文政六年

齊清(花押)と黒田美作宛

折紙(包紙入)一通

一五 (仮題) 年頭御書

文政八年

齊清(花押)と黒田美作宛

折紙(包紙入)一通

一五 年頭御書

文政十年正月

齊清(花押)と黒田播磨宛

折紙(包紙入)一通

一五 御書

文政十三年正月朔日・十二月十六日

齊清(花押)と黒田播磨宛。年頭・御昇進之節

折紙(包紙入)二通

一五 御請案

(江戸期) 正月十九日

黒田源左衛門と野村市右衛門宛

折紙(包紙入)一通

一五 年頭御書

(江戸期)

齊清(花押)と黒田源左衛門宛

折紙(包紙入)一通

一五 (仮題) 年頭御書

文化二年

長順(花押)と黒田源左衛門宛

折紙(包紙入)一通

一五 (仮題) 年頭御書

文化六年正月朔日

齊清(花押)と黒田源左衛門宛

折紙(包紙入)一通

一五 (仮題) 年頭御書

文化七年正月朔日

齊清(花押)と黒田源左衛門宛

(一九八四の三)
折紙(包紙入)一通

一五 (仮題) 年頭御書

文化二年正月朔日

齊清(花押)と黒田美作宛

(一九八四の四)
折紙(包紙入)一通

一五 年頭御書

文政二年

齊清(花押)と黒田美作宛

(一九八四の五)
折紙(包紙入)一通

一六 御元服被仰出依之御着差上候二付被下御書

文化五年九月二十七日

齊清と黒田源左衛門宛

(二七一)
折紙(包紙入)一通

一六 書状

(江戸期) 正月二十八日

黒田播磨清定と齊藤丹下宛。年頭祝儀差上候処御書被成下二付

(二四五)
折紙一通

一五 御元服被仰出候節被下御書之御請扣

文化五年十月二十二日

黒田源左衛門一定と矢野六太夫・毛利源左衛門宛

(二七二)
折紙(包紙入)一通

一六 書状

文化八年七月十一日

黒田美作一定と櫛橋又之進・小川鞆負宛。御書御請御礼可申上

(二七一)
折紙(包紙入)一通

一五 年頭御書御請案

文化八年

黒田源左衛門一定

(二七二)
折紙(包紙入)一通

一六 御書御請案

(文化十年)

(二四八)
長帳(小) 一冊

為御祝儀御太刀馬代差上候処御書被成下云々

一六 御請控

文化十二年

折紙(包紙入一通)

(二一〇)

黒田美作一定方吉田六郎太夫宛。年頭為御祝儀御太刀馬代差上候處御書被下二付御執成頼

一六 書状

(文化十四年)正月二十八日

折紙(包紙入一通)

(一一一)

黒田美作一定方久野外記宛。年頭御書御請申上候二付御執成可被下候

一六 書状

文政二年正月二十八日

折紙(包紙入一通)

(二五四の四)

黒田美作一定方毛利内記宛。年頭祝儀差上候処、御書被成下

一七 殿様御書御請

文政四年正月二十八日

折紙(包紙入一通)

(二七一九)

黒田美作一定方櫛橋又之進宛。年頭祝儀差上候処

一七 御書御請案

文政六年正月二十八日

折紙(包紙入一通)

(二五四の六)

黒田美作一定方林五左衛門宛。年頭祝儀差上候処

一七 書状

文政八年正月二十八日

切紙(包紙入一通)

(二五四の五)

黒田美作一定方野村新右衛門宛。年頭祝儀差上候處御書被成下、付、兩殿様御判写(齊清・長薄)

一七 若殿様御元服被仰出候付御肴差上置候處御書被下候付御請差上候控

文政八年

折紙(包紙入二通)

(二八三四)

黒田美作方野村新右衛門・齊藤三郎太夫宛。付、外記殿五左衛門殿御請案写

一七 從若殿様御書被下候付御請書

(二八三七)

三奈木黒田家文書(一、江戸時代史料)

文政九年正月

切紙(包紙入一通)

黒田播磨一定方齊藤丹下宛

一七 被任少将候節呈書案

文政十三年正月

切紙(包紙入一通)

(二二二)

黒田播磨方野村市右衛門外宛

一七 少将様御昇進二付御書御請

文政十三年正月十九日

切紙(包紙入三通)

(二一九)

黒田播磨清定方野村市右衛門宛

一七 御請控

文政十三年三月

切紙(包紙入二通)

(二四四)

黒田播磨方林五左衛門宛。御一字拜領被仰付候二付御書被下候御請案

一七 甲斐守様御書御請案

(文政頃)

切紙 一通

(二五の九)

黒田美作方吉田久右衛門宛(秋月藩)

一七 侍従様御昇進二付御請控

天保二年正月十五日

(包紙入切紙・折紙各一通)

(二二〇)

黒田播磨清定方黒田源左衛門宛

一八 (仮題) 年頭御書

天保二年

折紙(包紙入一通)

(二七六六の二)

齊清方黒田播磨宛

一八 (仮題) 年頭御書

天保二年

折紙(包紙入一通)

(二七六六の二)

齊清方黒田播磨宛

一八 (仮題) 御書

天保二年十二月十六日

折紙(包紙入一通)

(二七六六の三)

齊清方黒田播磨宛

一三 少将様侍従様より年頭之御書被下候御請控

(三八六六)

天保二年

折紙(包紙)二通

黒田播磨(清定)と源左衛門宛

一四 書状

(二六四二)

天保四年正月二十五日

折紙 二通

黒田播磨清定と野村新右衛門宛。侍従様御書御請のこと

一五 年頭御書

(二七六七)

天保四年正月

折紙(包紙)二通

齊清と黒田播磨宛。齊溥と黒田播磨宛

一六 少将様年頭御書被下候御請案外

(三八六八)

天保五・六年

折紙(包紙)二通

黒田播磨清定

一七 (仮題)御書

(二七六八の一)

(江戸期)

折紙(包紙)二通

齊溥と黒田三左衛門宛。家督に付

一八 年頭御書

(二七六八の二)

天保八年

折紙(包紙)二通

齊溥と黒田播磨宛

一九 年頭御書

(二七六八の三)

(江戸期)

折紙(包紙)一通

齊溥と黒田播磨宛

二〇 年頭御書

(二七六八の四)

文政十年正月

折紙(包紙)一通

齊溥と黒田播磨宛

二一 年頭御書

(二七六八の五)

文政九年正月

折紙(包紙)一通

齊溥と黒田播磨宛

二二 於長崎御両殿様被下之御書并御請扣

(二七八二)

嘉永七年

折紙(袋)三通

齊溥・慶賢と黒田播磨宛

二三 少将様御隠居侍従様御家督被為濟候ニ付於江戸表御樽御肴差上候ニ付

侍従様被下之御書 (一九二)

天保五年十一月十五日

折紙(包紙)一通

齊溥(花押)と黒田播磨宛

二四 御家督後初年頭御書御請

(三八六二)

天保六年正月二十八日

折紙(包紙)一通

黒田播磨と林五左衛門・毛利長右衛門宛

二五 御家督ニ付侍従様御書請案

(三八五八)

天保五年十二月十九日

(包紙)切紙一通・折紙三通

二六 齊溥公御家督後年頭御書

(四〇四)

天保六年正月七日

折紙(包紙)一通

齊溥と黒田播磨宛

二七 御請控

(一八二二)

(江戸後期)

折紙(包紙)一通

黒田播磨清定と野村市右衛門宛。為年頭祝儀御太刀馬代差上候処御書被成

下

二八 御書

(四二〇)

天保十年正月朔日

折紙(包紙)一通

齊溥と黒田播磨宛。太刀馬代到来令祝着候

二九 書状

(二五五四)

(江戸期)正月二十八日

折紙(包紙)一通

黒田美作一定と隅田主膳宛。年頭祝儀差上候處殿様御書御請

三〇〇 黒田播磨御請状

嘉永五年正月

(一三三二)
折紙(包紙入)二通

黒田播磨と野村隼人・立花平左衛門宛。年頭為御祝儀御太刀馬代差上候処御書被成下

三〇一 御請状

嘉永五年

(一三三二四)
切紙(包紙入)二通

黒田播磨と野村隼人宛。御元服為御祝儀御着差上候付御書被成下

三〇二 御請状

安政二年正月二十八日

(一三三二五)
折紙(包紙入)一通

黒田播磨と吉田久太夫宛。年頭為御祝儀御太刀馬代差上候処御書被成下

三〇三 御請案

安政二年十二月十五日

(一三三三三)
切紙 一通

榎橋内膳宛。御一字被下置候ニ付御樽御着差上候處御書被成下

三〇四 溥整様と御下ケニ相成分

安政三年正月朔日

(四〇九)
折紙(包紙入)一通

慶賀(花押)と黒田播磨宛。太刀馬代到来令祝着候

三〇五 (仮題)御請書

万延元年二月九日

(一三三二二)
切紙 二通

黒田播磨と立花采女宛。中将様御席替に付御祝儀指上候処御書被成下

三〇六 中将様御昇進且道具増被蒙仰候付御着さし上候処御書被下候付御請さし越候案文

万延元年十二月

(二六六五)
切紙(包紙入)一通

隆庸様年頭御請書

三〇七 隆庸様年頭御請書

(江戸期)二月十五日

(二九六〇)
切紙(包紙入)一通

黒田美作と郡平馬・立花平左衛門宛

三〇八 (仮題)年頭御書

(一九八五の二)

三奈木黒田家文書 (一、江戸時代史料)

(江戸期)正月朔日

齊溥と黒田播磨宛

折紙(包紙入)一通

三〇九 (仮題)年頭御書

(江戸期)正月朔日

(一九八五の二)
折紙(包紙入)一通

齊溥と黒田三左衛門宛

三一〇 年頭御書

天保三年正月

(一九八五の三)
折紙(包紙入)一通

齊溥と黒田播磨宛

三一 書状

(江戸期)十二月十六日

(一九八五の四)
折紙(包紙入)一通

齊溥と黒田播磨宛。齊溥公御昇進ニ付

三二 (仮題)年頭御書

(江戸期)正月朔日

(一九八五の五)
折紙(包紙入)一通

齊溥と黒田三左衛門宛

三三 書状

(明治初年)正月二日

(四八七二)
折紙(包紙入)一通

長知と黒田播磨宛。年頭進物の礼

三四 書状

(江戸期)正月朔日

(一九八八)
折紙(包紙入)一通

吉田久太夫と黒田播磨宛。年頭祝儀披露

三五 書状

(江戸期)正月朔日

(一九九二)
折紙(包紙入)一通

郡正太夫と黒田三左衛門宛。年頭祝儀披露

三六 呈書案

文化十四年、文政四年

(二六八九)
切紙(包紙入)九通

殿様御機嫌伺、友泉亭御滞座外

三二 近族結構成御礼申上方并御奉書御請案寛

(江戸後期)

(五八七) 小横帳 一冊

三三 御奉書御請御礼控付録

文化十四年

(五八八) 小横帳 一冊

三四 御奉書御請御礼控

(江戸中期)

(五八九) 小横帳 一冊

三五 御書

(江戸期)二月十三日

(二〇六) 切紙(包紙入)二通

榎橋又之進と黒田三左衛門宛。年頭祝儀披露候、付、龍光院二百五十回忌宰判申付(播磨宛)

三六 御請書

(江戸期)二月十一日

(二五四三) 折紙(包紙入)三通

黒田播磨一 整と隅田市左衛門・林太郎右衛門外宛。御昇進に付御請

三七 奉書并御請

(江戸期)

(三八七六) 折紙(包紙入)三通

黒田播磨。登城通知

三八 齊溥公、慶贊公の一 整公江賜候御書

嘉永六年二月

(四二二) 折紙(包紙入)三通

年頭嘉儀に付

三九 (美作)忌中尋之御請類其外代筆之次第相調子候昏面

(江戸期)

(二六四〇) 切紙(包紙入)三通

四〇 来年年頭御請案

(江戸期)正月二十八日

(二四二八) 切紙(包紙入)一通

黒田美作一定と隅田主膳宛

四一 従三原駅被下候御書并請案

天保七年九月晦日

(三八七二) 巻紙(包紙入)二通

三二 御請書

(江戸期)七月二十八日

(三八七二) 切紙 一通

黒田播磨清定と兵庫頭侍者中宛。御請御礼申上

三三 御旅中勢州関駅より被下候御書請案

天保七年十一月十二日

(三八六九の二) 巻紙(包紙入)二通

美濃と播磨宛

三四 従勢州関駅被下候御書御請案

天保七年十一月十三日

(三八六九の二) 切紙(包紙入)二通

黒田播磨

三五 御請差上候、猶被仰付趣浦上方之書状

天保七年十一月

(三八六五) 切紙(包紙入)二通

三六 播磨六十歳年賀二付被下差上等之書付

天保九年四月七日

(三七六一) 切紙(包紙入)二通

三七 御請書

文久四年三月二十二日

(二六六二) 切紙 一通

黒田播磨溥整と黒田山城・浦上信濃宛。御轡拜領被仰付三付御請扣

(2) 直方

三八 甲斐守様・伊勢守様御書 諸候方来ル御書簡

天保七年十一月上旬表装

(六二二) 卷子 一卷

1 書状

(江戸期)正月五日

(六二二の二) 一通

伊勢守長清(花押)と黒田美作宛。無異越年の由、進物の礼と返礼

2 書状

(江戸期)三月十一日

(六二二の三) 一通

伊勢守長清(花押)と黒田美作宛。長崎持参の緑豆粉、味噌漬甘鯛の礼

3 書状

(江戸期) 九月六日

伊勢守と黒田美作宛。直方と持せ候間羽織地送申候

(六二の四)

一通

4 書状

(江戸期) 九月二十一日

伊勢守長清と黒田美作宛。無程阿蘭陀帆影見隠可被龍帰と推察、名酒、時雨味噌等の礼

(六二の五)

一通

三四 書状

(江戸期)

伊勢守長清(花押)と黒田三左衛門宛。病氣見舞

切紙 一通

(四〇三五)

三五 書状

(江戸期) 七月二十八日

黒伊勢守(長清)と黒田美作宛。びいどろの皿送申候

折紙 一通

(二七八三)

(3) 秋 月

三五 甲斐守様御初入御祝儀被仰上候依之来御書

明和九年六月十九日

黒田甲斐守長恵(花押)と黒田源左衛門宛

切紙(包紙入) 一通

(四〇六)

三六 秋月御用初の函

天明六年

三七 (仮題) 家紋覚

(江戸期)

甲斐守長元

切紙 一通

(二四五四の七)

三八 1口上

文化十年二月十日

保科 と美作宛。秋月家老職後目一件に付

切紙 一通

(三六二七の一)

2 保科様奥様江之御請案

文化十年四月九日

黒 美作と。秋月表御家中一統不帰服の件

(三六二七の二)

切紙(包紙入) 一通外

三九 長重公御直書

天保七年十一月上旬仕立

(七二)

卷子(袋入) 一卷

四〇 秋月御分知之記

(江戸期)

(二六七二)

書冊 一冊

四一 書状

(江戸期) 二月十日

黒田甲斐守長元(花押)と黒田播磨・浦上彦兵衛・吉田久太夫宛。齊溥公任蔭

(二七六九)

折紙(包紙入) 一通

四二 1 書状

(江戸期)

黒田甲斐守孝政(花押)と。堀平右衛門万事仕置をも不仕引籠居申候

(六一の二)

折紙(包紙入) 一通

2 書状

(江戸期)

黒 甲斐守(花押)と黒田源左衛門宛。進物の礼

(六一の三)

一通

3 書状

(江戸期)

黒 甲斐守と黒田次郎太夫宛。三左衛門死去に付

(六一の一四)

一通

四三 書状

(江戸期) 二月二十三日

黒田甲斐守長重(花押)と黒田源左衛門宛。貴宅訪問の報知

(二七九六)

折紙 一通

四四 書状

(江戸期) 端月五日

黒 甲斐守(花押)と黒田源左衛門宛。若松犬遣の事、於江戸雅楽頭御役御免

(二七九八)

折紙 一通

の由云々

三四 書状

(江戸期)十二月二日

黒田甲斐守長重(花押)と黒田源左衛門宛。寒中見舞に対する礼

折紙 一通 (二七八九)

三五 書状

(江戸期)正月二十七日

黒 甲斐守長重(花押)と黒田源左衛門宛。年始状の礼

折紙(包紙入)一通 (二七九〇)

三六 書状

(江戸期)八月十九日

黒田甲斐守(花押)と黒田源左衛門宛。進物の礼

切紙 一通 (二七九二)

三七 書状

(江戸期)正月六日

黒 甲斐守(花押)と黒田三左衛門宛。年始状

切紙 一通 (二七九四)

三八 書状

(江戸期)

黒田甲斐守(花押)と黒田源左衛門宛。馳走の礼外

折紙 一通 (二七八五)

三九 書状

(江戸期)閏五月二十七日

甲斐守と三左衛門宛。貴殿様へ相談の件

折紙 一通 (二七八六)

四〇 書状

(江戸期)四月二十二日

黒 甲斐守(花押)と黒田源左衛門宛。類焼見舞外

折紙 一通 (二七八七)

四一 書状

(江戸期)五月十三日

黒 甲斐守(花押)と黒田源左衛門宛。無事到着祝

折紙(包紙入)一通 (四〇三七)

四二 書状

(二二六一の一)

(箱入)巻紙(包紙入)二通

三四 書状

嘉永六年十一月二十七日

黒田播磨守一整と甲斐守宛。草案共に(頂戴物の礼状)

(二二六一の一)

三五 書状

嘉永六年十一月二十七日

播磨吉田右近外二名宛。黒田甲斐守との頂戴物の報告

切紙(箱入)二通 (二二六一)

5 家譜・系図

嘉永六年十一月 秋月と黒田播磨宛。遺物の事

一 黒田家譜

(江戸期)

書冊 一六冊 (一四二三)

二 黒田家譜

(江戸期)

書冊 六冊 (一四二五の一)

三 御家譜書拔

(江戸期)

小横綴 一綴 (一四二五の二)

四 御備付(黒田新統家譜附録)

(江戸期)

書冊 一冊 (一四二五の三)

五 黒田統家譜 一・六

(江戸期)

書冊 二冊 (一四二六の一)

六 統御家譜 六之巻

(江戸期)

書綴 一綴 (一四二六の二)

七 黒田年譜

(江戸期)

書冊 一七冊 (一四二四)

八 黒田年譜

(江戸期)

(一四二七)

享保元年

九 黒田長溥公傳

明治二十三年刊

書冊 一二冊
(二二一)~(三三四)

一〇 黒田御系図

(江戸期)

書冊 四冊
(二四二八)

一一 御系図(黒田)

(江戸期)

書冊 一冊
(二四二九)

一二 寛永系図書拔

(江戸期)

小横帳 一冊
(二四三〇)

宇多源氏黒田

一三 御由緒記

(江戸期)

書冊 一冊
(二四三一の二)

黒田藩主代々御室由緒書外

一四 御代々御由緒之覚

(江戸期)

書冊 二冊
(二四三一の二)

一五 御一族御統書

(江戸期)

書冊 一冊
(二四三二)

一六 覚書

(江戸期)

小横綴 一綴
(二五二〇)

黒田家室由緒

一七 (仮題) 黒田家系譜并由緒

(江戸期)

小横綴 一綴
(二七五四)

一八 (仮題) 黒田藩主代々覚

(江戸期)

一紙 一通
(三三三三)

一九 (仮題) 黒田家藩主覚

(江戸後期)

卷紙 一通
(二四五九)

二〇 御家譜書拔

(江戸期)

長帳 一冊
(一一三三)

江戸初期軍役書拔

二一 二條様御續書

(江戸後期)

長帳 一冊
(一一四二)

治孝公御由緒書

二三 御家譜 壹、貳之卷

(江戸後期)

小横帳 一冊
(一一三〇三)

御年譜より書拔

三四 御家譜 三、四、五之卷

(江戸後期)

小横帳 一冊
(一一三〇二)

御年譜より書拔

三五 御家譜 六、七、八之卷

(江戸後期)

小横帳 一冊
(一一三〇五)

御年譜より書拔

三六 黒田一成公略傳

(江戸期)

四卷
(三六一六)

三七 (仮題) 黒田一成略年譜

(江戸期)

切紙 一通
(三三二〇)

三八 系譜

(明治期)

書冊 一冊
(三三四九)

黒田一義

三九 御家譜書拔

(享保年間)

切紙 一通
(三三八〇の二)

父一利の事

四〇 書拔

(三三八〇の二)

(享保十六年二月十七日)

巻紙 一通

美作、黒田源左衛門

三〇 (仮題) 黒田家年表

宝暦六年十二月編成

一枚

関岡良英

三二 家記書拔

(享和三年)

切紙(包紙入)一通

末家より本家相続之例、外記家記

三三 東慶様御書持伝居候者先祖書

享和二年十二月

切紙(包紙入)一通

三四 覚

(江戸後期)

切紙 一通

黒田惣左衛門系譜

三五 系図(加藤)

(江戸期)

書冊 一冊

三六 加藤家景図

(江戸期)

小横帳 一冊

三七 (仮題) 加藤家系図

(江戸期)

小横帳 一冊

三八 加藤統系図

(江戸期)

書冊 一冊

三九 加藤統家譜 巻の一

(江戸期)

書綴 一綴

四〇 加藤統家譜 一〜六

(江戸期)

書冊 六冊

四一 加藤家譜 一〜九

(四四一〜四四五)

(江戸期)

書冊 五冊

四二 加藤系譜

安永六年

書冊 一冊

加藤一純誌

四三 加藤佐一左衛門系図抜萃

(江戸後期)

切紙 一通

四四 井出勘右衛門正次覚

(江戸期)

切紙 一通

四五 小河氏系図

(江戸初期)

切紙 一通

四六 加藤源左衛門知行高覚

(江戸期)

切紙 一通

四七 加藤五郎右衛門系図

(江戸期)

書冊 一冊

四八 黒田家臣系譜

貞享四年、享保十六年

書冊 三冊

菅、桐山、竹中

四九 黒田家臣系譜

(江戸期)

書冊 一冊

五〇 御系図書継草稿

(江戸期)

書綴 一綴

五一 御家人先祖由来記

(江戸期)

書冊 二冊

五二 伊東家、吉川家略傳

(江戸期)

書冊 一冊

五三 系譜(伊丹)

(四三八)

(江戸期)

書綴 一綴

三 伊丹家系

(江戸期)

書冊 一冊

四 国諡略

文化九年

小横綴 一綴

徳川系図

五年表

明和六年b

長帳 一冊

五 御書附

(江戸期)

切紙(包紙入)二通

明石家系譜

六 荒川氏之系

(江戸期)

書冊 一冊

七 覚

(江戸期)

切紙 一通

津田氏系譜

八 覚

(江戸期)

折紙 一通

日成冬山血脈調子

九 吉田家、前田家、月成家血脈調子書

(江戸期)

切紙(包紙入)二通

一〇 系図書抜

(江戸期)

切紙(包紙入)二通

栗山血統畧系

一一 覚

(江戸期)

小横帳 一冊

公儀正統、公儀夫人その他

三 (仮題)覚

(江戸期)

野紙綴 一綴

源朝臣宇多帝皇子敦實親王血筋諸大名公家書上

四 御年忌考

(江戸期)

書冊 一冊

徳川家・黒田家

五 御代々年号覚

(江戸期)

長帳 一冊

藩主代々、三奈木家代々

六 御当家御正統御追号

(江戸期)

長帳 一冊

七 御追号集 全

(江戸期)

書冊 一冊

徳川家、黒田家家系

八 御一族様御名附

(江戸期)

長綴 一綴

九 使者呈書の儀ニ付当時居り書

(江戸期)

切紙 一通

一〇 御歴代御法号

(江戸期)

切紙 一通

初代空山以下九代聴山まで

一一 一族統之覚

(江戸期)

切紙 三通

一二 一族名元

(江戸期)

切紙 三通

三 入魂面々

(江戸期)

(二七〇の五)
切紙 三通

四 年表

(江戸期)

(五八四)
書冊 二冊合綴

自一任至一春、自一利至一興

五 御卒年御年回年表

(江戸後期)

(二二九二)
書冊 一冊

三奈木黒田家

六 家紋考

(江戸期)

(四二七三)
書冊 一冊

加藤家紋

七 (仮題)三奈木黒田家代々花押

(江戸期)

(四三六九)
切紙 一枚

八 三奈木黒田家系図

(江戸期)

(四八一三)
切紙 一通

九 木下系図

(江戸期)

(一三〇六)
書冊 一冊

〇 年表

(明治以降作成)

(四二三八)
書冊 一冊

6 藩 政

(1) 藩 政

一 御用扣帳

寛文十三年卯月朔日

(二四六四)
長帳 一冊

二 御用扣帳

延宝二年正月朔日

(二四六五)
長帳 一冊

三 御留守御用帳

延宝二年九月二十八日

(二四六六)
長帳 一冊

四 七月分御用

延宝四年七月

(五八六)
(包紙入)七通

1 盗人三八口書

(延宝四年)辰ノ七月八日

(五八六の二)
卷子 一卷

只今年人

2 年恐御断申上事

延宝四年七月十一日

(五八六の二)
一紙 一枚

甘木村美麗作右衛門方山部伝十郎・加藤田孫衛門宛。拜借銀返納一件

3 覚

(延宝四年)

(五八六の三)
一紙 一通

薬蔵塩硝蔵等普請願

4 書状

(延宝四年)七月一七日

(五八六の四)
一紙 一通

中嶋太兵衛方肥塚次郎兵衛宛。中国依山に湯治願

5 覚

(延宝四年)辰七月二十二日

(五八六の五)
一紙 一通

吉田権右衛門方小河専太夫宛。弟逗留許可願

6 口上之覚書

延宝四年七月十一日

(五八六の六)
一紙 二通

きねや九兵衛方長濱四郎右衛門宛。久留米医者一家居住願

五 十月分御用扣帳

延宝五年

(二四六七)
長帳 一冊

六 御家中諸士御館江被召出仰渡覚

元禄二年四月十七日

長綴 一綴

(一八七)

大殿様御隠居、御家督殿様御拝領に付

七 密事記

元禄八年〜宝永三年

書冊 一冊

(四二六四)

八 密事記

宝永四年から享保二十年

書冊 四冊

(二五八五)

九 雑記

宝永五年〜宝暦四年

書冊 四冊

(二五八四)

一〇 或人差出ら書附之写

宝暦三年十二月

書綴 一綴

(二五八九)

政務に対する意見書

一一 覚

(宝暦五年〜寛政十二年)

巻紙 一通

(二六四一)

御内意達方先例書抜

一二 宝暦十三年日記

宝暦十三年五月十七日、六月二十日

切紙 一通

(四〇五九)

家老中御用談の事

一三 掟(写)

宝暦十四年六月

切紙五通・書綴一綴

(二二六)

継高ら。捨子禁止。付、以奉書御成之儀被蒙仰候節一興様御請写(宝暦十年)

一四 (仮題)覚

(宝暦〜文化年間)

小横帳 一冊

(二四九五)

御櫓諸口預之事、船工安武泉伝外

一五 萬覚書

(明和〜天明)

小横綴 一綴

(二六七三)

藩政記録

一六 覚

明和九年九月二日

切紙(包紙)一通

美作書付(延享三年)預り

一七 御触状写

天明三年九月二十五日

巻紙 一通

(二六六〇)

幼君御相続に付

一八 御入部之上御書付を以被仰付候御書付之写

寛政五年四月十六日

切紙(包紙)二通

(二五〇の五)

諸士儉約覚悟筋の儀

一九 覚

寛政七年十一月二十二日

切紙 一通

(二五〇の六)

家老中ら預け置書物預り

二〇 月番之節入用覚

(享和三年頃)

書冊 一冊

(二四八三)

月番之覚、御要害之覚外

二一 月番之節心得

(享和〜文政十年)

書冊(小)一冊

(五五八)

二二 覚

文化四年

小横帳 一冊

(二四八七)

八月十二日より年番相請持ち云々

二三 月番覚書

(文化期)

小横帳 一冊

(二四八五)

二四 月番覚

(江戸期)五月中

小横帳 一冊

(二四八六)

二五 文化五年御元服被仰出候節之御用状九月廿九日立江戸御用状書抜類

(二〇〇七)

文化五年

切紙 二通

云 覚

文化五年五月七日

巻紙 一卷

藩政、存寄之書付

云 御用状写

(文化五年カ)三月五日

切紙(包紙入)二通

家老中より源左衛門宛。長崎御番名代勤の事。御納戸頭の事。付、黒田老岐守

(長房)書状写外

云 月番中覚

文化七年十一月

小横帳 一冊

云 (仮題)御継目御禮日延覚

文化八年九月

切紙 一通

云 御政事之儀ニ付治左衛門殿帰国之節御委鋪仰出ひ趣書取之写 (六三四)

文化八年十二月二十三日

切紙(包紙入)四通

家老中宛

云 三年番并長崎御要害船方御用頭付

文化八年

小横帳 一冊

云 三年番二月中頭付

文化九年

小横綴 一綴

云 三郡々長崎共ニ精細御調子之事覚

文化九年六月

切紙(包紙入)八通

郡方附懸り替之名元、馬幟之者名元、御普請方、人馬渡高無定、松平越中守

様之節百姓江之御達シ、武備書出之事外

云 郡々長崎共ニ御取調子之事覚

文化九年二月

切紙(包紙入)二通

御旗付之人數

云 三年番御用留書

(二四七三)

文化九年六月〜九月

小横帳 一冊

云 郡浦御用頭付

(五一七)

文化九年三月

小横帳 一冊

云 郡方御用

(五二二)

文化九年四月

書冊 一冊

云 郡浦御用頭付

(五一八)

文化九年六月〜七月

小横帳 一冊

云 郡浦御用頭付

(五一六)

文化九年八月〜十月

小横帳 一冊

云 郡浦御用頭付

(五一三)

文化九年十一月〜十二月

小横帳 一冊

云 郡浦御用頭付

(五一五)

文化十年正月〜四月

小横帳 一冊

云 郡浦御用頭付

(五一四)

文化十年五月

小横帳 一冊

云 御定例之内

(二二七)

文化十年七月十五日

長綴 一綴

他国出入の事

云 御政事之儀ニ付申上ひ次第且被仰出ひ趣覚書と書取置き以分

(二〇六二)

文化十一年

切紙(包紙入)二通

云 御政事之儀来秋迄是迄之通御預被遊ひ趣被仰出ひ上御直書ニも御渡被

遊ひ写

(二〇六三)

文化十二年六月

巻紙(包紙入)一通

冥月番請持并武芸見分存寄取起候節之一件已後為見合荒々書取分

(二〇二七)

文化十四年八月、同十五年正月

切紙(包紙入)三通

呈書字配為見合写置御祐筆相調以分

(二二五)

文化十三年三月

切紙一通一括

地旅ニ而見合ニ相成以御請案之類并御用人且御構々御付名元共ニ

1 二条様江之呈書案

(二二五の一)

文化十二年正月

切紙(包紙入)一通

美作乃諸大夫宛。徳君婚禮ニ付目出度、年頭祝儀

2 不快引入等ニ而執筆難相成節且御膳御下其方不時鶴肉類被下候節取

斗方心得之模様内記殿方内々承合候而同方乃来候書付 (二二五の八)

文化十三年三月七日

切紙 一通

3 呈書字配為見合写置御祐筆相調候分

(文化十三年三月)

切紙(包紙入)一通

4 御直書被差越以間右請書御旅中迄差越候書状案追書共ニ (二二五の一)

文化十四年二月

切紙(包紙入)二通

5 覚

(江戸後期)

切紙 一通

大組休之者を以御礼申上候件同一件

6 (仮題)御用勤名前書上

(文政頃)

切紙 一通

慈明院御前様御用懸

7 底并野乃御帰座之節不快ニ而引入居候間呈書之都合久保山文助乃取

調子遣候下書

(文政頃)

切紙(包紙入)一通

8 書状

(二二五の二)

三奈木黒田家文書 (一)、江戸時代史料)

(化政期)

黒田美作乃竹吉太郎宛。寒中見廻の礼

切紙 一通

9 御用勤名順

(二二五の三)

文政二年九月

切紙 一通

10 書状(案)

(二二五の一)

(文政頃)

旧冬此許城下火災之節屋敷類焼に付

冥 御家老様御供御取省覚書

(二二七五)

文政元年九月

長綴(包紙入)一綴

冥 覚

文政元年

切紙(包紙入)二通・長綴一綴

格外簡略ニ取斗ニ付御家老中初重疊ニ評議之上内外取省候心得方之書付

冥 格外御省略三ヶ年程御執行候ニ付云々

(二二七三)

文政元年

長綴(包紙入)一綴

供廻減少

冥 御覚書

(二二六二)

文政元年九月

切紙(包紙入)二通

寸志米差上候節三段ニ差上高取調子候書付ニ候、御家老中江も申合候上百

五拾俵差上候

冥 格外御省略被執行候ニ付御家老中内外心得筋申合之上相極候書付写

(二二七一)

文政元年九月

(包紙入)長綴一綴・巻紙二通

冥 御祈禱一件ニ付而之御書并御用人竹田易吉乃差出候書付類写

(二二八一)

文政二年十一月

小横綴 一綴

冥 撰拳御用留書

(二二五〇)

文政三年四月5

小横帳 一冊

五 撰拳御用留書附録

(二五〇七)

(文政三年)辰八月

小横帳 一冊

六 撰拳之儀ニ付林大寺頭殿に安太夫迄噂有之候趣承候廉々為後勘記置

(二五〇八)

文政三年秋

小横帳 一冊

七 御上御補養筋存寄惣中一同申上之趣意書取

(二七一〇)

文政三年五月八日

長綴一綴・切紙一通・折紙一通

八 (仮題)覚

(二七二二)

文政三年六月〜八月

切紙(包紙入)三通

美作宛。御要害船方共ニ御財用ニ拘候儀選舉御用取調承候様

九 諸事覚 四

(五五二)

(文政三年)同十一年

書冊 一冊

十 諸事覚 五

(五五二)

(文政十二年正月)天保八年

書冊 一冊

十一 撰拳御用留書

(二五〇九)

文政四年

小横綴 一綴

十二 追々之御意書類

(三八〇)

①(江戸期)八月朔日

野村新右衛門・毛利内記・久野外記外二名に黒田美作宛。出殿仰付けの事

②文政四年十月二十八日

美作宛。船方受持中御仕法替之節宰判筋行届候

十三 御家老中供人数相増候ニ付手元為心得被相送候書付

(二五二九)

文政六年十一月

切紙(包紙入)一通

月番諸左衛門宛

十四 (仮題)達

(二二四)

文政七年五月十三日

切紙(包紙入)一通

大目付宛。夏羽織着用以来勝手次第

十五 居形に諸左衛門殿より口達有之候書付写

(二八三一)

文政七年九月四日

切紙(包紙入)一通

十六 結構蒙仰候以後召之節心得方之儀其節月番江及問合答申趣書取

(二七二四)

文政十二年三月十九日

切紙(包紙入)一通

十七 御尋御請留書

(二五七七)

(文政年間)

長帳 四冊

十八 源左衛門に持帰候書付

(四三七六)

天保三年二月

切紙一通・巻紙一通

十九 充書状

(二六五八)

(天保期)

巻紙 一通

御救一件、花房伝左衛門・白水要左衛門江請持被仰付置候処

二十 御門法

(四八三四)

(文化)天保の記事

書冊 一冊

藩政

二十一 覚

(二四九九)

天保五年

書冊 一冊

御礼筋々より奥頭取取斗相改候廉覚書、出仕覚

二十二 林太郎右衛門を以御下被遊候御書

(二八四四)

天保八年七月晦日

切紙(包紙入)一通

先刻の話と相違

二十三 加藤弧雲追々手許江相招居之儀ニ付惣中遂評議候上相決候書取

(二八五四)

天保九年二月六日

切紙 一通

中老加藤内匠・倅半之丞宛

四 江戸火災ニ付書付

(三八四三)

天保九年四月

切紙(包紙入)一通

五 (仮題)公用覚

(四八三三)

(天保九年)明治五年)

書綴 一綴

黒田一葦

六 御用廉書

(二四九三)

天保九年

長綴 一綴

七 書状

(二五一一)

(天保期)

切紙(箱入)五通

備前守黒田播磨外宛。此の度御救一条に付竹中時枝一件評議之趣、白水

養禎存寄書差出候一件外

八 (仮題)覚

(二五〇〇)

天保九年五月

小横帳 一冊

着府以降の事

九 覚

(二五一一)

天保十年(九)

小横綴 一綴

隣国之御方々御領内御通路御取扱、御飛札来節当番所ニ而之心得方、天保

四年日記外

一〇 (仮題)覚

(二七〇六)

(天保十三)嘉永四年)

小横帳 一冊

長崎御番外藩政

一一 御書写

(二四一八)

嘉永元年

巻紙(包紙入)一通

政道に関して(右筆所之風儀何となく相ゆるみ云々)

一二 申合之一帳

(二二〇〇)

三奈木黒田家文書 (一、江戸時代史料)

嘉永五年九月

書冊 一冊

此節御家中御救風俗改候様御触達ニ付同席中心得一致いたし候覚

一三 書状

(二七九〇)

嘉永六年

切紙 一通

侍従様御初入云々

一四 伊丹九郎左衛門出府ニ付同人江相渡書取

(二四〇六)

(嘉永六年)六月九日

巻紙(包紙入)一通

黒田播磨・櫛橋又之進・浦上数馬外。少将様御滞府之御内意ニ付御下国

御進メ申上之存寄書之写

一五 伊丹九郎左衛門出府ニ付同人江相渡候書取写

(二四二〇)

(江戸期)六月十七日

切紙(包紙入)一通

少将様への下国催促

一六 伊丹九郎左衛門出府ニ付同人江相渡候書付

(二四二二)

嘉永六年六月

巻紙(包紙入)一通

伊主神嶋御台場之儀ニ付風説并怡土郡御預之一件

一七 秘記

(二六五〇)

安政元(五年)

小横綴 一綴

定格改正

一八 書状

(三三八)

安政三年六月

長綴 一綴

黒田播磨・立花弾正。藩政改革に付

一九 書状

(二八〇八)

安政三年五月二十三日

切紙 一通

弾正殿登坂に付御意書下書、留守中の心得

二〇 言上聞方控

(八六二)

安政五年五月・万延元年

長帳 一冊

三九

家臣よりの願

三 少将様方御書

(三一九)

万延元年十二月七日

切紙(包紙入)二通

播州姫路駅方御書被為下、侍従様下国一件、石炭売捌一件(立花弾正・黒田播磨方)

三 岡村文右衛門へ含書之写

(二四六三)

文久三年七月

切紙 三通

国政、社会情勢に付、御老中江御直封書写(長崎奉行江演舌之大意)

三 月番之節入用

(八八)

(江戸後期)

長帳 一冊

三 大事の覚書

(二五一)

1年恐申上條々

(江戸期)六月

切紙(箱入)一通

黒田美作・黒田主膳外四名方。殿様への言上

2 覚

(江戸期)十一月二十三日

切紙(箱入)一通

黒田美作方

三 青山近辺火災之節御手当之儀口々被申談候書付控

(二三九)

(江戸期)

小横帳 一冊

三 御行逢之節下座被仰付候御方々

(二二三)

(江戸期)

小横帳 一冊

六 覚

(江戸後期)

切紙 一通

礼儀賞罰他国懸り合受持、御軍事文武受持、御財用本郡町浦受持書上

六 町役所ヨリ對馬蔵屋敷所へ之返答案扣

(三〇〇)

(江戸期)五月二十四日

切紙 三通

對馬蔵屋敷役所方福岡町役所宛。故黒田播磨儀長崎罷越候節浜崎止宿方之儀面談の件

一〇〇 書状

(三〇一)

(江戸期)十月十一日

巻紙 一通

(對馬領)原信五兵衛方加藤十五郎様外宛。魚屋弥六、福田屋与平金子不返済に付

一〇一 書状

(三〇二)

(江戸期)

切紙 一通

福田屋与平金子返納相滞候一件

一〇二 書状

(三〇三)

(江戸期)十月十三日

切紙 一通

加藤十五郎外原信五兵衛宛。取替金差引筋差纏の儀承知

一〇三 書状

(二八二)

文久三年十一月

切紙(包紙入)三通

(大久保 豊後守方播磨宛。公武合体御国是御一定之御場合ニ致度、怡土郡の儀。付、書状(文久三年 九月十三日)黒田播磨方大豊後守宛。大御目付長崎奉行兼帯、怡土郡一件、長崎表の件

一〇四 加賀様江致伺公候覚書

(二六五)

(江戸期)

切紙(包紙入)一通

左京様御目見江之事

一〇五 一貫公御書

(七一)

(江戸期)子五月十二日

巻紙(袋入)一卷

黒田三左衛門方黒田清左衛門宛。殿様公儀禁制の鹿猟被成候風説一件

一〇六 城代頭左之通相伺大目付申合之上及指図

(二四五四の三)

(江戸期)寅十一月

長綴 一綴

御門出入之規定

一七 頭付

(江戸期) 長綴 一冊 (五八五)

源右衛門繼目御礼之事外

一八 書状

卷子 一卷 (七三)

1 書状

(江戸期)七月八日 一通 (七三の一)

依美作被申候ハ明日絶句御持セ被成御遣候

2 書状

(江戸期)極月二十一日 一通 (七三の二)

衣 因幡守ヲ黒作州宛。約束事ほそ口可被下候

3 書状

(江戸期)六月八日 一通 (七三の三)

宮崎織部ヲ黒美作守宛。面談日の変更

4 書状

(江戸期)七月二十八日 一通 (七三の四)

末次宗徳ヲ作州宛。船長崎へ入津の報知

5 書状

(江戸期)七月十九日 一通 (七三の五)

黒 半左衛門ヲ黒 作州宛。大膳江御参会之節可然様ニ御物語被成候

6 書状

(江戸期)七月五日 一通 (七三の六)

小林頼母ヲ作州宛。尊書拝見、判形仕進上申候

7 書状

(江戸期)七月十九日 一通 (七三の七)

黒 三左宛。作州様御前之儀驚入早々見舞可申上候へ共相煩候ニ付

三奈木黒田家文書 (一、江戸時代史料)

8 書状

(江戸期)三月十二日 一通 (七三の八)

加藤十兵衛方字弥八・宗見老宛。甚四郎様御遠行之由

一九 覚

(江戸期) 切紙(包紙入)二通 (三七八)

播磨於長崎阿蘭陀船帆影見隠候付帰着直ニ出殿

二〇 覚

(江戸期)九月二十九日 長綴 一綴 (二七〇四)

毛利方右衛門友直ヲ三左衛門宛。公儀御改革之御趣意を以御政事御改正被

成候付

二一 若殿様御初入ニ付心得之廉書拔

(江戸後期) 切紙(包紙入)三通 (三七七)

二二 若殿様御初入ニ付手前入用之廉々斗書拔置

(江戸期) 切紙(包紙入)三通 (三七四、三七六)

御着城翌日御目見之御次第

二三 敬口上書

(江戸期) 切紙(包紙入)一通 (三二二)

二四 下座郡三奈木村江在住之儀月番江申出ヒ控

(江戸期)五月 切紙 一通 (一八五九)

黒田播磨方

二五 (仮題)覚

(江戸期) 切紙 五通 (二五六三)

下国の延期並侍従様御補佐筋等之儀被仰付

二六 書状

(江戸期) 切紙 一通 (二七七二)

銀紛失の事

二七 書状 (江戸期)二月二十六日 切紙 一通 (二七〇三)

林織部。黒田播磨と黒田山城・浦上信濃宛。御用部屋人繰之儀

二八 書状 (江戸期)七月六日 折紙 一通 (二六三三)

林丹後・毛利内記・櫛橋内膳と黒田大和宛。出殿の事

二九 書状 (江戸期) 折紙 三通 (二六三四)

櫛橋内膳と黒田大和宛。出殿の事

三〇 書状 (江戸期)二月二十日 折紙 一通 (二六三五)

黒田播磨・吉田求馬外と黒田三左衛門宛。出殿の事

三一 書状 (江戸期) 折紙 一通 (二六三二)

林丹後・毛利内記・櫛橋内膳と黒田大和宛。出殿の事

三二 書状 (江戸期)十二月十四日 折紙 一通 (二五四二)

櫛橋内膳と黒田播磨宛。出殿の事

三三 奉書 (江戸期)四月十五日 折紙 一通 (二五四一)

櫛橋又之進外三名と黒田播磨宛。御用有之出殿の事并承諾

三四 書状 (江戸期)九月二十日 切紙 一通 (二五三七)

河村五左衛門外一名と森嶋八郎左衛門外一名宛。川嶋次兵衛御代官米積荷
流失報告

三五 書状

(江戸期)四月二十四日 卷紙(包紙)一通 (二四五〇)

吉田主馬と大和宛。播磨退身之儀

三六 (仮題)覚 (江戸後期) 卷紙 一通 (二三九〇)

防備に付人配の事、御政事筋諸役の事

三七 覚 (江戸期) 小横帳 一冊 (七六)

四時順行の略記

三六 覚 (江戸中期) 小横帳 一冊 (七五)

御所務給知方覚、金銀、知行割算法、村高外

三九 御滞府中御成長之御模様且追々御古形ニ移候都合并手勘七より治左衛
門殿江書通之写 (江戸期)九月二十四日 切紙 三通 (二〇三〇)

井手勘七と榎玄蕃宛。大奥向之儀疑惑外

三〇 郡方覚 (江戸期) 小横帳 一冊 (五一九)

(江戸期)

三三 京都詰方中外席之覚 (江戸後期) 長帳 一冊 (二二四五)

黒田美作宛。御番所相渡候作法之事、長崎御番之事外

三三 覚 (江戸期)七月七日 切紙 一通 (二七九三)

三三 御覽場所

(江戸期) 卷紙 一通 (二六九六)

御出馬、御帰城に際し

一四 書状 (二六七七)

(江戸後期) 六月二十八日 切紙 一通

高木右仲より御用番宛。供立覚、儉約御執行之義、公辺へ御届文案(備前守勝手不如意)

一五 大納言様尊慮之趣江戸ニ準外記方達ニ相成候書付写 (二六四三)

(江戸期) 正月晦日 切紙 一通

御用人・裏判役・御用聞宛。御欠略執行之件

一六 従公儀拝領被仰付候節吉田弾番方名代被相勤候付為挨拶樽代肴料等相送候条書状添 (二四一九)

(江戸中期) 一紙(包紙入)一通

黒田播磨方吉田弾番宛

一七 書状 (二三九二)

(江戸後期) 切紙 一通

帆足弥次兵衛方長門宛。小倉への御返書差出の件

一八 記録書拔 (二七六三)

(江戸期) 切紙(包紙入)二通

長崎耕地・同町割・近国諸中改、御在京名元

一九 印鑑 (三六二三)

(江戸期) (包紙入)五枚

福岡藩印

二〇 (仮題)覚 (二〇四二)

(江戸期) 切紙 一通

漂流御定書此節書改被仰付候趣左之面々江被達書下書

二一 是迄月番より達御聴候廉々 (二〇三二)

(江戸期) 長綴 一綴

長崎御番外家臣よりの願の節

三奈木黒田家文書 (一)、江戸時代史料)

二二 書状 (二〇二二)

(江戸期) 八月二十九日 切紙 一通

五郎右衛門方小弁次宛。山城方御家老との面談御断に付

二三 手紙 (二八〇四)

(江戸期) 八月二十八日 切紙 一通

日記二付込

二四 (仮題)覚 (二七〇五)

(江戸期) 小横帳 一冊

黒田家々譜、軍備関係、筑前十九神外

二五 書調物其外挨拶筋等相頼候面々名元 (二六三八)

(江戸中)後期) 切紙 一通

二六 御補佐之次第 (二五五二)

(江戸後期) 小横帳 一冊

二七 不審兼々記候追而遂詮議候上月番覚書ニ直候頭付 (二五七九)

(江戸後期) 小横綴 一綴

二八 覚 (二五二三)

(江戸中)後期) 小横綴 一綴

家老中御代参相勤ひ覚、長崎手当一件外

二九 覚 (四〇一四)

(江戸期) 長綴(包紙入)一綴

龍光院等の御遠回の事、長崎御番の事外

三〇 書状 (四〇三三)

天保九年六月十四日 (包紙入)巻紙一通・切紙一通

黒田播磨清定方新右衛門外宛。御欠略之儀、本人柄の儀

三一 (仮題)覚 (四〇四七)

(江戸期) 巻紙 一通

着當日出殿出構其他の模様覚

一五 (仮題) 役所覚

(江戸期)

切紙 二通 (四〇五六)

甲斐守様御名代家老御礼、寺社御礼等書留

一五 (仮題) 藩政に関する覚

(江戸期)

巻紙 一通 (四三八五)

年貢の事、海防の事外

一五 (仮題) 覚

(江戸後期)

切紙 一通 (四三九五)

此の節存寄の次第云々

一五 覚

(江戸期)

切紙 一通 (四四四三)

殿様十三歳ニ付今年より表御住居被為成候処云々

一五 覚

(江戸期)

切紙 一通 (四四四六)

権左衛門・伊織江戸へ出立の件

一五 (仮題) 御代参日取覚

(江戸期)

切紙 一通 (四四四七)

宮寺

一五 (仮題) 覚

(江戸期)

切紙 六枚 (四四五九)

藩政関係

一五 書状

(江戸期)

巻紙 一通 (三九九一)

小倉へ差越候皆田甚五郎咄の事

一六 書状 (虫損)

(三八一五)

(江戸期)

一六 (仮題) 覚

諸役場改正の事

切紙 一通

(江戸期)

一六 (仮題) 覚

弓頭・側筒頭・目付宛。大儉之趣向の義

切紙 一通 (三七八五)

(江戸期)

一六 (仮題) 覚

浅間登・三宅金右衛門出立の事

切紙 一通 (四四五一)

一六 立花増態内存書写

(江戸期)五月二十八日
立花源正方。藩財政に関する意見書

巻紙 一通 (二五八二)

一六 (仮題) 儉約人愛制法等御仕法意見書

(江戸後期)

書冊 一冊 (二六〇〇)

一六 存寄書下書

(江戸後期)

書冊 一冊 (二六六一)

近年御改正取締に付

一六 書状

(江戸期)

切紙 一通 (三四五)

御直書ニ而御書入被遊、受持筋ニ付委細存念之趣申出云々

一六 覚

(江戸後期)四月

切紙 一通 (二六六四)

御国家御為筋申出方の儀

一六 覚

(江戸期)

巻紙 一通 (三七四九)

財政に関する意見書、特に金山製煉傳習之儀

一六 書状 (前欠)

(二〇一七)

(江戸期)五月
源正。御国財政に関して

切紙 一通

一七〇 演説覚

(江戸期)七月
求馬ら。御政事御財用等に付

(二八〇九)
切紙 一通

一七〇 御直書

(明治初年)
誠忠相励候

(四八三六)
切紙 一通

一七二 (仮題)覚

(明治初年)
会計局主宰宛。諸藩ら之御使者接待に付

(三八一〇)
巻紙 一通

一七三 関東奥羽御出兵京都大坂御守衛御人数其外

明治元年

(二七七六)
長綴 一綴

一七三 奥羽戦争書

(明治元年)

(四四一〇)
書冊 一冊

(2) 役職・勤向

一七四 存寄書付

延享三年六月
当職役一件

(二五〇の二)
巻紙(包紙入)一通

一七五 覚書

宝暦十二年〜明和元年
諸役人中江被仰渡書抜

(二四九六)
小横綴 一綴

一七六 家老中連判誓紙前書写

明和二年三月朔日
家老中勤方心得之儀。付、御自筆御添書ノ写

(二五〇の三)
切紙 二通

一七七 家老中連判誓紙前書写

安永二年三月二十六日

(二五〇の四)
折紙(包紙入)一通

一七七 御代官所江若悪党者有之御人数之儀申来い節御手当相極い事

天明九年二月

(二六四七)
切紙 一通

一七九 (仮題)大目付心得

寛政二年八月十日

(二四五四の四)
長綴 一通

一八〇 覚

寛政二年十二月二十四日
神吉清蔵・藤太宛、筒役家業被仰付

(二六六一)
切紙 一通

一八一 御筆

(江戸期)

(八六の二)
切紙(包紙入)一通

紀伊頼宣卿より下江被仰出、勤方心得

一八二 (仮題)申置条々

(江戸期)九月二十一日

(八六の二)
折紙(包紙入)一通

齐溥(花押)ら黒田播磨・家老中宛。政務取計方に付

一八三 家老中連判誓紙前書案文

寛政六年五月二十九日

(八六の三)
切紙(包紙入)一通

一八四 (仮題)覚

享和元年九月
一定。下知状覚書ノ件

(四八三五)
切紙 一通

一八五 文化二年御用状書抜

文化二年正月二十日
吉田久太夫・御用人中ら吉田六郎太夫宛。御目付衆其元江御下向之等ニ付勤

(二七)
巻紙(袋入)一通

向の件

一八六 御前年来之被賞勤勞御馬拜領其上別格ニ付日々之出仕御免被仰出いニ

付以来心得筋之書付外

文化四年八月二日

切紙 六通

(二五三)

一七 当所無之一季年番蒙仰御意書

文化八年九月二十八日

切紙(包紙入)一通

(二〇二)

美作宛

一八 職分可被仰御沙汰有之節取調子先例書拔

文化八年

切紙(包紙入)二通

(三六二五)

一九 御免用方并御郡奉行支配中名元帳

文化九年

切紙(包紙入)一通

(二六六七)

二〇 最前兩人廻郡日記御用部屋江留ひ二付

文化九年

切紙(包紙入)一通

(二〇二四)

前書相仕立得共趣意相違之所も有之の間手前見込書取差遣書面之通相極
其節之下書、美作外記郡浦請持の事

二一 郡方浦方請持被仰付御意書写

文化九年三月二十八日

切紙(包紙入)一通

(二〇〇九)

美作宛

二二 御財用方年番今一季直ニ請持様御委鋪蒙仰御意書

文化九年八月朔日

切紙(包紙入)一通

(二〇一〇)

美作宛

二三 兼而郡浦御用御断之儀申上置未追々宜居合ひ二付是迄之通請持勤上

以様御委鋪蒙御意以

文化十年五月二十一日

切紙(包紙入)三通

(二〇一六)

外記方六左衛門宛

二四 吉田家江職分不被仰付御規定之末此節竹田易吉、月形七助、嶋村字八

江掛以演説控

文化十年六月

切紙 一通

(二〇五七)

二五 六郎太夫江職分被仰付以節月番箱二入以書付之趣云々

文化十年八月八日

切紙(包紙入)五通

(二〇六四)

二六 美作方大目付初年番之向江の達

文化十四年四月九日

切紙 一通

(四二九三)

二七 (仮題)大目付役付覚

文化、文政元年

長綴 一綴

(二五七六の二)

二八 (仮題)役付覚

文政、天保年間

長綴 一綴

(二五七六の二)

二九 月番心得書

(江戸期)丑正月写

小横綴 一綴

(二五四九の二)

三〇 月番心得頭附

文化十四年

小横綴 一綴

(二五四九の二)

三一 本ノ御用六月朔日外記殿帰着迄助相勤以覚書

文政元年

小横綴 一綴

(二五〇三)

三二 又之進殿出府後月番差問ニ依之重疊評議之上相決以廉書

文政二年霜月

巻紙 一通

(二〇二六)

三三 旅行之節主人家頼共ニ服躰之儀

文政二年八月

小横綴 一綴

(二四九四)

三四 御番所巡見之節中老番頭名元

文政二年

切紙 一通

(四三二一)

三五 御要害船方御財用も林五左衛門方江受持被仰付以云々

文政三年

切紙(包紙入)三通

(二五八七)

三六 撰挙名付

(文政三年)辰年分、巳年分

二包

(三六一〇)

役々見込名付

三七 覚

(一四九七)

文政四年 書冊 一冊

御要害船方并役付に關して

三〇 誓司ニ不及役々并役成加役等被仰付ハ節不及調子役号附 (六一九の三)

文政四年 (包紙ハ長綴一綴・切紙一通)

三〇九 覚 (六一九の六)

(江戸期) 切紙 一通

美作儀御在国御礼御使者として被差越ハ付乘輿御免之儀

三〇 名付 (六一九の七)

(江戸期) 切紙(包紙ハ)一通

隅田主膳外

三二 六郎太夫殿願通被仰付ハ節剪紙等出候手續之書取 (六一九の八)

(江戸中期) 切紙 一通

三三 覚 (六一九の一〇)

(江戸期) 切紙 一通

御用人黒田三左衛門宛。職分受持筋兼帶

三三 遊歩等之儀ニ付、心得筋 (二五一九)

文政五年閏正月十二日 切紙(包紙ハ)一通

外記ハ

三四 覚 (二六九三)

(文政七)文政十年十二月 切紙 一通

諸左衛門月番勤覚外

三五 手控 (二二七)

文政七年二月二十六日 切紙(包紙ハ)一通

美作宛。退身之存念ニ有之段伺書諸左衛門迄九郎太郎を以指出置

三六 御請案 (二二五)

文政七年十月二十五日 切紙(紙包ハ)一通

三奈木黒田家文書 (一、江戸時代史料)

三七 達書写

林五左衛門・久野外記・黒田美作ハ。窺置ハ廉々御下知被仰付

(二〇五五)

文政七年二月六日 切紙(包紙ハ)一通

御直被仰付ハ諸左衛門江学問武芸御引立引切受持之趣

三八 1 重き蒙御意ハ趣之書取 (二五四の一)

文政九年九月四日 切紙(包紙ハ)一通

退身之存念有之に付

2 内匠殿江元八郎相統養子ニ相願則願之通被仰付ハ御意書 (二五四の二)

文政八年九月七日 切紙(包紙ハ)一通

播磨宛

3 加藤忠左衛門初留守中ハ差出ハ書付 (二五四の三)

文政十二年二月四日 切紙(包紙ハ)一通

退身留意の事。付、答振演説の之覚

4 阿蘭陀船帆影為見隠例之通長崎江被差越ハ趣蒙仰ハ御意書 (二五四の八)

文政八年八月朔日 切紙(包紙ハ)一通

播磨宛

5 阿蘭陀船帆影為見隠長崎表江被差越ハ旨召之節御直ニ被仰付ハ御意書 (二五四の九)

文政八年七月二十八日 切紙(包紙ハ)一通

播磨宛

6 兼而相願置ハ改名願之通被仰付ハ段云々 (二五四の一〇)

文政八年三月二十八日 切紙(包紙ハ)一通

美作宛

三九 最前之通蒙仰ハ以後之儀相記 (二四九八)

文政八年三月二十八日 切紙(包紙ハ)一通

美作宛

三九 最前之通蒙仰ハ以後之儀相記 (二四九八)

天保三年九月〜同五年四月

小横綴 一綴

役職等に付

三〇 近年追々結構蒙仰い御意書類

(六二二)

(江戸期)

切紙(包紙入)七通

1 御直之御意書

(六二二の二)

天保三年八月朔日

切紙(包紙入)一通

播磨宛。平動増差上置い未以思召当秋方を御返被下い趣被仰付い

2 日々出仕被仰付御□料之御道具拜領被仰付い御意書

(六二二の二)

天保五年四月四日

折紙(包紙入)一通

3 於席居形長右衛門殿を被相達い書付

(六二二の三)

天保五年四月十日

切紙(包紙入)一通

播磨宛

4 侍従様御参府中日々出方被仰付置い得共以後迎も先ツ只今之通出方

(六二二の四)

可仕旨蒙仰い御意書

天保四年五月八日

切紙(包紙入)一通

5 学問武芸引立請持被仰付い御意書

(六二二の五)

天保六年四月二十二日

切紙(包紙入)二通

播磨宛。付、拜領金の覚

6 御要害并船方御用請持市右衛門殿江も同様被仰付い御意書

(六二二の六)

天保六年五月十三日

切紙(包紙入)一通

播磨宛

7 御家老中申渡御用且長崎御用源左衛門江も受持被仰付いニ付申談い

(六二二の七)

様との長右衛門殿を口達書

天保五年四月四日

切紙(包紙入)一通

播磨宛

三一 御書

天保八年

切紙 一通

美のを播磨宛。長右衛門殿江本を当時助被仰付

三二 為交代五左衛門殿詰方被仰付候御下知之御書

(二二六一)

天保八年正月二十四日

切紙(包紙入)二通

黒田播磨清定。五左衛門出府に付財用繰一人被仰付度。付、美濃守と黒田

播磨宛書状

三三 斎藤藏人志番々矢野六太夫と振替之儀相尋い節内分取調子見書付

(二二二五)

天保八年

切紙 二通

淡路被仰付書写并播磨江之口達写

三四 淡路被仰付書写并播磨江之口達写

(六一九の五)

天保八年

切紙(包紙入)二通

職分御免

三五 淡路退役願書下付

(五五四)

天保八年五月二十四日

切紙(包紙入)三通

外二外記殿隱居願書案(文政九年)、六左衛門殿を伊織相統不相立二男猶吉

相統之願書案(文化九年)

三六 極秘御書付之内を書抜い名元を今程在病隱居并死失等取分い書付

(五九)

天保九年四月

切紙(包紙入)三通

三七 口上

(三六八)

天保十年

切紙(包紙入)二通

美作。多病に付退身願。付、天保十年正太夫殿を対窓中江

三八 正太夫殿御財用本を御断之存寄書云々

(二八三九)

天保十年七月

巻紙(包紙入)一通

三九 御請控

(二八四七)

天保八年四月十七日

切紙(包紙)一通

黒田播磨清定。長右衛門儀本、當時助被仰付

三〇 出府被仰付の御直之御意書

(三〇)

天保九年三月

切紙(包紙)一通

播磨宛

三一 極秘御書付之内、書抜の名元

(五七)

天保九年四月二十四日

切紙(包紙)一通

矢野安大夫、澤木七郎大夫外十五名

三二 極秘名付

(五八)

天保九年四月

切紙(包紙)一通

矢野幽石、澤木倚竿外

三三 毛利浦上一件御書相違拜受

(一八三八)

天保九年十一月二十七日

切紙(包紙)一通

長右衛門・彦兵衛退役云々

三四 於長崎頂戴被仰付の御書

(二八九)

天保十年九月二十日

折紙(包紙)一通

齊薄(花押)と黒田播磨宛。此度出府の付留守中宰判等頼の事

三五 里披二付心得矢野弥十郎江相尋の書付

(二一五)

天保十二年十二月八日

切紙(包紙)一通

三六 数馬殿退身願被指留之手続書

(二五八〇)

安政二年十一月

切紙(包紙)一通

三七 目付中江申聞条々

(二六五〇)

安政三年

切紙(包紙)一通

三六 被仰渡書写

(二〇七)

文久三年五月

切紙(包紙)五通

溥整の播磨宛。台場宮築海防一件宰判の事、病氣二付退進願の件外

三奈木黒田家文書 (一)、江戸時代史料)

三六 退身願差出之一件之書類

(二六三七)

文久三年五月

切紙 一通

付、慶応元年六月廿六日退身願写外

三〇 退身願御内慮伺指出の未御意振大意

(二六四九)

元治元年七月二十日

切紙 一通

三一 山崎彦兵衛を以退身御内慮伺之書面控

(二五七八)

元治元年七月二十日

切紙 一通

三二 辞令

(四八一)

明治元年二月二十八日

切紙 一通

暁心再職被仰付

三三 上書

(二八一)

明治二年(カ)

切紙 二通

黒田一美。一、役目辞退(版籍御返上御建言に付)二、大参事任命書

三四 (仮題) 召抱任用状

(二一五)

明治三年庚午十二月

切紙 一通

福岡藩庁

三五 (仮題) 召抱任用状

(二一八)

明治三年庚午十二月

切紙 一通

福岡藩庁

三六 (仮題) 召抱任用状

(二一七)

明治三年庚午十二月

切紙 一通

福岡藩庁

三七 覚

(三七四〇)

明治三年十二月

切紙 一通

福岡藩庁。医術家業之者任用通知

三〇 覚

(三三三九)

四九

明治四年五月

切紙 一通

福岡藩庁。江藤林庵任用通知

二〇 御意書

(二九八九)

(江戸期)

切紙(包紙入)一通

黒田源左衛門宛。思召を以職分被仰付云々

二一 一整公江被仰渡書

(八三三)

(江戸期)

巻紙(包紙入)四通

財用方本外役職并賞状

二二 (仮題)役目御披露書付

(二七五)

(江戸期) 二月

長綴 二綴

家老被仰付

二三 甚吉書次之儀ニ付老共賞書

(六一三)

(江戸期) 二月十六日

(包紙入)長綴二綴、一紙二通

二四 誓紙

(五二五)

(江戸期)

書冊 一冊

檜崎九兵衛外。御前向ハ勿論御側廻り之儀他言到問敷事外

二五 書状

(二八二六)

(江戸後期) 三月

巻紙 一通

退身願

二六 年番相受持ハ一件

(二〇一三)

(寛文・安永期)

切紙(包紙入)三通

御要書請持ハ次第書付類

二七 今度嶋々江被遣御番衆勤之儀伺申上ル事

(二七五八)

(江戸期) 五月六日

一紙 一通

大野忠右衛門・山本八郎左衛門外

二八 他役兼帯仰付ハ例書入用ニ付書拔

(二四二四)

(江戸期)

切紙 一通

享保十四年櫛橋又之進、安永元年富永甚左衛門の例

二九 書付

(四三九七)

(江戸期)

切紙 一通

休之面々召不被仰付ハ

三〇 正月引日

(四八九九)

(江戸期)

切紙 一通

三一 月番相勤ハ節心得頭付

(四五二三)

(江戸期) 丑八月

小横帳 一冊

三二 口上覚

(三六三)

(江戸期) 二月

切紙(包紙入)一通

美作外。拙者近年多病に付退身願

三三 年番受持被仰付ハ御内意有之ハ節月番治左衛門殿迄御断申上ハ演説手

覚書控

(二〇一四)

(江戸期) 九月

切紙(包紙入)二通

三四 書状

(三六四)

(江戸期)

切紙 一通

拙者近年多病に付退身願

三五 書状

(三六五)

(江戸期)

切紙 一通

拙者近年多病に付退身願

三六 口上

(三六六)

(江戸期) 二月

切紙(包紙入)一通

拙者近年多病に付退身願

三七 退身存念之儀ニ付留守居共より申出ハ書付

(二四〇八)

(江戸期) 七月・十二月

巻紙(包紙入)二通

二六 書狀 加藤儀右衛門 (江戶期) 切紙 二通 (三六一)

拙者近年多病ニ相成ニ付退身願 (江戶期) 二月 切紙(包紙入)一通 (三六一)

美作。病身に付退身願 (江戶期) 二月 切紙(包紙入)一通 (三四六)

二六 書狀 小川主計と黒田播磨宛。職分被仰付以段 (江戶期) 十月十五日 切紙(包紙入)一通 (六七九)

二七 覺書中書 隱居願 (江戶期) 三月 卷紙 一通 (二四六)

二七 (仮題) 覺 李と四郡大庄屋中宛。郡浦御請持家老廻郡に付心得書 (江戶後期) 十一月 切紙(包紙入)一通 (二四四)

二七 家老中江之御直書写 (江戶期) 三月十六日 御口達写(申出之通)は不被仰付旨申聞之 切紙(包紙入)一通 (三三三)

二七 (仮題) 扶持高覺 (江戶期) 御代官高木作右衛門外 切紙 一通 (二三四)

二四 奉願口上覺 (江戶期) 十二月二日 矢野六太夫と美作宛。退身願 切紙 一通 (二二四)

二五 市十郎覺書 (三奈木黒田家文書 (一)、江戶時代史料)

二六 (仮題) 覺 (江戶期) 五月晦日 市十郎退役之儀 一紙(包紙入)一通 (四八三)

二七 書狀 播磨宛。財用方本々・郡町浦用向被仰付 (江戶期) 切紙 一通 (四〇五)

二七 書狀 (江戸初期) 五月二十日 立花勘左衛門と黒田三左衛門宛。伊藤三左衛門方御城代頭被仰付以件并屋敷の事 折紙 一通 (四五九)

二七 書狀 (江戸期) 十二月二十二日 矢野安太夫と美作宛。職分辞退 切紙 一通 (四六〇)

二七 覺 (江戸期) 十二月二十二日 矢野安太夫。私儀職分の儀辞退いたし度 卷紙 一通 (二六九)

二八 (仮題) 退身伺書執成願 (江戶期) 卷紙 一通 (二六二)

二九 御家譜之内に見る元和大坂御陣之節御備立之内ニ見ル御使者名元外 (江戶期) 長綴 一綴 (二八八)

三〇 齊隆公御筆 (江戶期) 美作宛。職分之義様々風説有之に付、賞罰取行申度及相談い(写) 折紙(紙包入)一通 (二七九)

三一 覺 (江戸期) 九月 諸士動向に関する条々 切紙 一通 (二七九)

二四 奉願口上覚

(江戸後期)四月

一紙(包紙入)一通

黒田一美久野一栄宛。当年四十二才、病身に付拜祿差上退身奉願也

二五 (仮題)退身願

(江戸期)

切紙(包紙入)一通

諸左衛門江九郎太郎ヲ以指出

二六 覚

(江戸期)

切紙 一通

東馬様江先日同役中被為召節の事

二七 御在国御礼御使者被差出付御勤

(江戸期)

長綴 一綴

二八 (仮題)覚

(江戸期)

切紙 一通

殿様御帰国為御礼美作口上の件

二九 覚

(江戸期)

巻紙(包紙入)一通

御在国御礼献上等書付覚

三〇 覚

(江戸期)

巻紙 一通

退役後の願出の取扱の件

三一 口上覚

(江戸期)

切紙 一通

退身願

三二 (仮題)覚

(江戸後期)

切紙 一通

役筋達書

二五 書状

(江戸期)八月晦日

切紙 二通

山城藩播磨宛。職務に関して

二四 書状

(江戸期)八月晦日

切紙(包紙入)二通

勤務関係

二五 (仮題)覚

(江戸期)

切紙 一通

山城・信濃宛。二条様方被仰遣い趣も有之、御為宜出精相勤可申也

二六 覚

(江戸期)

切紙(包紙入)一通

吉左衛門方付人相決也上人江十月及引合也趣意書取

二七 (仮題)軍役条々

(江戸期)

一紙 一通

二八 (仮題)奉行人名等覚

(江戸期)

切紙 二通

二九 (仮題)直礼御勘定所頭取その他役人名元

(江戸期)

巻紙 一通

三〇 覚

(寛政)天保

長帳(小) 一冊

勤方之儀

三一 書状

(江戸期)

切紙(包紙入)四通

退身執成願

三二 (仮題)役人名元

(江戸期)

切紙 四通

簡頭名元、奉行人名外

三〇三 覚

(江戸期)十月

切紙 一通 (二四二二)

当御役被仰付御手当向御復古被仰出右取調子云々

三〇四 郡正太夫江掛合下付

(江戸期)寅

切紙 六通 (二四一七)

浦上彦兵衛・榎橋又之進・黒田三左衛門外。人事外

三〇五 (仮題)江戸詰等名元覚

(江戸期)

切紙 一通 (三八五七)

吉田与三右衛門外

三〇六 覚

(江戸期)

長綴 一綴 (三八五六)

吉田権太夫外。新役被仰付之覚

三〇七 書状

(江戸期)

巻紙 一通 (三八一四)

江戸詰方之事

三〇八 窪田傳左衛門訴訟之書付

(江戸期)卯月十三日

一紙(包紙入)一通 (二二〇四)

窪田伝左衛門外林又右衛門宛。病氣に付足軽与被召上り様

三〇九 (仮題)達

(江戸期)

切紙 一通 (四八三二)

播磨宛。悴三右衛門右筆見習の事

三一〇 長崎御用心得

(江戸期)

切紙(包紙入)一通 (六二〇〇二)

三一一 (仮題)覚

(江戸期)

切紙 一通 (六二〇〇三)

三奈木黒田家文書 (一、江戸時代史料)

勤方心得

三一二 覚

(江戸後期)

切紙 一通 (二七九七)

出仕覚

三二三 御書写

(江戸期)正月二十四日

切紙 一通 (二八二三)

市右衛門交代五左衛江被仰付

三二四 高橋牛之助口上之覚書

(江戸期)十二月二十四日

一紙(包紙入)一通 (二一九六)

野村新兵衛宛。江戸御留守番役願

三二五 (仮題)覚

(江戸期)

切紙 一通 (四四四五)

田中虎泊退身の事

三二六 (仮題)覚

(江戸期)

切紙 一通 (四四五六)

佐伯左助休職の件

三二七 簗奉行之儀二付加藤磯右衛門より差出し記録書抜

(江戸期)

切紙(包紙入)一通 (二六七〇)

宝暦八年以来の簗奉行の名

三二八 (仮題)覚

(江戸期)酉正月

巻紙 一通 (二〇三五)

美作・外記郡浦請持被蒙仰

三二九 書状

(江戸後期)

切紙 一通 (二七六六)

播磨・山城・因幡宛。信濃へ軍事總裁申付

三三〇 (仮題)辞令

(四九二七)

(明治初年)

太政官より黒田一美宛。福岡藩大参事

切紙 一通

三二 辞表

(明治初年)五月十五日

福岡藩黒田大参事より弁官役所宛

一紙 一通

三三 辞表(草稿)

(明治初年)

福岡藩黒田大参事より弁官役所宛。大参事辞退

切紙 一通

三三 宣下書

(明治初年)

黒田一美宛。大参事関係(出頭の事、内輪家格是迄通り)

切紙(包紙入)三通

三四 福岡藩職制

(明治初年)

(明治初年)四月十日

奥山亭より黒田一葦宛。行状明細差出すべし

書冊 一冊

三五 書状

(明治初年)

守田義利より黒田一葦宛。行状明細書提出の事

切紙(包紙入)一通

三七 (仮題)覚

(明治初年)

播磨宛。退職後も執政中評議に加わり可申

切紙 一通

三六 覚

(明治初年)七月

京都詰方役取替願

巻紙 一通

三六 (仮題)呼出状

(明治初年)三月二十七日

権大参事松浦より小笠原新宛。大参事黒田一美御用に付

一紙 一通

三〇 (仮題)達

(明治初年)

播磨・民部宛。財方取締申付

切紙 一通

三一 覚

(明治初年)七月

主穀司。役場取締役欠役之件

切紙 一通

三二 (仮題)辞令

(明治初年)十二月

福岡藩庁より黒田大参事聞次宛。馬乗之輩士族長江可引付

切紙 一通

三三 (仮題)辞表二届

(明治初年)五月十五日

黒田大参事より小川大参事・立花大参事・矢野大参事宛。病氣二付辞表差上

切紙 一通

三四 職當表

(明治初年)

(3) 日誌

一枚

三五 天明二年出府日記

天明二年

藩政

書冊 一冊

三六 覚書

寛政十一年十月

日記

小横綴 一綴

三七 日記

(一一八二)

文化六年六月
三六 1 文化六年七月中覚

文化六年七月

書冊 一冊

(二四七〇の一)

2 文化六年八月中覚

文化六年八月

書綴 一綴

(二四七〇の二)

3 文化六年九月中覚

文化六年九月

書綴 一綴

(二四七〇の三)

4 文化六年十一月中覚

文化六年十一月

書綴 一綴

(二四七〇の四)

5 文化六年十二月中覚

文化六年十二月

書綴 一綴

(二四七〇の五)

三九 1 文化七年正月中覚

文化七年正月

書綴 一綴

(二四七一の一)

2 文化七年二月中覚

文化七年二月

書綴 一綴

(二四七一の二)

3 文化七年三月中覚

文化七年三月

書綴 一綴

(二四七一の三)

4 文化七年四月中覚

文化七年四月

書綴 一綴

(二四七一の四)

5 文化七年五月中覚

文化七年五月

書綴 一綴

(二四七一の五)

6 文化七年六月中諸事覚

文化七年六月

書綴 一綴

(二四七一の六)

7 文化七年七月中諸事書留

文化七年七月

書綴 一綴

(二四七一の七)

8 文化七年八月中諸事書留

三奈木黒田家文書 (一、江戸時代史料)

文化七年八月

九 文化七年九月中諸事書留

文化七年九月

書綴 一綴

(二四七一の九)

10 文化七年十月中諸事書留

文化七年十月

書綴 一綴

(二四七一の一〇)

11 文化七年霜月中覚

文化七年霜月

書綴 一綴

(二四七一の一)

12 文化七年歳冬覚

文化七年

書綴 一綴

(二四七一の二)

三〇 1 文化八年正月中覚

文化八年正月

書綴 一綴

(二四七二の一)

2 文化八年二月中覚

文化八年二月

書綴 一綴

(二四七二の二)

3 文化八年閏二月中覚

文化八年閏二月

書綴 一綴

(二四七二の三)

4 文化八年三月中覚

文化八年三月

書綴 一綴

(二四七二の四)

三一 (仮題) 日記

文化九年十月〜同十年正月

小横帳 一冊

(二四七六)

三二 廻郡日記

文化九年十二月三日〜十七日

小横綴 一綴

(二四七四)

三三 (仮題) 日記

文化十年二月十二日〜五月

小横帳 一冊

(二四七七)

三四 (仮題) 日記

(文化十年頃) 八月〜十月

小横帳 一冊

(二四七八)

三五 (仮題) 日記

(文化十一年)八月〜九月

小横帳 一冊

三〇 (仮題)日記

(二四七九)

三九 御用頭付(日記)

小横帳 二冊

(文化十一年)十月〜十二月

小横帳 一冊

文政八年

(二四五四)

三〇 殿中日記

(二四四三)

三〇 御用頭付(日記)

小横帳 二冊

文化十二年

小横帳 五冊

文政九年

(二四五五)

三一 殿中日記

(二四四四)

三一 御用頭付

小横帳 二冊

文化十三年

小横帳 四冊

文政十年

(二四五六)

三二 文化十三年、十四年、日記書拔

(二四七三)

三二 御用書留

小横帳 一冊

文化十三年、十四年

小横帳 一綴

文政十一年

(二四五七)

三三 殿中日記

(二四四五)

三三 御用書留

小横帳 一冊

文化十四年

小横帳 五冊

文政十二年

(二四五八の二)

三四 殿中日記

(二四四六)

三四 日記

小横帳 一冊

文化十五年

小横帳 三冊

文政十三年一月〜十二月

(二四五八の二)

三五 殿中日記

(二四四七)

三五 御用書留

小横帳 一冊

文政元年

小横帳 四冊

文政十四年

(二四五九)

三六 殿中日記

(二四四八)

三六 日記

(二四八〇の一〜四)

文政二年

小横帳 五冊

天保三・四年

小横帳 四冊

三七 殿中日記

(二四四九)

三七 (仮題)日記

小横帳 一綴

文政三年

小横帳 六冊

天保四年一月〜六月

(二四七四)

三八 殿中日記

(二四五〇)

三八 (仮題)日記

小横帳 一綴

文政四年

小横帳 四冊

天保五年

小横帳 二綴

三九 御用頭付(日記)

(二四五二)

三九 (仮題)日記

(二四六一)

文政五年

小横帳 二冊

天保六年

小横帳 三冊

四〇 御用頭付(日記)

(二四五三)

四〇 殿中日記

(二四六二)

文政六年

小横帳 二冊

天保六年是より学問武芸御引立御要書船方御用請持被仰付

小横帳 二冊

四一 御用頭付(日記)

(二四五三)

天保七年

三七 殿中日記 (二四六三)

天保八年 小横綴 二綴

三七 殿中日記 (二四六四)

天保九年 小横綴 一綴

三七 殿中日記 (二四六五)

天保十年 小横綴 一綴

三七 殿中日記 (二六九)

天保十一年正月6 長帳 一冊

三七 天保十三年日記 (二四六六)

天保十三年 小横帳 一冊

三七 殿中日記 (二四六七)

天保十五年5弘化二年 小横綴 一綴

三七 殿中日記 (二四六八)

弘化三年 小横綴 一綴

三七 殿中日記 (二四六九)

弘化四年 小横綴 一綴

三七 公用記 (二五〇二)

嘉永七年六月三日5十二月 小横綴 一綴

三六 日記 (二七五〇)

安政三年 長帳 一綴

三六 日記 (二七五一)

藩政 小横帳 一冊

三六 (仮題) 日記 (二四八一)

(江戸中期)五月5七月 小横帳 二冊

三六 覚 (二四八二)

(江戸後期)正月5四月・六月5七月

(江戸後期)五月5十二月 小横帳 一冊

三六 廻郡日記 (四九一七)

(江戸後期) 長帳(小) 一冊

怡土・志摩・早良・那珂郡

三五 嘉麻穂波上座下座夜須廻郡日記 (四九一八)

(江戸後期) 長帳(小) 一冊

(4) 普請

三六 覚 (二六五三)

寛延四年正月写 書綴 一綴

長政書状写(普請関係)

三七 覚 (二一八五)

(延宝)九月二十二日 一紙(包紙入)一通

樋口忠三郎・山路加左衛門5花房次左衛門宛。二ノ丸産所瓦葺修理の件

三六 (仮題) 指図 (四三六〇)

(江戸期) 一枚

三六 (仮題) 普請覚 (四三三三)

(江戸期) 切紙 一通

三六 三ヶ所普請算用帳5高 (二六七二)

(江戸期) 切紙 一通

鈴木専蔵拂

三五 (仮題) 棟札写し (三三八)

(江戸期) 一紙 一通

大工棟梁高原又四郎

三五 書状 (二七六二)

(江戸期)三月十七日 切紙(包紙入)二通

野村隼人 & 黒田播磨宛。桜田御屋敷普請一件

三三 覚

(明治初年)

(四一六九)
切紙 一通

(5) 御首途・御成・御発駕

三四 日記

延宝四年九月二十八日

(五九二)
小横帳 一冊

若殿様福岡御発駕次第

三五 御記録書抜

(延宝六年・元禄十五年)

(一五四二)
書綴 一綴

新統御家譜之内延宝六年御在国日記・元禄十五年方々御成日記

三六 (仮題) 覚

宝永二年〜文化八年

(一一三三)
長綴 一綴

御発駕覚

三七 宝永七年御盃被下面々

宝永七年

(一〇三二の二)
一紙 一通

三八 (仮題) 御盃被下面々

享保六年

(一〇三二の二)
一紙 一通

継高公初御参府之節

三九 御発駕之節次第

(江戸期)

(一〇三二の三)
長綴 一綴

四〇 美作宅江被成候節次第

(江戸期)

(一〇三二の四)
長綴一綴・切紙七通

四一 御首途為御祝儀(覚)

(江戸期)

(一〇三二の五)
巻紙 一通

四二 出府日記

(一五三四)

明和七年

書綴 一綴

四三 寛政五丑春斉隆公御入部中国路御行列附

寛政五年

(六〇三)
長帳 一冊

大坂御発駕御行列御道中之通

四四 寛政五丑春斉隆公御入部江戸御発駕御行列付

寛政五年

(五九九)
長帳 一冊

四五 斉隆公御入部東海道御行列付

寛政五年

(六〇二)
長帳 一冊

四六 出府記

寛政五年

(一五三五)
書冊 一冊

四七 御入部御道中記 上・中・下

寛政六年秋

(四九一九)
小横帳 三冊

四八 覚

寛政六年・同十二年

(二六三九)
切紙 一通

御首途御成之節下見分に罷越候面々名元

四九 斉隆公御参勤之節道中日記

寛政六年、同十二年八月写

(二六三〇)
小横綴 一綴

一定

五〇 両御道中并江戸ニ而之覚

寛政十二年六月

(二六二九)
小横帳 一冊

一定

五一 御成之覚

寛政十二年八月

(二六三一)
小横帳 一冊

一定

五二 (仮題) 覚

文化元年三月二十一日

(二五五七)
書綴 一綴

中山道通行伺の件

四三 御目見ニ仰付候一族名元外

(宝曆期)文化期)

文化九年御成之節差上之御品詮議之節相調子候御品付、宝曆比差上之御品
記録写外

(一〇四〇)
切紙 七通

四四 覚

(安永二年)文化九年先例之書拔

(二五八六)
巻紙(包紙入)一通

御成一件

四五 出府日記 上・下

文化八年

(二五三六)
書綴 二綴

四六 三奈木村茶屋御成之節御禮呈書案

文化九年三月十三日

(包紙入)切紙・折紙各一通

黒田美作一定方野村隼人宛

四七 御首途・御発駕・御成御次第并御首途之節御給仕付

文化九年

(二六三五)
小横綴三綴・一紙二通

四八 内匠妻御目見被仰付儀ニ付相調子候先例書類

文化十一年

(二五八五の二)
切紙 六通

四九 内匠方妻御目見之御礼御肴等差上候哉之義ニ付手元旧記遂詮議候書拔

文化十一年

(二五八五の二)
切紙(包紙入)一通

四〇 1 三奈木村茶屋江御成之節取調子書

(江戸後期)

(二六三六の二)
切紙 一通

2 御成一件頭付

文化九年三月

(二六三六の二)
小横綴 一冊

3 御成之儀ニ付先例書拔

(二六三六の三)

三奈木黒田家文書 (一、江戸時代史料)

(明暦)元文

4 寛政六年御成之儀書拔

(江戸期)

(二六三六の四)
書冊 一冊

5 三奈木茶屋間敷等書付

(江戸期)

(二六三六の五)
切紙(包紙入)三通

6 二月廿二日主計五大夫方引合書

(江戸期)

(二六三六の六)
巻紙(包紙入)一通

四三 御成御次第書・侍従様御成御給仕附・御首途御成御次第書

文化十一年九月

(一六四五)
長綴 三綴

四三 御首途御祝之次第

文化十一年

(二五二九)
長綴 一綴

四三 御首途御祝ニ付於公所心得頭付・御成御次第書・御給仕付・御発駕ニ

付於公所心得頭付・御立寄御次第書・先例書拔并内匠源七方呈書案

文化十三年九月

(一六四二)
小横綴五綴・切紙(包紙入)三通

1 御発駕ニ付於公所心得頭付

(江戸期)

(一六四二の二)
小横綴 一綴

2 御首途御成御給仕附

文化十三年九月十九日

(一六四二の二)
小横綴 一綴

3 於殿中心得頭付

(文化)九月十九日

(一六四二の三)
小横綴 一綴

4 御発駕之節如御嘉例御立寄被遊候御次第書

文化十三年九月二十二日

(一六四二の四)
小横綴 一綴

5 御首途御成御次第書

文化十三年九月十九日

(一六四二の五)
小横綴 一綴

6 内匠源七方呈書案

(一六四二の六)

(江戸期)

四三 御首途御成之節相招置候一族名元并御目見之節組合名付

切紙 二通 (一六四三)

文化十三年

切紙 四通 (一三〇七)

四六 覚

文化十五年

小横帳 一冊

三奈木茶屋御滞座

四七 1 御首途御成御次第

文政元年九月十三日

長帳 一冊 (三三七三の二)

2 御給仕之次第

文政元年九月十三日

長帳 一冊 (三三七三の二)

3 於殿中心得頭付

文政元年九月十三日

長帳 一冊 (三三七三の三)

4 御発駕御成御次第書御用人に被差越候写

文政元年九月二十二日

長帳 一冊 (三三七三の四)

5 御成之覚

(江戸期)

長帳 一冊 (三三七三の五)

6 御成二付役割

文政元年九月

長綴 一綴 (三三七三の六)

7 御発駕之節美作殿宅江御立寄

文政元年九月二十二日

絵図 一枚 (三三七三の七)

8 御発駕之節罷出候一族名元

文政元年九月二十二日

切紙 一通 (三三七三の八)

9 勤用病氣等二而不罷出面々名付

文政元年九月十三日

折紙 一通 (三三七三の九)

四八 以一族嫡女二女に之御禮御書案

文政元年九月二十二日

折紙(包紙入)一通 (三三七四)

加藤三郎左衛門黒田市兵衛・野村吉右衛門宛。御発駕之節美作宅江被為成候二付

四九 御立寄之御次第

文政三年八月五日

長綴 一綴 (二五六〇)

参勤御発駕之節播磨宅江御立寄

五〇 御次第書

文政三年九月十三日

(包紙入)長帳四冊・小横帳一冊・折紙三通 (五九三)

御成二付諸口引合頭付外

五一 御成御次第書

文政五年九月

切紙(包紙入)二通 (一三〇八)

五二 御成御次第書・御成御給仕附・御発駕御成御次第書・御成二付廉書、その他覚書

天保七年九月

小横帳四冊・切紙六通 (二六四七)

五三 両度御成御次第書

文政九年九月

小横帳五冊・切紙四通 (一六四六)

五四 出府日記

天保九年

小横綴 一綴 (一五三七)

五五 往来東海道日記

天保九年五月

長綴 一綴 (二五二七)

五六 御参勤中日々出仕候様御直之御意書

天保寅年九月九日

切紙(包紙入)一通 (二二七一)

播磨宛

五七 少将様御首途御成御次第書

安政三年七月二十八日

長綴 一綴 (二五一八)

五八 御成御給仕附

安政三年七月二十八日

長綴 一綴 (二五二〇)

安政三年七月二十八日

長綴 一綴

四九 御発駕御成次第書

安政三年八月五日

(一一〇一)

四〇 御殿御差上之御次第書下附

(江戸期)

長帳 一冊
(六一八)

家督初御首途御成御次第

四一 (仮題) 参勤に関する覚

(江戸期)

切紙 一通
(四三八四)

四二 御道中御定書并御触写

(江戸期)

小横帳 一冊
(六〇〇)

四三 家督初御成之次第書

(江戸期)

一紙(包紙入)一通
(二九一)

四四 雲朔院様御直書御下付

(江戸後期)

切紙(包紙入)一通
(三二四)

殿様三奈木茶屋江御泊座被遊品々拜領に付礼

四五 御首途御發賀御成御自家御次第書

(江戸期)

長帳 一冊
(五五九)

四六 御供之面々并先番之名元

(江戸中〜後期)

切紙(包紙入)二通
(二六四四)

四七 覚

(江戸中〜後期)

切紙 二通
(二六四〇)

下見分ニ罷越候面々役号付

四八 御首途御成飾付

(江戸中〜後期)

巻紙 一通
(二六三七)

四九 御成一件覚

(江戸中期)

切紙(包紙入)五通
(二六三六)

五〇 御発駕御成御次第書

(二六三四)

三奈木黒田家文書 (一、江戸時代史料)

(江戸中〜後期)

五一 御首途御成御次第書

(江戸中〜後期)

長綴 一綴
(二六三三)

五二 御首途御祝儀并如御嘉例美作江被為成候御次第

(江戸中〜後期)

長綴 一綴
(二六三二)

五三 御留守詰兼帯共江戸覚 上・下

(江戸後期)

小横帳 一冊
(二五四八)

着府当日之心得外

五四 御泊、御小休、御休

(江戸後期)

小横綴 一綴
(二五三三)

五五 中国路道中記

(江戸後期)

小横綴 一綴
(二五三二)

五六 御道中二而之手数

(江戸後期)

小横綴 一綴
(二五三一)

五七 御発駕御当日之御手数

(文化十一年カ)

長綴 一綴
(二五三〇)

五八 御発駕御当日之御手数

(江戸後期)

小横綴 一綴
(二五二八)

五九 侍従様御成御次第

(江戸後期)

長綴 一綴
(二五二六)

六〇 侍従様御成御給仕附

(江戸後期)

小横綴 一綴
(二五二五)

六一 侍従様御首途御成御次第書

(江戸期)

長綴 一綴
(二五二四)

六二 御首途御成御給仕附

(江戸期)

長綴 一綴
(二五二三)

四三 御成御次第書

(江戸後期)

(二五二二)

長帳 一冊

四四 御首途御成御給仕附

(江戸後期)

(二五二二)

長帳 一冊

四五 御成御次第書

(江戸後期)

(二五一九)

小横綴 一綴

四六 覚

(江戸期)

(二七九二)

巻紙 一通

物中より山城宛。中将様当春御参府被遊之儀差延之事外

四七 御当君様御出府之節子供御目見之都合同済達之模様記録写

(江戸期)

(二四九八)

切紙 一通

四八 斉隆公御成之節家内御目見之次第書取

(江戸期)

(二四九七)

切紙 四通

(6) 他領関係

四九 長政公吉川廣家江御取遣之御書写

慶長五年九月二十九日

(一九〇)

巻紙(包紙入)一卷

五〇 筑前国黒田美作様江御祝儀之御礼ニ罷下り御先方首尾書上写

(一一〇三)

書冊 一冊

正徳二年九月十六日

(備前)児嶋郡日比村名主兵三郎。日比村において黒田美作様御難船の節

五一 水戸殿江鍋島侯被参経済之事被咄(覚)

天保九年三月

(三八四六)

書綴 一綴

五二 二階堂姓に関する書付

(江戸期)

(三七一四)

切紙(包紙入)一通

五三 書状

(三八三八)

(江戸期)

切紙(包紙入)一通

郡正大夫より黒田三左衛門宛。浜山様御遣骸御領内入込ニ而年始御規式等御

延引

四四 (仮題)覚

(江戸期)

(四四四〇)

切紙 一通

一橋久之助御逝去ニ付云々

四五 御養子一件之達書

(江戸期)

(三八八五)

切紙(包紙入)四通

大目付宛。藤堂和泉守三男

四六 口上覚書

(江戸期) 卯月二十五日

(四〇六二)

一紙 一通

筑後北野村大庄屋藤右衛門方より小庄屋十郎丸宛。村之八郎衛門と申者為使

此方触口庄屋弥左衛門所へ遣候口上覚書、金丸村馬此方領分にて死申云々

四七 書状

(江戸期) 四月七日

(四〇七四)

長綴(包紙入)一綴

荒木善左衛門外四名より黒田源左衛門外六名宛。此節御用方御分ケ被成候一件

に付丹後守との係わりに付

四八 (仮題)御婚礼御当日出席者名覚

(江戸期)

(二七七五)

巻紙 一通

四九 河内様奥様御婚礼之行烈

(江戸期)

(六〇七)

巻紙(包紙入)一通

五〇 書状(前欠)

(明治初)十一月二十五日

(四七六六)

切紙 一通

安倍庄作より田中園生他宛。日田県より兵隊引拂方の儀云々

五一 1書状

(江戸期) 六月二十八日

(二五四五の二)

巻紙(包紙入)一通

浦上彦兵衛外左黒田三左衛門宛。久留米に居申候浪人宮腰民人眼病為補養
当地滞留に關して

2 丹岩左被差出覽書ノ写

(江戸期) 戊六月二十五日

聖福寺丹岩左三宅八左衛門外宛

(二五四五の二)
巻紙(包紙入)一通

(7) 儀礼・儀式

四三 覚

(慶安五年、延宝六年、天和二年)

端午ニ御樽肴上ル衆外

(二四六〇)
切紙 一通

四三 御判物御頂戴之上御礼御使者之先例書

延享二年、宝曆七年、天明六年、天保八年

(二六五九)
切紙 五通

四四 (仮題) 御在国御礼次第第書上

寛政七年四月二十六日

長綴 一綴

使者美作

四五 出陣戦勝凱歌之式執行次第并飾附

文化二年九月十三日

(二二二)
小横帳 一冊

四六 大賀甚三郎継目御礼之事

文化四年

(三七二〇)
切紙 一通

御家臣国民類集左書抜

四七 野村市右衛門継目御礼之御次第写

天保十年七月九日

(二六二の七)
長綴 一綴

四八 年始於小書院御礼之図

(江戸期)

(二六二の二)
一紙(包紙入)二枚

四九 覚

(江戸期)

(二八四)
長綴 一冊

四〇 覚

(江戸期)

宣政様御入国、年始、五節句等御礼式の次第書上

(六一七)
長綴 一綴

四一 年始御次第写

天保九年

(六〇五)
長帳 一冊

四二 士卒進退覚

(江戸後期)

(二三一九)
切紙(包紙入)三通

再拜目録(儀礼作法)

四三 覚

(江戸期)

(二四五四の八)
切紙 一通

御召之節作法覚

四四 美作初御家老中御前御用之節帯劔解劔之都合詮議有之節御記録類書

抜

(享保十一年) 寛政年間

(二四四六)
切紙 一三通

四五 (仮題) 覚

(江戸期)

(二四三八)
切紙 一通

天盃為請取作法覚

四六 客来之節古格覚書

(江戸期)

(二三八八)
切紙(包紙入)三通

御使者之節、御獵日外

四七 覚

(江戸期)

(三七九九)
切紙 一通

御礼式勤ハ節の土下座の事

四八 御旗本御作法御相印被相定ハ次第

(江戸期)

(三六六一)
切紙 四通

諸家中渡印御作法被相立次第・諸家中大身分印之次第・組付之面々差物ニ相定次第

五〇九 美作様御出府被成以ニ付於御構御取扱之次第

(江戸期)

(三六二九)
切紙(包紙入)一通

五〇〇 播磨妻并黒田三左衛門妻御目見之節且御切熨斗匏頂戴之節図式

(江戸期)

(三五七〇)
一紙 一枚

五〇一 覚

(江戸期)

(二五〇五)
小横綴 一綴

御祝儀の節覚書

五〇二 再拜目録

(明治初)

(四八六二)
切紙 一通

神前拜礼再拜、君前侍礼再拜外

五〇三 御繼目御礼御次第

(江戸中(後期))

(二六四九)
長綴 一綴

五〇四 采幣之事

(江戸中期)

(二三二四)
切紙 二通

儀礼・作法

五〇五 御繼目御料理頂戴之節御座間之儀図

文化八年

(二〇〇〇)
一紙 一枚

五〇六 江府式

(江戸期)

(二五五〇)
小横綴 一綴

年中行事

五〇七 江府式

(近世後期)

(二二九三)
小横綴 一冊

年中行事

五〇八 御目見御代参拜礼之節略図外

嘉永四年三月二十七日

(三九四二)
一紙 四枚

乾龍院様初御法事硯水之御名代略図、御法事済後列座之略図外

五〇九 年中式

(江戸期)

(二二一一)
長帳(小) 一冊

五〇〇 御飾付

(江戸期) 明治写

(二八五四)
切紙(包紙入)一通

藩主江戸御出発の数日前必ず男爵家へ御成あり、その際の儀礼

五〇一 以前より年賀ニ付従上被下等有之先例御記録ニ不相見以間手元相調子
此件

(江戸後期) 六月二十八日

切紙(包紙入)四通一括

類例書抜い分

五〇二 澄心院様御年賀ニ付御祝被成以而御肴被下以一件之書取

文化十二年六月十六日

(二七〇二)
切紙(包紙入)四通

御礼申上方為心得取調子以書付共ニ

五〇三 加藤源太郎初而御目見被仰付以節御次第書写

文政元年九月九日

(三六五七)
長綴(包紙入)一綴

五〇四 加藤忠左衛門演説書

享和三年十一月

(二六九二)
巻紙(包紙入)一通

新製具足着初ニ付於祝席加藤忠左衛門演説仕覚

五〇五 召之節御直々被仰付以御意書

文化十年十一月

(二二六)
切紙(包紙入)一通

御鎧御新製被仰付以ニ付御用掛被仰付以御達定

五〇六 御鎧御新製就出来初而之為召以其節御用相勤以ニ付御祝被成御巻物可
被下以御意書写

文化十一年九月

(一八)
切紙(包紙入)一通

美作宛。紗綾二卷

五七 御鎧御新製被仰出以後追々出来御成就ニ相成始而被為召候御次第書類

(二八)

文化十一年

(包紙入)小横帳三冊・切紙三通・長帳一冊

五八 来春若殿様御鎧初之節御甲奉為召い様從御殿様御直被仰付書

(二五四の七)

文政十年九月四日

切紙(包紙入)一通

播磨宛

五九 大殿様御後見ニ付御祝御次第寫

(五九八)

天保九年三月朔日

小横帳 一冊

五〇 御新製御鎧御用ニ付定

(二五二)

天保十年八月六日

切紙(包紙入)一通

五二 二条様方御無心筋有之為御使松波大炊頭副使岡俊平被指越之節御次第寫

(五九七)

弘化三年閏五月

小横帳 一冊

五三 御鎧初之儀ニ付先例書拔

(三七九)

(明和二年)文政七年

切紙(包紙入)三通

香西庄左衛門方差遣い書付二通

五三 1 御鎧初御次第

(三五四七の二)

(江戸期)

長帳 一冊

2 小書院大書院御間所図并座位御飾

(三五四七の二)

(江戸期)

一紙 一枚

侍從様御鎧初

五四 御庭鎧御次第

(一二三三)

(江戸期)

長綴 一綴

五五 御庭鎧御次第

(六〇一)

三奈木黒田家文書 (一、江戸時代史料)

(江戸期)

五六 修理様御鎧初図

(江戸期)六月二十八日

一紙(包紙入)一枚

五七 新製甲冑之祝

(江戸中)後期

(二六九〇)

鎧初之節惣中江之達書控(一定方加藤忠左衛門宛)

五八 御鎧初御次第

(江戸中)後期)正月十三日

(二七一五)

五九 (仮題)鎧初之法式覚并十分足輕下々小割外

(江戸期)

切紙 七通

五〇 覚

(江戸期)

卷紙 二通

新製甲冑之儀鎧初の武備外

五二 新製甲冑申付成就之上鎧初等いたしひ節取調子い書付

(江戸期)

(三六〇九)

五三 正月十四日御矢披之御次第

(江戸後期)

切紙(包紙入)一通

五三 御次第書

(江戸後期)

長綴 一綴

五四 御乳繩御規式之御次第

(江戸期)

長綴 一綴

五五 御乳繩御執行次第書

(江戸期)

(包紙入)長綴二綴・切紙一通

付、軍礼飾之次第、席図、規式

五六 (仮題)日記

(江戸期)正月

切紙 三通

六五

年頭御手数書上

(8) その他

五七 1 益軒先生諫書 上・下

(江戸期)

(二五九三) 書冊 二冊

2 黒田一貫ニ送書

元禄三年

(二五九二) 書冊 二冊

五八 御下筆記

享保三年

(二三五・一五九四) 書冊 二冊

黒田一照書之。君臣の心構え

五九 温故政要

(江戸期)

(二五九七) 書冊 一冊

六〇 風俗論

(江戸期)

(二五九八) 書冊 一冊

六一 口上之覚

(江戸期)正月十三日

(二二〇七) 書冊 一冊

加藤忠左衛門、武家の心構え

六二 忠左衛門の差出候巻冊ニ添書付

(江戸期)

(二二〇六) 切紙(包紙入)一通

加藤忠左衛門の差出し一冊写の所在

六三 (仮題)覚

(江戸期)

(五六一) 小横帳 一冊

君臣心得書

六四 1 演説書

(江戸後期)三月

(二三九二の二) 卷紙(包紙入)一通

黒田播磨・小川讃岐・林織部他三名。御参府に対する意見書

2 書状

(幕末)四月八日

(二三九二の二) 卷紙 一通

立花山城に黒田播磨・小川讃岐外三名宛。御参府に対する意見書

六五 奉申上り覚

(江戸期)二月二十八日

(六一九の九) 切紙 一通

加藤忠左衛門。若殿御狼筋一件

六六 牧仕組白杵九十郎の指出し書付写

(江戸期)十月

(六〇八) 長帳(小) 一冊

牧御仕組之内に当申年御益上納ヲ始諸口渡り共一切取斗方之覚

六七 覚

(江戸期)

(四八三九) 長帳 一冊

公儀御出生、船方覚、長崎覚、三奈木黒田家覚外

六八 覚

(江戸後期)

(四八三七) 長帳 一冊

播磨初知行高并惣御礼順、京・大坂御銀主名元、平常長崎往来御扶持方并詰

苦勞高

六九 (仮題)覚

文化十五年

(四七五五) 一紙 一通

福岡・名島城の事

七〇 書中所言

(江戸後期)

(四三九九) 一紙 一通

於桜田義拳之浪人云々

七一 当代要秘録

(江戸期)

(二五九六) 書冊 一冊

殿中年中行事覚書外

七二 (仮題)学問所覚

(二四七五)

五三 御後縁御一件 (江戸後期) 小横帳 一冊 (二九二)

(江戸期)九月 公儀又ハ御屋形等ヲ被仰掛ニ相成イハハ京都之方御氣安之方ニモ可有御座

五五 淑徳録 全 (江戸期) 書冊 一冊 (一五九二)

藩政関係

五五 覚 (江戸期) 切紙 一通 (四〇七一)

鳴村氏招待の次第

7 財政

(1) 福岡藩財政

一 (仮題)覚 (元和元年九月)明和元年八月写 書冊 一冊 (四二六七)

財用定則写、長政公御書写

二 寛文十二年十月同十三年三月迄萬御入目銀之覚 (二七四九)

(寛文期)卯月二日 一紙 一通

三 1 御算用所支配銀米之覚 (二七四六の二) 一紙 一通

(延宝四年)辰七月二十三日

2 延宝三卯年分大坂上り米大豆目録 (二七四六の二) 卷紙 一通

(延宝四年)辰七月二十三日

四 米留被放之儀算用奉行書出 (二二〇二) 一紙(包紙入)一通

(延宝期)七月六日

五 延宝四年御算用所支配銀米納申覚 (二二四一)

(延宝四年)辰ノ九月二日 一紙 一通

六 借銀之覚 (江戸期) 卷紙 一通 (二七四〇)

辰暮払方

七年貢藏掛札写 (宝曆十三年八月) 書冊 一冊 (三六二二)

郡奉行

八 米銀御積帳 (明和七年九月)同八年八月) 小横帳 一冊 (五七八)

(安永二年九月)同三年八月)

九 米銀御積帳写 (安永二年九月)同三年八月) 小横帳 一冊 (五九二)

(安永二年九月)同三年八月)

一〇 御要害附金銀之定 寛政二年四月十九日 切紙 一通 (二四五四の五)

黒田美作外

二 諸役人知行切扶高当御合力之類其外銀米渡根帳之内書取 (二六五六) 切紙(包紙入)一通

(江戸期)

三 申年分御本丸諸口御溜帳 享和元年三月 長綴 一綴 (五二)

御溜り銭之覚

三 於御前惣中一同ヲ以御直書御諭被遊候御書付写 文化八年十二月 切紙(包紙入)一通 (二〇五八)

御欠略之儀ニ付於大書院被仰出候

四 諸覚 (江戸期) 小横綴 一綴 (二六五五)

文化八年七月四日御尋有之差上候御借銀惣高、文化八年秋若松御積立所御

米大豆御算用諸差引之覚外

五 京大阪古御借銀文化八年未冬御道附有之分并其以後新御借銀共年々指引根帳 (四九〇八)

文化九年三月 長帳(小) 一冊

六 俵物進方宜候旨長崎奉行より引立之書付写并於是元浦奉行江達ニ相成候書付写 (三六五五)

文化九年七月 切紙 一通

七 申より西迄一季御国財目錄 (二二五〇)

文化九年九月〜文化十年八月 長帳 一冊

八 御登米式歩減之儀江戸より申来り候末不分之所又々問合相成居候得共否未申来候内追々大坂表より模様催促申越候二付及返答候控 (三四二六)

文化九年二月二十六日 卷紙 一通

東半九郎・大森浅右衛門外三名より杉山太郎太夫・伊藤八左衛門宛

九 去去年押米切手ニ而御返被下候割合書 (二六九二)

文化十年 切紙 四通

一〇 御書附 (二四〇一)

文化十二年 切紙(包紙)四通

半所務割合并諸方懸合案共

三 半知一統之御詮議ニ相成候得者其節入用之書付類 (二四〇二)

(江戸期) 切紙(包紙)四通

三 (仮題)覚 (二四〇三)

(江戸期) 長綴(包紙)一通

所務半減二付

三 (仮題)覚 (二四〇四)

(江戸期) 切紙(包紙)四通

半所務指上一件

四 (仮題) (四四〇七)

(文化年間)

去秋より格別之御欠略ニ付婚禮一件の義

三 御欠略之儀ニ付惣中一同ニ御渡被遊候御書付 (二〇五四)

文政元年九月二十日 切紙(包紙)一通

三 旅行之節苦勞増覚 (二五七五)

文政二年 切紙 一通

三 格外御省略被執行候ニ付御家老中内外心得筋申合之上相極候書付写 (二七一七)

文政六年九月 (包紙)長綴一綴・卷紙二通

三 当冬大坂御借銀道付ニ付書付類 (二二二九)

文政十三年七月 切紙(包紙)三通

三 五左衛門殿より源左衛門様を以差越候書付写 (二二三三)

文政十三年八月九日 切紙(包紙)一通

三 大坂表御借り銀道付大意 去秋御家中半所務被仰付候、来季ハ半知不被召上候ニ付

文政十三年十二月五日 切紙(包紙)一通

三 御当用御救方大凡差引書付 丹下より播磨宛。五左衛門殿言上之趣廉書爰元出立前之見込とハ取斗違居候

天保五年・六年 切紙(包紙)六通

三 天保七年申合相極候来客取扱菜数之書付 (三三五九)

文化三年・天保九年外 切紙(包紙)四通

三 三季中心得 (二五四六)

天保九年九月 小横帳 一冊

三 永納差引之書付 (二〇五三)

天保九年閏四月朔日 卷紙(包紙)二通

三 正太夫方受取

三 速ニ江戸表江申上候分

天保九年六月

切紙(包紙入)一通

(五三)

廻米之儀御国産物之御仕組受持役之事、江戸廻米増方の件

三 新右衛門五右衛門殿連名ニ而之呈書案

天保十年

切紙(包紙入)一通

(五六)

財用繰一件

三 正太夫存念書付、外ニ現金銀錢書付

天保十年二月

切紙(包紙入)三通

(三六九)(三七二)

財用繰一件

三 御都合ニ依自然者又之丞殿迄及掛合候之儀ニも可至哉

天保十年二月

切紙(包紙入)二通

(三七二)

財用繰一件

三 元書状

天保十年二月

巻紙(包紙入)一通

(三七三)

林五左衛門・野村新右衛門・黒田播磨清定。財用繰一件、正太夫殿存念

被申出候ニ付

三 長崎町年寄中受持貸り受候御銀子仕法書付

(天明四年〜天保年間)

切紙 二通

(二五二〇)

山口進三郎内分覚書

三 (仮題)覚

(江戸期)

長綴 一綴

(二五二一)

長崎借財の件

三 御意之写

天保十五年正月

切紙 一通

(二四五四の六)

儉約令

三 弾正殿身分之儀に付存念書之写

(三九七)

三 奈木黒田家文書 (一、江戸時代史料)

安政二年

立花彈正。御財用繰弥増御間に付

書冊(包紙入)一冊

四 江戸江呈上之進路之控

安政三年十一月三日

切紙 三通

(三一六)

霞閣播磨・彈正外宛。大坂での銀談一件外

四 齊溥公ヨリ溥整増態江御書御請写

安政三年十一月六日

切紙(包紙入)二通

(三一八)

立花彈正・黒田播磨。大坂銀談、銀会所引替一件之改革、緒方洪庵人柄外

四 齊溥公と溥整増態江之御書御請案

(江戸期)正月二十日

切紙 二通

(三一四)

霞と播磨・彈正宛。石炭三十万斤積廻し

四 安政四巳年御書之御請控

安政四年正月十日

切紙 一通

(三〇七)

立花彈正・黒田播磨。国元財用繰の儀

三 書状

(安政三年九)極月十八日

切紙 一通

(三〇九)

霞と播磨・彈正宛。三〇七と同内容、財用繰一件

三 覚

文久元年四月二十四日

切紙 一通

(三七二九)

臨時入財

三 (仮題)覚

文久元年四月二十四日

巻紙 一通

(二七三六)

藩政、財政

三 栗田徳右衛門訴訟之書付

(江戸期)六月五日

切紙(包紙入)一通

(二二一八)

栗田徳右衛門衣非左助宛。家政不如意に付役替願

来季御米線覚(雛形)

(江戸後期)

切紙 二通

(三三三)

播磨宛書状

(江戸期)正月二十五日

折紙(袋入)二通

(二六七)

書状(牧市内帰便二一筆)

(江戸後期)

切紙 一通

(二七二)

黒田山城と黒田播磨宛。爰元勝手之御人線難題、牧市内迄申遣候件
浦上信濃・黒田山城と黒田播磨・小川讀岐宛。御人線の件、長州鼻負の過激輩の事

充財用線之儀申出候書付

(江戸期)二月二十一日

切紙(包紙入)二通

(二〇三四)

加藤忠左衛門と

覚

(江戸期)

切紙 一通

(七四)

御本丸御溜銭当丙暮相納候分

惣中ノ演舌之大意書取

(江戸後期)四月

切紙(包紙入)一通

(三八三)

御財用線に付

大坂御屋鋪并御米蔵地名書付

(江戸期)

一紙(包紙入)二通

(一〇九七)

大坂御借銀高書付

(江戸期)午九月、七月

折紙(包紙入)二通

(三三二)

火薬御仕組金并遊金御算用帳

(江戸期)

長帳 一冊

(八三〇)

覚

(江戸期)辰四月

切紙 一通

(七七七)

卯冬御取替帳納分

突請金并諸拂帳

(江戸期)

長帳 一冊

(一〇二二)

軍事役

宅勘定所交代目録

(江戸期)

長帳 一冊

(九九六)

六御廻米之儀二付書取

(江戸期)

書綴(包紙入)一綴

(一三一六)

北国筋不作に而

充(仮題)御役人衆預り銀の覚

(江戸中期)辰ノ九月二日

一紙 一通

(二二八四)

御町奉行、御郡奉行、御浦奉行預り分

七覚

(江戸期)西十二月十二日

切紙 三通

(二七三三)

御財用御線合極々六ヶ敷内情

七覚

(江戸期)

切紙 一通

(二六九七)

雛形、切手引揚銭分大凡見込

三二季半所務割合書

(江戸期)閏四月六日

切紙(包紙入)三通

(二六七二)

正太夫と

三申十一月弾正殿書取写

(江戸期)

切紙 一通

(二六八〇)

藩入財書上

歯書状

(江戸期)九月晦日

切紙(包紙入)三通

(二六四四)

五 書状

彈正方播磨宛。大坂における銀談経過報告

(二六四一)

(江戸期)

切紙(包紙入)三通

野村新左衛門・浦上彦兵衛と黒田播磨往返。西御丸炎上に付上納金の件並藩

財政の件

六 御財用御書付

(江戸期)

切紙(袋入)一通

七 覚

(江戸期)

切紙 一通

近來御当用至而御事少ニ奉伺候、その打解策

八 江戸記録留

(江戸期)戊四月

切紙(包紙入)二通

正太夫方受取。兩殿様へ差上ニ相成候江戸御内用金覚

九 江戸記録留 申上候趣意書付

(江戸期)

切紙(包紙入)一通

一統二季半所務御掛ニ而翌一季を半所務トス云々

一〇 相場之儀ニ付井手存寄書

(江戸後期)

切紙(包紙入)二通

借入金にて切手買入

一一 江戸記録留

(江戸期)

巻紙(包紙入)二通

財政難の際役柄お断り外

一二 (仮題)覚

(江戸期)未三月

切紙 二通

御在国年一季惣入切御判帳の諸調手續

一三 欠略ニ付覚書

(二四九二)

三奈木黒田家文書 (一、江戸時代史料)

一四 覚

(江戸期) 暇を出、地方召上、ふち召上外

長綴 一綴

(文化頃カ)

拝借米代銀上納外

一五 覚

(江戸期)申六月

切紙 二通

御城内御蔵并浜御永蔵御蔵之米詰切高之儀

一六 (仮題)覚

(江戸期)

巻紙 一通

右米大豆ニ而全ク江戸御仕送大坂御借銀扱并同所拂地之御入方ニ相成分

一七 書状

(江戸期)

切紙 一通

取縮米銀奥^レ之処堅目録相仕立差出候件

一八 (仮題)覚

(江戸期)

巻紙 一通

本石と現石の關係と家來の采禄の推移

一九 (仮題)美濃守よりの書状

(江戸期)

切紙 一通

国財必死と及指間に付、長崎会所御金之内式十万金拝借被仰付度、返納方ハ

白蠟出候間

二〇 覚

(江戸期)四月

巻紙 二通

御要害御作事奉行。佐嘉堀内蓮御賄方之儀、抱山の事

二一 忠太夫殿出府前裏判^レ差出候書付写

(江戸期)

切紙(包紙入)三通

当季惣御取下銀並御入方外

三 大坂并京都銀主名元

(江戸中(後期))

(二八〇三)

切紙 一通

三 (仮題) 覚

(江戸期)

(二七五五)

切紙 一通

達御聽候件々、財政関係

三 一季御繰合速量目録

(江戸後期)

(二六六九)

切紙 一通

三 大坂表御示談之手続内情

(江戸後期)

(二六五六)

書綴 一綴

三 預銀札

(江戸期)

(四七八六)

八枚

三 覚

(幕末カ)

(四二二七)

巻紙 一通

所務并納米の内訳

三 御領中拙二被仰付二相極候ハ、江戸可被仰下覚

(江戸中期)

(四〇五八)

一紙 一通

足輕増加、検地領中修覆のこと

三 銀預

(江戸期)

(四一三四)

(包紙入)七枚

藩札

三 書状

(江戸期)九月十日

(三三三三)

折紙 一通

黒田源左衛門方菅四郎左衛門・青野太兵衛宛。喜摩・穂波・遠賀・鞍手・宗像郡の内給地米大坂上り二被申付

三 半知所務中心得

(二五三二)

(江戸後期)丑八月

小横帳 一冊

三 間切手取用候儀郡奉行方申出候末詮儀有之融通被仰付之一件

(江戸後期)十二月十日

(二五七八)

家中江御貸渡新銭切手

長帳 一冊

三 増拝借願之義二付従大目付存寄申出候二付加付札及差込候之書付写

(江戸後期)三月

(二二五二)

長帳 一冊

三 書附

(江戸期)戊正月

(四一六六)

切紙(包紙入)一通

三 覚

(江戸期)

(四五四四)

折紙 一通

一文字屋五右衛門・大和屋七郎右衛門外方借銀覚

(2) 三奈木黒田家財政

三 御蔵入銀覚帳

(寛延二年十月)

(七一八)

書冊 一冊

萩本伊右衛門・間九太夫外

三 御蔵入金銀銭覚帳

宝曆十四年四月

(七一七)

書冊 一冊

三 御取替銭控帳

安永三年十二月

(七二二)

書冊 一冊

三 御蔵入金銀銭控帳

安永四年八月

(七七三)

書冊 一冊

三 御取替銀銭控

(七二二)

安永四年九月	書冊	一冊
二〇 御取替銀錢帳	書冊	(七二二)
安永五年正月	書冊	一冊
二一 御取替帳	書冊	(七二〇)
安永六年正月	書冊	一冊
二三 御取替帳	書冊	(七一九)
安永七年正月	書冊	一冊
二三 御取替帳	書冊	(七七五)
安永八年正月	書冊	一冊
二四 御取替帳	書冊	(七二四)
安永九年正月	書冊	一冊
二四 御取替帳	書冊	(七七四)
安永九年正月	書冊	一冊
二五 御取替帳	書冊	(七六九)
安永十年正月	書冊	一冊
二六 御取替帳	書冊	(七七〇)
天明二年正月	書冊	一冊
二七 御取替帳	書冊	(七七二)
天明三年正月	書冊	一冊
二七 御藏入金銀錢控帳	書冊	(七〇五)
天明三年九月	書冊	一冊
二七 御藏入金銀錢帳	書冊	(七〇六)
天明三年九月	書冊	一冊
二六 御取替帳	書冊	(七七二)
天明四年正月	書冊	一冊
二九 御取替帳	書冊	(二〇六四)

天明六年正月	書冊	一冊
三〇 御取替帳	書冊	(二〇六五)
天明七年二月	書冊	一冊
三三 御取替帳	書冊	(二〇六二)
天明八年正月	書冊	一冊
三三 御取替帳	書冊	(二〇六三)
天明九年二月	書冊	一冊
三三 覺	切紙	(七七八)
(江戸期)西十一月二十一日	一通	
寛政元年金銀錢有高寛外		
三三 御藏入金銀帳	書冊	(七九八)
寛政元年十月	書冊	一冊
三五 御藏入金帳	書冊	(七九九)
寛政元年十月	書冊	一冊
三六 御取替帳	書冊	(二〇〇七)
寛政二年正月	書冊	一冊
三七 御取替帳	書冊	(七四六)
寛政三年二月	書冊	一冊
三六 御取替帳	書冊	(七四七)
寛政四年正月	書冊	一冊
三元 御取替帳	書冊	(七四八)
寛政五年正月	書冊	一冊
三〇 御取替帳	書冊	(七四九)
寛政六年正月	書冊	一冊
三三 御取替帳	書冊	(七二七)
寛政七年正月	書冊	一冊

一三 錢御蔵入帳 (七二六)

寛政八年四月 書冊 一冊

一三 金銀御蔵入帳 (七二五)

寛政八年四月 書冊 一冊

一三 金銀御蔵入控帳 (七四二)

寛政九年正月 書冊 一冊

一三 錢御蔵入控帳 (七四三)

寛政九年正月 書冊 一冊

一三 御取替帳 (七四四)

寛政九年正月 書冊 一冊

一三 (仮題) 覚 (七四五)

(江戸期)末四月三日 切紙 一通

現金銀納分引かへ内訳

一三 若殿於美屋様芳様御除錢御蔵入帳 (二〇七二)

寛政九年八月 書冊 一冊

一三 若殿於美屋様芳様御除錢御蔵入帳 (二〇八一)

寛政九年八月 書冊 一冊

一四 金銀御蔵入帳 (七九二)

寛政十年正月 書冊 一冊

一四 錢御蔵入帳 (七三五)

寛政十年正月 書冊 一冊

一四 御取替帳 (七三四)

寛政十年正月 書冊 一冊

一四 御取替帳 (七三三)

寛政十二年正月 書冊 一冊

一四 金銀御蔵入控帳 (七三二)

寛政十二年正月 書冊 一冊

一四 錢御蔵入帳 (二〇八六)

寛政十二年正月 書冊 一冊

一四 金銀御蔵入帳 (七九四)

寛政十三年正月 書冊 一冊

一四 御取替帳 (七九三)

寛政十三年正月 書冊 一冊

一四 錢御蔵入帳 (二〇八五)

寛政十三年正月 書冊 一冊

一四 金銀御蔵入帳 (二〇八四)

享和二年正月 書冊 一冊

一四 御取替帳 (二〇〇九)

享和二年 書冊 一冊

一四 錢御蔵入帳 (二〇六〇)

享和二年正月 書冊 一冊

一四 於芳様御除々銀錢御蔵入帳 (七〇四)

享和三年正月 書冊 一冊

一四 錢御蔵入帳 (二〇六七)

享和三年正月 書冊 一冊

一四 御取替帳 (二〇六六)

享和三年正月 書冊 一冊

一四 金銀御蔵入帳 (二〇六八)

享和三年正月 書冊 一冊

一四 御取替帳 (七三一)

享和四年正月 書冊 一冊

一四 錢御蔵入帳 (七三〇)

一五	金銀御蔵入帳	享和四年正月	書冊	一冊
		享和四年正月	書冊	一冊
一六	錢御蔵入帳	文化二年正月	書冊	一冊
		文化二年正月	書冊	一冊
一七	金銀御蔵入帳	文化二年正月	書冊	一冊
		文化二年正月	書冊	一冊
一八	御取替帳	文化三年正月	書冊	一冊
		文化三年正月	書冊	一冊
一九	金銀御蔵入帳	文化三年正月	書冊	一冊
		文化三年正月	書冊	一冊
二〇	錢御蔵入帳	文化三年正月	書冊	一冊
		文化三年正月	書冊	一冊
二一	金銀御蔵入帳	文化四年正月	書冊	一冊
		文化四年正月	書冊	一冊
二二	御取替帳	文化四年正月	書冊	一冊
		文化四年正月	書冊	一冊
二三	錢御蔵入帳	文化四年正月	書冊	一冊
		文化四年正月	書冊	一冊
二四	金銀御蔵入帳	文化五年正月	書冊	一冊
		文化五年正月	書冊	一冊
二五	御取替帳	文化五年正月	書冊	一冊
		文化五年正月	書冊	一冊

二六	御取替帳	文化五年正月	書冊	一冊
		文化五年正月	書冊	一冊
二七	錢御蔵入帳	文化六年正月	書冊	一冊
		文化六年正月	書冊	一冊
二八	金銀御蔵入帳	文化六年正月	書冊	一冊
		文化六年正月	書冊	一冊
二九	錢御蔵入帳	文化六年正月	書冊	一冊
		文化六年正月	書冊	一冊
三〇	御取替帳	文化七年正月	書冊	一冊
		文化七年正月	書冊	一冊
三一	錢御蔵入帳	文化七年正月	書冊	一冊
		文化七年正月	書冊	一冊
三二	金銀御蔵入帳	文化七年正月	書冊	一冊
		文化七年正月	書冊	一冊
三三	金銀御蔵入帳	文化八年正月	書冊	一冊
		文化八年正月	書冊	一冊
三四	錢御蔵入帳	加藤十五郎、加藤六右衛門外	書冊	一冊
		文化八年正月	書冊	一冊
三五	御取替帳	文化八年正月	書冊	一冊
		文化八年正月	書冊	一冊
三六	錢御蔵入帳	文化九年正月	書冊	一冊
		文化九年正月	書冊	一冊
三七	金銀御蔵入帳	文化九年正月	書冊	一冊
		文化九年正月	書冊	一冊

一八三 金銀御蔵入帳 (二〇六一)

文化十年正月 書冊 一冊

一八三 錢御蔵入帳 (二〇〇四)

文化十年五月 書冊 一冊

一八四 錢御蔵入帳 (七五二)

文化十一年正月 書冊 一冊

一八五 覚 (七五〇)

文化十一年正月 切紙 一通

(文化十二年) 戊二月十四日
錢預り分(七五一の関連史料)

一八六 金銀御蔵入帳 (七五二)

文化十一年正月 書冊 一冊

一八七 御取替帳 (七五三)

文化十一年正月 書冊 一冊

一八八 金銀御蔵入帳 (七五七)

文化十二年正月 書冊 一冊

一八九 錢御蔵入帳 (七五八)

文化十二年正月 書冊 一冊

一九〇 御取替帳 (七五九)

文化十二年正月 書冊 一冊

一九一 金銀御蔵入帳 (七三九)

文化十三年正月 書冊 一冊

一九二 御取替帳 (七四〇)

文化十三年正月 書冊 一冊

一九三 錢御蔵入帳 (七四一)

文化十三年正月 書冊 一冊

一九四 金銀御蔵入帳 (七〇一)

文化十五年正月 書冊 一冊

一九五 錢御蔵入帳 (七〇二)

文化十五年正月 書冊 一冊

一九六 御取替帳 (七〇三)

文化十五年正月 書冊 一冊

一九七 錢御蔵入帳 (二〇〇五)

文政四年正月 書冊 一冊

一九八 金銀御蔵入帳 (二〇〇六)

文政四年正月 書冊 一冊

一九九 金銀御蔵入帳 (七〇七)

文政五年正月 書冊 一冊

二〇〇 錢御蔵入帳 (七〇八)

文政五年 書冊 一冊

二〇一 御取替帳 (七〇九)

文政五年正月 書冊 一冊

二〇二 錢御蔵入帳 (二〇八〇)

文政七年閏八月 書冊 一冊

二〇三 金銀御蔵入帳 (二〇七九)

文政七年閏八月 書冊 一冊

二〇四 御取替帳 (二〇六九)

文政七年閏八月 書冊 一冊

二〇五 神武原御老作米代御蔵入帳 (七一二)

文政十年八月 書冊 一冊

二〇六 金銀御蔵入帳 (七六〇)

文政十年八月 書冊 一冊

二〇七 錢御蔵入帳 (七六一)

三〇六 御取替帳	文政十年八月	書冊	一冊	(七六二)
三〇九 金銀御蔵入帳	文政十年八月	書冊	一冊	(七五四)
三〇〇 錢御蔵入帳	文政十一年五月	書冊	一冊	(七五五)
三〇一 御取替帳	文政十一年五月	書冊	一冊	(七五六)
三〇二 御取替帳	文政十一年五月	書冊	一冊	(七六五)
三〇三 金銀御蔵入帳	文政十三年四月	書冊	一冊	(七六四)
三〇四 錢御蔵入帳	文政十三年四月	書冊	一冊	(七六三)
三〇五 御取替帳	天保三年三月	書冊	一冊	(二〇七八)
三〇六 錢御蔵入帳	天保三年三月	書冊	一冊	(二〇七二)
三〇七 金銀御借入帳	天保三年三月	書冊	一冊	(二〇七〇)
三〇八 郡役所講御掛込分三奈木村上納銀札錢	天保四年十二月	書綴	一綴	(五四一)
三〇九 御拝借銀并巳年分御日勤増米代同年分近郷御老作米代御蔵入帳	天保五年十月	書冊	一冊	(七一一)

三〇〇 金銀御蔵入帳	天保六年閏七月	書冊	一冊	(七六六)
三〇一 錢御蔵入帳	天保六年閏七月	書冊	一冊	(七六七)
三〇二 御取替帳	天保六年閏七月	書冊	一冊	(七六八)
三〇三 御取替帳	天保八年四月	書冊	一冊	(七一四)
三〇四 錢御蔵入帳	天保八年四月	書冊	一冊	(七一三)
三〇五 金銀御蔵入帳	天保八年四月	書冊	一冊	(七一〇)
三〇六 錢御蔵入帳	天保十二年二月	書冊	一冊	(七一五)
三〇七 金銀御蔵入帳	天保十二年二月	書冊	一冊	(七一六)
三〇八 錢御蔵入帳	嘉永元年五月	書冊	一冊	(二〇〇八)
三〇九 金銀蔵入帳	嘉永元年五月	書冊	一冊	(七二八)
三〇〇 金銀御蔵入帳控	嘉永四年四月	書冊	一冊	(七九六)
三〇一 錢御蔵入帳控	嘉永四年四月	書冊	一冊	(七九七)
三〇二 錢御蔵入帳	嘉永四年四月	書冊	一冊	(二〇七六)

三三 金銀御蔵入帳

嘉永四年四月

書冊 一冊 (二〇七四)

三三 長崎仕組銭差引帳

安政三年十二月

長冊 一冊 (二〇一四)

三三 御仕組銭差引帳

安政三年十二月

長冊 一冊 (二〇九二)

三四 金銀御蔵入帳

安政四年十月

書冊 一冊 (二〇七五)

三四 銭御蔵入帳

安政四年十月

書冊 一冊 (二〇〇一)

御勘定所

三五 金銀御蔵入帳

安政四年十月

書冊 一冊 (二〇〇二)

御勘定所

三六 銭御蔵入帳

安政五年十月

書冊 一冊 (二〇八二)

三七 銭御蔵入帳

安政五年十月

書冊 一冊 (七九五)

三八 金銀御蔵入帳

安政五年十月

書冊 一冊 (二〇七七)

三八 金銀御蔵入帳

安政五年十月

書冊 一冊 (二〇〇三)

三九 御軍用金差引帳

文久二年十二月

長帳 一冊 (二〇四六)

三九 御庫仕組御算用目録

文久四年二月

長綴 一綴 (二〇九三)

三九 覚

文久四年二月

長綴 一綴 (二〇五八)

安岡市郎右衛門・青木藤九郎。菊次郎様とてら代、回向科、御泉水塀御普譜
代外

四〇 榎実代下座御除金根帳

慶応元年十月

長帳 一冊 (二〇一五)

四一 御馬方々々金銭預り通

慶応二年十月

長綴 一冊 (九三〇)

御勘定所

四二 1 東長寺納

慶応二年十二月

長帳 一冊 (三三四八)

2 金銭差引控帳

明治三年九月

長帳 一冊 (三三四九)

3 黒田大参事御借財帳

(明治初年)

長帳 一冊 (三三五〇)

四三 金銀銭「」

明治二年

小横帳 一冊 (九三五)

奥ノ算用所、山方受、御台所、武具方外

四四 金銀銭「」

明治二年

小横帳 一冊 (九三六)

四五 一季口入控

明治二年

書冊 一冊 (九七七)

四六 金御蔵入帳

明治二年五月

書冊 一冊 (二〇八三)

四七 金御蔵入帳

(二〇七三)

明治二年五月

二四 年番預金控

書冊 一冊

明治三年十二月

長帳 一冊

二四 兎覚

(明治三年)

切紙 三通

銀預

二五 金錢出入調子

(二〇九一)

明治四年八月二十二日

長帳 一冊

二五 兎覚

(江戸期)

切紙綴 一綴

御勘定所。貸付米覚

二五 御蔵米指引日録

(江戸期)

切紙 一通

二五 兎覚

(江戸期)

切紙 一通

山番給毎米、甚三江被下米之事、吉木除米浜蔵江付出之事同所掛合

二五 證拠

(江戸期)

切紙綴 一綴

籠槽古二付銃手賄方入用米覚

二五 (仮題)覚

(幕末〜明治初期)

長綴 一綴

借入金覚(勘定所預り、エンヒール買上金外)

二五 兎覚

(幕末〜明治初期)

切紙 一通

米銀出入

二五 1 旧藩政中即慶応三年以前御武備御用達金出金仕旧御附属名前証書

三奈木黒田家文書 (一、江戸時代史料)

(江戸期)

2 銀主一切書類

(三三〇六の二)

二五 御借財之覚

(明治四年)未十二月

長帳 四冊

下座仕組金外

二五 兎覚

(明治初年)

一袋

御俸禄券札高仕組金方御当世江当時かり之分

二六 錢預り證文之事

(江戸期)未八月

(四〇〇五)

越後屋藤兵衛外一名ら真野利左衛門外一名宛

二六 1 兎覚

(明治初年)十二月二十六日

切紙(包紙)三通

御齊米覚

2 (仮題)覚

明治三年

(九一五の五)

扶持米覚

3 小隈村拝地未米覚

(江戸期)

(九一五の六)

安岡孫十郎

4 兎覚

(明治初年)

(九一五の七)

下座御附属中人数と一人前五百放の算用

二六 兎覚・証書

(九一二)

(江戸期)

切紙 一括

二六 覚

(江戸期)三月二十三日

切紙 一通

江見紀左安陪正作宛。雇賃その他雑費

二五 覚

(江戸期)十二月二日

切紙 一通

山口屋外庄作宛。金子請取

二四 書状

(明治初年)二月十七日

切紙 一通

加藤樗園方間棋園宛。一美様御借財御道付の為に銀主に立木渡の件

二三 覚

(江戸期)

長綴 一綴

士分式人女中下男等仕事并抱経費御本宅兼勤

二二 御上屋敷御用ニ付錢拂目録

(江戸期)

長綴 一綴

御在住御引越諸人目共ニ

二一 (仮題) 覚

(江戸期)

巻紙(包紙入)二通

家政等三奈木黒田家の心得

二〇 (仮題) 支払覚

(江戸期)

長綴 一綴

提灯・茶弁当外

一九 覚

(江戸期)未三月

切紙 一通

真崎正雄方間棋園・加藤樗園宛。洪水流木代、切夫銭外

一八 (仮題) 金錢覚

(四二〇四)

(江戸期)三月七日

切紙 一通

一七 覚

(江戸期)

切紙 一通

地方徳高調子之儀、知行所年貢の件

一六 (仮題) 覚

(江戸期)

巻紙 一通

家臣への心得達(三奈木黒田家)

一五 家督後留守居共江達置書付

(江戸期)

切紙(包紙入)一通

家政政の件

一四 1 丑年御取留高

(慶応元年)

長綴 一綴

三奈木黒田家の家政

2 巳季御積り

(明治二年)

長綴 一綴

3 記

(明治初年)

一紙 一通

文久と明治三年までの借金覚

4 借財高

(明治初年)

長綴 一綴

黒田大参事、一九六五八兩

5 借財高

(明治初年)

長綴 一綴

一九二四五兩

一三 書状

(明治初年)十一月

切紙 一通

井上善八宛。秩禄平均に相成十ヶ一の所務被仰付

二七 證文之事

明治二年十二月

(二三七三) 一紙 一通

高橋古十郎・佐伯市次郎・東長寺御納所宛。御預ケ金請取申候云々

二七 蒿納御通

(明治三年)

(九〇四) 小横帳 一冊

向野与市郎・御馬屋御役所宛。播磨様御用

二八 御肴代御賽銭御算用帳

(明治三年)

(九二二) 長帳 一冊

下村六弥

二九 飼葉御通

明治三年七月

(九〇三) 小横帳 一冊

向野村勘右衛門

三〇 善治様御用乾物野菜御通

明治三年九月

(八九八) 長帳 一冊

三一 酒御通

明治三年九月

(九〇五) 小横帳 一冊

福岡大工町古和多屋徳三郎

三二 御肴御通

明治三年九月

(八九九) 長帳 一冊

八百屋清三郎

三三 御用味噌御通

明治三年九月

(九〇一) 長帳 一冊

福岡上名嶋町麴屋五平

三四 酒御通

(明治三年)九月

(九〇二) 小横帳 一冊

三奈木黒田家文書 (一、江戸時代史料)

山家屋吉蔵

二七 酒御通

(明治三年)九月

(九〇〇) 長綴 一綴

成巳屋卯作・取締御役所宛。奥御用

二八 御帰郷前後諸御算用帳

明治三年十月

(一〇四七) 長綴 一綴

藤井傳・小西保平

二九 覚

(明治三年)午十二月四日

(四四三三) 切紙 一通

加藤樽園銀預精算

三〇 萬帳

明治四年

(九三七) 小横帳 一冊

金銭入覚

三一 御蔵米并雜穀拂控

明治四年九月

(六五七) 長帳 一冊

三二 御蔵米并雜穀入帳

明治四年八月二十七日

(九九五) 長帳 一冊

三三 一美公御隠宅御普請御算用帳

明治四年十月

(五五三) 書冊 一冊

田中園生

三四 覚

(明治初期)

(九二二の二) 切紙 一通

諸算用宛

三五 覚

(明治初年)十月

(九二二の九) 切紙 一通

篠原村樹・塗物・椀代之事

三六 覚

(明治初年)

(九二二の七) 切紙 一通

御隠老算用

三六 (仮題) 請取

(明治初年)

(四一七二) 切紙綴 一綴

酒代外

三六 (仮題) 寄附覚

(明治初年)

(四一四八) 切紙 一通

三六 在住家作料覚

(明治初年) 二月四日

(四一四五) 切紙 一通

三〇 証拠

(明治初年) 正月廿二日

(四二二二) 切紙 一通

人力車代銀預

三〇 静眠老江算用之分

(江戸期) 四月二十七日

(九一一の八) 切紙 二通

加藤棋園

三〇 御備金根帳

(明治初年)

(六三九九) 長帳 一冊

金四千両余の内訳

三〇 金銀請拂控

(明治初年)

(二〇五五) 長綴 一綴

三〇 覚

(明治四、五年頃)

(九一一の三三) 一通

諸算用

三〇 白石徳磨春日行御算用目録

(明治初年)

(九二二の二二) 切紙 二通

三六 梅津氏御助勢請取

(明治初年) 三月十日

(九二二の七) 切紙 一通

小林信太郎。金札受取

三〇 覚

(明治初年)

(九二二の五) 長綴 一綴

日用品代勘定

三〇 御法事其外諸拂目録

(明治初年)

(九二二の四) 長綴 一綴

三〇 覚

(明治初年)

(九二二の三) 長綴 一綴

山口屋甚五郎分。日用品代請取

三〇 (仮題) 諸覚

(明治初年)

(四二二二) 折紙 一通

三二 覚

(明治初年)

(四四三五) 切紙綴 一綴

樽園。支払

三三 (仮題) 給知米二関スル書付

(明治初年)

(五二六) 書綴 一綴

食禄削取被仰付ひ者に付

三三 (御銀主江左之通被下) 覚

(明治初年)

(二二七二) 長綴 一綴

茶碗、硯、盆、掛軸外

8 黒田家臣・又家来

(1) 知行宛行・俸禄

A 三奈木黒田家

一代々賜御判物一軸

(江戸期)

卷子(袋入)一卷

1 知行宛行状

(七の一)

慶長七年十二月二十三日

一通

長政(黒印)と黒田三左衛門尉宛

2 知行目録

(七の二)

慶長十七年正月二十七日

一通

長政(朱印)と黒田美作守宛

3 代官目録

(七の三)

慶長十三年二月二十九日

一通

長政(黒印)と黒田美作守宛

4 勘解由知行之内ニ相渡其方領知分易地遺事

(七の四)

元和九年九月朔日

一通

忠之と黒田美作守宛

5 三笠郡古賀村替地之事

(七の五)

寛永九年四月十四日

一通

忠之(黒印)と黒田美作守宛

6 知行宛行状

(七の六)

寛永八年八月十二日

一通

忠之(花押)と黒田三左衛門宛

7 知行目録

(七の七)

寛永八年八月十二日

一通

忠之(黒印)と黒田三左衛門宛

三奈木黒田家文書 (一、江戸時代史料)

8 知行宛行状

(七の八)

寛永二十年五月朔日

一通

忠之(花押)と黒田三左衛門宛

9 知行目録

(七の九)

寛永二十年五月朔日

一通

(忠之(黒印)と黒田三左衛門宛

10 知行宛行状

(七の一〇)

明暦二年三月二十三日

一通

光之と黒田三左衛門宛。加増

11 加増目録

(七の一)

明暦二年三月二十三日

一通

光之(黒印)と黒田三左衛門宛

12 知行宛行状

(七の一二)

萬治二年二月晦日

一通

光之と黒田吉介宛

13 知行宛行状

(七の一三)

寛文十二年九月十五日

一通

光之と黒田源左衛門宛

14 (知行)目録

(七の一四)

寛文十二年九月十五日

一通

(光之(黒印)と黒田源左衛門宛

15 知行宛行状

(七の一五)

延宝五年十二月十一日

一通

光之と黒田三左衛門宛

16 加増知目録

(七の一六)

延宝五年十二月十一日

一通

(光之黒印)と黒田三左衛門宛

17 為扶助知行宛行状

貞享三年三月十一日

光之と黒田源左衛門宛

(七の一七)

一通

18 (知行) 目録

貞享三年三月十一日

(光之黒印)と黒田源左衛門宛

(七の一八)

一通

19 知行宛行状

元禄十五年三月七日

綱政と黒田源左衛門宛

(七の一九)

一通

20 (知行) 目録

元禄十五年三月七日

(綱政黒印)と黒田源左衛門宛

(七の二〇)

一通

二 天正文禄知行書付(写)

(江戸期)

孝高と一成宛。長政と黒田三左衛門尉宛

巻紙

(一四四)

一通

三 天正十六年初而一成公江賜知行以廉書(写)

(江戸期)

四 御知行追々御拝領御目録

七月二日

慶長七と元禄十五年分

巻紙

(二七四八)

一通

五 覚

(江戸期)

天正十八年と元禄年間知行覚、屋敷覚(三奈木黒田家知行分外)

切紙

(二四五三)

六通

六 知行目録(写)

慶長七年と元禄十五年

長帳

(八一二)

一冊

黒田三左衛門

七 1 照公賜ル部屋領御判物并御目録

享保十七年六月二十一日

継高(花押)と黒田源左衛門宛。知行目録は黒印のみ

(八の三)

(各包紙入一紙一通・折紙一通

2 利公賜隠居領御判物并御目録

宝曆四年

継高(花押)と黒田三左衛門宛。知行目録は黒印のみ

(八の四)

(各包紙入折紙一通・一紙一通

3 誠公賜隠居領御判物并御目録

享保十九年五月廿八日

継高(花押)と黒田美作宛。知行目録は黒印のみ

(八の五)

(各包紙入折紙一通・一紙一通

八 一 照様御知行村々田畑高并御物成米大豆帳

享保十七年

(八〇五)

書冊 一冊

九 知行宛行状

寛政八年九月三日

黒田源左衛門宛

(三六一の六)

折紙(包紙入)二通

一〇 知行目録

寛政八年九月三日

黒田源左衛門宛

(三六一の二)

一紙 一通

二 知行宛行状

文政七年三月十五日

齊清と黒田源左衛門宛

(三六一の一)

折紙(包紙入)二通

三 知行目録

文政七年三月十五日

黒田源左衛門宛

(三六一の一)

一紙(箱入)一通

三 御拝知高目録并御拝知役高證拠之事

文政七年九月朔日

(三六一の七)

一紙(包紙入)二通

黒田源左衛門宛

一四 知行目録

天保九年正月十九日

一紙(包紙入一通) (四九三五)

黒田源左衛門宛

一五 御拝知高目録并役高證拠

天保九年正月十九日

一紙(包紙入二通) (四九三三)

黒田三左衛門宛

一六 扶助地宛行状

天保九年正月十九日

折紙(包紙入一通) (四九二八)

齊溥^と黒田三左衛門宛

一七 一整様御拝知御定大豆村割御證拠

天保九年十一月

一紙(包紙入一通) (四九二六)

岡部寛十郎・神代与三郎兵衛外^と黒田三左衛門宛

一八 扶助地宛行状

嘉永五年九月五日

折紙(包紙入一通) (四九三一)

齊溥(花押)^と黒田三左衛門宛

一九 知行目録

嘉永五年九月十五日

一紙(包紙入一通) (四九三七)

黒田三左衛門宛

二〇 御拝知高目録并役高證拠

慶応二年二月十九日

一紙(包紙入二通) (四九三二)

黒田三左衛門宛

二一 扶助地宛行状

慶応二年二月十九日

折紙(包紙入一通) (四九三四)

齊溥(花押)^と黒田三左衛門宛

二三 知行目録

三奈木黒田家文書 (一、江戸時代史料)

慶応二年二月十九日

三一 知行目録

慶応四年二月二十八日

一紙(包紙入一通) (三六一一の三)

黒田播磨宛

2 知行宛行状

慶応四年二月二十八日

一紙(包紙入一通) (三六一一の四)

長溥(花押)^と黒田播磨宛

三二 知行行田畠高目録

(江戸後期)

折紙(包紙入一通) (二六六三)

三奈木黒田家

三三 知行行田畠高目録

(江戸後期)

小横帳 一冊 (二六六二)

三奈木黒田家

三六 (仮題)覚

(明治元年)

長綴 一綴 (四八四〇)

播磨宛。一作田地十六町余給与さる

三七 御知行所高

明治二年

切紙 一通 (八〇四)

播磨知行高内訳

三九 書簡

(明治二年)五月

書冊 一冊 (四八三二)

黒田一葦・黒田醒翁^と。扶助米返上致度

四〇 (仮題)願書

(明治初年)三月

切紙 一通 (四八四六)

黒田一葦。知行皆返之儀願

三 (仮題) 知行之義に付存寄書

(明治初年)十一月

(二二三四) 長綴 一綴

三 近江殿に被仰渡并御達書写

(明治初年)

(四八二七) (包紙入) 二通

播摩・一葦宛。隠居料の事

B その他

三 扶助宛行状(写)

(寛政元年六月二十三日)

(四九二九) 切紙(包紙入)一通

忠之に神屋宗湛宛

三 目録(写)

(寛永十三年十一月九日)

(四〇一八) 切紙 一通

忠之に宮田忠右衛門宛。知行宛行

三 扶助料宛行状

寛永十六年三月十九日

(三五九六) 折紙 一通

一成に木原策庵宛

三 寛文拾三年分野口庄兵衛知行米之内請取申事

(寛文十三年)九月十四日

(二一九五) 一紙(包紙入)一通

野口彦之助に国友惣左衛門宛

三 山脇六右衛門書付

(延宝頃)辰五月十四日

(二七五七) 一紙(包紙入)一通

取次飯田角兵衛宛。忤扶持方甥に分与願

三 御弓之走廿人へ弓道具料被下書付

延宝二年五月晦日

(二二一六) 一紙(包紙入)二通

付、鉄砲稽古之玉葉代銀之覺

三 團源五郎訴状

(二二〇六)

(延宝カ)十月十三日

一紙(包紙入)一通

團源五郎に肥塚次郎兵衛宛。知行返上願

三 知行宛行状写

貞享二年八月

(六〇〇) 切紙 一通

光之に香西庄左衛門宛。表粕屋郡志免村、裏粕屋郡原上村、宗像郡稻本村高

三百石

三 知行割御定書

宝永五年閏正月十一日

(二七二四) 書冊 一冊

正太夫外に御郡奉行柳瀬与兵衛・御勘定奉行母里正左衛門外宛

三 御郡奉行勘定奉行江相渡覚書

宝永五年閏正月十一日

(五一) 切紙 一通

正太夫外六名に柳瀬与兵衛外三名宛。給地三不被仰付に付々

三 知行割免合定

安永八年七月

(四二七五) 切紙(包紙入)一通

三 御家中役目甲乙之書付

(江戸中期)丑十月二十二日

(五九四) 一紙(包紙入)一通

家中役高

三 四覚

(江戸期)

(八七七) 長帳 一冊

扶持書上

三 四覚

(江戸期)

(二四四〇) 切紙 一通

宮崎市右衛門に源左衛門宛。宮井七郎左衛門家知行高の事

三 四覚書

(江戸期)八月十三日

(二二三七) 紙(包紙入)一通

黒田吉右衛門に月瀬宅兵衛宛。沢辺左左衛門御扶持差上ケ申度よし吉衛門

方之訴状

四 口上覚

(江戸後期)十一月

切紙 一通

(一八四二)

立花可亭方郡金右衛門・水野市太郎・杉山文左衛門宛。扶持米返上

(2) 相続・隠居

四 母里五郎左衛門養子望之書付

(延宝之)五月二十八日

紙 一通

(二二二二)

加藤三郎左衛門方

四 佐伯弥左衛門養子之書付

(延宝之)七月十九日

紙(包紙入)一通

(二二二六)

小川権左衛門・毛利長右衛門宛

五 達

宝曆十一年二月十一日

切紙 一通

(四〇五一)

無礼跡抱実子之事

五 御用召二而御月番彦左衛門殿方被仰付之覚

安永三年六月十四日

切紙 一通

(二〇一五)

小金丸之之進。看坊被仰付遺跡無相違被下御納戸組被指加

五 差出し願書之覚

寛政六年八月二十四日

切紙 一通

(二〇三九)

三宅太左衛門方小河平右衛門外二名宛。忤に家督讓渡許可願

五 御用召二而御月番数馬殿被仰付之覚

寛政六年九月二十四日

切紙 一通

(二〇〇二)

三宅太左衛門忤源六家督の事

五 三左衛門養子願差出し節取調子願書類案文

文化八年十一月

切紙(包紙入)五通

(二〇五六)

五 隠居家督之先例書抜

(文化十年の例)

切紙 一通

(二〇三三)

六郎太夫退身願之節為見合手元覚書之内方権左衛門二仰付振之書抜

五 実子養子願之儀二付嶋村宇八方相参り書付

文化十一年

切紙(包紙入)一通

(一一九)

五 嫡子改名之節心得方

文化十一年霜月調

切紙(包紙入)四通

(二五〇二)

五 養子願之通被仰付旨之御意書

文化十二年霜月十五日

切紙(包紙入)一通

(三六五六)

美作宛

五 元八郎儀二付内匠殿より三郎左衛門を以申入有之趣意書取

文政七年九月四日

切紙(包紙入)二通

(二二二六)

相続養子に所望被致度

六 書状

文政十一年

切紙 四通

(三七九八)

外記、作三郎を養子に

六 半之丞儀相続二願之通蒙仰被仰付書

天保九年正月十五日

切紙(包紙入)二通

(二八四六)

加藤半之丞・忤三太郎宛。外二半之丞三太郎江之被仰付書一通

六 丹安右衛門江之御手紙控

(江戸期)

折紙(包紙入)一通

(二〇三三)

吉衛門隠居半大夫へ家督被仰付

六 口上之覚書

(江戸期)九月二十一日

一紙(包紙入)一通

(二二一六)

垂井五郎左衛門方田代勝右衛門・磯与三左衛門宛。正岡喜左衛門娘養子件

六 口上之覚

文化八年十一月

切紙(包紙入)五通

(二二〇八)

(江戸期)八月二十五日 一紙(包紙入)一通

垂井五郎左衛門と田代勝右衛門宛。桑井武兵衛養子の件

空 (仮題) 養子願 (江戸期)八月二十日 一紙 一通 (二五三四)

貝原久兵衛と立花勘左衛門宛

空 (仮題) 覚 (江戸期)九月九日 切紙 一通 (三七七二)

弟を兄の養子にするに付ての心得

空 (仮題) 覚 (江戸期)十月十日 紙 一通 (三六五八)

志賀宅右衛門と井手勘右衛門宛。養子願

空 覚 (享保) 明和五年 巻紙 一通 (四三二六)

貝原百大夫・平野嘉兵衛外の養子縁組願例

空 覚 (江戸期)四月六日 一紙 一通 (四〇一三)

吉田与三之助・川下源十郎分、家督相続願

空 奉願口上之覚 (江戸期) 切紙(包紙入)三通 (四〇三二)

養子願

空 書状 (江戸期)極月十七日 折紙 一通 (二九七二)

立花勘左衛門と黒田三左衛門宛。加藤左近衛門末子ヲ筑後大百姓養子聲ニ

遣す件 (江戸期)七月二十一日 一紙(包紙入)一通 (二一九四)

三 秋月時枝理衛門姪岡源七へ縁組之書付

(江戸期)七月二十一日 一紙(包紙入)一通 (二一九四)

時枝利右衛門と磯上三左衛門宛

三 (仮題) 隠居并死亡名元覚 (江戸期) 切紙(包紙入)三通 (三七四八)

空 (仮題) 願 (江戸期) 切紙 一通 (三七五八)

六大夫宛。退隠願聞届

空 (仮題) 家督相続願控 (江戸期)五月十九日 切紙(包紙入)一通 (四一八四)

黒田美作と郡正太夫外五名宛

空 (仮題) 美作病中ニ而加藤甚太夫家督相続願 (江戸期) 切紙 一通 (四三七三)

福岡藩庁。一雄家督相続に付士族ニ指加ヘラル

空 (仮題) 達 (明治四年)辛未五月 切紙 一通 (四八二八)

文化四年

空 覚 (3) 履歴・由緒 (二四八の八) 切紙 一通

三宅太三右衛門。職歴

空 加藤六右衛門江渡辺九八郎と指遣ひ書付 (江戸期) 切紙(包紙入)三通 (三二一〇)

履歴外

空 (仮題) 覚 (文化四十年) 切紙(包紙入)一通 (二九二一)

加藤忠兵衛履歴

空 宮川利左衛門ヲ以二川幸之進江相頼書調来分 (江戸期) 切紙(包紙入)一通 (三七一八)

(江戸期) 切紙(包紙入)一通 (三七一八)

(江戸期) 切紙(包紙入)一通 (三七一八)

天保四年十二月

忠臣の跡を尋ぬるに云々

書冊 一冊

三三 三太郎方と続柄之儀ニ付書付

(三八四九)

天保九年六月四年

切紙(包紙入)一通

三三 寶林院様御由緒

(三九四)

安政二年

小横帳 一冊

四 法號

(二九〇)

(江戸期)

切紙(包紙入)二枚

小河内藏之允。栗山備後女・小河久太夫政良室法号

五 秘書

(二八九)

(江戸期) 戊十二月

巻紙(包紙入)一通

平田文平家祖云々

六 覚

(三八七)

(江戸後期)

巻紙 一通

大庭・江藤・江上外先祖覚(三奈木黒田家家臣)

七 毛屋家明細書写

(一〇三八)

寛政六年十一月外

切紙(包紙入)八通

毛屋宮之丞由緒

八 覚

(二二三八)

(江戸後期)

長綴 一綴

家臣由緒

九 柳川牢人中村勘介と申者柳川にて被召仕候様子之事

(二二一八)

(江戸期) 極月六日

折紙 三通

榎橋源三郎方田代勝右衛門宛。付、野村庄五郎・大音彦左衛門外家臣書上

一〇 (仮題) 覚

(二七七〇)

(江戸期)

切紙 一通

足輕半田六三郎、学問所指南池田佐大夫先祖の事

九 覚

(江戸期)

(二七〇二)

紙 一通

永井八郎左衛門先祖之事、中村大左衛門跡町奉行の事外

一〇 豊嶋何左衛門先祖被召出い覚

(江戸期) 寅正月

(二六七三)

巻紙 一通

豊嶋何左衛門方加藤勘太夫宛。由緒、系図

一一 (仮題) 小川流進老その他隠居之節得物覚

(江戸期)

(二五七七)

巻紙 一通

一二 石原泊家統書取調子覚

(江戸後期)

(二五六七)

切紙(包紙入)一通

一三 竹森貞右衛門統柄之處取調子

(江戸期) 辰六月二十一日

(二五二七)

切紙(包紙入)一通

一四 (仮題) 木原策庵由緒覚

(江戸期)

(二五〇二)

長綴(包紙入)一綴

一五 雑加跡目覚書

(江戸期) 十月五日

(二四〇五)

一紙(包紙入)一通

西川善兵衛外一名月瀬十郎兵衛宛。雑加三郎助跡之儀

一六 岡村八右衛門兄之書付

(江戸期) 十月二十四日

(二二一五)

一紙(包紙入)三通

立花小左衛門宛。秦重博の事

一七 覚

(江戸期) 正月

(三九四三)

切紙(包紙入)一通

河村暁山先祖由来

一八 栗山備後殿御法号

(寛永八年八月十四日逝)

(三八八七)

切紙(包紙入)一通

一〇二 1 (仮題) 櫛橋久左衛門御組内の御先格御旧格覚

(江戸期)

(三七六六の二)
切紙 一通

2 (仮題) 大野忠右衛門相組内の御先格御旧格覚

(江戸期)

(三七六六の二)
巻紙 一通

3 (仮題) 竹田九郎大夫相組内の御先格御旧格覚

(江戸期)

(三七六六の三)
巻紙 一通

4 (仮題) 山内助左衛門相組内の御先格御旧格覚

(江戸期)

(三七六六の四)
切紙 一通

5 (仮題) 服部甚作外覚

(江戸期)

(三七六六の五)
巻紙 一通

一〇三 (仮題) 郡正太夫先祖覚

(江戸期)

(三七三七)
切紙 一通

一〇四 (仮題) 河村五左衛門悴覚

(江戸期)

(三八三六)
書綴 一綴

一〇五 覚

(江戸期) 十月廿七日

(三六四九)
切紙 一通

窪田孫次郎姉婿時枝長大夫外。桐山喜兵衛後室明石の事

一〇六 覚

(江戸期)

(三六五〇)
折紙 一通

扶持高并役付覚。三六四九と一括

一〇七 東条久大夫口上覚

(延宝カ) 閏四月二十九日

(二二八一)
巻紙(包紙入)一通

田代勝右衛門と黒田源左衛門宛。久大夫身上

一〇七 覚

(江戸後期)

(二〇三四)
巻紙 一通

櫛橋又左衛門組明石善左衛門外。先格旧格の調査の事

一〇八 松下之先祖覚書

(江戸期) 五月四日

(一九六九)
折紙(包紙入)一通

一〇九 高田氏略系

(明治九年) 丙子七月二十八日書

(四四六七)
書冊(包紙入)一冊

牛尾辰之丞

一一〇 粕谷対馬守家系図(一部)

(江戸期)

(四〇三八)
一紙 一通

一一一 (仮題) 覚

(江戸期)

(四〇六九)
切紙 一通

元の功臣耶律焚村のいわく云々

一一二 (仮題) 某人役付覚

(天保カ) 安政

(四三八八)
切紙 一通

一一三 (仮題) 黒田長政忠之并家臣の武功覚

(江戸期)

(四七一六)
巻紙 一通

一一四 加藤重徳事実

(江戸期)

(二五九五)
書冊 一冊

一一五 戸石合戦議論再答

(江戸期)

(一四三三)
巻紙 一通

一一六 継高公御入国之節御礼式等経儀ニ付申伸書付

(江戸期)

(一四四九)
切紙(包紙入)三通

一一七 慶船録

戸石合戦議論

(四四一一)
書冊 一冊

慶長十四年肥前国長崎ニテ有馬修理殿黒船乗取被申節被召連ハ近習鬼塚伊

兵衛直説

(4) 称誉・拝領

二六 御家老中江御腰物類御鞍鎧等被下り廉々

(二六二八)

明和七年(文化八年)

長綴 一綴

二九 覚

安永七年三月十九日

切紙 一通

黒田三左衛門遺物四品に関する由緒

三〇 (仮題) 拝領物覚

安永七年、寛政六年

切紙 三通

美作外

三一 火通御用等相勤い内ニ御賞詞申渡方之儀ニ付遂詮議い旧記書拔二通

(一一一)

(寛政四年八月)文化十一年四月

(包紙入)小横綴一綴・折紙一通

石火矢火通、月見矢倉普請、新製鎧外御用懸

三三 (仮題) 覚

寛政五年十二月七日

切紙 一通

扶持米加増、刀・羽織等拝領覚

三三 (仮題) 覚

寛政六年二月六日

切紙 一通

御懸物下賜覚

三四 拝領被仰付い節之御意書

文化八年十二月二十九日

切紙(包紙入)一通

美作宛

三五 御蒲穂子頂戴之日割御手続書并拔書

文化八年

巻紙 二通

三六 御財用方年番今季直ニ請持被仰付いニ付御羽織拝領被仰付い御意書

三奈木黒田家文書 (一、江戸時代史料)

文化九年八月二日

切紙(包紙入)二通

三七 御掛物一幅拝領被仰付い御意書

文化十年八月二日

折紙(包紙入)一通

郡浦請持中出精致太儀い御欠略御仕法相立御家中御救も相立郡浦追々相居

合い宰判行届いと被思召い由

三八 御前年来之勤勞を被賞蒙御意御馬拝領其外以来日々之出仕等御免被成

い節之書状

文政四年八月二日

切紙(包紙入)四通

月番内記宛

三九 韶翁様を拝領物被下りニ付御請相認書状

天保四年五月九日

切紙(包紙入)一通

黒田播磨清定を韶翁侍者宛

四〇 同席中追々被賞之先例

(宝曆二(天保十年))

長帳 一冊

四一 御殿被留守居御呼出被賞

安政二年十二月二十八日

切紙(包紙入)六通

四二 被仰渡書写

(江戸期)

切紙(包紙入)一通

播磨宛。御財用筋を初諸事御改正之御用向弾正江御委任の処其方儀別而心

配太儀いたし付御差料御道具被下

四三 (仮題) 覚

(江戸期)

長綴(包紙入)一通

加藤三左衛門。正月召出於御前御称号被下り覚

四四 (仮題) 覚

(江戸期)

長綴 一綴

拝領の節の手数覚

二三 (仮題) 褒賞覚 (二〇四九)

(江戸後期) 巻紙 一通

準人・治左衛門外宛

三七 奥奉行衆訴訟之書付 (二二三八)

(江戸期) 寅六月十一日 一紙(包紙入)三通

吉富茂右衛門外方花房次左衛門・衣非左助宛。役儀相勤之棟梁への褒美願

三三 (仮題) 拝領目録 (四八六六)

(江戸期) 切紙 一通

短刀一腰

三三 美作殿結構被仰付以付以来御同人不時御館出方ヲ初御慶事ニ付御祝儀

申上其外御機嫌同等之廉々 (二七六三)

(江戸期) 巻紙 二通

三四 (仮題) 拝領覚 (二七九五)

(江戸期) 切紙 一通

三四 目録 (三七八五)

(江戸期) 切紙(包紙入)一通

山本八郎左衛門外宛。拝領目録

三四 (仮題) 覚 (二〇三八)

(江戸後期) 切紙 一通

御三所物・御懸物・御殿斗目拝領覚

三四 (仮題) 褒賞 (四八二〇)

明治三年六月 巻紙 一通

黒田一葦宛。勤王之志厚為云々

三四 (仮題) 褒賞 (四八二一)

(明治初期)

黒田一葦宛。在職中職務勉勵により云々

(5) 諸 願

一四 (仮題) 家普請願 (二二三一)

延宝二年六月二十一日 一紙(包紙入)三通

長野正三郎方毛利長右衛門・小川権左衛門宛。付、池田惣大夫外三名方原

左大夫外宛願 (二二八六)

一四 郡兵衛門荒之ゆへ入湯之訴状 (二二八六)

(江戸期) 六月二十五日 一紙(包紙入)一通

沢木七郎兵衛方

一四 申上以覚 (二七五〇)

(江戸期) 九月十八日 一紙 一通

根本金大夫方。小倉方転入願

一四 (仮題) 覚 (四四五三)

(江戸期) 切紙 一通

占部忠大夫より摂州有馬入湯願の儀、模様次第伊勢参宮も仕度間

一四 (仮題) 覚 (四四五二)

(江戸期) 切紙 一通

大音彦大夫婚礼の事

一四 覚 (四四〇四)

(江戸期) 十月十日 一紙 一通

中村安左衛門方毛利長兵衛宛。領外転出願

一四 口上之覚 (二二九八)

(江戸期) 七月十七日 一紙(包紙入)一通

大田仁左衛門・小野弥三衛門方田代勝右衛門・磯与三左衛門宛。小野弥三左

巻紙 一通

衛門娘田中八大夫ニ縁組仕度

一五 弓や正介、同九郎衛門理り書

延宝二年八月三十日・九月二日

一紙(包紙入)二通 (二二二)

長浜四郎右衛門宛。長崎罷越すき角調之儀

一五 (仮題) 願

(延宝期カ) 十月十日

一紙 一通 (三六四五)

尾上文大夫と肥塚次郎兵衛宛。引越

一五 (仮題) 願

(延宝期カ) 已七月二十一日

一紙 一通 (三六四六)

山部傳十郎と榎橋仁左衛門宛。養子縁組

一五 原左大夫悻縁組之書付

(延宝期カ) 卯月二十三日

一紙(包紙入)一通 (二二二四)

杉山儀左衛門と花房次左衛門・衣非左助宛

一五 書置

享保四年卯月十七日

一紙(包紙入)一通 (二五〇七)

浅山一閑と美作宛。悻、孫どもニ至迄御見捨被下間敷

一五 縁組願之儀ニ付取調子書

寛政二年十二月十日外

切紙(包紙入)二通 (三七六〇)

数馬と。付、取調子書(文化四年十二月十八日、齊藤甚右衛門・月成茂左衛門宛)

一五 (仮題) 覚

文政元年七月〜八月

長綴 一綴 (四〇四一)

任用覚

一五 (仮題) 立花勘左衛門家婚儀願一件

1 勘左衛門方出会日限覚

文政五年

(二六八三一の二)

文政五年

切紙 三通

付、手元願、勘左衛門方願、願之通被仰付

2 勘左衛門殿一族名元

文政五年

二紙 一通 (二六八三の二)

3 立花家系図

文政五年

二紙 一通 (二六八三の三)

4 (仮題) 書状

(江戸期)

切紙 一〇通 (二六八三の四)

勘左衛門拙者三女所望之儀

一六 (仮題) 覚

文政七年正月晦日

巻紙 一通 (二八六三)

黒田美作。敬事被指返以義(破談の件)

一六 敬縁組之儀ニ付黒田惣左衛門実家明石家月成家継荒々調子書并津田家

之分添

文政十年

切紙(包紙入)二通 (二八四〇)

一六 願之通被仰付以御意書

天保九年

切紙(包紙入)一通 (二八四五)

播磨宛。悻半之丞三左衛門と改名願

一六 (仮題) 願書

(江戸期) 九月十三日

一紙 一通 (二二二二)

守田甚助と榎橋仁左衛門・根来角大夫宛。御伊勢様へ一こし差上参宮之諸願

ヲ仕上度

一六 岡本兵左衛門組御組御鉄砲小頭林孫八郎と申者兄祇園参致候覚書

(江戸期) 六月十一日

一紙(包紙入)一紙 (二二二五)

岡本兵左衛門と榎橋七兵衛宛。兄三人を拙者と林孫八家と呼越申度

一六 不快引入之節使者或者一族ヲ以申上

文政五年

二紙(包紙入)一紙 (二六六七)

一六 書状

(江戸期)

巻紙 一通

弘化四年五月十九日

(二五七九の一・三)

播磨勘左衛門宛。郡安之丞妹暇乞に付

切紙 一通

一七 書状

弘化四年五月十九日

(二五七九の二)

立(花)勘左衛門宛。兼而頼置い一件の礼

切紙 一通

一六 覚

(江戸期)九月八日

(二五七二)

蒔田源右衛門組戸田半七妹転入届

一紙 一通

一六 御台所衆願書付

(江戸期)十月十九日

(二四二七)

林又右衛門・櫛橋久右衛門宛。落松葉請之覚

一紙(包紙入)三通

一七 御直宰ニ相成い得者唯今之上ニ相増い廉々相約い下書

(江戸期)

(二三七六)

家臣よりの願

(包紙入)切紙二通・巻紙一通

一七 (仮題)覚

(江戸期)

(四四四八)

丹三郎左衛門伊勢参宮の事

切紙 一通

一七 覚

(江戸後期)二月

(一八一七)

平左衛門家焼失後家作一件ニ付申出之控。先ツ屋敷等ニ及間鋪と相極

切紙 一通

一七 郡九郎右衛門口上覚

(江戸期)五月六日

(三五五〇)

源左衛門宛。願出一件(子細不明)

長綴(包紙入)一綴

一七 覚

(三三八二)

一七 覚

(江戸期)

折紙(包紙入)一通

一七 覚

(江戸期)

(二六四八)

婚礼取極

巻紙 一通

一七 (仮題)住居替差図

(江戸期)

(二八八)

梓縁談所望の儀断り

(包紙入)一紙三通・一枚

一七 熊沢八郎左衛門悻奉公望之書付

(江戸中期)五月九日

(二二〇七)

嘉右衛門も出い分喜太夫手元も二疊仕調之積書

一紙(包紙入)一通

一七 願書

(江戸中期)十月二十四日

(三六四四)

足立与次兵衛も櫛橋仁左衛門宛。悻勤方依頼

一紙 一通

一七 口上之覚書

(江戸中期)九月五日

(一一二二)

江崎平兵衛も田代勝右衛門宛。悻奉公願

一紙(包紙入)一通

一八 1月瀬十兵衛書状

(江戸期)十月朔日

(二五八四の一)

三左衛門宛。高木作右衛門悻登用の件

折紙(包紙入)一通

2 書状

(江戸期)十月十一日

(二五八四の二)

高木作右衛門も黒田三左衛門宛。悻之儀

巻紙(包紙入)一通

一八 書状

(江戸期)九月二十三日

(二五五五)

高木作右衛門も黒田三左衛門宛。高木作右衛門悻奉公之儀

折紙(包紙入)一通

一三 口上之覚 (二三九七)

(江戸期)七月 (包紙)折紙・一紙各二通

家業断絶仕様成行

一三 口上之覚 (二四一三)

(江戸期)九月二日 一紙(包紙)一通

正岡喜左衛門方田代勝右衛門宛。勝手逼迫に付悴の役付願

一四 覚 (四三七二)

(江戸期)六月二十八日 一紙 一通

長尾安兵衛方庄野彦右衛門外宛。悴御抱願

一五 青山江相伺被仰出趣猶書取以而再應相伺 (五五)

天保九年五月二十六日 切紙(包紙)二通

役儀差問以面々、隠居之面々

一六 懸存大意 (四九〇三)

(明治初年) 書綴 一綴

不遇な取扱いに対する訴え

一七 御救助之儀二付向 (二七三)

(明治二年)六月二十三日 書綴 一綴

黒田一雄方福岡県参事水野手波宛。米錢貸借不融通二付

(6) 処 罰

一八 書状 (三六一二)

(寛永十年カ)三月十五日 折紙(箱入)一通

黒田美作方馬乗衆宛。黒田騒動関係、大膳成敗の事

一九 寅五月十九日於芦屋大塩八良右衛門悴人切申以覚書 (二二八三)

(延宝頃カ) (包紙)卷紙二通・折紙一通

二〇 七月十六日之夜小林市之進人ヲ切之書付 (二二八二)

三奈木黒田家文書 (一、江戸時代史料)

(延宝頃カ) 一紙(包紙)一通

小林市之進方占部忠右衛門宛

二一 水尾佐左衛門ヲ篠尾八兵衛切申以覚書 (二二二八)

(延宝頃カ)寅ノ六月九日 一紙(包紙)一通

中村安左衛門与篠尾八兵衛方中村安左衛門宛

二二 文化六年十二月中月番覚 (一三〇四)

文化六年 小横帳 一冊

頭山九左衛門詮議之次第

二三 (仮題)達書 (三八五〇)

文化十二年七月二十八日 切紙 一通

大目付方大頭宛。足輕水上喜八妻不義に付

二四 留書写 (二五二六)

文政元年十一月十四日 切紙 一通

城内江砂持込以一件

二五 覚 (二七九二)

(天保十四年頃) 切紙 一通

熊勢奎太夫外処罰

二六 書状 (二七九三)

(天保頃カ) 切紙 一通

四人之面々心得方不十分云々

二七 覚 (二七九四)

(江戸期) 切紙 一通

熊勢奎大夫外四名浪人之儀

二八 (仮題)覚 (四三八二)

安政三年 切紙 一通

少将様を毒殺の御存念有之二付取調

一九 書状

慶応元年六月八日

(二六七八) 切紙 一通

立花静軒の事、御咎以後慎方宜敷ニ付御登用被遊度

二〇 書状

(慶応元年)

(二六八一) 切紙(包紙入)一通

近來弥以家中ニツニわかれ云々に付立花静軒登用以外

二一 (仮題) 罪人手討覚

(江戸期)

(三七五九) 切紙 一通

二二 (仮題) 覚

(江戸期)

(四四五四) 巻紙 一通

柴田団次役所を金子盗取一件

二三 (仮題) 覚

(江戸期)

(四四四二) 切紙 一通

柴田団次手元江盗取り銀子囲置以分の事

二四 書状

(江戸期)八月二十五日

(四〇三六) 切紙(包紙入)二通

河村五大夫武速を播磨・山城宛。当地人氣騒々處取調子の件に付

二五 馬盗人之儀花房源右衛門書付

(江戸期)卯八月二十一日

(二二三九) 一紙 一通

花房源右衛門を山本八郎左衛門・大野忠右衛門宛

二六 吉左衛門方取斗次第書

(江戸期)九月

(三六四八) 長帳一冊・長綴一綴・一紙一通

加藤吉左衛門を野村勘右衛門宛。吉之助処罰の事

二七 (仮題) 覚

(江戸後期)十一月

(四三八一) 切紙 一通

色々無謂儀を申立覚を組居以面々之処置

二八 (仮題) 覚

(江戸期)

(四八四五) 切紙 一通

大和宛。暁心事御不審の次第第二付慎方被仰付

二九 覚

(江戸期)八月

(四八五四) 巻紙 一通

賞罰の事

三〇 被仰渡書

(江戸期)

(四八六八) 切紙(包紙入)三通

暁心外一族中慎方之儀

三一 申上候口上之覚

(江戸期)辰ノ九月十五日

(二二〇九) 一紙 一通

内野村庄屋弥七郎外。長崎糸荷運搬中さいふニ有之銀うせ申以一件

三二 (仮題) 罪状、罪人書出

正徳五年六月十二日外

(二四九) 切紙 四通

他ニ大和守への書状

1 閉門・逼塞・延慮之覚書

正徳五年六月十二日

(二四九の五) 巻紙 一通

2 (仮題) 覚

(江戸後期)

(二四九の一) 長綴 一綴

加藤司書以下藩士(入牢者等)

3 閏四月二日御処置

(江戸後期)

(二四九の二) 切紙 一通

待井安内外遠嶋処分

4 (仮題)

(江戸後期)

(二四九の三) 切紙 一通

播磨隠居、大和家督相続の事

5 (仮題) 処分覚

(江戸後期)

(二四九の四)

切紙 一通

6 閏四月朔日御懇諭御控

(江戸後期)

(二四九の六)

切紙 一通

重臣三人国体ニ拘りし輩処分の事

7 (仮題)

(江戸後期)

(二四九の七)

切紙 一通

大和宛。黒田暁心儀不審之次第有之由

8 覚

(江戸後期)十二月二十二日、二十三日

(二四九の八)

切紙 一通

処分覚

9 (仮題) 覚

(江戸後期)十月

(二四九の九)

切紙 一通

黒田暁心宛。処分

10 書状

(江戸後期)十月十四日

(二四九の一〇)

切紙 一通

民部と大和宛。評議一件

11 書状

(江戸後期)十月二十一日

(二四九の一)

切紙封筒入ニ通

民部と大和宛。評議一件

三四 (仮題) 達

(明治初年)十二月

(四八三)

切紙 一通

美作一族中宛。美作父暁心の謹慎をとく

三五 (仮題) 覚

(明治初年)

(四一三三)

切紙 一通

黒田一美。楮幣贋造藩用ニ充行以件に付閉門被仰付

三奈木黒田家文書 (二、江戸時代史料)

二六 書状

(明治初期)六月二十四日

(四二八〇)

巻紙 一通

守田雪平と関岡静門宛。(某人の詮議依頼)

二七 被仰渡写

(明治初年カ)

(四八七三)

切紙 一通

加藤暁心宛。謹慎解除

(7) 家臣・又家来

A 福岡藩

二八 長政様御代ヨリ忠之様御代始迄御家中与力覚帳

(江戸期)

(四九〇五)

長帳 一冊

二九 筑前藩諸士資格

(江戸期)

(二五八九)

巻紙 一通

三〇 御軍役之次第

(江戸中後期)

(二六九三)

長綴 一綴

三一 諸士家頼分面役之儀書出写

宝暦十三年四月御書付写

(四五二七)

書冊 一冊

郡奉行

三二 (仮題) 御触書

天明三年

(二〇一八)

巻紙 一通

家臣に対して

三三 (仮題) 覚

天明四年十二月九日

(二六六〇)

巻紙 一通

尾崎金五一族宛。金五養父の件

三四 (仮題) 中老以下名元覚

文化十年九月

(四二二三)

切紙 一通

三五 主水と平左衛門江演舌之大意

(江戸期)

巻紙 一通

(三七二四)

奥方心得方之儀

三六 村山一介ヲ以從御滿衛様六郎太夫六左衛門江拜見被仰付御封シノ御直書付写

文化十一年十一月

切紙(包紙)一通

(二〇五九)

家老の妻たるの心得

三七 名元控

(天保九年)

切紙(包紙)一通

(三七六九)

御役差問

三六 唯見江被下之御扶助差上之存意申上置以末是迄之通被下段彦兵衛殿と被相達書付

天保九年三月

切紙(包紙)一通

(二八五二)

播磨宛

三九 才太夫存寄之趣東里演舌之大意并以後此方と東里迄相答ひ趣意等書付

天保十一年七月

切紙(包紙)二通

(二八一五)

馬術の者召抱ひ件

三〇 (仮題)覚

(江戸後期)

長綴 一綴

(四〇一〇)

黒田家臣分限帳一部

三一 (仮題)覚

(江戸期)

長綴 一綴

(四〇〇七)

忠之光之代よりの家臣の名元并知行高

三三 覚書

(江戸期)十月十日

切紙(包紙)一通

(二六六六)

衣非左介と源左衛門御取次衆宛。板垣弥次右衛門儀死亡通知

三三 覚書

(江戸期)

長綴 一綴

(二〇四二)

家兄与左衛門事無調法に付

三三 (仮題)覚

(江戸期)六月十一日

折本 一冊

(四三三三)

兵部丞丹治と勘解由次官宛。戦時に於ける武士の心得外

三五 (仮題)覚

(江戸期)

切紙 一通

(四四四一)

丹三郎左衛門出立の件、毛利又助陸士頭に被仰付外

三六 覚

(江戸期)

一紙 二通

(四五〇四)

喪に服す際の覚

三七 (仮題)覚

(江戸期)

切紙 二通

(四六八五)

軽卒賜暇練武の事外ヶ条書

三六 (仮題)名元覚

(江戸期)

切紙 一枚

(四九〇〇)

斉藤三郎大夫外

三九 光之公御代侍名附

(江戸中期)

小横帳 一綴

(二七〇二)

四〇 手長并御相伴給仕名附

(江戸後期)

切紙(包紙)一通

(二七五六)

四二 益田与七郎家書南部七郎右衛門ヲ以為見以写

(江戸後期)

切紙(包紙)一通

(二八五八)

益田与助甥彦大夫の事

二三(仮題)名元覚 (一九九九) 一通

(江戸期)

黒田諸左衛門、間嶋仁左衛門外十二名

二三(仮題)覚 (三九六三) 一通

(江戸期)

播磨外名元書上

二四覚 (三六七) 一通

(江戸期)

新右衛門・野村市右衛門外人名書出

二五(仮題)覚 (三三八三) 一通

(江戸期)

播磨宛。悴三左衛門召仕方の儀に付

二六岡田四郎次郎家頼へ暇遣い書付 (二二二二) 一通

(江戸期)九月五日

岡田四郎次郎方竹中与左衛門・飯田角兵衛宛

二七覚 (三六六五) 一通

(江戸期)四月十四日

宇保四郎右衛門知行の処分に付

二八御用人小非常御供御内意之儀ニ付相伺候節控 (二四九九) 一通

文化八年

二九御用人供廻調子候趣ニ依而源左衛門供廻も相改候書付 (三八四〇) 一通

文政元年

三〇書状 (二七三二) 一通

万延元年十一月二十一日

侍従方家老中宛。御下国の際の御供の件

三一(仮題)供廻之次第 (一一三〇) 一通

三奈木黒田家文書 (一、江戸時代史料)

(江戸後期) 長綴 一綴

御供行列

三五(仮題)覚 (四八四四) 一通

(明治初期)

播磨宛。上京候付供申付

三五(仮題)覚 (四四五八) 一通

(江戸期)

香西少輔江戸供之儀

三六食禄定 (八三三二) 一通

(明治初年)十二月

三七証書写 (六二四) 一通

明治二年五月十三日

任用ハ入札人撰ノコト

三〇御城内御屋敷御差上惣差図控 (四七〇六) 一通

明治三年三月

三九士籍申渡 (二九三) 一通

(明治初年)

福岡藩方黒田大参事聞次宛

四〇餌指中借銀年切訴状ノ写 (二二二九) 一通

延宝元年十一月十六日

江川傳左衛門・安田作弥方伊藤半兵衛宛

四一覚書 (二一九二) 一通

延宝二〇十年

田代十左衛門拜借銀之書付

四二高瀬甚左衛門書付 (二一九一) 一通

(延宝頃)十二月十四日、十五日

竹中半大夫宛。京銀拝借賞、家宅覚

二六三 覚

(三五七五)
切紙(包紙入)一通

(寛文延宝頃カ)九月九日
竹内兵三郎カ山崎彦兵衛宛。銀子拝借仕度とて内證ノわけ書付

二六三 毛利甚兵衛覚書

(二二〇五)
一紙(包紙入)一通

(延宝頃カ)丑ノ八月二十一日
月瀬宅兵衛宛。毛利家財政に付

二六四 桐山長左衛門御借銀之儀ニ付覚書

(二二一〇)
巻紙(包紙入)一通

(延宝頃カ)寅五月七日
桐山長左衛門カ飯田角兵衛宛

二六五 田中久之允京銀拝借之書付

(二二二四)
一紙(包紙入)二通

(延宝頃カ)五月二十七日

延宝三年四月二十三日

二六六 高山三大夫書付
小川権左衛門・毛利長右衛門宛。拝借銀返済延願

(二二二〇)
一紙(包紙入)一通

二六七 竹森金左衛門書付
(延宝四年カ)卯閏四月六日

(二一九三)
一紙(包紙入)一通

二六八 喜多村半衛門拝借銀之書付
小川権左衛門・毛利長右衛門宛。拝借願

(二二〇八)
一紙(包紙入)一通

(延宝頃カ)正月二十八日
喜多村半右衛門カ毛利長兵衛宛

二六九 小河伝兵衛口上書

(五七七)
一紙(包紙入)二通

(江戸期)八月二十八日

二七〇 口上覚書

(二二二二)
一紙(包紙入)一通

(江戸期)八月十五日

一井宅右衛門カ田代勝右衛門宛。勝手逼迫ニ付

二七一 覚
(江戸期)九月五日
一紙 一通
(二二一七)

時枝長大夫外分京銀納覚

二七二 久大夫殿内存之書取
(江戸期)四月
切紙(包紙入)一通
(二五八一)

吉田久大夫カ。勝手向大に指問に付当御役御免被仰下候様相願度

二七三 (仮題)覚
(江戸期)六月六日
切紙(包紙入)一通
(二二四〇)

市十郎身代之御断之儀

二七四 島見組訴訟之書付
(江戸期)寅六月十六日
切紙(包紙入)一通
(二二〇九)

原左太夫外二名カ林又右衛門外二名宛。諸事入用がちニ而手前つづき不申候条相談之事

二七五 田代十右衛門借銀之覚
(江戸期)寅十一月二十七日
一紙(包紙入)一通
(一九六三)

二七六 (仮題)覚
(江戸期)十二月
切紙 一通
(二五三八)

凶作ニ付御救米被下候ニ付扶持分当一季寸志ニ差上申度

二七七 書状
(江戸期)五月十一日
巻紙 一通
(二六四六)

平左衛門増熊カ播磨宛。定府之面々心得方並御救之達に付

二七八 手前逼迫申ニ付御理り申上覚
(江戸期)八月二十二日
一紙 一通
(二七三八)

安田カ三兵衛カ根来角大夫・櫛橋仁左衛門宛。遠賀郡湯山開田へ引越之事

二七九 覚
(江戸期)八月十五日
一紙(包紙入)一通
(二二八三)

(江戸期)九月二十四日 一紙 一通
谷口五兵衛と毛利長右衛門・小川権左衛門宛。谷口五兵衛勝手不如意に付弟
他所御奉公願

二六〇 記

(明治初年) 長綴 一綴 (一〇五三)

右之者元判拂付所不分りニ付福岡ニ而取調子直ニ差出可申候

二六一 書状

(明治初年)三月十七日 巻紙(包紙入)一通 (二四五七)

谷村小吉・高崎猪二郎と黒田長門宛。借用金之儀

二六二 覚

(江戸後期) 長帳 一冊 (一二四四)

大目付・町奉行・浦奉行宛。家中拝借金銀切手の件

B 三奈木黒田家

二六三 惣馬乗人数付

寛永十二年卯月十九日 書綴 一綴 (二六九七)

三左衛門と黒田源左衛門宛。三奈木黒田家臣

二六四 分限帳写

(江戸期) 長帳 一冊 (八一〇)

三奈木家臣

二六五 馬乗

(江戸期) 書綴 一綴 (二六九八)

二六六 給知高帳

(元禄五年)享保二十一年書上

二六七 給扶持遺シ人数之覚

寛文十二年卯月十九日 長帳 一冊 (二六六八)

三左衛門と黒田源左衛門宛。三奈木黒田家々臣

二六八 郷足軽人数及不足に付新二召抱外件

嘉永七年七月 切紙(包紙入)五通 (二二六五)

三奈木黒田家臣

二六九 諸願書控

安政三年 長帳 一冊 (二五三〇)

二七〇 覚

(江戸期) 折紙(包紙入)一通 (二五五三)

馬杉喜兵衛宛。江見彦右衛門外家臣書上(三奈木黒田家臣)

二七一 丑之年伊右衛門退勤并下座在宅之内存指出し書付

(江戸期) 巻紙(包紙入)一通 (三三四四)

加藤素苑。三奈木黒田家臣

二七二 下座江罷越し外供附

安政三年二月十三日~十四日 切紙(包紙入)一通 (四八六三)

二七三 下座惣家頼中存寄書写

(江戸中~後期)十一月 切紙(包紙入)二通 (二六九一)

軍役関係。付、秋月御鑑初之式

二七四 覚留(前欠)

(安政三年) 長綴 一綴 (六七三)

三奈木黒田家臣より諸願留

二七五 覚

(江戸期) 長帳 一綴 (八三六)

御餞別書上、下座馬乗名元、福岡一代切無足(名元)外(三奈木黒田家臣)

二七六 (仮題)三奈木家中取締規定

(江戸期) 巻紙 一通 (三六六六)

加藤助大夫・新免市郎右衛門・小西十兵衛・萩本伊右衛門宛

三〇七 (仮題) 家臣心得筋 (四四六一)

(江戸期) 巻紙 一通

三〇八 心得覚 (二七七四)

(江戸期) 巻紙 一通

代々格別結構被仰付の家筋二付(三奈木黒田家)

三〇九 (仮題) 覚 (四〇三二)

(江戸期) 切紙(包紙入)一通

質素ニシテ文武ニ励ム事。忠左衛門始留守居中相揃浜屋敷江罷越唯見江存
寄申開以趣意書取

三〇〇 覚 (六一九の二)

(江戸期)五月十三日 切紙 一通

加藤磯左衛門。手当人数等別冊に仕置

三〇一 嘉永年御合力米被下高名元 (二八〇〇)

(嘉永年間) 切紙 一通

三〇二 兵員返上之節分限明細帳 (五三五)

明治三年六月 書冊 一冊

三奈木黒田家臣

三〇三 男人数差出覚 (四〇七九)

(明治四年)未ノ六月 切紙(包紙入)二通

佐藤直次郎

三〇四 銃手歎願之御添書 (四一五七)

(明治初年)正月 切紙(包紙入)一通

黒田大参事。一代切士分申付置以者并銃手之者此節仕丁ニ被仰付

三〇五 附属(兵員)判定則 (四四〇二)

(明治初年) 巻紙 一通

大監察宛 (九一三の三)

(明治初年)正月十八日 切紙 一通

火薬調合受持。火薬調合所受金上納

三〇六 覚 (九一三の四)

明治四年二月 切紙 一通

明定身・板波規之間淇園・加藤樽園宛。郷足輕之者拜借分

三〇七 覚 (九一三の五)

(明治初年)十二月二十七日 切紙 一通

久野孫大夫方松隈六藏・古川市大夫宛。金百兩落手

三〇八 書状 (九一二の二)

(明治初年)九月十五日 切紙 一通

足輕中宛。余禄兵員御返上被成以に付(三奈木黒田家臣)

三〇九 覚 (九一二の六)

(明治初年) 切紙 一通

浅野、お律様乳母、腰元等俸給書上(三奈木黒田家)

三〇九 請取 (九一二の八)

(江戸後期)子十月七日 切紙 一通

古野嘉納と三原市蔵宛。銀預

三〇九 覚(破損) (九一二の二〇)

(明治初年) 切紙 一通

隊組立の事

三〇〇 覚 (八三一)

(明治五年)壬申十一月 切紙 三通

帝釈寺組拜地之事。付、記(金銭書上)

三一 帝釈寺組囲米并御簀指江御渡地余米

(明治四年)末三月

(八三二の一)
折紙(包紙入)一通

新免可

三二 在福御家頼中戸数覚

明治三年二月

(三三八)
切紙(包紙入)一通

三奈木黒田家臣

三三 覚

(明治初年)六月十九日

(八三二の三)
切紙(包紙入)三通

伊東翔・伊東茂実・古川久吉。厄介判相願別段仕居申し者の事(三奈木黒田家臣)

三四 走下組厄介判次第申出

明治四年六月

(八三二の四)
切紙 五通

三五 拙者附属銃手人数戸数明細書上申し事

明治四年六月

(八一八)
書冊 一冊

黒田一美

三六 (仮題) 戸籍

明治四年

(九六六)
一紙 一通

夜須郡曾根田村居住佐藤直次郎(三奈木黒田家臣)

三七 差出

(明治初年)

(九六七)
一紙 一通

井上延太郎家族(三奈木黒田家臣)

三八 (仮題) 戸籍

(明治初年)

(九六八)
巻紙 一通

表粕屋郡宇美村神武又六家族(三奈木黒田家臣)

三九 (仮題) 戸籍

明治四年十月

(九六九)
巻紙 一通

三奈木黒田家文書 (一)、江戸時代史料)

三〇 差出

夜須郡曾根田村居住佐藤直次郎
明治四年十月

(九七〇)
一紙 一通

那珂郡三宅村大庭友吉家族

三一 (仮題) 戸籍

(明治初年)

(九七一)
巻紙 一通

粕屋郡宇美村屋敷居住神武又六家族

三二 (仮題) 戸籍

(明治初年)

(九七五)
切紙 二一通

付、人名書上

三三 覚

(明治初年)

(九七三)
巻紙 二通

姓書上

三四 (仮題) 覚

(明治二年)

(四七四七)
長帳(小) 一冊

御家禄御差上之支、浪人金作之事外

三五 (仮題) 年俸禄受取下書

明治三年十一月

(八九七)
一紙 一通

関示方會計懸大属宛

三六 (仮題) 婦農商の者拝領金の事

明治三年八月

(四三三二)
一紙 一通

三七 覚

(明治初年)九月

(四八四七)
切紙 一通

黒田一葦。賞普米差上度云々

三八 若殿御結構并附属御引揚頭、江御引付之覚

明治四年

(八〇二)
長帳 一冊

三九 (仮題) 覚

(明治初年)

長綴 一綴

(六五三)

附属兵員の世禄取扱方ニ付仰付

三〇 及聞咄シ手控

(明治初年)

折紙(包紙入)一通

(五四四)

在郷家臣の処遇

三一 覚

(明治初年)

切紙 一通

(五三八)

附属中当八月迄ハ御布告通相心得賞罰筋をも取斗可申い、附属家来に關する応答

三二 覚

(明治初年) 正月

長綴 一綴

(五三二)

黒田大参事^も。従前拙者附属一代切士分申付置

三三 附属又家頼私有禄ニ而召抱い名許

(明治初年) 九月

長綴 一綴

(五三一)

黒田大参事

三四 拙者附属士分人員戸数明細書上申い事

明治四年

書綴 一綴

(五二八)

黒田一美

三五 被仰渡書

(明治初年) 十月

切紙(包紙入)一通

(四八七〇)

黒田大参事宛。屋敷引上げに付銀子相与い

三六 未六月静門^ら来紙

(明治初期) 六月二十三日

切紙 一通

(九一一の六)

中山静門^ら間淇園外宛。長屋渡方浜拂方等の返書

三七 (仮題) 達示

(三九五二)

(明治初年)

切紙 一通

福岡藩庁^ら黒田大参事間次宛。下座郡在住之馬乗は一雄へ引付事

三六 覚

(明治初年)

切紙 一通

(二三七五)

帰農被仰付いニ付

三九 覚

(江戸期)は明治初年)

切紙(包紙入)一通

(四一四六)

泊元三郎^ら。借屋願

四〇 口演控

(明治初年) 未四月三日

巻紙 一通

(四一四七)

江見^ら間淇園・加藤樽園宛。御一新後の住居確保願

四一 覚

(明治初年) 六月

切紙 一通

(四三九二)

附属兵員への達、扶助願・縁組・移転外

四二 書付

(明治四年) 辛未十二月

書綴 一綴

(九六二)

禄高渡方の件、「御達」写

四三 (仮題) 覚

明治三年十一月

一紙 一通

(四六六七)

兵員返上に付

四四 覚

(明治初年)

切紙 一通

(四一〇六)

帰農者の件

四五 帰農又者名元

(明治初年)

切紙 一通

(四一四九)

四六 覚

(四一五六)

(明治初年)

走り下組帝釈寺組掃農手当の件

切紙 一通

三〇七 奉申上り覚

(明治初年)

萩本伊右衛門。吉武条大夫の件

切紙 一通

三〇八 書状

(江戸期)三月二十三日

間九大夫。加藤甚五大夫・内海内右衛門宛。知貞改名の事

切紙(包紙)二通

三〇九 御代始被仰出并下座御目付方心得筋御書付之写

(江戸後期)

小横帳 一冊

三一〇 御屏風名元控

(江戸期)

小横帳 一冊

三奈木黒田家臣

三一 覚

(江戸期)

長帳 一冊

家臣役儀勤方覚

三二 書状

(江戸期)十一月二十三日

下村文太夫・高橋左右衛門。松隈太平次宛。江見彦右衛門御暇願之儀

巻紙(包紙)一通

三三 奉申上り覚

(江戸後期)八月二十日

加藤忠左衛門。病氣の為引入の事

切紙 一通

三四 (仮題)留守居中勤方心得の誓約書

明和二年五月

加藤忠左衛門外七名

巻紙 一通

三五 御茶屋寄合日記

三奈木黒田家文書 (一、江戸時代史料)

(五四九)

文化十三年正月

三奈木家臣関係

長帳 一冊

三〇六 (仮題)覚

(江戸期)

中山半蔵認之分。引越届・家臣名前書上外(三奈木黒田家臣)

切紙(包紙)四通

三〇七 (仮題)役付名元覚

(江戸期)

長綴 一綴

三〇八 (仮題)覚

(江戸期)

切紙 一通

阿川源一郎。判元無足組川原徳平家内判

三〇九 (仮題)与力相殘家之覚

(江戸期)

切紙 一通

三奈木黒田家臣

三一〇 下座御家臣帯甲之次第

(江戸中)後期

長帳 一冊

三奈木黒田家臣

三一 帝釈寺組走下組足輕并小役人初発取調子之書付

(寛政六年以降)

巻紙(包紙)一通

三二 家頼居住申出控

(江戸後期)

下座郡并近郷御知行所村々之内ニ被指置小役人之儀(三奈木黒田家臣)

切紙綴 一綴

三三 覚

(文化)文政

長帳 一冊

三四 覚

松隈九左衛門、福島太五衛門外役付覚

(七八九)

寶曆八年四月十日 一紙 一通

河合金十郎方中村甚五兵衛宛。小判受取

三五 御受取證文 (七九〇)

寶曆八年五月六日 一紙(包紙入)一通

河合金十郎方中村甚五兵衛宛。小判受取

三六 請取申事 (七九二)

寶曆十年七月十一日 切紙 一通

河合長助方萩本伊右衛門・谷口喜兵衛外宛

三七 請取以事 (七八一)

寶曆八年十一月十四日 切紙(包紙入)一通

河合金十郎方萩本伊右衛門・間九太夫外宛

三六 荒戸御受取 (七八四)

寶曆九年二月 切紙(包紙入)二枚

河合金十郎方谷口喜兵衛宛

三六 請取書 (七八七)

寶曆九年八月 一紙(包紙入)一通

河合金十郎方萩本伊右衛門・間九太夫外宛。銀切手請取

三七 拝借申銀子之事 (七八三)

寶曆九年十月 切紙(包紙入)一通

宮内檢校方板波宇右衛門取次宛

三七 請取申事 (七八八)

(江戸期) 卯十二月 切紙 一通

河合金十郎方萩本伊右衛門・間九太夫外宛。錢請取

三七 (金子) 当時證拠之事 (四〇三)

安永二年三月十七日 一紙 一通

東兵大夫外二名方九大夫外二名宛

三七 (金子借用) 證拠 (四〇四)

安永五年十一月 一紙 一通

吉左衛門方間九大夫外三名宛

三七 (金子) 拝借證文 (三九九)

安永六年十二月 一紙(包紙入)一通

三好甚左衛門外三名方間九大夫外宛

三七 別段拝借被仰付以旨於御前二御直二被仰付以趣之書付写 (二〇六〇)

文化十二年十二月 切紙(包紙入)一通

美作下屋敷宛。下屋敷類焼折柄当季半所務差上置以而者迷惑可及差と被思

召上以

三七 平勤増差上之内存御立被下以段被仰付以御意書 (二八四三)

文政十二年八月 切紙 一通

当冬半所務二被仰付

三七 書状 (三七八四)

天保九年六月 切紙(包紙入)一通

差問候面々名許調

三七 間九太夫殿請持之金之由二而役所江預ケ相成家中江貸付御頼二付直二

借付元利之覚 (二〇二六)

天保十年七月 書冊 一冊

水谷市助、萩原藤市

三七 金子拝借証文 (三九九五)

天保十三年八月 一紙 一通

神武原百姓甚六方萩原藤市外一名宛

三七 (仮題) 借用證文 (二二二八)

嘉永二年十二月二十七日 一紙(包紙入)一通

久野孫大夫方松隈六藏・古川市大夫宛

三二 御拝領米代之内瀬戸惣右衛門に御預ケ金差引帳

嘉永七年五月

(二七二の二)
長帳 一冊

三三 御拝借残り差引帳

安政二年冬

(一〇二二)
長帳 一冊

御勘定所

三四 旦那就出事年賦出金預申證文之事(写)

安政三年十二月

(三九二二)
野紙 一紙

加藤忠左衛門外七名に吉田勘助宛

三五 近郷小役人仕組錢差引帳

安政三年十二月

(一〇二二)
長帳 一冊

御勘定所

三六 旦那就出事年賦出金預申證文之事

安政三年十二月

(二七七七の二〇)
一紙 一通

加藤忠左衛門外七名に吉田勘次宛

三七 證文

安政四年十二月

(二〇九二)
一紙 一通

岩田勘右衛門に福島長平・三原市蔵宛。借用證文之事

三八 拝借證文

安政六年十二月

(二〇九四)
一紙(包紙入)一通

加藤忠左衛門に福島長平・三原市蔵宛

三九 御仕組金拝借證文

安政六年十二月

(二〇九三)
一紙(包紙入)一通

加藤与次右衛門に三原市蔵・福島長平宛

四〇 御仕組錢拝借證文

安政六年

(二二二七)
一紙(包紙入)一通

信国庄内に福島長平・三原市蔵宛

四一 長崎仕組入拝借證文

安政六年十二月

(二一三八)
一紙(包紙入)一通

進藤加右衛門に福島長平・三原市蔵宛

四二 御除ケ米代

安政七年三月

(二一七〇)
長綴 一綴

拝借

四三 御武具仕組錢

安政七年三月

(二〇四九)
長綴 一綴

四四 拝借證文

万延元年十二月

(二二六二)
一紙(包紙入)一通

安陪正作に福島長平・三原市蔵宛。御仕組金拝借

四五 拝借證文

万延元年十二月

(二〇九五)
一紙 一通

尾野半左衛門に福島長平・三原市蔵宛

四六 拝借證文

万延元年十一月

(二二六七)
一紙(包紙入)一通

安岡市郎右衛門に福島長平・三原市蔵宛

四七 拝借證文

万延元年十二月

(二二六五)
一紙(包紙入)一通

青木藤九郎に御勘定役所宛

四八 拝借證文

万延元年十二月

(二二〇六)
一紙(包紙入)一通

楓侍左衛門に福島長兵衛・三原市蔵宛

四九 證文

文久元年十二月

(二二四四)
一紙(包紙入)一通

内海内右衛門に福島長平・三原市蔵宛。借用證摺之事(二二四四)二二四七

一括)

三三 出金證文

文久二年

福嶋伝八・三原市蔵方瀬戸甚左衛門宛。旅行用

(二二六二四)
切紙(包紙入)二通

三三 (借用) 證拠之事

文久二年二月

大島半左衛門方福嶋長平・三原市蔵宛

(二二六六)
一紙(包紙入)一通

三四 借用證文之事

文久二年七月

山崎朔大夫

(二二五二)
一紙(包紙入)一通

三五 拝借證拠之事

文久二年十一月

萩本幸右衛門方福嶋伝八外宛。御仕組金借用

(二二六四)
紙(包紙入)一通

三六 借用證拠之事

文久三年十二月

山崎朔大夫方福嶋伝八・三原市蔵宛

(二二五二の三)
一紙(包紙入)一通

三七 旦那就用支預申金之支

文久三年

福嶋傳八・三原市蔵方瀬戸甚左衛門宛

(二二六二六)
一紙(包紙入)二通

三八 御旗差仕組金根帳

文久四年十二月

安陪庄作方間淇園・加藤樗園宛

(二二〇五七)
長帳 一冊

三九 (仮題) 借金證文

(元治元年)

三原与右衛門方瀬戸甚左衛門宛。播磨様分

(二二六三三)
切紙 三通

四〇 拝用證文

(二二六〇)

元治元年

中嶋武吉方古川市大夫外三名宛

紙(包紙入)一通

四一 拝借證文

元治元年四月

加藤忠左衛門外二名方福嶋傳八・三原与左衛門宛。銀主松村下座別格馬乗

(二二五八)
一紙(包紙入)一通

四二 借用證拠之事

元治元年七月

山崎朔大夫方

(二二二二二)
一紙(包紙入)一通

四三 證文

元治元年十二月

小西次太夫。借用證文

(二二三六)
一紙(包紙入)一通

四四 御仕組預申證文之事

元治元年十二月

加藤忠左衛門方吉田勘次宛

(三九二四)
一紙 一通

四五 借用證文

元治元年十二月二十八日

江見彦之進方三原与左衛門宛

(二二一六)
一紙(包紙入)一通

四六 御仕組預申證文之事

元治元年十二月

加藤忠左衛門外七名方吉田勘次宛

(二七七七の九)
一紙(包紙入)一通

四七 軍用金預申證文之事

元治二年四月

加藤甚五大夫方

(二七七七の七)
一紙(包紙入)一通

四八 證文

應元元年五月

(二二〇八六)
一紙 一通

加藤左近衛門右三原与左衛門・真子又作宛。拝借證文之事
慶応元年十二月二十九日
一紙(包紙入一通) (二三四九)

江見彦右衛門右古川市大夫・三原与左衛門宛
慶応元年十二月
一紙(包紙入一通) (二二二〇)

加藤助右衛門右古川市大夫・三原与左衛門宛
慶応元年十二月
一紙(包紙入一通) (二二八三)

吉武次郎兵衛右古川市大夫・三原与左衛門宛
慶応元年十二月
一紙(包紙入一通) (二二八三)

間金左衛門・内海内右衛門外右佐藤市右衛門宛
慶応二年二月
一紙(包紙入一通) (二二五二)

山崎朔大夫右古川市大夫・三原市藏宛
慶応二年二月
一紙(包紙入一通) (二二四六)

小西次大夫右古川市大夫・三原与左衛門宛。借用證文之事
慶応二年二月
一紙(包紙入一通) (二二三九)

加藤忠左衛門右古川市大夫外宛。仕組銭拝借
慶応二年三月
一紙(包紙入一通) (二二八四)

加藤忠左衛門右古川市大夫・三原与左衛門宛
慶応二年三月
一紙(包紙入一通) (二〇九六)

慶応二年三月
安陪正作右古川市大夫・三原与左衛門宛
一紙(包紙入一通) (二三五二)

慶応二年四月
伊藤雄哉右古川市大夫宛。曾根田仕組入
一紙(包紙入一通) (二三四八)

慶応二年五月
中山米右衛門右古川市大夫・高橋小十郎宛
一紙(包紙入一通) (二二八九)

慶応三年六月朔日
陶山祐之丞右古川市大夫・高橋小十郎宛
一紙(包紙入一通) (二二三七)

慶応二年七月
中山米右衛門右古川市大夫・高橋小十郎宛
一紙(包紙入一通) (二七七七)

古川市大夫外一名右瀬戸喜助宛。軍用出銀受取
慶応二年十月
一紙(包紙入一通) (二二八二)

加藤左近衛門右古川市大夫・高橋小十郎宛
慶応二年十月
一紙(包紙入一通) (二〇二〇)

慶応二年
長帳 一冊
御除拝借外
一紙(包紙入一通) (二二四九)

慶応二年十一月
鎗喜右衛門右御勘定所役所宛
一紙(包紙入一通) (二二四九)

四六 借用證拠之事

慶応二年十一月

柴田松次郎・山田儀平古川市大夫宛

四七 主人方就用事預申金之事

慶応二年十二月

間金左衛門瀬戸甚左衛門宛

四八 主人方就用事預申金之事

慶応二年十二月

間金右衛門外七名中村吉右衛門宛

四九 主人方就用事預申金之支

慶応二年十二月

間金左衛門外七名南川甚左衛門宛

五〇 主人方就用事預申金之支

慶応二年十二月

間金左衛門外吉田勘次宛

五一 借用證拠之事

慶応二年十二月

志間利左衛門古川市大夫・高橋小十郎宛

五二 主人方就用事預申金之支

慶応二年十二月

間金左衛門外七名嶋井久左衛門宛

五三 拝借證拠

慶応二年十二月

勝野門市御勘定所役所宛

五四 主人方就用事預申金子ノ支(写)

慶応二年十二月

(二二七〇)

一紙(包紙入一通)

(二六二五)

卷紙 一通

(二七七七の二〇)

卷紙(包紙入一通)

(二七七七の二三)

卷紙(包紙入一通)

(二七七七の二一)

一紙 一通

(二二三四)

一紙(包紙入一通)

(二七七七の二)

卷紙 一通

(二二一一)

一紙(包紙入一通)

(三九二二)

一紙 一通

五五 證拠(借用証)

慶応二年十二月

大庭六之助御勘定役所宛

五六 借用證文

慶応二年十二月

古川市大夫高橋小十郎宛

五七 主人方就用事預申金之事

慶応二年十二月

間金右衛門宛

五八 拝借證拠之事

慶応二年十二月

萩本伊右衛門古川市大夫・高橋小十郎宛

五九 拝借證文

明治元年十二月

萩本伊右衛門古川市大夫外四名宛

六〇 拝借申上ル證文之事

慶応二年十二月

白石善吉御勘定役所宛

六一 拝借證文

慶応二年十二月

高橋小十郎古川市大夫宛

六二 拝借證文之事

慶応二年十二月

加藤忠左衛門古川市大夫・高橋小十郎宛

六三 主人方就用事預申金之支

(二二三五)

一紙(包紙入一通)

(二二五三)

一紙(包紙入一通)

(二七七七の八)

一紙(包紙入一通)

(二二六一の二)

一紙(包紙入一通)

(二二六一の二)

一紙(包紙入一通)

(二二五四)

一紙 一通

(二〇九八)

一紙(包紙入一通)

(八八五の三〇)

一紙(包紙入一通)

(二二六六の二)

慶応二年十二月

間金左衛門と磯野七兵衛宛

巻紙(包紙)一通

四四 主人方就出事預申金之事

慶応二年十二月

間金左衛門外七名と磯貝徳右衛門宛

(二二六六の二)
巻紙 一通

四四 證文(主人方就出事預申金之支)

慶応二年十二月

間金左衛門外七名と松村半次郎宛

(二二六六の三)
巻紙(包紙)一通

四四 拝借證文

(慶応三年九)卯二月

鬼木惣之丞と古川市大夫・高橋小十郎宛

(二二三四五)
一紙(包紙)一通

四四 借用證文之事

慶応三年三月

進藤甚之丞と古川市大夫外三名宛

(二二三五八)
一紙(包紙)一通

四四 借用證文之事

慶応三年三月

林丈右衛門・同勝平

(二二二二五)
一紙(包紙)一通

四四 借用證文之事

慶応三年四月

山田磯平と古川市大夫・高橋小十郎宛

(二二二六三)
一紙(包紙)一通

四四 拝借證文之事

慶応三年四月十五日

江上長兵衛と御勘定所宛

(二二二一九)
一紙(包紙)一通

四二 借用仕證文之事

(慶応三年九)卯月

児嶋佐作と古川市大夫・高橋小十郎宛

(二二二五九)
一紙(包紙)一通

三奈木黒田家文書 (一、江戸時代史料)

四三 借用證文

慶応三年五月

佐伯市次郎

(二二〇八)
一紙(包紙)一通

四三 證文

慶応三年五月

木原奎之進と古川市大夫外宛。拝借證文

(二二四七)
一紙(包紙)一通

四三 借用證文之事

慶応三年六月

児嶋佐作と古川市大夫・高橋小十郎宛

(二二二二二)
一紙(包紙)一通

四三 證文

慶応三年卯月六月

新野慎吾と古川市大夫・高橋小十郎宛。拝借寛

(二二四六の二)
一紙(包紙)一通

四三 借用證文

(慶応三年)卯九月四日

新野慎吾と古川市大夫・高橋小十郎宛

(二二四六の二)
一紙(包紙)一通

四三 借用證文之事

慶応三年六月

福沢八十右衛門と古川市大夫・高橋小十郎宛

(二二六七)
一紙(包紙)一通

四三 借用證文之事

慶応四年七月

後藤幸吉と高橋小十郎・古川市大夫宛

(二二二一六)
一紙(包紙)一通

四三 借用證文之事

(明治三年)午七月

中山静門と高橋古十郎・佐伯市次郎宛

(二二二七五)
一紙(包紙)一通

四三 拝借證文之事

慶応三年七月

(二二四三)
一紙(包紙)一通

安陪正作の御勘定役所宛

四一 借用證文之事

(二二八五)

慶応三年七月

一紙(包紙入)一通

入江十助の御勘定役所宛

四二 仮證文之事

(二七七七の一四)

慶応三年七月

一紙(包紙入)一通

古川市大夫外二名に松下休吉宛。武器調ニ付御出金分受取

四三 借用證文之事

(二二五二)

慶応三年七月

一紙(包紙入)一通

佐伯市次郎宛

四四 借用證文之事

(四一六三)

慶応三年七月

一紙(包紙入)一通

進藤甚之丞に古川市大夫外三名宛

四五 仮證文

(二二六五)

慶応三年七月

一紙(包紙入)一通

古川市大夫・中山小傳次外二名に渡辺与助宛。家中入用御出金受取

四六 仮證文

(二二六七の一)

慶応三年七月

一紙(包紙入)一通

古川市大夫・中山小傳次に徳永専蔵宛。家中武器調ニ而御出金分請取

四七 仮證文

(二二六七の二)

慶応三年七月

一紙(包紙入)一通

古川市大夫外二名に磯野七兵衛宛。家中武器調入用御出金分請取

四八 證拠之事

(二二五七)

慶応三年七月

一紙(包紙入)一通

市川勝之丞の御勘定役所宛

四九 拝借證文

(二二五一)

(慶応三年)十二月二十九日

切紙(包紙入)一通

新野慎吾の御勘定所宛

四〇 借用證拠之事

(二二六六)

(慶応三年)十二月

一紙(包紙入)一通

藤井潤蔵に古川市大夫外二名宛

四一 證文

(二二〇〇)

慶応三年十二月

一紙(包紙入)一通

萩本伊右衛門に古川市大夫・高橋小十郎宛。拝借證拠之事

四二 借用證文

(二二五〇)

慶応三年十二月

一紙(包紙入)一通

吉武条大夫に古川市大夫・高橋小十郎宛

四三 借用仕證文之事

(二二四八)

慶応三年十二月

一紙(包紙入)一通

東平大夫に古川市大夫・高橋小十郎宛

四四 借用證拠

(二二六九)

慶応三年十二月

一紙(包紙入)一通

檜崎善兵衛宛

四五 借用金證拠

(二二六八)

慶応三年十二月

一紙(包紙入)一通

尾沢勝右衛門宛

四六 借用證文之事

(八八五の三三)

慶応三年十二月

一紙(包紙入)一通

進藤加右衛門・大庭六之助の御勘定役所宛

四七 拝借金證文之事外

(八八五の三二)

慶応三年十二月

一紙(包紙入)一通

伊藤雄哉に古川市大夫外宛

四六 御茶屋附御筒非常御仕組金銀帳

(慶応三年)十二月

請持高岡九郎平・加藤助右衛門

四九 借用證文之事

慶応三年十二月

山崎仁七方御勘定所役所宛

四〇 證文

慶応三年十二月

松隈豹兵衛方古川市大夫・高橋小十郎宛。拝借證文

四一 借用證文之事

慶応三年十二月

山崎清五郎方御勘定所宛

四二 御仕組銭拝借仕ル證文之事

慶応三年十二月

新免市郎右衛門方御勘定所宛

四三 借用證文之事

慶応三年十二月

柴田松次郎方古川市大夫・高橋小十郎宛

四四 借用證文之事

慶応三年十二月

中嶋又平方御勘定所役所宛

四五 借用證文之事

慶応三年十二月

白水與惣方御勘定所役所宛

四六 借用證文之事

慶応三年十二月

(八四二)

長帳 一冊

(八八五の一九)

一紙(包紙入一通)

(二〇八四)

切紙 一通

(八八五の二二)

一紙(包紙入一通)

(八八五の一八)

一紙(包紙入一通)

(八八五の二七)

一紙(包紙入一通)

(八八五の二六)

一紙(包紙入一通)

(八八五の二五)

一紙(包紙入一通)

(八八五の二四)

一紙(包紙入一通)

四七 借用證文之事

慶応三年十二月

井村市郎方古川市大夫・高橋小十郎宛

四八 拝借證文之事

慶応三年十二月

重松右仲方
間金左衛門方古川市大夫外宛

四九 借用證文之事

慶応三年十二月

小西次大夫方

五〇 借用證文之事

慶応三年十二月

山崎朔大夫方古川市大夫宛

五一 証文之事

慶応三年十二月

市川勝之丞方古川市大夫・高橋小十郎宛

五二 拝借證文

慶応三年十二月

佐伯市次郎方古川市大夫外三名宛

五三 證文

慶応三年十二月

鈴木甚兵衛方古川市大夫外三名宛。借用證文之事

五四 借用證文之事

慶応三年十二月

小西次大夫方御勘定所役所宛

五五 證文

(八八五の二三)

一紙(包紙入一通)

(八八五の二四)

一紙(包紙入一通)

(八八五の二五)

一紙 一通

(八八五の二七)

一紙(包紙入一通)

(八八五の二二)

一紙(包紙入一通)

(二二五八)

一紙(包紙入一通)

(二二三四)

一紙(包紙入一通)

(二二一四)

一紙 一通

(二二〇七)

慶応三年十二月

切紙(包紙入)一通

江見彦右衛門と古川市大夫宛。借用仕證拠之事

四九 證文

(二二二二)

慶応三年十二月

切紙(包紙入)一通

梅野四郎兵衛と古川市大夫他三名宛。拝借證拠之事

四七 借用證門

(二二一八)

慶応三年

一紙(包紙入)一通

大神孫次と古川市大夫宛

四八 拝借證文

(二〇八八)

慶応三年

一紙 一通

高橋小十郎と古川市大夫・松隈豹兵衛宛

四九 借用證拠之事

(二二一九)

慶応三年十二月

一紙 一通

山崎朔大夫と御勘定所宛

五〇 證文

(二〇八九)

慶応三年十二月

一紙(包紙入)一通

岡崎岡右衛門と古川市大夫他三名宛。拝借申上證文之事

五一 證文

(二二〇三)

慶応三年十一月

一紙(包紙入)一通

八並喜内と古川市大夫・高橋小十郎宛

五二 證文

(二二〇五)

慶応三年十一月

一紙(包紙入)一通

高田弥八郎と古川市大夫・高橋小十郎宛

五三 借用證文之事

(八八五の二三)

慶応四年正月

一紙(包紙入)一通

鎗喜左衛門と御勘定所役所宛

四四 仮證文

(二七七の三)

慶応四年二月

一紙(包紙入)一通

古川市大夫と瀬戸惣次郎宛。陣用金之内出金請取

四五 借用證文之事

(二二〇〇)

慶応四年二月

一紙 一通

柴田又右衛門と

四六 借用申上證拠之事

(二二〇一)

(明治元年)二月

一紙(包紙入)一通

藤野次惣と高橋小十郎宛

四七 借用證文

(二二〇二)

慶応四年二月

一紙(包紙入)一通

福沢八十右衛門外二名と古川市大夫・高橋小十郎宛

四八 借入金證文之事

(二二〇三)

慶応四年三月

一紙(包紙入)一通

伊藤雄哉と古川市大夫・高橋小十郎宛

四九 借用證拠之事

(二二〇四)

慶応四年三月

一紙(包紙入)一通

木原全之進と古川市大夫外三名宛

五〇 證文并添證文

(二二〇一)

慶応四年三月

一紙(包紙入)一通

三角半八と古川市大夫外三名宛。拝借證拠之事

五二 借用證文之事

(八八五の二九)

慶応四年四月

一紙(包紙入)一通

八並喜内と古川市大夫・高橋小十郎宛

五三 仮證文

(二七七の二)

慶応四年四月

一紙(包紙入)一通

五三 證文

古川市大夫外三名と瀬戸惣次郎宛。御上京用出金分請取

(二二一三)

慶応四年四月

一紙(包紙入)一通

中山小傳次と古川市大夫外二名宛。借用證文

五四 拝借證拠之事

(四一五八)

慶応四年五月

一紙(包紙入)一通

梅野四郎兵衛と古川市大夫外二名宛

五五 辰御貸渡金平高押帳

(八六二)

慶応四年

長帳 一冊

御勘定所

五六 覚

(七七六)

(明治元年)辰四月

切紙 一通

御家中拝借年賦上納外冬納分書出

五七 借用證拠支

(八八五の二二)

(明治元年)辰四月二十八日

一紙(包紙入)一通

手塚惣之進と古川市大夫外宛

五八 借用證文

(二三〇九)

慶応四年七月

一紙(包紙入)一通

梅野四郎兵衛と古川市大夫外二名宛

五九 證拠

(八八五の二〇)

(明治元年)辰九月廿九日

一紙(包紙入)一通

荒川春哉と御勘定所宛

六〇 借用證文之事

(二二九九)

明治元年十一月

一紙(包紙入)一通

権藤仲造と御勘定所役所宛

六一 御請取申上ル事

(四一九五)

明治元年十一月

一紙 一通

大庭村藤五と大塩佐吉郎宛。銀預

六二 御仕組銭拝借仕證文之事

(二三四六)

(明治元年)辰十二月二十四日

一紙(包紙入)一通

福嶋傳八と篠原左右外四名宛

六三 借用仕證拠

(二三三三)

慶応四年十二月

一紙(包紙入)一通

高山貞七、高山桂

六四 拝借證文之事

(二三二一)

明治元年十二月

一紙(包紙入)一通

間市之助と篠原左右外宛

六五 借用仕證文之事

(二二五九)

明治元年十二月

一紙(包紙入)一通

執行茂一郎と御勘定所役人中宛

六六 借用仕證文之事

(二二九一)

明治元年十二月

一紙(包紙入)一通

田中徳蔵と古川市大夫外三名宛

六七 借用證文

(二〇八七)

明治元年十二月

一紙(包紙入)一通

大庭三之助と御勘定役所宛

六八 拝借證文之事

(八八五の二六)

明治元年十二月

一紙(包紙入)一通

加藤弥右衛門・里村左伝次と御勘定役所宛

六九 御仕組金拝借仕證文之事

(八八五の二八)

明治元年十二月

一紙(包紙入)一通

加藤助右衛門と御勘定所宛

五〇 借用證文

明治元年十二月

(二二四五)
一紙(包紙入一通)

白水与惣方御勘定役所宛

五一 證文

明治元年十二月

(二二二一)
一紙(包紙入一通)

進藤五兵衛方古川市大夫外宛。借用證文之事

五二 借用證文

明治元年十二月

(二二五七)
一紙(包紙入一通)

大庭真之助方御勘定役所宛

五三 借用證文

明治元年

(二二三三)
一紙(包紙入一通)

板波興大夫方御勘定役所宛

五四 郷足輕任組金差引帳

明治二年二月

(二〇八九)
長帳 一冊

加藤要人方加藤忠左衛門・加藤左近右衛門外宛。明治元年辰分

五五 借用證文之事

明治二年二月

(二三二二)
一紙(包紙入一通)

檜崎善兵衛

五六 借用證文之事

明治二年三月

(八八五の一一)
一紙(包紙入一通)

帆足栄助方御勘定所役所宛

五七 帝釈寺組任組錢差引根帳

明治二年三月

(八二六)
長帳 一冊

新免市郎右衛門

五八 借用證文

明治二年四月

(二二九五)
一紙(包紙入一通)

佐伯市次郎方御勘定所宛

五九 辰御貸渡金拝借押帳

明治二年五月

(九九七)
長帳 一冊

六〇 借用證文之事

明治二年五月

(八八五の三三)
一紙(包紙入一通)

権藤仲造方御勘定所役所宛

六一 證文(借用)

明治二年五月

(二〇九〇)
一紙 一通

加藤萬兵衛方高橋小十郎・佐伯市次郎宛

六二 借用證文

(明治元年)辰六月十九日

(二二四七)
切紙(包紙入一通)

藤井潤藏方古川市大夫宛

六三 借入金證文之事

明治二年六月

(八八五の二)
一紙(包紙入一通)

主賀喜左衛門方高橋小十郎・佐伯市次郎宛

六四 借用證文之事

明治二年六月

(八八五の二)
一紙(包紙入一通)

手塚太郎輔方高橋小十郎・佐伯市次郎宛

六五 拝借證文之事

明治三年七月

(九一八)
切紙 一通

梅野四郎方高橋七十郎・佐伯芳次郎宛

六六 拝借證文之事

明治二年七月

(八八五の四)
一紙(包紙入一通)

竹村市郎方高橋小十郎・佐伯市次郎宛

六七 借用證文之事

(明治二年)五月十五日

(八八五の五)
一紙(包紙入一通)

西八 拝借證文之事
中尾茂市左衛門方高橋小十郎・佐伯市次郎宛
明治二年七月

(八八五の六)
一紙(包紙入一通)

西九 拝借證文之事
白水與惣方御勘定役所宛
明治二年七月

(八八五の七)
一紙(包紙入一通)

五〇 拝借證文之事
林勝平方高橋小十郎・佐伯市次郎宛
明治二年七月

(八八五の八)
一紙(包紙入一通)

五一 拝借證文之事
高山桂方高橋小十郎・佐伯市次郎宛
明治二年七月

(八八五の九)
一紙(包紙入一通)

五二 拝借證文之事
入江十助方高橋小十郎・佐伯市次郎宛
明治二年七月

(八八五の一〇)
一紙(包紙入一通)

五三 借用仕證文之事
梅野四郎兵衛方高橋小十郎・佐伯市次郎宛
明治二年七月

(二二五四)
一紙(包紙入一通)

五四 (借用) 證文之事
鈴木甚兵衛方高橋小十郎宛
明治二年七月

(二三四七)
一紙(包紙入一通)

五五 證文
市川勝方高橋小十郎・佐伯市治郎宛
明治二年九月

(二二二二)
一紙(包紙入一通)

五五 借用證文之事
建部惣十郎・吉安徳磨方高橋小十郎宛
明治二年九月

(八八五の三一)
一紙(包紙入一通)

明治二年十一月
山崎吾藤左方高橋古十郎外宛
御仕組證文
明治二年十一月
一紙(包紙入一通)
(二一〇九)

五五 借用證文之事
篠原村樹方高橋古十郎・佐伯市次郎宛。拝借證文
明治二年十一月
一紙(包紙入一通)
(二二三三)

五五 郷足輕仕組金引讓帳
林勝平方御勘定役所宛
明治二年十一月
書冊 一冊
(八〇三)

五〇 郷足輕仕組金引讓帳
加藤
明治二年十一月
長帳 一冊
(一〇一六)

五二 借用証文之事
中山餘念方高橋古十郎・佐伯市次郎宛
明治二年十一月
一紙(包紙入一通)
(二三五五)

五三 借用證文之事
鎗鍊方御勘定役所宛
明治二年十一月
一紙(包紙入一通)
(二三六一)

五四 借用證文
(明治二年)巳十二月
大庭加増方御勘定役所宛
一紙(包紙入一通)
(二三六八)

五五 借用證文之事
林丈平方御勘定役所宛
明治二年十二月
一紙(包紙入一通)
(二三六〇)

五五 拝借證文之事
明治二年十二月
一紙(包紙入一通)
(二三二七)

明治二年十二月

一紙(包紙入一通)

内海満干と高橋古十郎・佐伯市次郎宛

借用證文之事

(二二三八)

明治二年十二月

一紙(包紙入一通)

高田作平外と高橋古十郎・佐伯市治郎宛

借用證文

(二二九〇)

明治二年十二月

一紙(包紙入一通)

水谷速見と高橋古十郎・佐伯市次郎宛

借用證文之事

(二二八二)

明治二年十二月

一紙(包紙入一通)

藤野栄太と御勘定所役所宛

借用證文并添書

(二三四四)

明治二年十二月

(包紙入)一紙一通・切紙一通

尾沢恵惣と高橋古十郎・佐伯市次郎宛

借用證文之事

(二三五三)

明治二年十二月二十三日

一紙(包紙入一通)

千宿房と御勘定所宛

借用證文

(二二五五の二)

明治二年十二月

一紙(包紙入一通)

松隈標と高橋古十郎・佐伯市次郎宛

借用證文之事

(二二五五の二)

(明治三年)午四月

一紙(折紙入一通)

松隈標と高橋古十郎・佐伯市次郎宛

借用證文之事

(二二三六)

明治二年十二月十七日

一紙(包紙入一通)

徳重屯と高橋古十郎・佐伯市次郎宛

借用證文之事

(二二八六)

明治二年十二月

一紙(包紙入一通)

西沢鏡と高橋小十郎・佐伯市次郎宛

借用證文

(二二二六)

明治二年十二月

一紙(包紙入一通)

高橋古十郎と佐伯市次郎宛

證文

(二二二三)

明治二年十二月

一紙(包紙入一通)

岡崎岡と高橋古十郎・佐伯市次郎宛。借用

證文

(二二一〇)

明治二年十二月

一紙(包紙入一通)

梅野四郎と高橋古十郎・佐伯市次郎宛。拝借

借用證文

(二二〇二)

明治二年十二月

一紙(包紙入一通)

岡崎岡右衛門と高橋小十郎・佐伯市次郎宛

證文

(二二二九)

明治二年十二月

一紙(包紙入一通)

陶山丸と高橋古十郎・佐伯市次郎宛

借用證文之事

(二二三〇)

明治二年十二月

一紙(包紙入一通)

志間良四郎と高橋古十郎・佐伯市次郎宛

借用證文之事

(二二四〇)

明治二年十二月

一紙(包紙入一通)

高橋古十郎と佐伯市次郎宛

借用證文

(二二四二)

明治二年十二月

一紙(包紙入一通)

関安平方高橋古十郎・佐伯市次郎宛

五三 郷足輕仕組錢根帳

(八二四)

明治二年十二月改

書冊 一冊

萩本足身・板沼規

五四 證文

(二二四八)

明治二年十二月

巻紙 一通

志間広外八名方高橋古十郎・佐伯市次郎宛。借用

五五 借用證文之事

(二二五七)

(明治二年九)巳十二月

一紙(包紙入)一通

中山小傳次方高橋小十郎・佐伯市次郎宛

五六 借用金證文之事

(二二九八)

明治二年十二月

一紙(包紙入)一通

建部惣十郎方高橋古十郎・佐伯市次郎宛

五七 借用證文之事

(二二七〇)

明治二年十二月

一紙(包紙入)一通

梅野瑞枝方高橋古十郎・佐伯市次郎宛

五八 借用證文之事

(二二七二)

明治二年十二月

一紙(包紙入)一通

上田需平方高橋古十郎・佐伯市次郎宛

五九 借用證文之事

(二二六九)

明治三年五月十五日

一紙(包紙入)一通

西岡六郎方高橋古十郎・佐伯市次郎宛

五〇 借用證文

(二二七二の二)

明治三年十月

一紙(包紙入)一通

志間良四郎方高橋古十郎・佐伯市次郎宛

五一 借用證文之事

(二二七二の二)

三奈木黒田家文書 (一、江戸時代史料)

明治二年十二月

志間良四郎方高橋古十郎・佐伯市次郎宛

五三 借用證文

(二二七三)

明治三年五月

一紙(包紙入)一通

梅野古莊方高橋古十郎・佐伯市次郎宛

五三 (借用) 證文

(二二九七)

明治三年

切紙三通 一綴

高橋古次郎・佐伯次郎

五四 借用證文

(二二五六)

明治三年正月

切紙(包紙入)一通

関示方高橋小十郎・佐伯市次郎宛

五五 借用證証

(二二九六)

(明治三年)午

切紙綴 一綴

佐伯市次郎

五六 借用證文

(二二七八)

明治三年三月

切紙(包紙入)一通

梅野四郎方高橋古十郎・佐伯市次郎宛

五七 借用證文之事

(二二七九)

明治三年三月

切紙(包紙入)一通

佐久間弥莊方御勘定所宛

五八 拝借證文之事

(二二八〇)

明治三年三月

切紙(包紙入)一通

加藤十五郎方高橋古十郎・佐伯市次郎宛

五九 借用證文

(二二七六)

明治三年三月

切紙(包紙入)一通

志間曾淵方高橋古十郎・佐伯市次郎宛

六〇〇 借用證拠之事

明治三年四月

高田作平方高橋古十郎・佐伯市次郎宛

(二二七四)
切紙(包紙入)一通

六〇一 借用證文之事

明治三年四月

小西九十老方御勘定役所宛

(二二七七)
切紙(包紙入)一通

六〇二 拝借證文之事

明治三年四月

中村運平方御勘定役所宛

(二二四九)
切紙(包紙入)一通

六〇三 拝借證文之事

明治三年四月

松隈標・三原純平方高橋古十郎・佐伯市次郎宛

(二二五〇)
切紙(包紙入)一通

六〇四 (拝借)證文

明治三年四月

篠原好方御勘定役所宛

(二二五一)
切紙(包紙入)一通

六〇五 證文

(明治三年)午四月十三日

高岡九郎平方御勘定役所宛。米十五俵帝釈寺組江拝借

(二二五二の二)
切紙(包紙入)一通

六〇六 御蔵仕組銭差引目録

(明治三年)午四月

小西十郎方団宛

(二〇一九)
長帳 一冊

六〇七 拝借證文

明治三年四月

上田霏平方高橋古十郎・佐伯市次郎宛

(二二二八)
切紙(包紙入)一通

六〇八 借用證拠之事

明治三年四月十日

(二二五五)
切紙(包紙入)一通

六〇九 拝借證文之事

明治三年四月

内海満千方高橋古十郎宛
走下組方御勘定役所宛

(二二五六)
切紙(包紙入)一通

六一〇 遊銭差引目録

(明治三年)午四月

小西十郎方団宛

(二〇一八)
長綴 一綴

六一一 拝借證文之事

明治三年五月九日

江上長作方御勘定所宛

(二二三一)
切紙(包紙入)一通

六一二 拝借證拠之事

明治三年六月

守嶋源四郎方高橋古十郎・佐伯市次郎宛

(二二五二の一)
切紙(包紙入)一通

六一三 拝借證拠之事

明治三年五月

宇嶋源四郎方高橋古十郎・佐伯市次郎宛

(二二五三)
切紙(包紙入)一通

六一四 借用仕證拠之事

明治三年五月

梅野古荘方高橋古十郎・佐伯市次郎宛

(二二五四)
切紙(包紙入)一通

六一五 帝釈寺組仕組銭根帳

明治三年六月

新免可

(二〇一七)
長帳 一冊

六一六 拝借證文

明治三年六月

勝野不二方高橋古十郎・佐伯市次郎宛

(二二二七)
切紙(包紙入)一通

六一七 仮證文之事

(二二七七の一九)

明治三年六月

高橋古十郎外一名を相部保作宛。地御入用出金分受取

切紙(包紙入)一通

六八 仮證文

明治三年六月

高橋古十郎外一名を内海善平宛。地御入方出金分受取

切紙(包紙入)一通

六九 仮證文之事

明治三年六月

高橋古十郎を伊藤六三郎宛

切紙(包紙入)一通

七〇 仮證文

明治三年六月

高橋古十郎・佐伯市次郎を徳永嘉平宛。地入用御出金分借用

切紙(包紙入)一通

七一 仮證文

明治三年七月十一日

高橋古十郎・佐伯三次郎を磯貝次平宛。地御入用御出銀分

切紙(包紙入)一通

七二 石橋源延不納金年賦願書

明治三年七月

長帳 一冊

七三 仮證文之事

明治三年八月

高橋古十郎を松下久吉宛。地御入方出金分受取

切紙(包紙入)一通

七四 金銀預り渡帳

明治三年八月

進藤量外を真・静門・村樹宛

冊子 一冊

七五 帝釈寺組囲米組附地并御旗持地余米

明治三年八月

長帳 一冊

七六 御差紙引付帳

明治三年

長帳 一冊

走下銃手

三七 福岡御附属中御倉渡村々直津出帳

明治三年九月

長帳 一冊

御勘定所

三八 拝借金年賦御上納申上ル證拠

明治三年九月

巻紙 一通

石橋孫延を高橋古十郎・佐伯市次郎宛

三九 奉請書添證之覚

明治三年

一紙(包紙入)一通

大工町古和多屋石橋孫延一族を

四〇 書状

明治三年九月三十日

切紙 一通

佐伯次郎吉・笠集七を高橋・佐伯宛。石橋孫延の事

四一 拝借證文

明治三年十月

一紙(包紙入)一通

高橋古十郎を佐伯市次郎宛

四二 覚

(明治三年)十一月五日

切紙 一通

新野慎行を。金十兩

四三 新銃手仕組金指引帳

明治三年

長帳 一冊

四四 金子拝借證文並借用證文

1 借用證文之事

万延元年十二月

一紙(包紙入)一通

山崎朔大夫

2 借用證文之事

一紙(包紙入)一通

文久二年十二月

一紙(包紙入)一通

市川勇左衛門方御勘定所宛

3 借用証文之事

元治元年七月

(三六九五の二八)
一紙(包紙入)一通

児嶋佐作方三原与左衛門・江見彦三進宛

4 借用証文之事

元治二年四月

(三六九五の二九)
一紙(包紙入)一通

小西次大夫

5 借用証文之事

慶応元年十二月

(三六九五の五)
一紙(包紙入)一通

児嶋佐作方三原与左衛門・古川市大夫宛

6 借用仕証文之事

慶応元年十二月

(三六九五の一〇)
一紙(包紙入)一通

田中徳蔵方古川市大夫・三原与左衛門宛

7 借用証文之事

慶応元年十二月

(三六九五の一五)
一紙(包紙入)一通

萩本伊右衛門方古川市大夫・三原与左衛門宛

8 借用仕証文之事

慶応二年五月

(三六九五の三一)
一紙(包紙入)一通

児嶋佐作方古川市大夫・高橋小十郎宛

9 借用証文之事

慶応二年十二月

(三六九五の六)
一紙(包紙入)一通

江見彦右衛門方古川市大夫・高橋小十郎宛

10 借用証文之事

慶応二年十二月

(三六九五の一)
一紙(包紙入)一通

志間幸次郎方御勘定御役所宛

11 借用証文之事

慶応二年十二月

(三六九五の一三)
一紙(包紙入)一通

伊東伝右衛門方古川市大夫宛

12 借用仕証文之事

慶応二年十二月

(三六九五の三三)
一紙(包紙入)一通

柴田又右衛門

13 借用金証文之事

慶応三年三月

(三六九五の一四)
一紙(包紙入)一通

伊藤雄哉方古川市大夫・高橋小十郎宛

14 借用証文之事

慶応三年四月三日

(三六九五の四三)
一紙(包紙入)一通

江見彦右衛門方古川市大夫・高橋小十郎宛

15 証文

慶応三年五月

(三六九五の四一)
一紙(包紙入)一通

新野慎吾方古川市大夫・高橋小十郎宛

16 請取

慶応三年十月

(三六九五の三二)
一紙(包紙入)一通

篠原左右方古川市大夫・中山小伝次・高橋小十郎宛

17 借用仕証文之事

慶応三年十月

(三六九五の四九)
一紙 一通

借主太五郎方篠原誠宛

18 拝借証文之事

慶応三年十二月

(三六九五の一八)
一紙(包紙入)一通

白石善吉方御勘定所役所宛

19 借用証文之事

慶応三年十二月

(三六九五の三九)
一紙(包紙入)一通

永田次右衛門方御勘定所御役所宛
20 帝釈寺組拝借証文之事

慶応三年十二月

(三六九五の五二)
一紙(包紙入)一通

新免市郎右衛門方御勘定所御役所宛
21 借用仕ル証文之事

明治元年三月

(三六九五の四九)
一紙 一通

吉木村借用主太五郎方市川勝之丞宛
22 拝借証拠之事

慶応四年六月

(三六九五の八)
一紙(包紙入)一通

内海内右衛門方古川市大夫・高橋小十郎宛
23 借用証文之事

慶応四年六月

(三六九五の三四)
一紙(包紙入)一通

中尾茂市左衛門方御勘定所御役所宛
24 借用証文之事

慶応四年八月

(三六九五の二二)
一紙(包紙入)一通

間金左衛門方古川市大夫・篠原左右・高橋小十郎宛
25 証文之事

明治元年十二月

(三六九五の七)
一紙(包紙入)一通

進藤加右衛門方御勘定所御役所宛
26 借用証文之事

明治元年十二月

(三六九五の九)
一紙(包紙入)一通

栗原角右衛門方御勘定所宛
27 拝借証文之事

明治元年十二月

(三六九五の一七)
一紙(包紙入)一通

秋本幸右衛門方高橋小十郎・佐伯市次郎宛
28 受取

(三六九五の二四)

三奈木黒田家文書 (一、江戸時代史料)

明治元年十二月

一紙(包紙入)一通

市川勝之丞方篠原左右・中山小伝次・高橋小十郎宛
29 拝借金証拠之事

明治元年十二月

(三六九五の三五)
一紙(包紙入)一通

尾次村弥右衛門方御勘定所宛
30 借用証文之事

明治二年二月

(三六九五の一八)
一紙(包紙入)一通

江見市助・受人江見彦右衛門方御勘定所宛
31 御拝借証文之事

明治二年八月

(三六九五の四五)
一紙 一通

国分村足軽長吉・次市方市川勝之丞宛
32 借用仕証文之事

年月

(三六九五の四六)
一紙 一通

夜須郡赤坂村借主平七・甚六方市川勝之丞宛
33 御拝借仕ル証文之事

明治二年八月

(三六九五の四八)
一紙 一通

八田村小役人甚内方市川勝之丞宛
34 借用証拠之事

明治二年九月

(三六九五の四)
一紙(包紙入)一通

林丈右衛門・林勝平
35 借用証文之事

明治二年十一月

(三六九五の二二)
一紙(包紙入)一通

泊義平方高橋古十郎宛
36 証拠

明治二年十一月

(三六九五の二三)
一紙(包紙入)一通

下村六弥方御勘定所役所宛

37 拝借証拠之事

明治二年十二月

(三六九五の二)
一紙(包紙入)一通

38 拝借証文之事

梅野四郎と高橋古十郎・佐伯市次郎宛

(三六九五の二〇)

明治二年十二月

一紙(包紙入)一通

39 拝借金証拠之事

西岡六郎と高橋古十郎・佐伯市次郎宛

(三六九五の二二)

明治二年十二月

一紙(包紙入)一通

40 証拠之事

美和清七と高橋小十郎・佐伯市次郎宛

(三六九五の二六)

年月

一紙(包紙入)一通

41 借用金証文之事

市川勝と高橋古十郎・佐伯市次郎宛

(三六九五の二七)

明治二年十二月

一紙(包紙入)一通

42 拝借証文之事

山崎才吉と高古十郎・佐伯市次郎宛

(三六九五の三六)

明治二年十二月

一紙(包紙入)一通

43 証拠之事

鈴木專吾と高橋小十郎・佐伯市次郎宛

(三六九五の四四)

明治二年十二月

一紙 一通

44 借用証文之事

市川勝と高橋古十郎宛

(三六九五の四五)

明治二年十二月

一紙 一通

45 借用証拠之事

国分村居住長吉・次市と市川勝之丞宛

(三六九五の四六)

明治二年十二月

一紙 一通

46 御拝借仕ル証文之事

夜須郡赤坂村借主平七・甚六と市川勝之丞宛

(三六九五の四七)

明治二年十二月

一紙 一通

47 御拝借仕証文之事

拝借主中村小役人権次と市川勝之丞宛

(三六九五の四八)

明治二年十二月

一紙 一通

48 借用仕ル証文之事

八田村拝借主甚内と市川勝之丞宛

(三六九五の四九)

明治二年十二月

一紙 一通

49 拝借証文

借主太五郎・請人勘市と市川勝之丞宛

(三六九五の三七)

明治三年四月

一紙(包紙入)一通

50 拝借証拠之事

勝野不二と高橋古十郎・佐伯市次郎宛

(三六九五の二)

明治三年五月

一紙(包紙入)一通

51 拝借

松隈標と高橋古十郎・佐伯市次郎宛

(三六九五の三)

(江戸期)午四月七日

一紙(包紙入)一通

52 借用証文之事

佐伯市次郎

(三六九五の二六)

(江戸期)卯三月十一日

一紙(包紙入)一通

53 拝借証拠之事

藤井潤蔵と古川市大夫・高橋小十郎宛

(三六九五の三八)

(江戸期)寅十月

一紙(包紙入)一通

54 借用仕証文之事

三角羊八と古川市大夫・高橋小十郎宛

(三六九五の四〇)

(江戸期) 寅十二月

田中徳藏古川市大夫・高橋小十郎宛

一紙(包紙入)一通

55 拝借証文之事

(江戸期) 卯五月

権藤仲造古市大夫・高橋小十郎宛

(三六九五の四二)
一紙(包紙入)一通

56 御拝借仕証文之事

(江戸期) 子十二月

拝借主小役人甚内大塩佐吉郎宛

(三六九五の四八)
一紙 一通

57 預り

(江戸期)

福沢八十助拝借

(三六九五の五〇)
切紙 一通

六三 覚

(明治三年) 午十二月十五日

三奈木家臣分御馬飼料銀

(四二一〇)
切紙 一通

六三 返済證拠之事

明治四年

宇美村庄屋神武九郎黒田内田中園生宛

(三六九七)
切紙(包紙入)一通

六三 帝釈寺組銃手

明治四年三月

明治四年三月

(八二七)
書冊 一冊

六三 諸口仕組錢根帳

明治四年

明治四年三月

(八〇七)
書冊 一冊

六三 金子預り証文之事

明治四年三月

高橋太十郎・萩本足身間淇園・加藤樽園宛

(二三〇七)
折紙(包紙入)一通

六四 預り手形

(明治四年) 七月二十六日

三奈木黒田家文書 (一、江戸時代史料)

(四〇七六)
切紙(包紙入)一通

六二 借拳

(明治四年) 未五月

江藤林毛加藤樽園宛。栗代

(四〇七七)
切紙(包紙入)一通

六三 諸仕組金受取控

明治四年九月

(九三二)
長帳 一冊

六三 監察附遊金差引帳

明治四年三月

(九二七)
長帳 一冊

六四 帝釈寺仕組錢根帳

新免可・板波規

(八一九)
書冊 一冊

六四 借用仕証文之事

(江戸後期) 五月

児嶋佐作外一名古川市大夫外一名宛

(二三二〇)
一紙(包紙入)一通

六四 (借用) 證拠

(江戸期) 明五月

市川勝之丞古川市大夫・高橋小十郎宛

(二三二〇)
一紙(包紙入)一通

六四 銀預證拠

(江戸後期) 十一月

田中園生間淇園宛

(六五六)
切紙 一通

六四 書状

(江戸期) 五月十一日

加藤彦大夫・間九大夫外宛。武器為仕調拝借銀被仰付候云々

(二九六五)
切紙 一通

六四 請取覚

(江戸期) 四月二十四日、二十五日

神山利右衛門高橋小十郎宛。百両請取

(二三三四)
切紙(包紙入)一通

六五 拝借証拠之事

(江戸期) 十二月二十四日

切紙(包紙入)一通

梅野四郎兵衛と篠原左右外四名宛

六五 預

(江戸期) 九月十三日

切紙 一通

梅野喜太夫と利左衛門・甚五衛門外二名宛。宝蔵より出ル分

六五 預

(江戸期) 七月十三日

切紙 一通

岡五郎平・江見彦之進と甚五太夫外三名宛。御馬牽入分

六五 預

(江戸期) 八月十四日

切紙 一通

岡五郎平・山崎新平衛と甚五大夫外三名宛。御出崎御用金

六五 請取証拠

(江戸期) 八月二十六日

切紙(包紙入)二通

河谷金十郎と萩本伊右衛門外宛。銀四貫目

六五 覚

(江戸期) 八月九日

一紙 一通

河谷金十郎と萩本伊右衛門・間九太夫外宛

六五 諸仕組金覚

(江戸期)

長綴 一綴

帝釈寺仕組金外

六五 仮證文

(江戸期) 六月朔日

切紙(包紙入)二通

古川市大夫外一名と瀬戸喜助宛。軍用金出金分受取

六五 仮證文

(江戸期) 辰十月九日

切紙(包紙入)一通

六六 午秋御所務高末八月迄御積

(明治三年)

長帳 一冊

并御一作且御抱地餘余帳

六六 所務渡之覚

(江戸期)

小横帳 一冊

六六 郷足輕飯米算用帳

(江戸期) 午九月

長帳 一冊

一誠様御代御家頼中所務渡定法之事
篠原好と萩本足身・板波規宛

六六 仮證文之事

(江戸期) 辰十月九日

切紙(包紙入)一通

古川市大夫外三名と内海善兵衛宛。上京用出金分受取

六六 御借付米残り元米証拠

(明治初期)

切綴 一綴

高橋古十郎・佐伯市次郎と岡崎岡・進藤量宛

六六 証拠之事

(江戸期) 三月九日

切紙 一通

永見仁兵衛・大畠半左衛門と福嶋長平・三原市蔵宛。為利金払入分

六六 覚

(江戸期)

切紙(包紙入)一通

切米取留高

六六 覚

(江戸後期)

切紙 一通

唯見江被下置い御扶持方当一季寸志指上度

六六 覚

(江戸期)

切紙(包紙入)一通

(明治初年)
切米

折紙 一通

六七 御貸渡金後渡之分四半高御渡之覚

(明治初年)辰・巳

書綴 一綴

六八 覚

(明治初年)

切紙 一〇通

六九 御国籾御入替二付拝借相渡(覚)

(明治初年)巳八月・九月

長帳 一冊

加藤助右衛門・小西藤九郎

七〇 御家中拝借分

(明治初年)

長綴 一綴

七一 卯冬と五ヶ年之間御貸付米役所預根帳外

(明治四年)

長帳 一冊外

七二 地拂拝借名元

(明治初年)

切紙 一通

七三 当亥七月間九大府殿請持之金之由ニ而役所江貸付頼有之家中江当冬迄

預り置貸付置帳面

(江戸期)

書冊 一冊

七四 札受取覚

(明治初年)

切紙 一通

七五 覚

(明治初年)一月

切紙 一通

拝借米返納の事

七六 拝借證文

(明治初年)十二月

一紙(包紙入)一通

鬼木惣之丞と古川市大夫・三原与左衛門宛

(二〇九二)

六七 (借用)證文

(明治初年)十二月
岩田勘左衛門と福島長平・三原市蔵宛

切紙(包紙入)一通

六八 證文

(江戸後期)明治初年)十二月
宮崎朔右衛門と福嶋長平・三原市蔵宛。御仕組金拝借

切紙(包紙入)一通

六九 (借用)證文

(江戸期)十二月二十六日
市川勝之丞と古川市大夫・高橋小十郎宛

切紙(包紙入)一通

七〇 借用證文之事

(江戸期)卯三月十一日
藤井測藏と古川市大夫・高橋小十郎宛

切紙(包紙入)一通

七一 御武具方拝借分

(江戸期)

切紙綴(包紙入)一綴

七二 拝借證文之事

(江戸期)

切紙(包紙入)一通

七三 (借用)證文之事

八尋八藏と御勘定所役所宛

(二一四二)

七四 (江戸期)巳十二月五日

是松種次と高橋古十郎・佐伯市次郎宛

切紙 一通

七五 1 卯仕組證文

(江戸期)

(二二五九の二)

2 小役人仕組證文

(江戸期)

(二二五九の二)

3 武具除證文

(二二五九の三)

慶応三年

4 楠屋納貸付證文

慶応二年十二月

(二二五九の四)

袋のみ

5 火薬代證文入

文久二年十二月

(二二五九の五)

袋のみ

6 長崎仕組證文

(江戸期)

(二二五九の六)

包紙のみ

六五 證扱

(江戸期) 午七月

(二二六〇)

包紙のみ

梅野四郎

六六 請取

(明治初年) 丑六月晦日

切紙 一通

(三六八〇)

谷川佐左衛門と福島長平・三原市蔵宛。銀預

六七 拝借仕證文之事

(江戸期) 十一月二十二日

(二二五六)

切紙(包紙入)一通

鬼木惣之丞・粕吉祐之進と福島長平・三原市蔵宛。御仕組銭拝借

六八 拝借證扱之事

(江戸期)

(二二五五の三)

切紙(包紙入)一通

松隈標と高橋古十郎・佐伯市次郎宛

六九 拝借證文之事

(江戸期) 卯十一月

(二二八七)

切紙(包紙入)一通

加藤万兵衛と古川市太夫・高橋小十郎宛

七〇 借用證扱事

(江戸期) 閏四月十七日

(二二八八)

切紙(包紙入)一通

手塚惣之進と古川市太夫・高橋小十郎宛

七一 借用證文之事

(二二九二)

(江戸期) 巳十二月

大庭加増と御勘定役所宛

六三 (拝借) 覚

(明治初年) 七月十七日、八月五日

(二二九三)

切紙(包紙入)二通

植松八三と。金札

六四 (借用) 覚

(明治初年) 二十三日

(二三〇八)

切紙 一通

八並休む。銀預

六五 扶持方并両組莫式飯米後差引目録

明治三年

(六六三)

長帳 一冊

六六 覚

(明治初期)

(六五五)

長綴 一綴

諸御引米金書上、扶持米社寺寄附地外

六七 (仮題) 覚

(明治初年)

(五二七)

書綴 一綴

給知米代銭書出

六八 走下組仕組金御算用帳

明治四年三月

(九二一の二)

長帳 一冊

萩本足身・高橋太十郎

六九 (仮題) 覚

(明治初年)

(四一〇九)

切紙 一通

郷足輕面々拝借金返済の事

七〇 覚

(明治初年) 八月七日

(九一七の七)

切紙(包紙入)一通

白石徳磨と田中園生・篠原善次宛。奉公難仕

七一 覚

(五三七)

(明治初年)六月

黒田一雄。従前附属江去冬半高御渡

七〇(仮題)覚

(明治初年)

米渡高

七〇三覚

(明治初年)三月

大参事黒田一美方。黒田一美附属在住之士族江御渡之所務半高配当に付

七〇三(銀子拝借)御願書

(江戸期)子八月

長崎表御用達鳥山平二郎外一名方高山武右衛門外宛

9 武備・武術

(1) 兵法

一 長刀御傳授之巻物(破損甚し)

寛永二年

寛永年間久野外記重綱方先祖一任江長刀伝授之巻物

二 (仮題)秘伝書

寛永十四年五月

統直方藤田助丞宛

三 1十文字鎌手継書

(江戸期)

2十文字鎌免状

文化十三年

黒田美作

三奈木黒田家文書 (一、江戸時代史料)

切紙 一通

(四八九三)

切紙 一通

(三六八一)

切紙 一通

(四〇〇二)

切紙(包紙入)一通

(四〇〇)

巻子 一卷

(四八〇二)

巻子(箱入) 一卷

(四八〇三の二)

巻子(箱入) 一卷

(四八〇三の二)

巻子 一卷

3 歌之巻

(江戸期)

四 剣□秘書

寛永十七年

黒田美作

五 新影流

明和三年

六 伊岐流戦鎗集

天明六年

伊岐弥内

七 起請文前書之事

寛政七年十二月十三日

八 馬術入門誓詞

寛政七年十一月十一日

九 十文字鎌目録

寛政十一年

一〇 羽倉権九郎殿江相図揚物入門相濟候節之返書

寛政十三年二月二十八日

一一 木付三郎右衛門答之趣書付

享和元年八月二十八日

一二 弥左衛門江相答置候長助方取合一件

文化六年霜月二十六日

(四八〇三の三・四)

巻子 二巻

(一五八七)

書冊 一冊

(四八〇〇)

巻子(箱入) 八巻

(一七一六)

小横帳 一冊

(二七〇八)

一紙(包紙入)一通

(五〇)

一紙(包紙入)一通

(二七一八)

巻紙 一通

(一九六二)

折紙 一通

(二五五〇)

切紙(包紙入)一通

(四九)

切紙 一通

切紙 一通

一二九

浅山弥左衛門源左衛門宛

三 福山長助より弥左衛門江差越候書付写

文化六年

長助馬術修行一件

(三九)
切紙(包紙入)二通

四 一樹軒より丹次江被相達候書付

(文化六年)十二月廿四日

馬術流儀もつれ候一件

(四八)
切紙 一通

五 以源七入門申入直ニ承知之旨丹次より相答候書付

(文化六年)十二月二十四日

馬術流儀もつれ候一件

(四七)
切紙(包紙入)二通

一六 覚

文化六年

十二月廿四日源七を以丹次へ入門の儀再応申入候節之手控

(四六)
切紙(包紙入)一通

一七 源七を以丹次より相答候二之返答書

(文化六年)

(四五)
切紙 一通

一八 以源七申入候節丹次より相答候返答書

(文化六年)十二月二十三日

馬術流儀一件

(四四)
切紙(包紙入)一通

一九 馬術改流之節源七者丹次江入門之儀申遣候口上書扣

文化六年

(文化六年)

加藤儀左衛門宛。馬術流儀御指もつれ一件

(四三)
切紙(包紙入)一通

(四二)
切紙(包紙入)三通

加藤儀左衛門宛。馬術流儀御指もつれ一件

二〇 覚

(文化六年)

馬術流儀に関する一件

(四一)
切紙 一通

三 覚

文化六年十二月十七日

長助方破門之儀弥左衛門を以長助方江申入候書付控

(四〇)
切紙(包紙入)一通

三 舌演之代書

文化十一年八月

一樹軒と荻野権六宛。武術の事

(三六)
卷紙 一通

三 一 磯流小筒目録 一〜三

天保四年

(四八〇一)の二〜四

卷子(箱入)三卷

2 覚

(江戸期)

皆傳免状者名

(四八〇一)の五
卷紙 一通

3 添目録

(江戸期)

(四八〇一)の六
卷子 一卷

三 福山長助同部以後相親シ候儀九郎左衛門ヲ以申遣父子罷越候一件頭付

(二〇五二)
切紙 一通

天保七年三月

改流の件

三 磯流小筒目録日足

嘉永四年十一月

八並栄蔵宛

(二七二二)
折本 一冊

三 日置流弓之目録

元治元年八月

加藤庸之丞宛

(九七九)
卷子 一卷

三 十文字鎌目録

元治元年九月

荻野勝定と加藤庸之丞宛

(三九九)
卷子 一卷

元 大坪本流仮鞭免状

慶応元年十二月二十五日

卷子 一卷 (九七八)

桑原才太夫方黒田大和宛

三 日置流弓之目録

慶応三年三月

卷子(箱入) 一卷 (三九八)

則立仁兵衛

三 日置流弓之初之卷

慶応三年三月

卷子 一卷 (四五三)

則立仁兵衛方黒田美作宛

三 相圖定

慶応三年十二月

書冊 一冊 (五三四)

金鼓貝よりラツパに

三 大石密書

(江戸期)

卷子一卷・切紙一通 (二四六)

大石内蔵之助方恵光良雪神護守宛。軍術伝受之書物口伝

三 (仮題) 剣術諸話

(江戸期)

書冊 一冊 (二四三)

三 (仮題) 武術事

(江戸期)

巻紙 一通 (三七二)

中西忠蔵方山鹿八郎左衛門宛

三 小筒目録口訣

(江戸期)

小横綴 一冊 (四五三七)

陽流鳥銃目録

三 書状

(江戸期) 九月四日

切紙 一通 (四四〇六)

伴加右衛門方毛利長兵衛宛。黒川半平儀弓道の件

三奈木黒田家文書 (一)、江戸時代史料)

三 中華馬箭三法

(江戸期)

書綴 一綴 (一七三三)

三 鎗術頭付類

(江戸期)

小横綴 一綴 (一七二二)

鎗法説・鎗術始祖吉次碑文

三 (仮題) 武術入門関係書付

(江戸期)

切紙 六通 (一七二〇)

荻野権六・則立八平方誓紙前書之写、宝蔵院流十文字鎌外

三 宝蔵院手継書并免状

(江戸中)後期)

巻紙(包紙入)二通 (一七一九)

三 口傳覚書

(江戸期)

長綴 一綴 (一七二七)

武術関係

三 磐尹流覚

(江戸期)

切紙 二通 (二六八六)

由緒

三 目規矩絵図之書

(江戸期)

卷子 一卷 (三六一七)

乗馬之事

三 (仮題) 武術覚

(江戸後期)

小横綴 一冊 (二六二六)

三 馬術覚書

(明治以後)

書綴 一綴 (二六二七)

(2) 武 具

三 御当家御昇馬印之覚書

(二二二三)

(延宝期)

四 具足注文

享和二年九月十六日

黒田源左衛門一定

四 加藤吉之丞甲冑注文之写

享和四年三月四日

加藤左吉一胤

五 覚

弘化三年十月二十五日

久野善右衛門取調べ差出候書面、竿鉛惣請高内訳

五 率入之馬名付并歌

嘉永元年五月六日

五 柳川家中磯部貞次郎と申者率出候馬又三郎江申談相撰せし名書付

嘉永二年五月

末書口談引渡図

五 末書口談引渡図

(江戸後期)

甲陽軍艦

五 (仮題) 覚

(江戸後期)

大砲等西洋武器に付

五 覚

(江戸後期)

エンヒールト筒御買入二付調達金之儀

五 (仮題)

(江戸期)

紙(包紙入)一通

(三六六四)

切紙 四通

(二七四五)

切紙 一通

(二八一六)

切紙 一通

(三七一五)

切紙(包紙入)三通

(二八一四)

切紙(包紙入)一通

(二二三七)

長帳 一冊

(三八一六)

折紙 一通

(三六七五)

巻紙 一通

(二〇四〇)

切紙 二通

同心渡之具、大組自分用意介具

五 御兵器類調子帳

(江戸期)

(九三九)

長帳 一冊

五 (仮題) 陣羽織註文の書付

(江戸後期)

(一三〇九)

切紙(包紙入)一通

五 節製之書付

(江戸後期)

(二三一八)

切紙(包紙入)三通

貝番鐘等の次第

六 御幟類書付

(江戸期)

(一〇三九)

切紙 五通

六 六郎大夫殿方来候書拔

(江戸中期)

(六一六)

書冊(包紙入)二冊

六 陣螺引渡目録

(江戸後期)

(一三二二)

六 陣刀拵之注文

(江戸期)

(二四四九)

六 預御筒之覚

(江戸期)

(三七五七)

六 兼定刀札

(江戸期)十二月二十五日

(二七七二)

六 具足師手元江相渡シ候添註又外

本阿弥次郎太郎方岡本河内守宛。青江貞次脇差代金の事

(四三二五)

六 御家老様御中老様火災桃灯印

(江戸期)

切紙(包紙入)三通

源左衛門具足新製二付

六 御家老様御中老様火災桃灯印

(三二七)

六 再応調火災桃灯印
(江戸期)

(江戸期)

内記・浦上由郎大夫・吉田久助分

六 充(仮題)

(江戸後期)六月

武器製作又々修覆被仰出候件

七 新製御修覆積書

(江戸期)

七 五匁筒の書附

(明和期)

七 三(仮題)錢別人名書出

(明治初年)

玉葉五百炮宛

七 三(仮題)受取証書

(明治初年)

火薬調査所入用ニ付請取外

七 四 覚

(明治初年)

鉄砲関係

七 五 下座表江御差越御武器根帳

(明治初年)

(3) 長崎警備

七 六 一貫之代異船来ル時公儀被属候船数乗組之人数

(延宝元年)

切紙(包紙入)一五通

(三二六)

切紙(包紙入)三通

(六一九の四)

切紙 一通

(五七九)

書冊 一冊

(二〇七九)

巻紙 一通

(五三六)

巻紙 一卷

(九一三)

切紙綴 一綴

(八四〇)

切紙 一通

(八三八)

長帳 一冊

(三六一四)

卷子 一卷

七 エケレス船長長崎へ来たる時家老より出した書状并言上之草稿(三一)

(延宝元年)

卷子(袋入)一卷

1 書状

(江戸期)二十七日

エケレス船長長崎へ参着

2 書状

(江戸期)六月十二日

立花勘左衛門外黒田源左衛門宛。エケレス船着船の事外

3 書状

(江戸期)六月四日

立花勘左衛門外黒田源左衛門宛。エケレス船参着一件外

4 覚

(江戸期)六月四日

大村因幡殿家老当地着、外大名家臣参着、帰国日付書、エケレス船警固一件

5 書状

(江戸期)六月九日

山田彦兵衛外黒田源左衛門宛。蘭船数艘入津、エケレス船参着

6 覚

(江戸期)六月二十五日

黒田源左衛門外小河惣兵衛外宛。エケレス船参着一件

7 書状

(江戸期)六月二十六日

黒田源左衛門外小河権兵衛外宛。長崎警備関係

8 書状

(江戸期)六月九日

山崎彦兵衛外黒田源左衛門宛。えけれす船帰帆

9 書状

(江戸期) 六月二十九日

鎌田九郎兵衛と黒田源左衛門宛。エケレス船帰帆

(三一の九)

一通

10 書状

(江戸期)

鎌田九郎兵衛外と黒田源左衛門宛。エケレス船帰帆一件外

(三一の一〇)

一通

11 書状

(江戸期) 七月朔日

鎌田九郎太夫・吉田七左衛門外と。エケレス船帰帆一件外

(三一の一〇)

一通

12 書状

(江戸期) 七月二日

小川権左衛門・立花勘左衛門外と黒田源左衛門宛

(三一の一〇)

一通

13 毛利長兵衛持参御覚書之御請

(江戸期) 七月四日

黒田源左衛門と黒田平左衛門宛。エケレス船帰帆一件

(三一の一〇)

一卷

14 書状

(江戸期) 七月七日

加藤半之允と黒田源左衛門宛。長崎警備一件

(三一の一四)

一通

15 書状

(江戸期) 七月七日

黒田平左衛門と黒田源左衛門宛。御石火矢御用意松平丹後守様江御通達の件外

(三一の一五)

一通

16 書状

(江戸期) 七月十二日

小川権左衛門外と黒田源左衛門宛。阿蘭陀船エケレス船に参会、エケレス人皆殺船并貨物取エケレス船に乘移致入津候

(三一の一六)

一通

17 鍋島志摩より之口上覚

(江戸期) 七月十六日

エケレス船帰帆一件

(三一の一七)

一通

18 書状

(江戸期) 七月二十日

小川権左衛門外と黒田源左衛門宛。エケレス船帰帆一件

(三一の一八)

一通

19 覚

(江戸期)

石火矢仕かけ一件

(三一一九)

三通

20 口上覚

(江戸期) 六月二十八日

エケレス船帰帆一件

(三一の二〇)

一通

21 覚

(江戸期) 丑ノ七月

長崎警備人数

(三一の二一)

三通

22 御加番衆戻御船組之覚

(江戸期) 丑ノ七月二十七日

鍋島志摩とノ口上之覚

(三一の二二)

三通

23 鍋島志摩とノ口上之覚

(江戸期)

エケレス船帰帆の事

(三一の二三)

一通

24 書状

(江戸期) 五月二十七日

黒田市十郎と黒田源左衛門宛。長崎警備の件

(三一の二四)

一通

25 書状

(江戸期)

黒田源左衛門と立花勘左衛門宛。長崎警備一件

(三一の二五)

一通

26 覚 (江戸期) (三二の二六) 一通

エケレス船一件

27 エケレス荷物 (江戸期) (三二の二七) 一通

六 エケレス船長崎江来ル時從光之公賜ル御書并御号令

(延宝元年) 卷子袋入一卷

但し岡野孫九郎書状在此中

1 書状 (江戸期)五月廿五日 (三二の二) 一通

(江戸期)五月廿五日

岡野孫九郎と松平右衛門佐宛。今廿五日エケレス船入津、商売船三而

2 書状 (江戸期)六月二十七日 (三二の二) 一通

(江戸期)六月二十七日

光之(花押)と黒田源左衛門宛。エケレス舟之儀彼国主とぼるとがる縁組仕

由日本御禁制之宗門と致縁組儀候間商売御赦免不被成候

3 覚 (江戸期)六月二十九日 (三二の三) 一通

(江戸期)六月二十九日

光之(花押)と黒田源左衛門宛。エケレス舟警備一件

4 書状 (江戸期)七月七日 (三二の四) 一通

(江戸期)七月七日

光之(花押)と黒田源左衛門宛。其元逗留太儀存候、毛利長兵衛差越申遣候儀

5 覚 (江戸期)七月七日 (三二の五) 一卷

(江戸期)七月七日

光之(花押)と黒田源左衛門宛。石火矢仕かけ舟差越の件

6 書状 (江戸期)七月二十一日 (三二の六) 一通

(江戸期)七月二十一日

光之(花押)と黒田源左衛門宛。生干鰹、あらし酒差越の礼、永々被相詰太儀候 (三二の七)

7 書状 (江戸期)七月二十二日 (三二の七) 一通

(江戸期)七月二十二日

筑前綱之(花押)と黒田源左衛門宛。生干鰹、あらし酒の礼、其元逗留太儀候

8 書状 (江戸期)七月二十八日 (三二の八) 一通

(江戸期)七月二十八日

岡野孫九郎(花押)と松右衛門宛。エケレス船之儀去ル廿六日帰帆申付候

9 書状 (江戸期)八月六日 (三二の九) 一通

(江戸期)八月六日

岡野孫九郎と黒田源左衛門宛。エケレス船帰帆の件

10 書状 (江戸期)七月十一日 (三二の一〇) 一通

(江戸期)七月十一日

岡野孫九郎と黒田源左衛門宛。塩鱈の礼、エケレス船帰帆之順風無之迷惑候

11 書状 (江戸期)七月二十六日 (三二の一) 一通

(江戸期)七月二十六日

岡野孫九郎と黒田源左衛門宛。少々御物語申度御出待入候

12 船指図 (江戸期) (三二の一) 一通

(江戸期)

三百八十石船

13 (仮題)火縄仕懸図 (江戸期) (三二の一三) 一通

(江戸期)

14 覚 (江戸期)六月 (三二の一四) 一通

(江戸期)六月

石火矢仕懸申船の件、石火矢数十七挺

15 覚 (江戸期)七月二十一日 (三二の一五) 一通

(江戸期)七月十七日 一通

鉛玉、鉄玉書上

16 (仮題)覚 (三二の二六) 一通

(江戸期)

石火失役衆書上

坑 エケレス船来ル時従一貫家来中江号令書

(延宝元年)

1 五拾石小早供 (三五の二) 一通

(江戸期) 丑七月

一貫。小西九郎太夫・萩本与右衛門・下村久右衛門裁判之

2 馬印船六丁小早乗組 (三五の二) 一通

(江戸期) 丑七月

一貫。新免市郎右衛門宛

3 五拾六丁船乗組 (三五の三) 一通

(江戸期) 丑七月

一貫。萩本伊右衛門宛

4 四拾丁鉄炮船乗組 (三五の四) 一通

(江戸期) 丑七月

一貫。和田佐左衛門支配之

5 五拾丁船乗組 (三五の五) 一通

(江戸期) 丑七月

一貫。加藤清左衛門支配之

6 覚 (三五の六) 一通

(江戸期) 七月四日

守嶋八郎左衛門・田中甚大夫。支度次第罷越候

7 覚 (三五の七) 一通

(江戸期) 具足 一通

具足

8 覚 (三五の八) 一通

(江戸期)

具足類

△ 覚(写) (四五二) 一卷

(江戸期)

光之。黒田源左衛門宛。エケレス船掃帆一件

△ 長崎御用 (二四五) 長綴一綴・切紙五通

延宝三年

長崎湊口御石火矢台出来御預り被成り次第外

△ 田嶋左右助より差出候書写 (二五四) 小横綴 一冊

延宝三年八月九日

正保二年。延宝三年奉書。下知状写、異国船渡来の節対応の仕方

△ 芥屋村御番所船々居申御家吹替繕申書出之事 (三七五五) 一紙 一通

延宝五年九月二十六日

箱崎庄右衛門外。吉岡五兵衛外宛

△ 大島之様子小西伊左衛門書付 (二二八七) 一紙(包紙入)一通

(江戸期)

大島御番所之事

△ 覚書 (二四八の二) 切紙 二通

貞享二年六月十四日

南蛮船の事、南蛮人と天河の覚

△ 書状 (二六七六) 切紙 一通

安永六年五月六日

美作・数馬宛。長崎要害方請持被仰付

六七 長島公就御幼年長崎御番家老中御名代ニ而相勤候様周防守様久野
外記江被仰渡候趣被為仰下候御書 (四〇二)

天明二年十二月十九日

折紙(包紙)一通

六八 治高公御病氣ニ付長崎御番松平肥前守様江被相渡候節之記 (四二六)

天明二年

書冊 一冊

六九 御名代日記

天明三年

書冊 一冊

御家督初而長崎御番所御見廻御名代被差越候一件

七〇 (仮題)長崎日記

天明五年九月十五日〜十一月四日

書冊 一冊

七一 長崎御求屋敷覚

寛政二年七月

書冊(包紙)二冊

長崎本五嶋町屋鋪御求相成覚

七二 黒船漂流出張之節手勢從者人数并器械之定

寛政五年十二月

書冊 一冊

隆庸

七三 黒船漂流御手当御人数御船数拔書

寛政五年十二月

書冊 一冊

七四 黒船漂流異変有之御取斗方御伺書控

寛政四年四月

卷紙 一通

七五 (仮題)覚

(江戸中期)

卷紙 一通

役料加増覚

七六 信牌写并被仰渡書写

寛政五年六月廿七日

卷紙 二通

石川将監外方。ヲロシヤ国長崎渡来に付

七六 (仮題)触書

寛政五年六月二十四日

切紙 一通

若君様御逝去ニ付長崎御番手出船之節太鼓打候件

七九 ヲロシア船検視ノ由

寛政五年

書冊 一冊

八〇 長崎西泊戸町御石火矢御大筒様打ノ記

寛政六年

書冊 一冊

八一 長崎御石火矢様打之節福岡往返御用状之記

寛政六年

書冊 一冊

八二 (仮題)長崎御番所御石火矢関係史料

(寛政六年〜十年)

小横帳 一冊

八三 長崎水浦御普請に召仕人夫昼食米代并諸品代銀御入方之覚

寛政七年六月

長綴 一綴

八四 大嶋江漂着有之候節覚

大塚三右衛門

小横帳 一冊

八五 (仮題)長崎日記

寛政八年十二月二十四日方

小横帳 一冊

八六 (仮題)覚(写)

寛政十一年九月十五日〜十月二十九日

書冊 一冊

八七 長崎覚書

寛政十二年九月

小横帳 一冊

八八 一定。長崎警備主要事項書留

八九 阿蘭陀船入津ニ付御非番御台場守衛之儀を初都而之御手数下調子一件

寛政十二年

書冊 一冊

九〇 (仮題)覚(写)

享和元年九月二日

書綴 一綴

五嶋右膳領海黒瀬と申処ニ異国船壳艘漂着

一〇八 長崎滞津記

享和三年九月

一定

書冊 一冊 (四三〇)

一〇九 (仮題) 長崎江罷越候節御番方ニ掛入用之書付写

享和三年

寛文二年貞享二年の書付写

小横帳 一冊 (二四二)

一一〇 (仮題) アメリカ人渡来件の書類

(享和三年)

(二九八) 付箋のみ

一一一 長崎御手当調子之儀ニ付於小書院治左衛門殿に被相達候書付

享和三年

源左衛門宛

切紙(包紙入)一通 (二九六)

一二三 魯西亜船渡来之記 上

文化元年九月八日

小横帳 一冊 (四八九)

一二三 魯西亜船渡来之記 下

文化二年正月朔日〜三月二十三日

小横帳 一冊 (四九〇)

一二四 おろ志や船一件御評義頭付写

文化元年七月十六日

書冊 一冊 (四八三)

一二五 阿羅祭亞国呈書和解及属国之名

文化元年九月来船

書冊 一冊 (四五四)

一二六 (仮題) おろしや船一件

(文化元年カ)

書冊 一冊 (四八四)

一二七 魯西亜江漂流人口書

文化二年三月

書冊 一冊 (四五三)

一二八 泉州食野江庄内酒田問屋中へ態々来状之写

(四四八)

文化四年

書綴 一綴

ロシア船渡来の事

一二九 長崎滞留日記

文化四年九月〜十月

長帳 一冊 (四九三)

一三〇 (仮題) 覚

文化五年二月

甲斐守卒去ニ付長崎御番の事

長綴 一綴 (二四九)

一三一 長順御書

文化五年五月

折紙 二通 (二七〇)

一三二 (仮題) 御意書

文化五年五月十八日

黒田源左衛門・野村隼人外宛。長崎御番所之儀甲斐守様江名代被仰出

切紙 一通 (二八五)

一三三 覚

文化五年五月七日出

巻紙(包紙入)三通 (三六二)

領海漂流御手当ノ件

一三四 覚

文化六年二月

小横綴 一綴 (二四九)

一三五 (仮題) 御意書

文化六年

切紙 一通 (二八四)

源左衛門宛。文化五年長崎江エケレス船渡来云々

一三六 佐賀御使者江於会所出合口之覚

文化六年

書冊 一冊 (二三七)

長崎御番所之儀

一三七 先例書抜

(二七九)

文化七年 御紙 一通

大台場御築立一件御用掛

一六 異国船漂流手当覚 (四六八) 小横帳 一冊

文化八年三月

一三 御非番所をも常々御当番方より御受持被成候節御人数調子之趣意書抜

受持兩人手元方写し候分 (一七四六)

文化八年 書綴(包紙入)二綴

一〇 御在國中異国船漂流手当覚 (五〇四) 小横帳 一冊

文化八年三月

一三 長崎御当番所御非番所平常御備向之絵図ニ添之記事 (一七三三) 小横帳 一冊

文化九年三月

一三 癸酉蘭船払務考覧 上・中・下 (四八〇)~(四八二) 小横帳 三冊

文化十年(九月~十一月)

一三 御意書 (一一二) 切紙(包紙入)四通

文化十一年四月

長崎表神崎魚見嶽等江大台場御取建一件之御用出精 (二七四〇の二) 卷紙 一通

一四 1 長崎火事之時次第 (二七四〇の二) 卷紙 一通

寛文三年

御鉄砲衆六十人之割 (二七四〇の二) 切紙 二通

2 長崎御番御一手持御人数船諸渡積帳 (二七四〇の三) 切紙(包紙入)二通

文化五年

3 御番方一件取調子ニ付入用之書付類 (二七四〇の四) 卷紙 一通

文化十年

4 御非番詰の人数船之内御奉行所江御伺之上御引払ニ相成候人数船高之書付 (二七四〇の四) 卷紙 一通

文化十一年

三奈木黒田家文書 (一、江戸時代史料)

5 去秋依御達御一手持ニ相成候付壹番々々四番々々迄一切御入財高之積 (二七四〇の五) 御紙 一通

文化十一年

6 長崎表御一手持ニ相成候ニ付御人数減少之儀云々 (二七四〇の六) 切紙(包紙入)一通

文化十二年

7 長崎御番方御一手持ニ相成候一件 (二七四〇の七) 切紙(包紙入)三通

文化十二年

8 覚 (一七四〇の八) 卷紙 一通

(文化期)

長崎御番方之儀

一三 長崎表御当番方御非番所をも御受持ニ相成候得は御永統之御銀米何程と申高書付被差越 (二七四七) 小横帳(包紙入)二冊外

文化十二年

一三 覚 (二〇六一) 卷紙 一通

文化十二年五月

香西庄左衛門外より長崎表非常御手当筋之儀 (二二五三) 長帳 一冊

文化十二年

一三 長崎御人数御船組追々御減少之次第築趣憶 (二二五三) 長帳 一冊

文化十三年九月

一三 達書ニ御付札ニ而御添削有之候上達ニ相成候書付写 (二一六) 卷紙 一通

文化十三年九月

長崎表江異国船渡来人数差越候節 (一一三) 切紙(包紙入)一通

文化十三年九月十八日

一三 去辰年長崎表江異国船渡来以後追々御手当向被相増置略御為宜出精相勤候段蒙仰候右之御意書 (二四七二) 小横帳 一冊

文化十三年

一四 文化十三年丙子九月廿日御達分 (二四七二) 小横帳 一冊

文化十三年

美作・六郎大夫方大目付并年番之役々宛

一四 帆影見隠出崎之比式番之在番之名元左之通 (四二二四)

文化十四年九月 切紙 一通

一三 蘭船払務考覽上・中・下 (四五二四・四九二〇)

文化十四年 小横帳 三冊

一三 長崎表江平常并大小非常之節御越座被遊候節家老中御用人中江御供被仰付置方評議之趣云々 (一一五六)

文化十四年 長帳 一冊

一四 書状 (三六四二)

文化十四年九月十三日 切紙(包紙入)一通

長崎御番に必要な根帳を役場役場へ渡置へし

一四 肥前守様御疝積二而江戸表御発足御延引二付此方様へ加番之面々被差越一件申上書并松平信濃守様御先例大意 (二六三九)

文化十五年 切紙(包紙入)二通

一四 異船一艘浦賀江渡来一件書付写 (四五一一)

文政元年五月 書冊 一冊

一四 長崎表江非常之異国船渡来之節美作一同被差越候御用勤御人繰之覚 (二二五二)

文政元年七月 長帳 一冊

一四 御越座前取調二相成候分 (二四八の四)

文政二年九月 長綴 一綴

長崎にて褒美覚

一四 美作殿帆影見隠長崎御越之節(費用覚) (二五七四)

(文政二年カ) 切紙 一通

一五 覚 (二三八四の二)

文政二年正月 卷紙 一通

文政二年正月 卷紙 一通

長崎表御手当向御定書写二付

一五 覚 (二三八四の二)

文政二年正月 切紙 一通

長崎表御手当向御改正二付書類写置

一五 長崎表番之送立船組以来書面之通相居候(覚) (一一五七)

文政二年 長帳 一冊

一五 蘭船拂務考覽上・中・下 (一七三四)

文政二年 小横帳 一冊

一五 覚 (二〇〇一)

文政三年九月 卷紙 一通

大村上総介江唐人屋舖堅メ之儀文政三年御達相成候二付御心得筋達書写

一五 異国船漂流御手当 (四五四三の二)

文化八年三月 小横帳 一冊

2 朝鮮船漂流手当覚 上 (四五四三の二)

(江戸期) 小横帳 一冊

3 朝鮮之船漁船与相見漂着之節呼出手紙 (四五四三の三)

文化八年八月 切紙(包紙入)一通

4 御在國中黒国漂着船之船呼出手紙 (四五四三の四)

(江戸期) 切紙(包紙入)一通

一五 一同達御聴候写 (二五八〇)

文政三年二月二十八日 切紙 一通

長崎非常ニ付御人数被差向候御手当之根帳に付

一五 出崎之節御番所渡海番頭名元 (四二二二)

文政四年九月 切紙 一通

一五 辛巳蘭船払務考覽 上・下 (四七五・四七六)

文政四年九月 卷紙 一通

文政四年(八月)十月
阿蘭陀船帆影見隱之記

小横帳 二冊

一五 御宝蔵披二付致出方候節差引書付五左衛門殿より遣切ニ被差越候分

(二八三〇)

文政七年七月二十八日

切紙(包紙入)一通

長崎御備金

一六 阿蘭陀船帆影見隱之記

(四五八)

文政七年

小横帳 一冊

一六 阿蘭陀船帆影見隱之記

(四六一)

文政八年

小横帳 一冊

一三 覺

文政八年七月

卷紙(包紙入)一通

帆影為見隱罷越儀二付

一三 阿蘭陀船帆影見隱之記

(二七八)

文政八・天保二・天保八年

小横帳 三冊

一四 阿蘭陀船帆影見隱之記 上・下

(四八七・四八八)

文政十年(八月朔日)十二月三日

小横帳 二冊

一五 阿蘭陀船帆影見隱之記 下

(四六一)

文政十二年(八月朔日)十二月

小横帳 一冊

一六 阿蘭陀船帆影見隱之記 上・下

(四五二五)

文政十二・天保四年九月

小横帳 二冊

一七 阿蘭陀船帆影見隱之記 下

(四六〇)

天保二年

小横帳 一冊

一六 阿蘭陀船帆影見隱之記 上

(四五九)

天保四年

小横帳 一冊

一六 阿蘭陀船帆影見隱之記 一・二

(四七七・四七八)

三奈木黒田家文書 (一、江戸時代史料)

天保六年(八月)十月

小横帳 一冊

一七 唐館乗取由來記

(四九五)

天保六年十二月

書冊 一冊

一七 長崎御石火矢大筒火通御用相勤候ニ付御意書

(三八八九)

天保七年八月二十八日

切紙(包紙入)一通

一七 阿蘭陀船帆影見隱之記下

(四六五)

天保八年八月十一月

小横帳 一冊

一七 阿蘭陀船帆影見隱之記

(四六四)

天保十年(八月)十月

小横帳 一冊

一七 帆影見隱頭付

(四六三)

天保十年八月朔日)十月二十七日

小横帳 一冊

一七 御意書

(二二七〇)

天保十年八月

切紙(包紙入)一通

但、阿蘭陀船帆影見隱ニ付長崎江差遣候

一七 御書

(二五二)

天保十年九月二十五日

折紙 一通

齊溥(花押)黒田播磨宛。長崎表御番甲斐守名代被仰出候(大御前様御違例

ニ付御看病御願被成)

一七 文化十二亥年式番之立花勘左衛門書贈拔書

(二四五四の二)

天保十三年九月寫

長綴 一綴

長崎御番の儀

一七 阿蘭陀船帆影為見隱黒田三左衛門長崎江被差越記(草稿)

(三六〇三)

天保十四年八月九月

長帳 一冊

一六 阿蘭陀船帆影見隱記

(四六九)

天保十四年九月

小横帳 一冊

一六 阿蘭陀本國船渡來之記

(四九一)

天保十五年七月四日～十月

一八 阿蘭陀船帆影見隠記

長帳 一冊

弘化二年九月

(四七〇)

一九 黒船渡来記

小横帳 一冊

弘化二・三・嘉永二年

(五〇六)

イギリス・フランス・アメリカ船長崎渡来之記

小横帳 三冊

二〇 阿蘭陀船帆影見隠記

長帳 一冊

弘化四年九月

(四七一)

二一 於江府御認被遊候御直書御請

切紙(包紙入)一通

弘化四年正月二十一日

(三一七)

小河専太夫・浦上彦兵衛外。伊王嶋一件

二二 覚

書冊 一冊

(江戸後期)

(六一〇)

長崎警備關係

二六 長崎御番御名代之儀被仰渡之御書付写

切紙(包紙入)五通

(江戸期)

(六〇九)

黒田官兵衛幼少ニ付黒田甲斐名代ニ而相勤候処、死去ニ付家老共名代ニ而相勤候件

二七 御台場御築増一件ニ付阿部様より御懇達以後之頭付

書冊(小) 一冊

嘉永二年四月

(二〇八)

二八 阿蘭陀船帆影見隠記

長帳 一冊

嘉永二年(八月～十一月)

(四七二)

二九 御右筆長崎請持之儀ニ付御用人方差出相成候書面之写

切紙 一通

嘉永二年

(二八〇二)

三〇 諸家聞役方廻状写

小横帳 一冊

嘉永三年

(二〇四)

異国船情報(平戸開役・鹿児島開役・対州開役外)

(五〇五)

嘉永四年八月～十月

三一 紅毛船帆影為見隠長崎江罷越候節供廻

長帳 一冊

嘉永四年九月

(二二二八)

三二 フロシヤ船長崎渡来之記 式

長綴 一綴

嘉永六年七月

(四九九)

三三 文化六年魯西亜船渡来之節巡見船飾を現ニ船ニ飾候処を大塩左吉郎相記ス

長帳(小) 一冊

嘉永六年七月

(三八六〇)

三四 浦賀渡来之亞米利加一件御用状

(包紙入)切紙一通・屋形図一枚

嘉永六年八月

(三八六一)

榑橋又之進・杉山文左衛門方黒田播磨宛

切紙(包紙入)二通

三五 魯西亜船渡来ニ付御国元往返之御用状類

切紙(包紙入)六通

嘉永六年

(三三三三)

播磨方平左衛門宛。榑橋又之進・松山又左衛門方播磨宛。吉田久大夫方黒田播磨宛

三六 御国元方之御用状写并御用帳書拔

切紙一通

嘉永六年

(二七八五)

三七 於崎陽魯西亜人上陸以後(略)異船御乗移之節繫船之略図

(包紙入)小横綴一綴・切紙一通

魯西亜船渡来ニ付滞崎申来

三八 御台場一件ニ付佐嘉方御返答之趣

小横帳 一冊

嘉永六年

(二八五五)

三九 御台場一件ニ付御国往返之御用状

小横綴 一綴

嘉永六年四月

(二七八四)

鍋嶋新左衛門方

四〇 魯西亜渡来ニ付御国往返之御用状

嘉永六年

櫛橋又之進・杉山文左衛門と黒田播磨宛

切紙(包紙)一通

三〇 先年より御陣場の儀ニ付御両家より御奉行所被仰立之書抜

(二七八七)

嘉永七年

付、大村家より大浦出崎一件ニ付御奉行所伺立之控

書綴(袋)一綴

三二 長崎下向之御目付荒尾土佐守殿より長崎并御領海御手当之儀被相尋候二付

(二七八六)

嘉永七年四月

三三 イギリス船渡来ニ付御国許往返之自筆御用状

小横帳(袋)一綴

嘉永七年七月

黒田播磨より櫛橋又之進宛

切紙(包紙)一通

三四 在留加飛丹江水野筑後守殿より追々被相尋之荒増之書付

(二七八三)

嘉永七年

付、俄羅斯使節江御諭横文字之和解

書綴(袋)一綴

三五 立川久右衛門存念書

(二〇二九)

嘉永七年七月十二日

長崎警備に関する

巻紙(包紙)一通

三六 御越座中異国船御取扱方之儀ニ付細川様より御伺立之書面内々御留守居より指出候分

(二六三八)

嘉永七年八月九日

細川越中守家来福田源兵衛より

切紙(包紙)一通

三七 中老御番頭中より伺書

(二七八九)

嘉永七年

異国船渡来一件。付、寛(安政)二年三月十四日大頭江左之通付紙ニ而指図済

(袋)書綴一綴・小横綴一綴

三八 阿蘭陀蒸気船御覧之御手続

(二七八八)

嘉永七年八月十一日

長綴(包紙)一綴

三奈木黒田家文書 (一)、江戸時代史料)

三〇九 (仮題) 異国船渡来記

(一七三五)

嘉永七年

イギリス・阿蘭陀

小横綴 一綴

三二〇 長崎御奉行水野筑後守殿江別御用ニ而逢之節大村丹後守殿御請持筋之儀ニ付被相尋候一件

(二七八三)

嘉永七年

三二 嘆喁喇船渡来ニ付御筋心得方長崎御奉行荒尾石見守殿江相伺候處御

(四五一六)

差図有之候書類写

書綴(袋)一綴

安政二年

三三 嘆人御応接一件

(三九五)

安政二年九月

三三 英人上陸揚之儀主計殿より直氣御用状控

長綴(包紙)一綴

安政二年

小川主計より播磨外宛。付、絵図(平戸付近)、蘭人中徘徊一件御用状写外

三四 アメリカ渡来応接書之写

(三九六)

安政三年

三五 書状

切紙(包紙)三通

安政三年十月三十日

黒田播磨より。海防の事

巻紙 一通

三六 書状

(二八〇七)

安政四年

香西小輔江於宅内ニ合書控。長崎表江被差越に付心得方之儀

切紙 一通

三七 書状

(二七六一)

安政四年二月廿八日

小川主計より黒田播磨宛。傳習一件ニ付西洋御用云々

切紙(包紙)三通

三八 長崎表異船渡来之節海陸供附

(五〇二)

安政六年六月

長帳(小) 一冊

三九 書状

萬延元年十月

(二七五二)
書綴(包紙入)一綴

岡村文右衛門ら。魯西亜軍艦入津の件

三〇 岡村文右衛門ら之御用状

万延二年正月

(四八五五)
切紙(包紙入)三通

付、唐国一件魯人ら志賀浦太郎聞取書共

三一 書状

万延二年正月

(二七三二)
切紙(包紙入)二通

長崎岡村文右衛門ら播磨宛。江府表にて異人切害等の件、外国軍艦の事

三二 中村儀三郎側符所持之分竊二写之

(江戸期)

(二六六)
折紙(包紙入)一通

先年御理船来之時対応模様

三三 奉礼

(江戸期)三月十二日

(一〇八)
切紙(包紙入)一通

立花山城ら黒田播磨宛。世情不安に付長崎表被罷越候条

三四 長崎御番所御書付

(江戸期)

(一九三)
切紙(包紙入)長綴一冊・折紙一通・切紙二通

三五 黒田美作宛の書状

1 書状

(江戸後期)十月十日

(二五五の二)
切紙(包紙入)一通

杉山文右衛門尚行ら黒田長門宛。御内命一件の飛脚御発駕前に到着

2 書状

(江戸後期)五月七日

(二五五の二)
切紙(包紙入)一通

岡村文右衛門ら美作宛。着崎報知、左衛門佐らの掛合一件

3 書状

(二五五の四)

(江戸後期)八月十六日

切紙(包紙入)二通

岡本文右衛門ら美作宛。異宗并異人殺害之由アトミラルら申立候件

4 (仮題) 覚

(江戸後期)十月十日

(二五五の五)
切紙 一通

諸役請持書上、播磨以下

5 覚

(江戸後期)九月

(二五五の六)
切紙 一通

黒田一美。兵員五九五人内分

三六 南蛮船の書状覚

1 書状

(江戸後期)八月三日

(二八三の二)
切紙(包紙入)二通

黒田平左衛門・鎌田九郎兵衛昌信ら黒田三左衛門宛。南蛮船出船に付

2 書状

(江戸後期)八月二日

(二八三の二)
切紙 一通

齊藤甚左衛門外ら黒田三左衛門宛。此方ら之御番船帰被申候事情

3 (仮題) 覚

(江戸期)

(二八三の三)
切紙 一通

西泊・戸町詰家臣書上(野村太郎兵衛・河村正兵衛外)

4 (仮題) 風説書

貞享二年七月二十八日

(二八三の四)
一紙 一通

両かびたんより聞書

5 書状

(江戸期)七月二十六日

(二八三の五)
切紙 一通

久野四郎兵衛ら三左衛門宛。南蛮船近々出津

6 (仮題) 覚

(江戸期)

(二八三の六)
切紙 一通

南蛮船護衛陣立

三七 (仮題) 覚

(江戸期) 五月

(二七六)
長綴(包紙)一綴

四宮宇三郎。長崎屋敷御建立之儀に付伺

三六 御沙汰可被遊廉書

(江戸期)

(三八二)
切紙 一通

浦上彦兵衛宛。佐賀領地嶋々大造之木屋取建非常手当嚴重に相成の事

三九 御非番所御石火矢数覚

(江戸期)

(三五九)
長綴(包紙)一綴

香西少輔宛

三〇 書状

(江戸後期)

(三五七)
切紙 一通

阿蘭陀本國方之使節船入津に付

三一 書状

(江戸期) 四月五日

(三五六)
切紙(包紙)二通

播磨方数馬・久太夫・専太夫宛。松前漂流の異人かひたん引渡の事

三三 正太夫殿平吉殿江之直筆下書

(江戸後期) 十月十九日

(三五五)
切紙 六通

長崎警備関係。琉球表不穩成趣等被仰立

三三 江戸ニ於るて水野和泉守様江被差出御書面写

(江戸後期) 二月朔日

(三五四)
切紙 一通

長崎模様替之儀一切両家江御委任被仰付(英吉利渡来につき)

三四 唐人風説書

(江戸後期) 七月十六日

(三五三)
切紙(包紙)一通

長崎聞役

三五 奉申上覚

(三五〇)

三奈木黒田家文書 (一、江戸時代史料)

(江戸期) 辰七月二十六日

書綴(包紙)一綴

河村曉山方三左衛門宛。異国船渡来度々騒動仕に付御手当向御鍛練二相成候儀專要と奉存

三三 直筆御用状写

(江戸期) 八月十一日

(三五二)
切紙(包紙)二通

黒田三左衛門方梶原平十郎外宛。阿蘭陀本國方之使者御奉行所江被呼出二付、番所取建仕構之儀五日之内との事。琉球江異船參人数引取方今少し見合せ

三七 覚

(江戸期)

(三四七)
切紙 一通

銘々召連候下人は知行所之百姓。長崎への道中についての問

三六 書状

(江戸期)

(三四四)
折紙 一通

ろうままでれん日本口ニ而口上、しょあんの事、やくノ嶋へ水取ニ上リ被捕候由

三九 1 郡九左衛門方差出候書付写

(江戸後期)

(六三二の二)
切紙(包紙)一通

甲斐守卒去に付、西泊御石火矢倉御普請一件ニ付

2 頭付

(江戸後期)

(六三二の二)
切紙(包紙)一通

唐船ノ帆焼失一件、水浦御茶屋等御見分の件外

3 久保山文助より遣置候書付

(江戸後期)

(六三二の三)
切紙(包紙)一綴

斉隆代長崎御番名代の事

4 秋月方ノ来状花房久七方ノ掛合紙面并右返状共写

(文化五年)

(六三二の四)
切紙(包紙)八通

戸町滞船之節来候、甲斐守(朝陽院)卒去一件

5 書状

(文化五年)二月二十三日

黒田老岐守長房(花押)と黒田源左衛門宛。甲斐守死去ニ付き長崎御番勤慰
勞

二四 御用状并御書口上書案写

(文化五年)二月二十八日外

松平凶書頭宛。長崎御番就官兵衛若年為名代黒田甲斐守死去ニ付家老黒田
源右衛門名代之儀

二四 阿蘭陀脇荷物書付

(江戸期)卯七月六日

猪俣傳次右衛門

二四 長崎覚書

(江戸後期)

二四 長崎覚書

(寛永二十年~文化八年)

二四 三月十日ニ相達御番頭中之達

(江戸期)

二四 御要書長崎・船方覚

(江戸期)

二四 阿蘭陀問答

(江戸期)

二七 阿蘭陀船積荷物書付

(江戸期)丑七月十一日

猪俣傳次右衛門

(六三二の五)

折紙(包紙入)一通

(六三〇)

切紙(包紙入)五通

(四五五)

書冊 一冊

(四七九)

小横帳 一冊

(四三六)

小横帳 一冊

(二〇三六)

切紙 二通

(四三九)

長帳 一冊

(四三八)

書冊 一冊

(四三七)

書冊 一冊

二六 御筒納一件之記

(江戸期)

二六 長崎表御普請ニ付申上候覚

(江戸後期)九月

河村五大夫

二五 阿蘭陀老番船式番船之風説書并諸書付

(江戸後期)

猪俣伝次右衛門

二五 長崎御非番年御勤記

(江戸期)

二五 長崎御往来日記

(江戸期)

齊博

二五 (仮題)阿蘭陀新かぴたん在留御届書付

(江戸後期)

金沢大蔵少輔

二五 二月八日立候便に來り御用状案

享保元年外

長崎御番關係。甲斐守卒去の節御番所巡見の事、仮御蔵解除一件

二五 長崎手當 全

(江戸期)

長崎表異変ニ付急相越候手当之覚

二五 中老番頭中江通達申聞覚

(江戸後期)

長崎警備關係

二五 御當番御非番御筒割

(四二七)

書冊 一冊

(四二五)

書冊 一冊

(五一〇)

書冊 一冊

(五〇三)

長帳(小) 一冊

(五〇二)

小横綴 一綴

(四八六)

書綴 一綴

(二〇二九)

切紙(包紙入)七通

(二二八〇)

書冊 一冊

(二二五五)

長帳 一冊

(二二四三)

三六 (江戸後期) 長帳 一冊

三五 (仮題) 長崎警備関係覚 (文政三年) 天保五年 長綴 一綴 (二二二六)

三五 書状 (江戸期) 十月五日 主計と播磨宛。佐嘉御人数異人江対し手荒之取斗いたし候一件 切紙(包紙)一通 (二七九七)

三〇 覚 (江戸後期) 長崎御番関係 切紙 三通 (二七六九)

三六 書状 (江戸後期) 播磨宛。要地に別館取建候条請持申付 切紙 一通 (二七六七)

三三 (仮題) 覚 (江戸期) 美作宛。長崎へ被差越候事 切紙 一通 (二七三七)

三三 御番所覚 (江戸期) 絵図・詰所人数外 切紙一通・絵図三枚 (二七三五)

三四 書状 (江戸期) 六月七日 桐山市郎大夫毛屋主水宛。異船渡来之節御越座之儀に付 書綴(袋)一綴 (二七二九)

三五 魯西亜船就渡来長崎江罷越候処宰判筋諸事行届候段達御聴以御書御 刀被下候御請控 (江戸後期) 折紙(包紙)一通 (二七二四)

三六 覚 (江戸後期) 黒田源衛門一定方隅田市左衛門宛 折紙(包紙)一通 (二五四六)

(江戸後期) 亥三月 長崎防禦節之儀 一紙綴 一綴

三六 御奉行所之御達書写 (江戸後期) 阿蘭陀船入津之節心得 巻紙(包紙)一通 (二五二三)

三六 書状 (江戸中期) 吉田式部と黒田美作宛。長崎御番関係 切紙 三通 (二四四八)

三六 極草稿 (江戸期) 井上対馬守宛。長崎御番名代の件(甲斐守様病氣差重云々) 色紙 二通 (二四四五)

三七 大小非常之節取調子之趣達御聴候留書写 (江戸後期) 文政二年之達外 巻紙 三通 (二四〇七)

三七 辰年入津之阿蘭陀船異国風説書 (江戸期) べんから国、トルコ国、しゃむ、東京 長綴一綴・一紙一通 (二三九八)

三七 御先手人数之覚 (江戸期) 美作外 長綴 一綴 (二三九九)

三七 為帆影見隠長崎江被差越候節之被仰付方先例之書被 (元文三) 文化六年 巻紙(包紙)一通 (二三八七)

三四 (仮題) 要害作事記録 (江戸期) 一紙 一通 (三九五四)

三五 (仮題) 覚 (江戸期) 切紙 一通 (二五六四)

又之進長崎江船路の際医師付添

三六 (仮題) 御番所為御見廻御手続

(江戸期)

(三九〇九)

切紙 一通

三七 御名代之節手続

(江戸期)

(三九〇四)

巻紙 一通

長崎御番中老心得

三六 (仮題) 覚

(江戸期)

(三九〇二)

切紙 一通

長崎警備

三七 漂流人御書付

(江戸期)

(三八九二)

書綴(袋入)一綴

琉球国之内へ土佐国の者漂着

三六 一誠様御代より長崎道中佐嘉通唐津通御越二相成居候模様為見合書抜

(江戸期)

(三八七〇)

切紙 二通

三六 長崎へ被遣名付

(江戸期)

(三八五四)

折紙 一通

三六 (覚)

(江戸期)

(三八五三)

折紙 一通

黒田惣左衛門以下鉄炮頭等名前書上

三六 長崎御着座之御次第

(江戸期)

(三八五二)

長帳 一冊

三六 長崎取調子之書面写

(江戸後期)

(三七五一)

切紙(包紙入)一通

戊辰度攘夷被仰出ら撰海江異船襲来可致哉之風説被行候二付探索方二條様

ら被仰越候二付

三五 覚

(江戸期)

(三七四六)

切紙 二通

長崎御手当御領海漂流御手当に付而の大組以下不帰服之模称

三六 早川孫太郎存奇書

(江戸期)

(三七四一)

長綴(包紙入)一綴

小川吉右衛門ら。漂流船之節出方、異船取りひしぎ之術外

三七 当五年出嶋在留阿蘭陀人并入津出船請拂

(江戸期)

(三八〇六)

巻紙 一通

三六 覚

(江戸期)

(三八〇〇)

切紙 一通

長崎警備関係の書類目録

三六 達

(江戸期)

(三六四〇)

巻紙(包紙入)一通

裏判役・大目付・御用聞・勘定奉行宛。長崎御番関係諸帳渡置云々

三六 加番之儀二付御奉行所用人込聞役ら之演達案并答振下書共 (三六〇二)

(江戸期)

書綴(包紙入)一綴

三五 書状

(江戸期)

(三五九五)

切紙 一通

長崎御番官兵衛名代之儀

三五 妻子并乳母老召仕下女式人乗渡候二付当地滞留願書和解控

(江戸期)

(三五九四)

一紙 一通

両かびたんら

三五 魯西亜応接之一條

(江戸後期)

(三五九二)

一紙綴(包紙入)一綴

三六 1 覚

(一九九七の二)

(江戸期)五月七日

巻紙(包紙入)一通

月番源左衛門殿へ出置候書付、長崎御手当、御領海漂流御手当云々

2 御手当之儀ニ付存寄申出候書付扣

(二九九七の二)

(江戸期)

切紙(包紙入)一通

三五 書状

(江戸期)九月二十八日

切紙 二通

黒田三左衛門高木作右衛門宛。貴様御子達之内此方へ申請候儀

二六 (仮題)覚

(江戸後期)

切紙 一通

一八一八〜一八二一は一括

二七 御城下り嶋々江凡之里数覚

(江戸後期)

切紙 一通

二八 蒸気御船へ乗込候付福岡洲崎浜方通船ニ致乗船候事

(江戸後期)

切紙 一通

二九 (仮題)若一王子につき覚

(江戸後期)

切紙 一通

三〇 江戸表江御持たせニ相成候御書付控写

(文化五年〜同八年)

長帳 一冊

長崎御番関係入用高覚

三〇 (仮題)覚

(江戸後期)

切紙 一通

異船渡来之節

三〇 風説書

(江戸期)丑七月四日

切紙 一通

付、かびたん并婦人之名

三一 去ル寅秋蝦夷地江魯西亜船来津乱妨之儀ニ付御尋之趣かびたん問答仕

三奈木黒田家文書 (一、江戸時代史料)

御内密申上候書付

(四五四〇)

(江戸期)巳九月

書冊 一冊

三二 両かびたん御呼出被仰渡之書面写

(江戸後期)

切紙 一通

三四 南蛮人名蔵

(江戸期)

折紙 一通

三五 新渡かびたん(覚)

(江戸期)

折紙(包紙入)一通

家族共

三六 阿羅祭巫船首長之者申口和解書

(江戸期)子九月七日

書冊 一冊

三七 書状

(江戸期)九月二十六日

巻紙 一通

花戻久七信賢源左衛門宛。長崎御番関係

三八 土井様江被差出置候御留守居名前之書付

(江戸期)

切紙(包紙入)一通

長崎御番之儀

三九 長崎御番方定口帳

(江戸後期)

小横帳 一冊

四〇 (仮題)長崎御用御要書、船方覚書

(寛政四年〜文化七年)

切紙 一通

四一 (仮題)覚

(文化六年〜文化八年)

切紙 一通

長崎御番関係

四二 啖咭喇御條約御取替一件

(江戸後期)卯九月九日

書綴(袋入)一綴

三二 異国船漂流手當覚 上・下

(江戸後期)

(一七三〇)

小横綴 一綴

三三 覚

(江戸後期)

(一七三三)

書綴 一綴

長崎警備

三四 両御番所御台場等御巡見之御次第

(江戸期)

(一五一七)

長綴 一綴

三五 (仮題)覚

(江戸後期)

(四三九六)

切紙 一通

元和時勢、同政事之模様、海防之事

三六 (仮題)覚

(江戸期)

(四三七四)

切紙 一通

忠之公寛永十八年長崎藩鎮仰付らるの事

三七 書状

(江戸期)

(四〇三四)

切紙(包紙入)一通

猪股熊次郎方。異国船渡来の件

三八 忠之様御代御加番初御手当被仰談之覚

(江戸期)

(四二二五)

長綴 一綴

三九 御台場御備増一件書親

1 長崎御奉行江被指出之御存寄書案

(江戸期)

(四二九七の二)

巻紙 一通

2 佐賀聞役方之返答書

文化十三年

(四二九七の三)

切紙 一通

3 御留守居名前之書付

(江戸期)

(四二九七の四)

切紙 一通

4 井戸对馬守殿家ニ而御出会之節御覚書

(四二九七の五)

弘化三年

5 佐賀聞役方之演説書写

嘉永三年

切紙 一通

(四二九七の二)

巻紙 一通

6 (仮題)長崎警備に関する書付

(江戸期)

(四二九七の六)

切紙 一通

7 御台場御築次一件ニ付書付写

(江戸期)

(四二九七の七)

切紙(包紙入)一通

8 御台場御備増御入目金凡左之通

(江戸期)

(四二九七の七の二)

切紙 一通

9 御備増一式御入目銀ノ高凡之積書

(江戸期)

(四二九七の七の二)

切紙 一通

10 御玉葉代銀凡之積覚

(江戸期)

(四二九七の七の三)

小横綴(包紙入)一綴

11 御台場御築立凡之積并御玉葉其外代銀凡之積書共(四二九七の七の四)

(江戸期)

(四二九七の七の四)

(包紙入)小横綴一綴・切紙一通

12 両御番所御台場其外御築繼ケ所々々御入目銀凡之積書

(江戸期)

(四二九七の七の五)

長帳 一通

13 宍貫目玉石火矢一挺御新製凡積

(江戸期)

(四二九七の七の六)

長綴 一綴

三〇 浪戸築立之類例

(江戸期)

(三六三〇)

(貞享四年〜享保十九年)

三一 覚

(江戸期)

(四三八七)

切紙 一通

御下国の件、海防外

三二 日記

(四五二八)

(江戸後期)四月朔日(四月二十九日)

長崎

長帳(小) 一冊

三三 魯西亞国様子書

(江戸後期)

長帳 一冊

肥田豊後守・成瀬因幡守

三四 酉七月上旬岡村之内状写

(江戸後期)

切紙 一通

对州一条、魯西亞のこと

三五 書状

(江戸期)七月朔日

切紙(包紙入)一通

岡村文右衛門正志と播磨宛。魯西亞軍艦平戸と朝鮮征伐いたし度云々一件

三六 覚

(江戸期)

切紙 一通

長崎聞役

三七 手控

(江戸期)

切紙(包紙入)一通

長崎御番覚

三八 覚

(江戸後期)

切紙 一通

忠之公長崎御番被仰付の際

三九 書状

(江戸期)

切紙(包紙入)一通

岡村文右衛門と黒 播磨・小 讃岐宛。御台場一条の儀

四〇 (仮題)覚

(江戸後期)

書冊 一冊

今般百年來打絶候異船渡來仕候付御手当等の事

三奈木黒田家文書 (一、江戸時代史料)

三一 御直御掟書之写

(江戸中期)

(一五一四)

長崎一番々四番々迄取計之事、組頭之面々心得之部外

三二 酉一番之中御成之節御木屋間取之図

文化十年

(四二二八)

御馬廻頭

三三 長崎御茶屋略図

文化十年九月十二日

(四三〇〇)

三四 神崎魚見獄大台場図

(江戸期)

(三五六六)

三五 寛政六寅年御筒御打様之節御船組絵図

(江戸期)

(三五五一)

三六 長崎水浦御船江絵図

(江戸期)

(三五五〇)

三七 高崎御台場飾図

(江戸期)

(四六九五)

三八 大田尾御台場飾図

(江戸期)

(四六九三)

三九 女神御台場飾図

(江戸期)

(四六九二)

四〇 戸町御木屋飾図

(江戸期)

(四六九一)

四一 (仮題)茂木浦、北浦附近絵図

(江戸期)

(四六八七)

四二 阿蘭陀軍船之図所々符合訳

(江戸期)

(四五三八)

書冊 一冊

三三 白崎御台場御切組絵図

(四五三六)

(江戸期)

一枚

三四 稻佐郷大鳥崎茶屋屋敷并水浦堺山所大略之図画

(四五一一)

文化五年四月

一枚

三五 (仮題)長崎警備図

(四五〇七)

(江戸期)

一枚

三六 浦賀表江垂米喇幹船渡来ニ付絵図面

(四五〇五)

嘉永六年六月

(包紙入)一枚

三七 (仮題)長崎警備図

(四五〇一)

(江戸期)

一枚

三八 長崎水浦御茶屋絵図

(四四九九)

(江戸期)

一枚

三九 西泊御番所絵図

(四三〇一)

(江戸期)

一枚

四〇 両御番所中老大組頭馬廻頭御木屋御成并御名代其外奉行巡見之節等間取之図

(四二九九)

(江戸期)

(袋入)四枚

付、西泊戸町惣御木屋略図

四一 戸町御番所絵図

(四二二九)

(江戸期)

一枚

四二 西泊鉄砲大頭御木屋(指図)

(四二二七)

(江戸後期)

一枚

四三 御陣場調之絵図

(三六〇五)

(江戸期)

(包紙入) 二枚

大村付近に長崎迄

四四 此節佐嘉御領地香焼嶋江四間ニ式拾間之木屋取建ニ相成候ニ付大塚三

左衛門差出候絵図并覚

(二五五九)

(江戸期)丑六月

切紙一通・絵図一枚

四五 備附

(四三三五)

(江戸期)

六枚

七十騎備立図、五十騎備立図、百騎備立図

四六 感應丸御舟図

(四三三四)

(江戸期)

四枚

四七 ヲロシア船乗前之図

(四三三三)

(江戸期)

二枚

四八 帆影見隠御用之間差図・向屋鋪差図

(四三三二)

(江戸期)

四枚外

四九 長崎西泊御石火矢大筒之図

(五一一一)

(江戸期)

二枚

絵図写共

五〇 長崎御茶屋指図

(四七四四)

(江戸期)

一枚

五一 長崎水浦御船江之図

(四七三三)

寛政八年

袋のみ

五二 長崎備立図

(四五五四)

(江戸期)

包紙のみ

五三 絵図

(六〇四)

(江戸期)

一枚

新町、香月、船越入江付近

五四 書状

(三三二二)

(江戸期)

切紙 一通

阿蘭陀舟無異儀出帆

三五 (仮題) 長崎警備存寄書

(江戸期)

(一一二〇) 一紙 一通

三六 阿蘭陀本国船渡来之節御越座御次第書并御供附御道割

(江戸期)

(二五一八) 長綴(袋入)三綴

三七 御用状留

(江戸期)

(五七二) 書冊 一冊

浦方・長崎御番関係

三六 長崎御番衆覚書、長崎御番代日割之覚外

(江戸期)

(四〇四八) (包紙入)切紙一通・折紙二通

三九 (覚)

(江戸期)

(二四八の二) 折紙 一通

源左衛門へ御相談可成哉之覚外(人数増の事、石火矢用意の事、南蛮船帰帆の事外)

三〇 覚

(江戸期)

(二四八の三) 折紙 一通

石火矢用意、番船大風、借船の事外

三一 覚

(江戸期)六月十三日

(二四八の六) 切紙 一通

横山与三右衛門。南蛮人ニ被仰聞候ハ此後入用のもの有之候ハ通詞共追申達候様

三二 書状

(江戸後期)

(三五一) 切紙(包紙入)一通

郡正太夫黒田三左衛門宛。警備交代一件

三三 露艦出沒時代往復文

(江戸後期)

(五〇九) 書綴一綴・巻紙七通

享和元年五嶋漂着船荷物覚。海上備頭侍隊将手組人数、陸路備頭侍隊将手組

人数、津軽屋敷詰方之人江国元より遣候書状写

三四 今程長崎御番方米銀高書付

(江戸期)

(二三八五) 巻紙 一通

三五 (仮題) 原田与長崎追走飛脚赴割并二賃金渡高書付

(江戸期)

(二三八六) 折紙 一通

三六 覚

(江戸期)二月二十五日

(八九の六) 一紙 一通

出迎之方の事(はや鐘、貝太鼓、時のこえ、海手の鉄砲玉なし)

三七 覚

(江戸期)二月二十三日

(八九の三) 一紙 一通

殿様長崎御番所見廻の節船ニ而御見廻被成に付

三八 異国漂流手当

(江戸期)

(四五三二) 書冊 一冊

召連候役者人数手配、おろしや船渡来之節手当船備人数割、公儀御手当二番手御定之抜書

三九 覚

(江戸期)

(二四三二) 一紙 一通

両御番所へ相詰申船数之覚、人数書上

四〇 覚

(江戸期)

(五〇七) 切紙(包紙入)三通

長崎御越座之節火災用御持込(覚)、(備)覚

四一 覚

(江戸後期)

(四〇四三) 切紙 一通

長崎表御手当惣御人数調子方其根元之書取

四二 惣御人数之覚

(江戸後期)

(四〇四四) 切紙 一通

長崎警備関係

三三 此節之御仕組ニ依而御人数減ル分

(江戸後期)

(四〇四五)

三四 役々出立上下人数之覚

(江戸後期)

(四〇四六)

三五 御船路之節御供人数左之通

(江戸期)

長綴 一綴 (三六〇四)

三六 四月立長崎御越座御供名附

(江戸期)

折紙 一通 (二五五八)

三七 平常急速陸路供附

(安政四年)

長帳 一冊 (二二五八)

三八 長崎平常・非常御供并急速星

(江戸期)

書冊 一冊 (五〇〇)

三九 陸路御供人数

(江戸期)

長綴 一綴 (四九八)

四〇 小非常陸路供附并船廻人数

(江戸期)

長帳 一冊 (二六一)

(4) 船方

四一 (仮題)覚

(江戸期)

(二四二五)

正徳ノ寛政迄美作乗候御船組覚

長綴 一綴

四二 寛政十二年御勘定奉行中川飛驒守殿江被差出候書付并付札写

(寛政十二年)

(二四九三)

松平官兵衛家来永田平之丞宛。破損船之儀

巻紙 一通

三三 覚

文化六年

(四〇四二)

船方

三四 御船帳

文化三年

(四九四)

三五 船手頭より差出候書付

文化十年十一月四日

小横帳 一冊 (二二二五)

御船方御建銀の事

三六 御座船造営に付先例書取

(江戸後期)

長帳 一冊 (二八四)

(包紙ノ長綴三綴・書綴一綴)

三七 船方御仕法替ニ付追々被相達候廉々写

文政二年三月

小横帳 一冊 (二五〇四)

三八 御船寄御船方名寄并御船々ともに組分帳

天保六年六月写

小横帳 一冊 (二七〇四)

三九 口上

(江戸期)二月二十六日

折紙 一通 (三三八〇)

伊藤半兵衛ノ源左衛門宛。長崎江被遣候水夫御舟之儀

四〇 長崎江被遣御舟組之覚

(江戸期)二月十六日

折紙 一通 (三八五五)

四一 御舟飾附

(江戸期)

(包紙ノ三枚) (三八七三)

感応丸非常備列

四二 (仮題)船方関係覚

(江戸期)

折本 一冊 (四二七二)

四三 浦御奉行衆ノ注進之覚

(二九六六)

(江戸期)九月廿日

栗田藤三郎。大坂上りの御米積候船の事

一紙(包紙)一通

四〇三 船方無礼定書

(江戸後期)西十二月

(二二四九)

四〇四 (仮題)達

(明治初年)

(四八四八)

播磨宛。要書船方申付

切紙 一通

(5) 備

四〇五 光之備定

(江戸期)

(二〇四五の二)

黒田新統家譜附録

卷紙 一通

四〇六 儒者江掛候而存念惣中被聞候節申出候書付写

(江戸期)

(二〇四五の二)

四〇七 黒田新統家譜附録

(江戸期)

(四八五九)

光之備定

切紙 一通

四〇八 忠之嶋原帰陣の後備を定めらるる事外

寛永十五年、正保四年

(二〇一九)

四〇九 肥前大村領切支丹宗門露頭之節御備附

明暦三年

(三五七二)

四一〇 新野持参差出候模様次第

享和三年六月八日

(二五三三)

武器、陣備覚

二卷

四一一 出陣人数附

元治元年十一月六日改

(二七〇〇)

長綴 一綴

三奈木黒田家臣分

四三 軍事人数附 下座

慶応元年十月改

(二六九九)

三奈木黒田家臣分

四三 (仮題)陣備図

(江戸期)

(二七四)

四四 (仮題)軍備関係書付

(江戸後期)

(二四二二)

御備数、乳繩ノ取様、堀尾氏覚書其外当分ノ覚候書付

切紙 五通

四五 (仮題)配備図

(江戸期)

(三七三二)

松山新五郎

絵図 一枚

四六 (仮題)行列覚

(江戸期)

(三七二八)

四七 覚

(江戸期)

(三八三二)

侍小人等立配図

切紙 五通

四八 先年黒船参候時分御備定

(江戸期)

(三五六九)

四九 1 備頭侍隊將時分用意器械之定

(江戸中〜後期)

(二七一四の二)

2 備頭侍隊将自分人数之記

(江戸期)

(二七一四の二)

3 船師

(江戸中〜後期)

(二七一四の三)

四〇 (仮題)行軍行列

切紙 一通

（江戸中）後期

巻紙 二卷

四三 御備手組手分ニ相立候次第

（三六六〇）

四二（仮題）覚

（江戸後期）

長綴 一綴

四三 換陳行列

（三六一五）

行軍関係

四三（仮題）達書

（江戸後期）三月朔日

折紙 一通

四四 換陳相符

（二二七九）

大目付宛。行軍見字心得

四三 一之先右備箱崎江行軍手続

（江戸後期）

長綴 一綴

四五 御備図

（三五七四）

四四 一之先右備具足下ニ而箱崎江行軍ニ付心得廉々

（江戸後期）

長綴 一綴

四六 行軍

（八一七）

四五 一之先右備行軍

（江戸後期）

長帳 一綴

四七 一隊戦列

長帳 一冊

四六 一之御先右備行軍現人数

（江戸後期）

長綴 一綴

四八 大非常備烈

（三九四四）

四七 一之先右備箱崎江行軍手続

（江戸後期）

長綴 一綴

四九（仮題）若堂中間配備図

（三九三七）

四八 船隊之図

（江戸期）

一枚

五〇（仮題）陣備図

（三八二四の一・二）

四九 士十人小人十一人備

（江戸期）

切紙 一通

中田氏美

（三二七六）

間嶋興栄

五〇 船隊分配変化之図

（江戸期）

一枚

五一 備頭手人数之覚

（四二七六）

五二 御船隊之図

（江戸期）

一枚

五三 三分定組合規則

（八一六）

大將まわりの配備図

（江戸期）

長綴 一綴

軍將隊立配、相備足輕隊將大頭船備、在番人数船備外

（江戸期）

（包紙入）八枝

陣立

（江戸期）

（七三）

（江戸期）

（江戸期）

（三九三七）

（江戸期）

（三九三七）

（江戸期）

（三八二四の一・二）

大將まわりの配備図

（江戸期）

（四二七六）

（江戸期）

（八一六）

慶応三年十二月

備組

四三 (仮題) 備方覚

(江戸期)

書冊 一冊

四四 (仮題) 備函并覚

(文化十年六月頃カ)

一紙 一通

四五 出陣一人人数の積算

(江戸期)

一紙・切紙 六枚

四六 七拾騎備人数積

(江戸期)

卷子 一卷

四七 百騎備人数積

(江戸期)

長綴 一冊

四八 御備之改り候廉

(江戸後期)

長綴 一冊

四九 一隊戦列

(明治初年)

切紙(包紙入)三通

五〇 改正隊組定書

(明治初年)

卷子 一卷

(6) 軍事・訓練

五一 千放歩帳

弘化四年

長帳(包紙入)二冊

五二 覚

(安政五年〜慶応三年)

小横帳 一冊

五三 御軍事覚

西洋訓練、長州征討の記事外

(一六九四)

三奈木黒田家文書 (一、江戸時代史料)

慶応三年

四四 御改正御軍事 二・三

(江戸期〜明治初年)

小横綴 一綴

四五 御軍事定

(江戸中〜後期)

折本 二冊

四六 御改正御軍事

(江戸中〜後期)

書冊 一冊

四七 (仮題) 軍事御改正御復古調子之事

(江戸期〜明治初年)

折本 一冊

四八 (仮題) 覚

(江戸中〜後期)

書綴 一綴

四九 訓練御見分次第書

(江戸中〜後期)

切紙 一通

五〇 (仮題) 覚

(江戸後期)

長帳 一冊

五一 忠左衛門存寄書

公儀御訓練に而図書殿初御出に相成候義に付意見書

御番所御船備并御台場御筒放出

五二 於地藏松原訓練心得之条々

(江戸後期) 八月十日

長帳 一冊

五三 御訓練手続

(江戸後期)

切紙(包紙入)三通

五四 書状

(江戸後期)

長帳 一綴

五五 覚

一五七

(江戸後期)七月晦日

巻紙(包紙入)一通

吉田主馬・郡左近右野村東馬・立花采女宛。御国御調練之儀

四五 下曾根金三郎右神屋宅之丞引合之廉書

(二八一二)

(江戸後期)

切紙(包紙入)一通

御老中御屋敷にて調練の件

四六 風説書

(二八一二)

(江戸後期)

切紙(包紙入)三通

老中水野出羽守若年寄中中下屋敷にて家来共調練の事外

四七 (仮題)西洋砲術調練実施の意見書

(三七四五)

(江戸後期)

巻紙 一通

四八 覚

(江戸期)

切紙 一通

砲術方

四九 覚

(慶応三年カ)卯八月

(四三七五)

御軍事取調の向云々。付、書状

五〇 覚

(明治初年)

(四〇三〇)

若松・山鹿・芦屋軍備掛

(7) 諸道具由緒

五二 御重宝故実

(江戸期)

(二六一六)

黒田家。感書・武具類

五三 黒田御家御重宝故実 上

(江戸期)

(二六一七)

(江戸期)

書冊 一冊

四四 御数奇道具故実

(二六一八)

(江戸期)

書冊 一冊

四五 諸道具根帳

(二六二〇)

(江戸後期)

切紙 一通

三奈木黒田家

四六 御武具根帳

(二六二四)

(江戸後期)

書冊 一冊

三奈木黒田家

四七 覚

(江戸後期)

(二六二五)

刀剣類由来。三奈木黒田家

四八 腰物由来帳

(二六一九)

(江戸期)

小横帳 一冊

三奈木黒田家

四九 覚

(江戸期)

(二六二〇)

武具由来。三奈木黒田家

五〇 御掛物根帳

(二六二一)

(江戸後期)

書綴 一綴

三奈木黒田家

五一 御自家御重宝記

(二六一五)

(江戸期)

書冊 一冊

三奈木黒田家武具

五二 (仮題)覚

(二四六一)

貞享元年二月九日

鷲丸御馬印古ク成申ニ付今巻ツ出来申管付奉行被仰付衆

切紙 一通

四三 俱利伽羅龍三所物證文

宝曆十二年八月七日

後藤四郎兵衛光孝

(一七七二)
切紙(包紙入)一通

四四 御召料御鎧新製被仰付候御用掛被仰付候御意書

天保八年十一月二日

播磨

(三八六七)
切紙(包紙入)一通

四五 覚

(江戸期)

当家重宝の角半弓の次第

(四〇七〇)
切紙 一通

四六 祐定金式枚札

(江戸期)

無銘、祐定刀

(二七七三)
札(包紙入)一枚

四七 信国之札

(江戸期)

無銘、信国

(二七七四)
札(包紙入)一枚

四八 信元札

(江戸期)

備前信元脇差

(二七七五)
札(包紙入)一枚

四九 国定札

(江戸期)

小脇差

(二七七六)
札(包紙入)一枚

五〇 定秀之折紙

元禄十二年六月三日

本阿爾

(二七七七)
折紙(包紙入)一通

五一 来国長札

(江戸期)

(二二六三〇の二)
(包紙入)札 一枚

三奈木黒田家文書 (一、江戸時代史料)

四三 笹雀三所物折紙

文政十年十二月七日

後藤四郎兵衛光美

(一七七八)
折紙(包紙入)一通

四四 (諸道具)御不用と見込分覚

(江戸期)

(三六八七)
切紙 一通

四五 覚

(江戸期)

御家預り御道具入御櫓奉行預御道具入外

(三七六八)
小横綴 一綴

四六 齐清公御書

(江戸期)

「桜観滄海日」

(二五一七)
一紙(包紙入)一通

四七 日記

(江戸後期カ)

長政代の旗に付

(二八〇六)
切紙 一通

四八 書状

(江戸期)閏六月〜七月

追々根元居相立候儀云々

(二〇五一)
巻紙 一通

四九 (仮題)覚

(江戸期)閏六月二十五日

出印之儀に付

(二〇四七)
切紙 一通

五〇 古文字添状

(江戸期)閏六月晦日

出印之一件

(二〇四二)
切紙 一通

五一 箱上書

(江戸期)

箱上書

(二二六三)
一紙 一通

五〇 添状

(江戸期) 酉卯月十四日

(二六三の二)
切紙 二通

法眼永真

五二 狩野永真状

(江戸期) 五月六日

(二六三の三)
一紙 一通

五三 金屏一双押物書画筆者書付

(江戸期)

(二六三の四)
一紙 一通

五四 顔輝筆御掛物代銀受取入

安政八年十一月二十日

(二六三の五)
巻紙(包紙入)一通

濱町傳次・釜や勘三ら今泉唱平・梅野羽右衛門宛

五五 勝家添状

(江戸期) 二月三日

(二六三の六)
一紙(包紙入)一通

本阿弥光通ら加口善助宛

五六 御刀身付札

安政二年八月

(二六三の七)
一紙(包紙入)一通

五七 (仮題) 武具書類(破損)

(江戸期)

(三七)
巻紙 一卷

五八 (仮題) 武具由緒書

(江戸期)

(二七七)
書綴 一綴

五九 書状

文化元年三月二十日

(二四五八)
巻紙 一通

長政公員足手入に付

六〇 覚書

(江戸期)

(三二二)
折紙(包紙入)一通

兼定御腰物、備前幸景御脇指外

六一 一 整様御鞍鏡御拝領之節被仰渡書

(一〇四)

嘉永七年四月十六日

切紙(包紙入)九通

五三 扶桑木

(江戸期)

(五五五)
切紙 一通

由来

10 浦・町・村

一 那珂村女人筑後へ帰土仕度由之書物

延宝元年十一月二十六日

(二二二七)
一紙 一通

那珂郡庄屋市二郎ら松岡彦太夫・浅原黒兵衛宛

二 博多尾村甚右衛門对馬ニ鯨組居申證文

延宝二年

(二三七八)
一紙(包紙入)四通

祖祖父從昭景様御威状之御判致頂戴り二付。付、天正十年昭景感状書。甲寅

四月十二日鯨組居浦之事外

三 鞍手郡植木町酒林福岡新町へ新申越状

延宝二年二月十一日

(二二七六)
一紙(包紙入)二通

福岡新町庄右衛門ら長濱四郎右衛門宛。酒場売渡

四 他国へ罷出申度願ノ書付

延宝二年四月

(二七五九)
一紙(包紙入)二通

辻堂下魚住清兵衛・材木町善兵衛ら長浜四郎右衛門宛

五 1 御理り申上ル事

延宝二年五月九日

(二七三九の三)
巻紙 一通

新大工町次兵衛外二十一名ら寺嶋喜右衛門・大野助右衛門宛。隣国へ入職願

2 御理り申上ル事

延宝三年正月十九日

(二七三九の二)
一紙 一通

福岡材木町大工五郎右衛門外二十四人ら大野助右衛門・寺嶋喜右衛門宛。隣

國へ入職願

3 御理り申上ル事

延宝三年正月十九日

(二七三九の三)
一紙 一通

福岡薬院町大工五郎兵衛と大野助右衛門・寺嶋喜右衛門宛。隣国へ入職願

六 宗像郡地崎浦甚十郎子を持不申ひ故岩見国壬田村と男子老人やうし仕

以事

延宝二年六月

(二二三五)
一紙(包紙)二通

付、其方子分ニ進申ひ一札之事

七 沼津之浦舟大工召置申度由之書付

延宝二年五月二十八日

(二二二七)
一紙(包紙)四通

はつ浦彦四郎と山本八郎左衛門・大野忠右衛門宛

八 三笠郡瓦田村久右衛門酒林博多魚町久兵衛買取證文

延宝二年七月十八日

(二二七五)
一紙(包紙)二通

九 他国へ入職ニ参り御国大工書付

延宝二年八月十一日

(二二一九)
一紙(包紙)一通

西町金四郎外大工十六人と寺嶋喜右衛門宛。長崎へ入職

一〇 大乘寺風折木望ノ書付

延宝二年八月十一日

(二二〇一の二)
一紙(包紙)一通

大乘寺古淵と長濱四郎右衛門宛

一一 博多町人松枝望之書付

延宝二年八月二十三日

(二二〇一の二)
一紙(包紙)一通

尾村甚右衛門・谷三郎左衛門と長濱四郎右衛門宛

一二 炭がま運上赦免断書

延宝二年九月十二日外

(二二〇〇)
一紙(包紙)三通

こもの村庄屋清右衛門外庄屋三名と樋口長五郎・小嶋善介・小林安太夫宛

一三 上座郡益末村善四郎名子五兵衛走り申次第覚

(二二七九)

三奈木黒田家文書 (一、江戸時代史料)

延宝二年七月二十五日

一紙(包紙)一通

益末村庄屋栄右衛門と中沢弥右衛門・恵良弥六兵衛宛

一四 1 上座南林寺ころひ木申請ル書付

延宝二年九月十一日

(二二七七の二)
一紙(包紙)一通

南林寺宣順と中沢弥右衛門宛

2 那珂郡老司村ころび木申請ル書付

延宝二年九月十二日

(二二七七の二)
一紙(包紙)一通

老司村庄と弥七郎外と浅原九兵衛・松岡喜大夫宛

3 上座星丸村宮山ころひ木申請ル書付

延宝二年十一月八日

(二二七七の三)
巻紙(包紙)一通

星丸村社人五兵衛と中沢弥右衛門外一名宛

一五 須崎町文左衛門風呂屋望之書付

延宝二年十月

(五九五)
一紙(包紙)一通

博多須崎裏町下浜文左衛門と長濱四郎右衛門宛

一六 古賀村渡舟流シ申書付

延宝二年十一月十四日

(二二八八)
一紙(包紙)一通

古賀村渡守六五郎・同村庄屋藤四郎と松原助右衛門・山崎九左衛門宛

一七 1 御理り申上ル事

延宝三年正月十九日

(三九二九の二)
一紙 一通

大工藤四郎外六名と大野助右衛門外一名宛

2 御理り申上ル事

延宝三年正月十八日

(三九二九の二)
一紙 一枚

江兵衛外十一名と大野忠右衛門宛

一八 御国大工他国へ入職ニ参ル書付

延宝三年正月二十九日外

(二二九七)
一紙(包紙)三通

新町・本町・濱之町・新大工町大工と大野助右衛門・寺嶋喜右衛門宛

一九 穂波郡山口村炭がま之書付

延宝三年二月十六日

(二一八〇) 一紙(包紙)一通

山口村庄屋源七右四宮新三郎・衣笠清左衛門宛。炭竈老ッ指上度

二〇 遠賀郡吉田村休念覚書

延宝三年二月十七日

(二七五六) 一紙(包紙)一通

吉田村庄屋四郎兵衛杉原助右衛門・山崎九右衛門宛。豊前国田川郡糸田村休念と申者妙楽寺名子ニ参度

二一 波津浦理り書物

延宝三年三月十四日

(二一九〇) 巻紙(包紙)一通

波津浦弁指彦四郎外五名と山本八郎左衛門・大野忠右衛門宛。獵船役・海士役等の理り

二二 遠賀郡小崩村こぜ之理り書

延宝三年三月二十三日

(三九三〇) 一紙(包紙)一通

杉原助右衛門宛。娘の養女願

二三 嘉麻郡牛隈村新四郎しうと親豊前国を呼越申度ニ付御理り申上ル覚書

延宝三年四月十六日

(二五〇〇) 一紙(包紙)一通

延宝三年四月十六日

二四 那珂郡竹下村之宮去秋之大風ニころひしヲ建立仕度旨願之書付

延宝三年八月

(二一七八) 一紙(包紙)一通

竹下村庄屋を浅原九兵衛・松岡彦大夫宛

二五 1 理り申上ル事

延宝三年

(四七〇四の二) 巻紙 一通

新川端太右衛門外。隣国へ入職願

2 御理り申上ル事

延宝三年正月十九日

(四七〇四の二) 一紙 一通

大工町与三兵衛。隣国へ入職願

3 御理り申上ル事

延宝三年正月十九日

(四七〇四の三) 巻紙 一通

福岡新大工町大工徳右衛門外

六 口上之事

延宝四年正月二十三日

(三九三二) 一紙 一枚

門井弥二右衛門と大野忠右衛門宛。小倉へ転居許可願

七 乍恐御理り申上ル事

延宝四年八月十一日

(四〇〇八) 一紙 一通

西新町年寄伊右衛門と四宮新三郎宛。西新町破損部の普請

六 乍恐御理り申上ル口上之覚

延宝四年八月二十四日

(二七四五) 一紙 一通

久家浦弁指勘三郎と山本八郎左衛門・大野忠右衛門宛。拝借銀願

六 甘木村中を御理り申上ル事

延宝四年八月十一日

(四七〇五) 一紙 一通

甘木町庄屋九郎左衛門宛。入物御赦免願

三〇 乍恐御理り申上ル事

延宝五年十月二十八日

(三六四三) 一紙 一通

博多西町中下番裕善と長浜四郎右衛門・庄野彦右衛門宛。妻同伴国退去被仰付度

三 若松を尾上角左衛門被差戻しニ付半丞勘左衛門承りし書付来覚

(延宝期)十二月十九日

(二一八九) 一紙(包紙)一通

御右筆所。遠賀郡上津役村の鉄砲の事

三 山鹿火事之覚書

(延宝期)二月二十三日

(三三二二) 一紙(包紙)一通

遠賀郡

三 今泉村と申上ル覚

(延宝期) 丑十一月二十五日

一紙(包紙入)一通

(二二二二)

今泉村庄屋勘市と浅原九兵衛・松岡彦大夫宛。八反田借家の件

四 鯨銀之覚

(延宝期) 辰九月八日

一紙 一通

(二七四一)

五 (仮題) 浦方定

正徳元年五月

巻紙 一通

(三六三九)

奉行。難破船取扱、積荷の陸上げ外

六 郡請諸品

(享保六年) 午五月三日

長帳 一冊

(二四七七)

佐谷五郎太夫・篠田七郎左衛門と松原吉右衛門・鎌田八郎兵衛宛

七 名寄帳奥書 写

明和六年三月

書冊 一冊

(三六二二)

郡奉行

八 村軸帳

明和七年八月

書冊 一冊

(二六六四)

大庄屋平内・庄屋源兵衛と永田伊左衛門宛。那珂郡上白水村軸帳案文写

九 三奈木村庄屋忠九郎役儀并地方御取上に相成古来之通庄屋役清右衛門

老人被仰付右之地方同人江被返下次第

(三六八五の一)

明和八年十月

長綴 一綴

一〇 此節於音并手に庄屋忠九郎過言ケ間敷次第申上り事

明和八年

一紙 一通

(三六八五の二)

一一 庄屋忠九郎村方ニ付而之私曲并内行之次第風説之趣承り合セし而申

出い様ニ各様と任御差函左ニ申い

(三六八五の三)

(明和八年)

巻紙 一通

三奈木黒田家文書 (一、江戸時代史料)

一二 佐左衛門書状ひかへ

(明和八年)

(三六八五の四)
折紙(包紙入)二通

和田佐左衛門と加藤忠左衛門宛。庄屋忠九郎の事

一三 (仮題) 三奈木村走り下組之者水論の事

(江戸期) 八月十四日

巻紙 一通

(四〇九二)

宮崎作右衛門・守嶋文左衛門と加藤忠左衛門・新免市郎右衛門宛

一四 国分村榎畑御買上分証拠

明和九年三月十日

一紙(包紙入)一通

(三九九七)

国分村庄屋と間九大夫外二名宛

一五 正浦録

安永元年十二月二十一日

書冊 一冊

(四七〇二)

浦大庄屋勤方心得の事外

一六 冥覚

(天明) 文化期

書冊 一冊

(四七〇三)

村政関係。勺上り之事・郡切立銭之事・文化八年村軸帳之事(別府村)・山判

書物之事外

一七 (仮題) 宗像郡武丸村農夫正助記

寛政十年五月十二日

書冊 一冊

(三六一九)

竹田定良記

一八 岡村氏画武丸邑民正助之像

(江戸期)

一枚

(四八九六)

一九 雛屋善右衛門家系書

明和三年八月外

一紙(包紙入)一通

(二二三一)

養子縁組の事

二〇 飯場瑞梅寺両村論地書付之写

文化三年二月

巻紙(包紙入)一通

(二六六六)

一六三

怡土郡

三 秋月御領夜須郡弥永村医師木原三の乍恐御願申上事

(二〇三五)

文化五年十一月

一紙 一通

先祖木原策庵と申医師子孫之者御領内江策庵跡相立度

三 方々被召仕水夫高之覚

(四二七四)

文化八・九年

長帳 一冊

三 若松拂切之儀ニ付賞罰取斗方郡奉行并手勘七方申出い一件

(二五五八)

文化九年

書綴 一綴

三 浦々櫓手取い者并町郡浦船々石数尋数共書上之覚

(二五八三)

文化九年九月

長綴 一綴

三 浦方御用

(二六五七)

文化九年四月

書綴 一綴

産子養育料渡方仕組書

三 野駒焼印譜

(三八九〇)

文化九年写

長綴 一綴

牧場

三 直方一件三月廿二日早速郡方付之者差越い名元其後村上又左衛門出郡

之上惣百姓中江相諭い書付

(三一二)

(文化九年)申四月

切紙 三通

夫錢調子之儀、郡々御巡見の節の達

三 東両郡夫錢切立老人前之高書付并夫仕組之模様又左衛門方両郡江内々

差越い付名元

(三一三)

(文化九年)申九月

切紙 三通

村上又左衛門

三 御困殺之覚

(二六五九)

文化九年

小横帳 一冊

六 産子養育之儀ニ付郡奉行中何書差出いニ付加付札及差図写

(四五二八)

文化十年

書冊 一冊

六 志摩郡辺田瀉御堺目一件ニ付取返シニ相成証文写

(二二〇四)

文化十年三月

書冊 一冊

六 志摩郡水崎御開普請所外記殿見分一件

(二六五八)

文化十一年四月

小横帳 一冊

六 怡土郡御堺目論所相極いニ付御用蒙仰候御意見書写

(二五)

文化十一年九月二十一日

切紙(包紙入)一通

美作宛

六 雛屋善右衛門家系

(一四)

文化十二年二月

巻紙(包紙入)一通

六 穂波郡横田村百姓長助親茂八を殺いニ付御詮議之上拘合之者共夫々

道付相成い一件書取之写

(一七五八の一)

文政元年

小横帳 一冊

2 親殺一件書付類

(一七五八の二、六)

文政元年

切紙 五通

御内密申上覚外

六 船方連々差纏之末拘合之面々御咎被仰付い達書写

(五七二)

文政四年二月・十一月

小横帳 一冊

船方御用申付い米屋徳次拜借滞一件

六 老人御目見御次第写

(二二五四)

天保九年閏四月二十八日

長帳 一冊

六 覚

天保十三年二月二十一日

切紙(包紙入)四通

石堂川江切催の件

六 拝借證文

嘉永三年七月

一紙 一通 (八九〇)

桑原村庄屋又三郎右大庭新之丞・高橋七大夫宛

七 吉木村御老作百姓利七拝借證文

嘉永四年七月

一紙(包紙入)二通 (八九四)

大庭新之丞・高橋七大夫右小西次右衛門・三原市藏宛

七 御下ケ金請取申上ル事

嘉永五年十二月

一紙(包紙入)一通 (三二五)

宰府上村仁右衛門右小西次右衛門・三原市藏宛

七 證拠

嘉永六年九月

一紙(包紙入)一通 (三六五)

多葉粉屋次吉。大豆受取

七 三 覚

嘉永六年十一月

一紙(包紙入)一通 (八九三)

山崎曾六外三名右福嶋長平・三原市藏宛。仕組み金請取状

七 四 (仮題)猪鹿狩の達

安政二年十二月二十八日

切紙 一通 (三九一〇)

大目付

七 五 御拝借證文

安政四年十一月

一紙(包紙入)一通 (三三二九)

夜須郷曾根田村庄屋佐藤運吉外右福嶋長平・三原市藏宛。年貢藏を修復ニ

付拝借願

七 六 曾根田村庄年賦上納差引帳

安政四年十二月分

長帳 一冊 (九二〇)

七 七 借用證文之事

安政六年十二月

一紙 一通 (三三三二)

三奈木黒田家文書 (一、江戸時代史料)

七 六 拝借證文之事

万延元年十一月

一紙(包紙入)一通 (二二九四)

小呂島庄や新吉・組頭伝吉・善七右福嶋長平・三原市藏宛

七 七 受取申上ル事

文久二年九月二十七日

一紙 一通 (三三四)

万屋喜平次右福嶋傳八・三原市藏宛。着府之砌早速御届可奉申上ル

七 八 相窪触普請才判中右御願書

文久二年閏八月

一紙(包紙入)一通 (八九六)

林田村普請才判新藏外右楓伝左衛門・大庭喜惣兵衛宛。御免用御普請入用岩割出之事

七 九 御願書

文久三年正月

一紙(包紙入)一通 (三三二六)

来春村庄屋倉右衛門右楓伝左衛門・大庭喜惣兵衛宛。榎島立込松木売払許可願

七 一〇 播磨殿信濃殿御道割

元治元年

切紙 六通 (二八五七の一〜六)

五月晦日右犬鳴御別館為見分浜手通廻郡六月七日帰福

七 一一 書物之事

元治元年四月

(三七〇〇)

春日・中村・白木原各庄屋右。入会の件確認

七 一二 願書

慶応元年閏五月・九月

一紙(包紙入)二通 (三三三九)

松延村庄屋宗吉外右楓傳左衛門・大庭喜三兵衛宛。榎植替願并榎苗代請取

七 一三 島地永代證文

覚

(八九一)

慶応元年七月

一紙 三通

伊東傳右衛門と藤井測藏宛

六六 1 拝借證文

慶応二年十二月

一紙(包紙入)一通

小呂嶋庄屋新吉外古川市大夫・高橋小十郎宛。当嶋取統粮米拝借

2 御願書

安政四年閏五月

卷紙(包紙入)一通

小呂嶋庄屋組頭と福嶋長平・三原市藏宛。金子前渡被下様願

3 御願書

安政四年閏五月

一紙(包紙入)一通

小呂嶋庄屋組頭と福嶋長平・三原市藏宛。借米返済日延願

六七 上納證文

慶応三年十二月

切紙(包紙入)二通

(川端辺組合連中)と御勘定役所宛。拝借金上納

六八 八重津村と仕上ル差出之事

慶応四年正月

切紙 一通

八重津村庄屋一三郎と尾野文左衛門・大庭喜三兵衛宛。村請柳の上納銀に付

六九 御願書

慶応四年五月

一紙(包紙入)一通

穂波郡内住村文左衛門と高田弥八郎外宛。抱山伐子株の件

七〇 拝借願

明治元年〜五年

切紙 七通

小呂嶋庄屋嶋田新吉と高橋古十郎・佐伯市次郎宛

七一 請負仕立證拠之事

明治二年二月

一紙 一通

姪浜新町石屋丈平と中山小伝次外宛。石場老カ所上納金

三三 表粕屋郡萩尾村庄屋組頭受書仕上ル事

明治二年三月

一紙(包紙入)一通

萩尾村庄屋清三郎外一名と播磨様内御用極炭役所宛。当村判元ニ相違無御

座

三三 覚

明治三年八月

折紙 一通

中嶋田村庄屋又三郎と大庭加増・尾野実治宛。栗原寿平拝領屋敷

三四 下座郡城村庄屋組頭御願申上事

明治四年三月

書綴 一綴

庄屋別府運次外と民事掛役所宛。難波ニ付仕組願

三五 夜須郡松延村御老作拂方御算用目録

明治三年十二月

一紙(包紙入)二通

松延村庄屋平山保真と一美役所宛。付、米請取

三六 借用証添書

明治四年十二月

切紙 一通

三原市藏・福嶋長平と萬屋喜平次宛

三七 御困糶粟現有高并代錢上納引讓帳

明治四年七月

長帳 一冊

三六 覚外

(明治初年)

切紙 三通

統書上。付、乙金村庄屋條原精六郎書状(包紙のみ)

三九 乍恐申上御理書之事

(江戸中期)後期 辰ノ八月三日

一紙 一通

上座郡志波村庄屋八郎兵衛外と中沢弥右衛門・下村藤兵衛宛。志波杷木市

二当春追入物御免シイ件毎年御免シ被成度

四〇 乍恐御訴訟申上ル事

(一一一三)

一〇 (江戸期)辰ノ九月 一紙 一通

船町惣次郎ノ長浜四郎右衛門・庄屋彦右衛門宛。親助左衛門拝借銀の件

一一 遠賀郡上二村吉左衛門書付 (江戸期)卯ノ三月二十一日 一紙(包紙)一通 (二二二)

上二村庄屋新兵衛外杉原助右衛門・山崎久右衛門・森本次郎右衛門宛。

上二村百姓吉左衛門甥荒子仕に仕度に付小倉より戻し方願

一二 赤坂薬院原吉口取入之堀仕替申覚 (江戸期)巳ノ十月六日 一紙 二通 (三六四)

一三 井土郡井原村盗人之書付 (江戸期)四月十七日 一紙(包紙)二通 (二八四)

一四 (仮題)継高公ノ長順公各代御祝儀の節郡町浦之者ノ差上物の覚 (江戸期) 切紙 一通 (二〇〇五)

一五 覚 (江戸期) 切紙 一通 (二二四)

盛長私記の貸出の件。日田ノ甘木町人借り外

一六 此者召捕国元ニ連越 (江戸後期) 切紙(包紙)一通 (二七九六)

一七 当該九拾歳以上之男女存生之者惣郡分町浦書上帳 (江戸中ノ後期) 小横綴 一綴 (二七〇)

一八 浦郡寛政五丑年以来産子高并養育料渡高書上帳 (江戸後期) 小横綴 一綴 (二七〇九)

一九 志摩郡小呂嶋黒田一義家拝領事跡証明書 (明治初年) 書綴 一綴 (三四九二)

二〇 小呂嶋由来ニ関スル書 (四九七八)

二一 九十才歳之者無之由被申出外面々 (江戸期) 卷紙(小箱)二通 (四四四四)

二二 女中書 (江戸期) 切紙 一通 (四九八二)

二三 女中給金之定 (江戸期) 書冊 一冊 (四二二六)

二四 (金錢)請取申上ル事 (明治初年) 切紙 一通 (四一七三)

二五 書状 (江戸期) 切紙綴 一綴 (四一七六)

水城村庄屋半三郎外下村六弥宛。人足代

二六 於ぼる (江戸期) 切紙 一通 (四七五八)

十時源助ノ加藤團右衛門宛。堀川成就に付古川堀切通水仕り然ル古川尻堰破損に付老作地之内に而土取度

二七 書状 (江戸期)六月十六日 書冊 一冊 (四〇二五)

狹船酒迎云々

二八 八幡大菩薩指物博多山笠ニ差出外節牧長右衛門殿方指物ニ付書出申候次第之事 (江戸期) 切紙 一通 (三六六七)

田中友来ノ木村道宛。遠賀郡為見分往来日数届

二九 鞍手郡山口村大庄屋上有木村庄屋下有木村庄屋居家ヶ谷百姓中御沙汰ニ及外書付 (秀吉書状写) 卷紙 一通 (三七六二)

(江戸期) 切紙 三通
褒賞の件 (三七六五)

三〇 覚 (万治二年〜宝暦五年) 切紙 一通
荒戸山の下古波戸築立の覚五件 (三九四〇)

三一 (仮題) 御笠郡二日市鳳谷五郎手形 (江戸期) 一紙 一通
着物の寸法書上 (三九九九)

三二 覚 (江戸期) 已十一月晦日 一紙(包紙)一通
上座・下座・嘉麻・穂波郡代役所播磨様御内宛。金子渡 (二三四〇)

三三 覚 (江戸期) 已十二月 切紙(包紙)二通
尾野実治・八並休。榎松木代御算用目録(三奈木黒田家) (二四九六)

三四 元岡村抱新堤所致見分右水掛町数御徳米高郡奉行ニ懸書出させし事 (江戸期) 切紙(包紙)二通 (二五六一)
三五 覚 (江戸期) 切紙 一通
浦々樽手取り之者人数并船数外 (二五八三)

三六 書状 (江戸期) 九月十六日 切紙(包紙)一通
庄野儀太夫外黒 源左衛門外宛。芦屋荷船并加子等之儀 (二七四四)

三七 賣札之覚 (江戸期) 九月二日 一紙 一通 (二二八五)

三九 久我船越両浦借銀指引仕覚

(江戸期) 辰ノ九月八日 一紙 一通

三九 久家船越両浦借銀指引仕覚 (江戸期) 辰ノ九月十六日 一紙 一通 (五四二)

四〇 差出 (江戸期) 表粕屋郡宇美村・旅石村在住人書出 書冊 一冊 (五五六)

四一 書状 (江戸期) 四月二十二日 卷紙 一通 (四四五〇)

四二 覚 加藤磯右衛門外方加藤忠左衛門宛。長田村ニ土手番之家出来。藪内ニも少々掛りし件 切紙 一通

四三 覚 (江戸期) 呉服町喧嘩之儀 小横帳 一冊 (七七)

四四 福岡古今屋敷割 (江戸期) 長帳 一冊 (二八六〇)

四五 覚書 (江戸後期) 春吉町松竹屋年行司格高江庄右衛門。高江家由緒書上 切紙(包紙)一通

四六 覚 (江戸期) 殿様(三奈木黒田)御借金之内方別口之御唱ニ而当春上座郡窮民御救ニ出仕 金高

11 産 業

一 御国中榎実蠟御仕組記録 (五二三)

寛政九年十二月
二 春日村原 樋島 畝高調子書上帳
書冊 一冊
(八六三)

天保二年二月
春日村庄屋吉平 〆 鈴木千蔵・萩原藤市宛
長帳 一冊
(九三二)

三 長田村土手筋御用 樋地間数書上帳
天保十二年十月
長帳 一冊
(八五四)

四 覚
文久三年正月
庄屋倉右衛門 〆 楓伝左衛門・大庭喜惣兵衛宛。三奈木村野川原山手植立 樋拝
書綴 一綴
(六六六)

五 御国葛粉目録
元治元年四月
安岡市郎右衛門・青木藤九郎 〆
長綴 一綴
(四一三)

六 樋美目録
元治元年・慶応二年
楓傳左衛門・大庭喜惣兵衛。三奈木黒田家
切紙(包紙入)二通
(二〇一三)

七 紙仕組根帳
明治二年三月
長帳 一冊
(四一五)

八 覚
明治三年午十二月
折紙 一通
(二〇八七)

九 書状
(江戸期)五月朔日
内住村庄屋平吉 〆 高田弥八郎・下村吉郎宛。当村仕組渡炭山釜人者共御屋敷
御建山之内ニ不埒仕 〆
切紙 一通
(二五六六)

三奈木黒田家文書 (一、江戸時代史料)

(江戸期)三月十三日
杉山文左衛門外五名 〆。金山堀試御願一件に付
卷紙 一通

二 (仮題)若杉植え立て并実植方各所受持名覚
(江戸期)
切紙 一通
(三六五二)

三 御書附
(江戸期)辰七月
植木村勘次郎。蠟座関係
長綴 二綴
(七九)

三 御書附
(江戸期)
蠟座仕法之覚
長綴(包紙入)二綴
(七八)

二 炭焼立之積り
(江戸期)
仕法書上
長綴 一綴
(三三九)

二 五 覚
(江戸期)二月十四日
源助外 〆 下村藤四郎宛。国分村・古谷村分 樋美代
切紙 二通
(四一七五)

二 六 覚
(江戸期)八月十五日
御山番 〆 尾野實治・八並休宛。樋島并年貢(三奈木黒田家)
切紙 一通
(四〇九八)

二 七 書状
(明治初年)
御勘定 〆 名重次郎 〆。下田表へ回し 〆 石炭の儀
切紙 一通
(四八六〇)

二 八 (仮題)甘木米相場覚
(明治初年)
切紙 一通
(四〇九五)

二 九 覚
(明治初年)
長帳 一冊
(八七四)

一六九

坂井戸楮島四百三拾四坪の受持人名録

三 姪浜石場上納目録

(明治初年)

(九一の一) 切紙 一通

12 土地

一 1 御立山ニ付申下長尾村田島書上帳

寛文十一年七月二十三日

(八八九の二) 書冊 一冊

早良郡之内下長尾村庄屋孫二郎守嶋八郎左衛門・下村久右衛門宛

2 覚

明和九年三月

(八八九の四) 折紙 一通

国分村庄屋孫市。国分村御茶屋床上納覚

3 長田村土手番忠八乍恐奉書上證文之支

寛政十年四月

(八八九の七) 一紙 一通

代右衛門宛。壹作敷之内借渡被仰付に付

4 御拝借證拠之事

安政四年六月

(八八九の三) 一紙 一通

神武原百姓武六右秋原藤市・真子又作外宛

5 覚

明治三年

(八八九の六) 切紙 一通

一作内蓮田普請に付昼食米渡方願の件

6 (仮題) 田島覚

(江戸期)

(八八九の五) 切紙 一通

島敷・高(尾笹)

7 覚

明治三年閏十月

(八八九の二) 一紙 一通

国分村庄屋中篤久四郎。壹作地上納分勘定

三 国府村仕上ル水城御立山誓紙

寛文十三年十月・貞享二年八月

(三五九一) 一紙(包紙)四通

水城村山ノ口八郎兵衛。国府村庄屋新六外方

四 長尾御建山之内田島讓渡證文

寛文十七年七月二十二日

(四〇〇一) 一紙(包紙)四通

下長尾村庄屋黒田源左衛門御内宛

五 怡土郡瑞梅寺村氏神建立仕ルニ付而材木望申上指出シ之事

延宝四年九月七日

(二二一〇) 一紙 一通

瑞梅寺村庄屋彦七外方奥村七郎兵衛外宛

六 現光院之前田畝高之覚

(延宝頃)十一月十二日

(三九六五) 切紙 一通

鳥飼村・荒戸村分

七 新田高並御所務分並びに田畑畝数

寛文四年・貞享元年・宝永八年・享保六年

(三三〇) 切紙 一通

八 那珂郡春日村御拝領壹作田檢地帳

寛保元年十二月

(八四七) 書冊 一冊

木村彦右衛門。美作内佐伯兵右衛門宛

九 御笠郡国分村抱新御建山御證拠山ニ被仰付坪割書上事

延享三年六月

(三四九五) 一紙 三通

関係書付共に

一〇 延享三年分御立山田島御物成米大豆御上納分書上ケ申事

(江戸期)寅ノ十一月

(三四九二) 一紙 一通

半助。美作御山番新助宛

一一 夜須郡吉木村一作名寄帳

(江戸期)

(三三五三の二) 長帳 一冊

2 夜須郡吉木村旦那彦作田其方へ今年より預置い付證拠之事

(三三五三の二)

享保十年 一紙 二通

小西徳左衛門より松延村貞平宛

3 御笠郡吉木村彦作反別并二町数之写

(三三三三の三)

延享三年六月 一紙 一通

吉木村庄屋貞作より林忠助宛

三 (仮題) 彦作畠證拠之事(写)

(四一五〇)

寛保二年十月六日 切紙 一通

田代半七外三名より黒田美作宛

三 1 高宮村御買皇代證文

(二二三三五の一)

宝暦五年十二月 卷紙(包紙入)一通

売主高宮村伝七より間九太夫宛

2 高宮樞畠證文

(二二三三五の二)

安永七年閏七月 一紙(包紙入)二通

助七より佐久間文内宛、太三次より佐久間文内宛

二四 春日村荒畠松仕立願(破損)

(二五一一)

寛延三年 卷紙 一通

春日村庄屋久蔵外より竹中八郎太夫宛。付、明和六年右之荒畠彦作山讓渡證

文(富永甚右衛門・味岡団右衛門外より源左衛門内和田六太夫宛)

二四 忠九郎先祖抱田畠畝高覚(写)

(八五八)

(正保三年) 書冊 一冊

二五 正保三年忠九郎先祖抱え田畠之外增高御引き上げ庄屋清右衛門江御

返被下分畝高帳 (八五九)

明和八年十月 書冊 一冊

三奈木村庄屋清右衛門より味岡団右衛門宛

一六 覚

明和九年三月 切紙 一通

国分村庄屋孫市。御茶屋床費徳大豆分覚

一七 拝領山振替願先例書為見合御用部屋より書拔取置い分

(二五二五)

切紙(包紙入)一通

一八 古畠稻作永代奉売上二付證文之事

(二五〇四)

安永六年十一月 一紙 一通

古江村売主代助より手塚徳左衛門宛

一九 浮地買上ヶ證文之事

(四〇〇六)

安永九年二月 一紙 一通

三奈木文治より進藤嘉右衛門宛

三〇 1 鶴木村掛物田畑永代彦渡申上ル證文之事

(二二三三七の一)

天明八年四月 卷紙(包紙入)一通

上畑村庄屋与助より藤本伊右衛門宛

2 (仮題) 覚

(二二三三七の二)

(天明八年)三月二十三日 卷紙 一通

鶴木村庄屋茂兵衛より手塚徳左衛門宛。上畑村与助掛持田畑彦渡許可願

3 (仮題) 覚

(二二三三七の三)

(天明八年)三月二十三日 卷紙 一通

加藤七左衛門より手塚徳左衛門宛。上畑村与助掛物田畑之事

4 (仮題) 覚

(二二三三七の四)

(天明三年)三月九日 卷紙 一通

手塚徳左衛門より新野利左衛門宛。上畑村庄屋鶴木掛持田畑売之件

三一 永代差上申證文之事

(二三三六)

寛政元年十二月十九日 一紙(包紙入)一通

国分村幸助より吉村平六・里村只七宛。土地売渡

三 立山證拠之事

寛政三年六月

天野弥市兵衛外黒田美作宛。證文焼失に付

一紙 一通

(二五二五)

三 立山證拠之事

寛政三年六月

天野弥市兵衛外四名黒田美作宛

一紙(包紙入)一通

(二〇八一)

三 預山證拠之事

寛延元年十一月

寛政八年の付紙有

切紙 一通

(二〇八二)

三 預山證拠之事

寛政三年六月

天野弥市兵衛外四名黒田美作宛

一紙 一通

(二〇八三)

三 御立山證文控帳

寛政三年

天野弥市兵衛外四名黒田美作宛

書冊 一冊

(二六七六)

三 拝借錢證拠之事并御年貢諸上納寛

寛政四年四月

住吉村庄屋平九郎右里村傳右衛門宛。住吉御求屋敷證文年貢書付共

一紙(包紙入)二通

(三四九三)

三 (仮題)寛政四年老作拝領地絵図

寛政四年

元 伺書之内御自分納衆立山預山執斗之事

二枚

(二八三一)

三 畠地永代二壳渡申上ル證文之事

文化三年二月

国分村畠売主市作右加藤六右衛門外宛。国分御茶屋目障畠御買上に付

一紙(包紙入)一通

(二六六四)

三 永代差上申古畠山地證拠之事

文化五年十月廿五日

(二五〇九)

卷紙 一通

三 覚

売主春日村恵吉女房一族右里村助之丞外宛

(二〇三二)

文化十二年二月二十八日

切紙(包紙入)一通

表粕屋郡宇美村抱かう田ヶ原拜領山内開田畠仕立願郡浦受持外記殿へ差出

三 證拠之事

寛保二年、文化十二年

書綴 一綴

黒田美作宛。宇美村御建山・下座郡長田村老作畠

三 於御前蒙仰い建山御振替被下い御意書

文化十四年

切紙(包紙入)二通

御笠郡国分村抱拜領建山之内

三 (畠家床永代)賣渡證拠

文化十四年十二月

切紙(包紙入)二通

住吉村久次右美作御内中尾茂市左衛門宛。年貢諸上納寛共

三 文化十四年分近郷村々御老作米大豆目録

文化十五年三月

一紙(包紙入)一通

中村権内右加藤磯右衛門外四名宛。曾根田・国分・松延・春日・杉塚・吉

木

三 表粕屋郡吉原村抱松尾山是迄預山ニいを差上度段申出置い未則被召上候旨外記殿方被相達い書付

文政元年七月十二日

(二〇八〇)

三 1 畠地永代壳渡證文之事

文化十三年

一紙(包紙入)一通

売主善助右高岡茂兵衛宛

2 永代證文之事

文政三年十二月

(二六二二の二)

売主佐右衛門右信国兵内宛

一紙(包紙入)二通

3 永代證文之事

文政三年辰六月

売主専右衛門右信国兵内宛

(二六二二の三)
一紙(包紙入)一通

4 (仮題)寄付田地證文

文化十四年四月

清岩寺右加藤十五郎外二十二名宛

(二六二二の四)
巻紙 一通

5 寄付田地目録

文政五年五月

6 (仮題)寄付田地證文

文政四年五月

(二六二二の六)
一紙 一通

三九 神武原御開新古控書抜帳

文政三年

四〇 指上證文之事

文政四年十二月

国分村有平右鈴木要藏・萩原藤市外一名宛。土地売渡

一紙(包紙入)一通
(二六二二)

四一 神武原御一作米代御蔵入帳控

文政五年正月

四二 拝領地田畠畝高下作附口余米書上帳

文政十三年閏三月

三奈木村大庄屋倉右衛門右楓市之丞宛

書冊 一冊
(八四六)

四三 拝領地田畑畝高下作付口余米書上帳

文政十三年四月

下三奈木村庄屋勝平右

書冊 一冊
(八四九)

四四 仕上ル證文之事

天保二年三月

春日村庄屋吉平外右鈴木千蔵外宛。土地売渡證文

巻紙 一通
(二五一〇)

三奈木黒田家文書 (一、江戸時代史料)

四五 1 永代證文

天保五年八月

国分村百姓市次右鈴木專蔵外宛。国分御替地證文

(二二四五の二)
巻紙(包紙入)一通

2 頂戴申上ル證文之事

天保五年九月

国分村百姓市次右鈴木專蔵・井村左吉宛

(二二四五の二)
巻紙(包紙入)一通

四六 覚

天保九年十月

四郎丸庄屋四三次右尾野吉蔵宛。余米

折紙 一通
(四一三九)

四七 御笠郡杉塚村之内空地求賣渡證文

天保十一年

1 御買地賣渡書上

天保八年酉正月

杉塚村庄屋武作右鈴木專蔵・井村佐吉宛

(二二四三の二)
一紙(包紙入)一通

2 永代賣渡申上ル證文之事

天保十年七月

杉塚売主知七右鈴木專蔵宛

(二二四三の二)
一紙(包紙入)一通

四八 八重津村内土手土取跡間数書上帳

天保十二年十月

八重津村庄屋市兵衛外右安岡市郎兵衛外宛

長帳 一冊
(八八〇)

四九 下座郡白鳥村空地書上

天保十二年十一月

庄屋与四郎外右安岡市郎兵衛・平岡周佑外宛

長帳 一冊
(九八〇)

五〇 御空地書上帳

天保十二年十一月

金丸村・小隈村

長帳 一冊
(八一三)

五 下座御山方目録

天保十二・嘉永五・安政二年外

(四一七〇)

切紙(包紙入)五通

三 御山方諸事〇

(安政四年九月〇明治三年十二月)

(二六七五)

長帳 一冊

三 御山方御仕組金根帳

安政六年十二月

(二〇四八)

長帳 一冊

神武原御仕組材木挽立御払代錢取立高

三 近郷御拂山代預り錢帳

安政七年

(二〇五九)

長綴 一綴

三 下座郡村々御免用御普請入用石御願帳

万延二年二月

(八〇九)

書冊 一冊

三 永代畠地賣渡證文

万延二年・元治二年・慶応元年・慶応四年・明治三年

(三六九四)

一紙(包紙入)九通

三 諸所御山上納錢帳

文久元年九月〇

(二六七八)

長帳 一冊

御山方

三 長田村御老作御免下差引御願帳

文久三年十一月

(六七四)

長帳 一冊

長田村庄屋松岡九平外〇加藤弥右衛門宛

三 長田村御一作御免下ケ差引御願帳

元治元年十一月

(六三七)

長帳 一冊

長田村庄屋松岡九平外〇加藤弥右衛門宛

三 畠地證文

元治二年五月

(二三四二)

一紙(包紙入)一通

売主卯左衛門〇秋本幸右衛門外二名宛。売渡證文

三 御一作御余米差引目録

(六五一)

切紙 一通

慶応元年正月

三 永代売渡證文

慶応元年七月

(四〇〇〇)

一紙(包紙入)一通

宮崎儀平〇古川市大夫宛

三 長田村御老作御免下差引御願帳

慶応元年十月

(六五二)

長帳 一冊

長田村庄屋松岡九平外〇加藤弥右衛門宛

三 那珂郡春日村御地頭様田御老作調子書上帳

慶応二年十月

(八六七)

長帳 一冊

三 長田村御老作御免下指引御願帳

慶応二年十二月

(六六二)

長帳 一冊

三 神武原大久保新開根帳

慶応三年

(八五二)

書冊 一冊

三 長田村御老作御免差引御願帳

慶応三年十一月

(六六七)

長帳 一冊

三 宇美村余米代根帳

慶応三年十二月〇

(六六四)

長帳 一冊

三 上座郡古賀村田畠名寄帳

慶応三年

(一六六五)

書冊 一冊

庄屋善七〇黒田三左衛門宛

三 1 御一作御免下ケ差引目録

慶応三年

(四〇七八の二)

切紙 二通

加藤弥右衛門〇左近右衛門宛

2 御一作御余米差引目録

元治元年

(四〇七八の二)

切紙 一通

3 御一作御余米差引目録

文久三年

(四〇七八の三)
切紙 一通

七 御拝地割附散田帳

明治三年七月

(九八七)
長帳 一冊

走折組中

三 御山并空地金子寄帳

明治元年十月

(九九一)
長帳 一冊

尾野文左衛門・大庭喜惣兵衛。中は、明治四年十二月八並休・尾野省三方加

藤樽園・間洪園宛

三 御山并御空地金子根帳

明治元年十月

(六四四)
長帳 一冊

御元聞納

四 長田村御老作御免下ヶ差引御願帳

明治元年十二月

(八七一)
長帳 一冊

五 下座郡金丸村方御願申上ル事

明治二年四月

(二三四三)
卷紙(包紙)一通

金丸村庄屋平井作次郎外尾野文左衛門・大庭喜三兵衛宛。土手小笹請持願

願

六 御地頭様浮地田畠名寄帳

明治二年六月

(八五五)
書冊 一冊

七 夜須郡松延村御空地書上帳

明治二年十二月

(九八二)
長帳 一冊

七 村々田畠御老作根控帳

明治二年十二月

(六四一)
長帳 一冊

大庭加増

六 長田村御老作御免下指引御願帳

(六三八)

明治二年十二月

長帳 一冊

長田村庄屋松岡九一郎外守嶋正雄宛

六 (仮題) 引当地方書上

明治二年十二月

(九九〇)
長帳 一冊

吉末村庄屋与八方萩本定身・板波規宛。御仕組金拝借仕引当地方差出申外

六 御地頭様敵高書上帳

明治二年十二月

(九九三)
長帳 一冊

夜須郡曾根田村庄屋恵方大庭加増・尾野実治宛

三 地方余米目録帳

明治二年十二月

(六三五)
長帳 一冊

清水屋権右衛門

三 村々空地書上帳

明治二年十二月

(二六八一)
長帳 一冊

御山方

四 (仮題) 山坪数覚

明治三年

(二六三〇)
一紙(包紙)三通

小石原村庄屋触口格茂一郎方八並休・尾野実治宛

五 御一作差引目録

(明治三年)午六月

(三六七〇)
切紙(包紙)一通

守嶋正雄方団宛

六 御用地村々余米帳

明治三年午七月

(九八四)
長帳 一冊

七 御拝地御余米帳

明治三年七月

(八六四)
長帳 一冊

走折組中

六 (仮題) 桑原村分御徳米大豆調

(三六七四)

明治三年八月

長綴 一綴

桑原村庄屋後藤伴九郎右尾上衷治宛

六 夜須郡曾根田村御老作御年貢米大豆拂方御算用目録

明治三年分

一紙 一通

七 御拝領地田畠畝数書上帳

明治三年八月

書冊 一冊

下三奈木村庄屋熊本清五郎右大庭加増外宛

八 覚

明治三年八月

書綴 一綴

上三奈木村庄屋熊本市六右大庭加増外宛。御茶屋床外徳米大豆書上

九 上三奈木村分拝領地田畠畝高入口余米書上帳

明治三年八月

書冊 一冊

上三奈木村年番庄屋清九郎右大庭加増外宛

十 覚

明治三年八月二十一日

折紙 一通

荷原村庄屋別府運次右大庭加増宛。荷原村拝地田畠覚

十一 野添代御算用覚

明治三年九月

巻紙 一通

下村六弥右。水城野添山代差引目録

十二 水城野添山御拂代金差引帳

(明治期)

(二六二九の二) 長帳 一冊

十三 御所務米御余米出入帳

明治三年九月

長帳 一冊

三奈木黒田家

十四 御山方仕組銭差引帳

明治三年十二月

長綴 一綴

十五 覚

(明治三年)午十二月

切紙 一通

加藤樽園。御老作三ッ巻上納分

十六 帝釈寺組拝地目録

(明治三年)午六月

長帳 一冊

坂本利走・古川嘉吉外右新可宛

十七 走下組拝地余米高覚

明治三年十二月

長帳 一冊

十八 (仮題)田畠高書上

明治三年閏十月

書冊 一冊

桑原村庄屋後藤伴九郎右後藤代宛

十九 水城野添山上納

(慶応二年右明治三年)

長帳 一冊

二十 御所務米并一作抱地米差引帳

(明治三年右四年)午十一月右未五月

長帳 一冊

二十一 従前御家頼江屋敷地被下置名元并畝高根町

明治四年三月

長帳 一冊

二十二 午年上郷浮地御余米御算用目録

明治四年四月

長帳 一冊

大庭加増

二十三 覚

(明治四年)辛未十二月

長綴 一綴

黒田一雄。明治四年秋老作地収納高書上

二十四 御老作田数書上帳

明治四年三月

書冊 一冊

夜須郡曾根田村

一〇七 浮地余米之内に屋敷地江相渡覚并相残り畝高

明治四年

長帳 一冊

(六五八)

三奈木黒田家

一〇八 午秋所務高末八月迄月用積并一作余米付

明治三〜四年

長帳 一冊

(六六〇)

三奈木黒田家

一〇九 田島名寄帳

明治四年六月

書冊(包紙入)一冊

(八五〇)

小隈村抱小隈村庄屋空閑一次郎に。田中園生請持

一一〇 黒田一美下座郡長田村彦作書上帳

明治四年三月

長帳 一冊

(八八二)

一一一 覚

(明治四年)未四月〜六月

長綴 一綴

(二〇八八)

地方請返代

一二二 黒田一美下座郡長田村彦作書上帳

明治四年三月

長帳 一冊

(八八二)

一二三 覚

(明治四年)辛未七月

切紙 一通

(四〇九二)

畝数数并石高

一二四 覚

(明治四年)未五月

切紙 一通

(四二二三)

加藤樗園。中村差立地方請返代の受取

一二五 口上覚

(明治四年)辛未十二月

一紙 一通

(四一三二)

黒田一雄。拝領野地楠雜木申受度

一二六 田島請書申上證文

(三六九三)

三奈木黒田家文書 (一、江戸時代史料)

明治四年

二七 午ノ年空地諸出財帳

(明治四年)未ノ七月

長帳 一冊

(九三三)

八並休

二八 1 證文之事

安政五年九月

一紙(包紙入)一通

(八八八の五)

古隈伊左衛門と楓伝右衛門・大庭喜惣兵衛宛。古畠

2 古畠添證文之事

元治元年五月

一紙(包紙入)一通

(八八八の四)

御蔵番伊右衛門と楓伝左衛門・大庭喜惣兵衛宛

3 永代売渡證文

明治二年七月

一紙(包紙入)一通

(八八八の二)

下三奈木村小熊新右衛門と尾野文左衛門・八並喜内宛

4 仮売渡證文之事

明治三年九月

一紙(包紙入)一通

(八八八の三)

田中園生・板波淳吾と上田真平宛

5 永代売渡證文之事

明治四年六月

一紙(包紙入)三通

(八八八の一)

熊本清五郎と田中園生・岸束宛

二九 覚

(江戸期)九月

切紙綴 二綴

(二四九五)

郡奉行・山奉行と。諸士寺社拝領山預山其外百姓證拠山のくろ伐間敷御定之儀

三〇 御立山證拠立入日記

(江戸期)卯四月廿一日

折紙 一通

(八九の八)

早良郡長尾村、御笠郡水城村、下座郡三奈木村、同城村、同荷原村

二三 覚

(江戸期) 一紙 (八九の二) 一通

曾根田、国分、春日、合田島高

二三 国分村田島庄屋方遣書ス

(江戸期) 長綴 一綴 (九八の一)

二三 山所相對ニ而申合之上讓渡之願先例準人殿方依頼相調子以節之書付

(江戸後期) 切紙(包紙入)一通 (二五二六)

切紙(包紙入)一通 (三六九六)

二三 覚

(江戸期) 切紙(包紙入)一通 (四一五五)

一作敷内に入込まないとの一札

二三 覚

(江戸期) 切紙 一通 (三六八八)

下三奈木村庄屋島本佐五郎方大庭加増宛。まだら川浮地分上納覚

二三 書状

(江戸期) 巻紙 一通 (三六八六)

塩田勝良・原藤四郎方阿部正作宛。春日原古田の評議次第何

二三 預り

(江戸期) 一紙 二通 (三六七九)

(江戸期)辰六月三日・寅七月廿七日
松隈六藏方御算用所宛。国分寺田地余米分、生蠟会所金錢

二三 書状

(江戸期) 切紙 一通 (三六七八)

(江戸期)五月二十八日
鬼木惣兵衛方藤井奎助・新野利助宛。国分村国分寺田地余米納

二三 覚

(江戸期) 切紙 一通 (三六七七)

御一作余米、御粮米上納覚

二三 書状

(江戸期) 切紙(包紙入)一通 (三六七三)

乙金村庄屋染原清六郎方黒田一美内田中園生宛。拜領書作地此節役所方見

分竿入に相成

二三 只今迄の植木取除ケ道付以図

(江戸期) 一枚 (四四九三)

二三 (仮題) 抱山覚

(江戸期) 切紙 一通 (二五七一)

志摩郡野北・夜須郡曾根田・那珂郡野間・国分・水城村

二三 覚

(江戸期) 未正月二十日 切紙 一通 (四一五五)

熊本清九郎・同清五郎方大庭加増宛。御年貢代銀御請下ケ之儀願

二三 御預山坪数新證文写

(江戸期) 一紙 一通 (四一四〇)

二三 覚

(江戸期)八月十五日 巻紙 一通 (四一三五)

下三奈木村庄屋佐五郎方大庭加増宛。畠畝数外

二三 一美殿穂波郡大分村抱ニ而御拝領山坪数傍示付之事

(江戸期)三月 切紙 一通 (四六七三)

大和三八

二三 覚

(江戸期)明治初期) 切紙 一通 (四一〇八)

粃、粟拝借ニ出ス高受取分

二三 覚

(江戸期) 巻紙 一通 (四〇九七)

畠畝数并上納高。桑原村分外

一三 書状

(江戸期) 九月十七日

切紙 一通

(四〇八四)

乙金村庄屋染原拾六郎右田中園生宛。当村抱雛子ヶ尾御彦作竿入之儀

一四 覚

(江戸期)

切紙 一通

(四〇八三)

春日村彦作古畠山伐拂之儀外

一四 (仮題) 宮野村山坪数

(江戸後期)

切紙 一通

(二六八〇)

一四 (仮題) 須川村山坪数

(江戸後期)

切紙 一通

(二六七九)

一四 (仮題) 覚

(江戸期) 九月十三日

切紙 一通

(三九六〇)

算用所右郡奉行中宛。芦屋・山鹿浦田畠高の事

一四 神武原御開所御立被進以後垣廻地上ヶ仕調荒増之図面差上ル御山形

(江戸期)

一紙(包紙入)二通

(二四〇二)

一四 (仮題) 覚

(江戸期)

長綴 一綴

(二四三九)

穂波郡内住村抱山之内

一四 夜須郡松延村一作名寄帳

(江戸期)

長帳 一冊

(八八三)

一四 (仮題) 抱島覚

(江戸期)

長綴 一綴

(八八四)

国分村

一四 辰巳両年上郷浮地御余米御算用帳

(江戸期)

長綴 一綴

(二〇五〇)

一四 口上之覚

(江戸期)

一紙 一通

(八五三)

傳藏方守嶋文左衛門宛。堤せんぬきい一件(走折組)

一五 畠方名寄書拔

(江戸期)

書冊 一冊

(八五七)

上三奈木村

一五 後藤代拜地小目録

(江戸期)

長帳 一冊

(六六一)

一五 夜須郡曾根田村一作名寄帳

(明治初年)

長帳 一冊

(六五四)

一五 那珂郡春日村一作名寄帳

(明治初年)

長帳 一冊

(六五四)

一五 覚

(明治初年)

長帳 一冊

(六四九)

村々一作余米取調帳

一五 記

(明治初年)

切紙 一通

(九二一の一〇)

下座郡長田村黒田一雄拝領一作銘頭之儀

一五 粕屋郡宇美村之内神武原一作名寄帳

(明治初年)

長帳 一冊

(六四八)

一五 下座郡長田村一作名寄帳

(明治初年)

長帳 一冊

(六四三)

一五 御笠郡国分村一作名寄帳

(明治初年)

長帳 一冊

(六四二)

一五 (仮題) 上三奈木村其他抱田畠書上

(明治初年)

長帳 一冊

(六三六)

一〇六 覚

(明治初年)

長綴 一綴

(六七〇)

薬院屋敷三方并浜屋敷住居之面々の家并家床菜園所の件

一〇七 覚

(明治初年)

長綴 一綴

(六六八)

家従并一作関係書類目録

一〇八 神武原一作名寄帳

(明治初年)

長帳 一冊

(九九二)

一〇九 (仮題) 御拝地覚書

(明治初年)

長帳 一冊

(九八八)

一一〇 山坪数調子之覚

(明治初年)

切紙 七通

(四三六五)

矢ノ竹村・小石原村・宮野村・佐田村外

一一一 覚

(明治初年)

巻紙 一通

(四一五三)

黒田大参事。一作地当年米大豆収納高

一一二 (仮題) 覚

(明治初年)三月二十四日

切紙 一通

(四一五一)

江見礼方安陪正作宛。一雄拝領山預山の件

一一三 覚

(明治初年)

切紙 二通

(四一四四)

屋敷地買足シ御渡畝数并名元・屋敷地自分調ニ付代金ニ而御渡名元・浮地ニ而屋敷地御渡名元

一一四 書状

(明治初年)五月二十四日

巻紙 二通

(四一四三)

村樹方間淇園・加藤樗園宛。田地調子の事

一一五 書状

(明治初年)六月五日

切紙 一通

(四一〇七)

庄屋松岡九一郎方加藤樗園宛。榎調子の事

一一六 覚

(明治初年)

切紙 一通

(四〇八一)

一作米代

一一七 覚

(明治初年)

長綴 一綴

(八七三)

田畠畝高書上

一一八 拝地田高

(明治二年)末ノ二月

長綴 一綴

(八七九)

安岡孫十郎方

一一九 記

(明治初年)

書綴 一綴

(八五六)

田畠畝数入口米榎実書上(下座郡相窪触野紙使用)

一二〇 覚

(明治初年)

長帳 一冊

(六五〇)

国分村余米田地畝数并神武原御開百姓名元外

一二一 御笠郡杉塚村一作名寄帳

(明治初年)

長帳 一冊

(六七六)

一二二 覚

(明治初年)

長綴 一綴

(六六九)

上三奈木庄屋倉右衛門。上三奈木村一作所在地調

一二三 (仮題) 抱田畠書上

(江戸期)

長綴 一綴

(八一五)

一二四 帝釈寺組猪島山坪数

長綴 一綴

(八二一)

一五 佐谷(村)余米差引并拜借上納
(江戸期) 長帳 一冊
(九一二の二)
切紙 一通
(明治初年)

13 交 通

一大坂彦坂老岐守様御宅へ諸家蔵やしき之者之召寄被仰付い書付写

延宝三年正月二十六日 卷紙(包紙入)一通 (二五〇三)

鎌田九郎兵衛・吉田七左衛門外ら芦屋宛。今年米高直ニ付東海道其外道路
人馬賃宿賃増し取可申

二 遠賀郡黒崎安兵衛願之書付 (二二九九)

延宝三年三月二十四日 一紙(包紙入)一通

杉原助右衛門・山崎九右衛門宛。老女の出切手并宗旨證文願

三 (仮題) 往来手形 (二五四四)

延宝四年九月一日 切紙 一通

毛利日向守内浅川伝左衛門ら所々御番衆中宛

四 出府往来道割 (二六五一)

天保十年 切紙(包紙入)三通

五 覚 (四四四九)

(江戸期)子六月十七日 切紙 一通

長崎口境ら古賀村迄の道程

六 (仮題)福岡ら佐賀長崎路呈覚 (四八〇八)

(江戸期) 書冊 一冊

七 覚書 (二〇四四)

三奈木黒田家文書 (一、江戸時代史料)

八 覚 (江戸期) 切紙(包紙入)三通
秋月新堀江罷出し節覚・道中并江戸着後の覚 (三九三三)

(江戸期)正月十六日 中国路御船代請求 切紙 一通

九 町便渡方書付 (三七七〇)

(江戸期) 切紙 一通

黒崎ら大坂迄雇切町飛脚

一〇 (仮題)道中日記 (二四七〇)

(江戸期) 小横綴 三綴

二 (仮題)各所行程覚 (三八二二)

(江戸期) 小横綴 一冊

三 手許用向頭付 (二四九四)

天保九年 長綴 一綴

出府、中国路大坂着迄日々之儀相記

三 辺田瀉ヨリ今津瀉迄御船通堀川絵図 (四四九八)

(江戸期) 一枚

四 大日本道中行程細見記 (四五二六)

(江戸期)木版 折本 一冊

二五 (仮題)下座へ罷越い祭の御泊・御立・御小休覚 (四八六一)

(江戸期) 巻紙 一通

二六 中国道中記 (四九一五)

(江戸期) 長帳(小) 一冊

二七 木曾路之記 上・下 (四九二二)

(江戸期) 小横綴 一冊

二八 書状 (二七五三)

(江戸期) 九月二日

一紙 一通

中嶋太兵衛左肥塚次郎兵衛宛。中国俵山へ湯治願

一九 覚

(江戸期)

一紙 一通

中西四兵衛左沢木七郎兵衛宛。私儀中風にて湯治願

二〇 (仮題) 日記

(江戸期) 十月四日〜十月十五日

小横綴 一綴

二一 御道中心得

(江戸期)

小横帳 一冊

二二 原作左衛門甥(伊勢)参宮ノ帰ニ当地へ参ル書付

(江戸期) 寅七月二十二日

一紙(包紙入) 一通

当地出入通知

14 幕末情報・風聞

一 上意振写

文久二年

切紙 一通

政治状勢

二 城州左之自筆御用状并返書

(文久二年)

切綴 一綴

幕末事情

三 (仮題) 覚

(文久二年)

一紙 一通

松平肥前守宛。毛利大膳父子伏罪之儀ニ付仰渡書

四 江戸并御旅中江被指越分写

(江戸期)

切紙 一通

松平下野守左。此度攘夷之儀ニ付被仰出候勅書之趣

五 書状

文久三年

切紙 三通

岡村文衛門左東條宛。長州征伐の件

六 関東御逢写外

(文久三年)

切紙 五通

松平大膳大夫一件等幕末の政治状勢

七 書状

(元治元年)

巻紙 二通

長防追討被仰付云々

八 書状

(元治元年〜慶応二年)

切紙 二通

長州征伐の事

九 長防御出勢人数

(江戸後期)

長綴 一綴

御領内宿陣ケ所割

一〇 覚

(江戸後期)

切紙 一通

小倉ヲ攻取候事

一一 一之御備御人数組

(江戸後期)

長帳 一冊

長州戦時

一二 (仮題) 覚

(江戸後期)

一紙 一通

大蔵・黒崎・木屋瀬等の戦備(長州戦時)

一三 (仮題) 長州征討陣揃

(二二九五)

(江戸後期) 一紙 一通

芸州口、石州口、上下関口外討手大名書上

一四 中老番頭江の合振 (二二九四)

(江戸後期) 一紙 一通

長州戦時

一五 長州前田方観音崎之間浜辺人家ヶ所嶋之間陸辻之丁数承而繕之処荒増

絵図 (四四九六)

(江戸期) 一紙 一枚

一六 (戦略)覚 (四〇一一)

(江戸後期) 切紙 一通

長州戦争関係

一七 (仮題)御軍令之趣・請書(案) (二二九九)

慶応二年六月 一紙(包紙入)一通

黒田美作

一八 條々 (二二九〇)

慶応二年六月 書綴 一綴

兵事においての心構え

一九 御出勢定 (二二八九)

(江戸後期) 書冊 一冊

二〇 書状(前後欠) (三八一七)

(江戸期) 切紙 一通

幕末の状勢

二一 書状 (三八一一)

(江戸期)正月七日 切紙 一通

播州公宛。幕末の政治状勢

二二 平賀義質書状 (四三九〇)

三奈木黒田家文書 (一、江戸時代史料)

(江戸後期)明治初期) 切紙(袋入)一通

一義・浅島茂徳宛。鹿児島長崎着船、神戸へ御出艦の模様

二三 書状 (四七二〇)

(江戸後期)十二月二日 巻紙(包紙入)一通

吉田と黒田大和・櫛橋内膳外宛。幕末の社会政治情勢

二四 郡氏親族間へ極密相談之趣 (三七三八)

(江戸後期) 巻紙 一通

讃州・信州の動き、司書・月形等御咎の沙汰外

二五 書状 (三七六七)

(江戸後期)亥正月 切紙 一通

従公儀勅書写御渡、諸侯方江攘夷策略御存念被仰出候様御達に付

二六 書状 (二六八九)

(江戸後期)七月三日 切紙 一通

篠崎彦十郎と大和様近侍中宛。宰府表五卿方警衛罷在申候処云々

二七 長崎との御用状并对接書抜 (三〇四)

(江戸期)西二月十一日 切紙 四通

江府表異人切害一条

二八 演舌之扣 (二七〇五)

(江戸後期) 長綴 一綴

幕末の社会情勢

二九 日記 (五五〇)

(慶応四年)明治二年) 書綴 一綴

幕末)明治初の政情

三〇 (仮題)覚(半壊) (三八九)

(江戸期) 切紙 一通

幕末)明治初の政情

三 書状

(江戸後期)

切紙 三通

長州江申向候主意書写、薩州江之御使者含々書、近来長崎表人氣騒々敷ニ付申入

三 西二月岡村文右衛門ヨリ申越之一件ニ付江戸往復之書面付札之毎々写

(江戸後期)正月二十一日

切紙 五通

家老中宛。異人と浪人の乱戦一件。伊三島一件

三 書状

(江戸後期)

切紙(包紙入)一通

播磨宛。京表不容易情勢ニ付上京之節御供申付

三 書状

(江戸後期)

書冊 一冊

芸州藩蒸氣船相求の件、外幕末政情

三 書状

(江戸後期)六月二十八日

切紙(包紙入)一通

小川讚岐と黒田播磨宛。着京祝、御軍用金御吹立の儀、長州家老登京の件

三 蠻人白状解

(江戸期)

書冊 一冊

三 今般佐竹右京大夫様御在所騒動一件之書付

宝曆七年六月

長綴 一綴

三 鄂羅斯談

寛政五年

書冊 一冊

神昌丸船頭大黒屋幸太夫、水主儀吉のヲロシヤ風聞

三 (仮題) 風聞書

文化元年六月四日〜七日

書綴 一綴

出羽国庄内大地震

四 (仮題) 江戸大火記録

(文政十二年)

書綴 一綴

四 (仮題) 大塩平八郎の乱一件

(江戸後期)

折紙 一通

四 玉石拾遺 三

(江戸期)

書冊 一冊

天保四、五年の記事

四 書拔

(江戸期)

書冊 一冊

天保九年松平朝負切腹手續書記録写外

四 江戸由来ル

天保十年

書綴 一綴

西御丸普請、町触外

四 江戸由来ル

天保十年八月

書綴 一綴

御家御相続之儀に而尾州表騒動仕候風説云々

四 織田家一件落着書

天保十年十月

書冊 一冊

山城守妾一件

四 信州伊奈郡飯田堀大和守殿老女豊浦を致切害候忠義之女一件

天保十一年四月

書冊 一冊

四 風説書写

(天保十二年)子九月

書冊 一冊

四 江戸由来ル

(二五六二)

天保十一年五月
書冊 一冊
吾(仮題)風説書 (一五六四)

天保十二年二月
書冊 一綴
大御所様薨御実八閏正月七日と申風説之由

天保十二年写
書冊 一綴
吾 風説書 (一五六六)

伊丹所持之分借用写
書冊 一綴
天保十二年四月
書綴 一綴
吾 江戸方来ル (一五六五の二)

天保十二年四月
書綴 一綴
酒井左衛門尉様御国替ニ付云々

天保十二年十一月
書綴 一綴
吾 江戸方下ル写 (一五六五の一)

酒井左衛門尉様御国替被蒙仰候儀百姓多人致出国候を仙台御領に而被差
留同所ニ而之願立并同所に而御取扱等之一件

天保十二年十一月
書冊 一冊
吾 江戸方来ル (一五五二)

出入風聞

天保十二年十二月
書冊 一綴
吾 江戸方来ル (一五五三)

天保十二年
書冊 一冊
吾 羽州庄内武州河越越後長岡所替被蒙仰候一件 (一五五六)

天保十三年
書冊 一冊
吾 風説 (一五六七)

天保十三年
書冊 一冊
吾 風説 (一五六八)

三奈木黒田家文書 (一、江戸時代史料)
書冊 一冊
吾 大坂地震之書類 (一三二〇)

嘉永七年十一月五日
切紙(包紙入)三通
撰津大津波次第、寅十一月地震之次第、黒田三左衛門と播磨宛 (六一四)

(江戸期)
小横帳 一冊
六 覚 (江戸期)

撰州兵乱記
書冊 一冊
六 大坂夏御陣聞書 (江戸期) (一五八六)

お家騒動
書綴 一綴
六 丹波柏原一件 (江戸後期) (一五七三)

尾州表騒動風説
書綴 一綴
六 名古屋一件 (江戸後期) (一五七二)

尾州表騒動風説
長綴 一綴
六 二月四日朝七時比と赤坂今井谷と出火覚 (江戸期) (二四六九)

紙(包紙入)二通
長綴 一綴
六 大木藤十郎と御屋代手元江遣候唐国戦争之風説書 (江戸後期) (三三八二)

紙(包紙入)二通
長綴 一綴
六 京都方之御用状并御書附 (江戸後期) (三六三六)

根来角助と御用人様宛。勢州窪田駅盜賊相知候ニ付申来
紙(包紙入)二通・切紙一通
六 勢免天話草 一卷之内 (江戸期) (三六三五)

大猷院様御時御旗本中勝手不相成候に付
長綴 一綴
六 紀侯言行録書拔 (江戸期) (三六三二)

宮地久右衛門財政賄の話外
切紙(包紙入)二通
六 紀侯言行録書拔 (江戸期) (三六三二)

宮地久右衛門財政賄の話外

宮地久右衛門財政賄の話外

究類焼者書出

(江戸期)

折紙 一通

(三四八)

瀬ノ下裏町小松原と申所方出火

15 絵 図

一 筑前一国図

(江戸後期)

(四二三)

二 福岡城下図

文化九年写

(四二三)

三 (仮題) 一作田絵図

(江戸期)

(八八七)

四 篠原村抱シノバル之図

(江戸期)

(三九三九)

五 山家御茶屋ニ付奉行出会之節(屋敷図)

(江戸期)

(三七七五)

六 後濱見分之節略絵図

(江戸期)

(三七七六)

七 順田角左衛門書院之図

(江戸期)

(三七七七)

八 町人御礼之節

(江戸期) 正月二日

(三七七八)

九 寺社繼目御礼之節絵図

(江戸期)

(三七七九)

一〇 寺社年始御礼之節絵図

(江戸期)

(三七八〇)

一枚

二 松囃子之節着座その他絵図

(江戸期)

(三七八一)

三 列座覚(絵図)

(江戸期)

(三七八二)

三 家敷内順路絵図

(江戸期)

(三七八三)

四 御茶屋御屋敷之内安武庄八分拝借之図

(江戸期)

(三六九八)

五 山家駅御茶屋図

享和元年

(三五九八)

六 細見近江国大絵図

寛保三年九月刊。木版

(四六九六)

山下重政作。浪花書林

七 下座郡三奈木之内美作様御證抛山并永荒畠之内御拝領之分共之畠地絵図

(寛延三年六月) 安政五年改

(三五六〇)

八 下座郡三奈木村之内川原永荒畠之内櫛御植立之分美作様御拝領之地所

絵図

(寛延三年六月十九日) 安政六年四月改

(三五五九)

九 東海道分間絵図

安永四年正月改。木版

(三五六四)

一〇 改正和泉国大絵図

安永五年十月。木版

(三五五五)

一一 改正日本輿地路程全図

寛政三年正月。木版

(三五五四)

一二 御館御造作指図

(三五四三)

寛政三年三月

三 営中御間之図(江戸本丸殿中分間図)

(三六〇〇)

一枚

寛政五年

三 櫻田上段御構御殿絵図

(四四八九)

一枚

寛政七年四月成就

三 上屋敷惣繪図

(三五五六)

一枚

寛政七年七月十二日

三 野北山図

(包紙入)一枚

一枚

寛政八年二月

三 寺塚山絵図

(三五六一)

一枚

寛政八年二月

三 春日宮山図

(五〇三九)

一枚

寛政八年二月

三 怡土郡井田村御境目絵図

(三五四四)

一枚

(寛政八年改)

三 志摩郡波多江村御境目絵図

(四四八八)

一枚

寛政八年十一月改

三 廣益御江戸絵図 完

(四一九九)

一枚

寛政八年。木版

江戸馬喰町二丁目西村与八外刊

三 櫻田御屋敷御本殿御殿共二統絵図

(四三四五)

一枚

寛政十年十二月成就

三 木鉢郷椎山并田島御抱地之図

(四五一〇)

一枚

文化五年四月

三 (仮題)屋敷図

(四六八六)

一枚

文化八年八月写

三奈木黒田家文書 (一、江戸時代史料)

三 再版新改御江戸絵図

(四五二七)

(文化期)木版

一枚

書林西村宗七外刊

三 江戸火事の図

(四五一九)

一枚

文政十二年三月。木版

三 野北山図

(包紙入)一枚

一枚

天保八年二月

三 御城図

(三五四一)

一枚

文化八年八月写

家老御目見え作法図、西御丸外

三 屋敷図

(一八六一)

一枚

天保十四年三月十九日

三 天保改正泰平御江戸大絵図

(四二〇〇)

一枚

木版

高井蘭山刊

三 松栄御江戸絵図

(三五四六)

一枚

嘉永七年

三 川つら御山の図

(四六二四)

一枚

安政五年二月改

楓傳左衛門、大庭喜惣兵衛

三 下座郡三奈木村御建山絵図

(三五六三)

一枚

万延二年三月改

三 (仮題)米蔵等所在図

(二四八の二)

一枚

(江戸期)

三 (仮題)御船方役所指図

(二四八の一)

一枚

(江戸期)

四 (仮題) 図

(江戸期)

保科様、御殿、御隠宅

(二四八の一〇)

一枚

五 (仮題) 掛軸見本

(江戸期)

(四二一〇)

一枚

六 調度掛図

(江戸期)

(三五六七)

四枚

七 兜弩の名處

(江戸期)

(三五八〇)

一枚

弓

八 石垣原絵図

(江戸期)

(三五五三)

一枚

九 関ヶ原合戦図

(江戸期)

(三五四八)

一枚

十 (仮題) 合戦時配備図

(江戸期)

(四七五六)

一枚

関ヶ原カ

十一 (仮題) 関ヶ原合戦絵図

(江戸期)

(三五七八)

一枚

十二 岐阜附近絵図

(江戸期)

(三五四五)

一枚

十三 (仮題) 配備図 (破損)

(江戸期)

(四五一一)

一枚

尾張附近

十四 冬陣摂河平埜、亀井、岡山、南門、庚申營五戦図

(江戸期)

(四四九五)

一枚

十五 元和元年冬大坂城合戦之砌内外絵図

(江戸期)

(三五五七)

一枚

十六 元和元年冬大坂城合戦之砌内外絵図

(江戸期)

(四七〇〇)

一枚

十七 元和二年夏大坂城合戦之砌内外絵図

(江戸期)

(四六九四)

二枚

十八 絵図之書引

(江戸期)

(三六一八)

一枚

馬具等。付、七足之図口傳

十九 リッドル服章の図解

(江戸後期)

(四五二一)

切紙(包紙入)四枚

リッドルの訳

二十 黒田家旗幟

(江戸期)

(四二五九)

小横帳 一冊

二十一 下座家来中笠

(江戸期)

(四三〇二)

(包紙入) 五枚

かぶとの絵

二十二 (仮題) 幟図

(江戸期)

(四六七二)

一紙 一枚

武者奉行外

二十三 (仮題) 船図

(江戸期)

(四六七二)

一紙 一枚

突旗

(江戸期)

(四七五三)

一紙 一枚

二十四 スルウフ船形図并書付添

(江戸期)

(三五六八)

二枚

六 亞魯西亞船湊下図

(江戸期)

(四九二二)

包紙のみ

六 富士山形の高山の図・野州都賀郡葛生町除地

(江戸期)

(五九〇)

(包紙入)二枚

付、「馬屋の図」

七 駿河国富士山絵図

(江戸期)

(三六六九)

一枚

七 播摩国大絵図

(江戸期)

(四五〇三)

一枚

七 美濃一国図

(江戸期)

(四六九八)

一枚

七 長崎町絵図

(江戸期)

(四二二四)

一枚

町年寄、大名屋敷の位置揭示

七 防州山口城普請見取略図

(江戸期)

(四五二〇)

一枚

七 長州萩城下略図

(江戸期)

(四二九五)

一枚

七 防州山口之図

(江戸期)

(四二九二)

一枚

七 絵図

(江戸期)

(三七一一)

(包紙入)五枚

佐賀城郭之図外

六 神田橋、上之段、芝新掘、一橋、新掘御構之鹿図

(江戸期)

(三三七三)

一枚

六 (仮題)屋敷図

(六一九の二)

(江戸期)

汐見坂通り

六 (仮題)屋敷図

(江戸期)

(六一九の二)

一枚

六 (仮題)屋敷絵図

(江戸期)

(五七〇)

一枚

浜御門外

六 御本丸御間内図

(江戸期)

(三六〇六)

一枚

六 崇福寺図

(江戸期)

(三六〇八)

(包紙入)一枚

六 小金原御屋形地草図

(江戸期)

(三六〇七)

一枚

六 薬院御屋敷図

(江戸期)

(三五五二)

一枚

六 美奈木屋敷之図

(江戸期)

(四九一六)

一枚

六 (仮題)御茶屋周囲図

(江戸期)

(一九七九)

一枚

六 (仮題)某所庭園図

(江戸期)

(四四九〇)

一枚

六 睡鷗様土手町御隠宅之図

(江戸期)

(四三一九)

一枚

六 黒田家邸内図面

(江戸期)

(三五七九)

一枚

六 (仮題)屋敷図

(三五七二)

(江戸期)

桜田御屋敷、麻布御屋敷、渋谷御屋敷外十一図

三 (仮題) 屋敷内配備図

(江戸期)

三 御屋敷図

(江戸期)

三 (仮題) 某屋敷図

(江戸期)

三 (仮題) 某庭絵図

(江戸期)

三 (仮題) 屋敷指図

(江戸期)

三 (仮題) 指図

(江戸期)

三 屋敷絵図(一部破損)

(江戸期)

三 (仮題) 某村絵図

(江戸期)

三 怡土郡三雲村御境絵図

(江戸期)

三 黒田一美一作御笠郡乙金村絵図

(江戸期)

三 遠賀郡図(一部)

(江戸期)

三 志摩郡御境目絵図

(江戸期)

小横帳 一冊

前原近郊

二四 怡土郡多久村抱御境目絵図

(江戸期)

二五 怡土郡飯場村御境目絵図

(江戸期)

二六 怡土郡三坂村境目筋図

(江戸期)

二七 井原村御境目絵図

(江戸期)

二八 辺田・新田・前原・荻浦四ヶ村入合御開絵図

(江戸期)

二九 志摩郡荻浦村御境目絵図

(江戸期)

三〇 (仮題) ノベサキ志岐附近絵図

(江戸期)

三一 東京造御船図

(明治初年)

三二 三奈木黒田家御隠宅平面図

(明治期)

三三 黒田一雄屋敷図面

(明治期)

(四五〇六)

一枚

(四四九七)

一枚

(四四九二)

一枚

(四四九二)

一枚

(三五七六)

一枚

(四二九二)

(包紙入)一枚

(四六八九)

一枚

(四三四四)

(包紙入)一枚

(三五四〇)

一枚

(四二九〇)

一枚

16 三奈木黒田家

(1) 代々当主関係

一 御家督之時従一任様を御譲り被成候覚書

(八九)

寛文十二年卯月十九日

折紙(包紙入)二通外

二 一貫公御筆

(元文五年)寛保期

切紙 四通

詩歌外

三 (仮題)覚

(宝曆十二年)明和八年

長帳 一冊

一庸の勤め書上

四 一成公御牌前江從殿様御代香ニ指出候一件

寛政八年

書冊 一冊

五 内匠方より元八郎儀を於彼方致養育度段申入有之已後任其意候趣意書取

(二七二五)

文政二年霜月

六 書状

文政四年十二月二十七日

切紙(包紙入)一〇通

元八郎儀内匠於手元致養育候一件

七 元八郎内匠於手元致養育候段相届候節於御用部屋取調子候書付

(二七二〇〇二)

文政二年

卷紙(包紙入)二通

九 入組覚

(江戸期)

卷紙 一通

三奈木黒田家江代々賜ル判物等目録

一〇 浄観院様より前之御折紙

(江戸期)六月十五日

切紙 一通

三原左右衛門より。一誠御拝領之分覚

一一 清定公より被下花号

(三八八四)

三奈木黒田家文書 (一、江戸時代史料)

天保九年三月二十日

切紙 一通

三 菊次郎下座引越候節猟家駄相用御届筋久左衛門より問合付札之所ニ抛り

不相届

嘉永二年

切紙(包紙入)一通

三 黒田美作一成覚

(江戸期)

切紙 二通

天野五右衛門宛。継代記の写

四 一葦様御賀祝書類

(江戸期)

長綴 四綴外

一五 覚

(江戸期)卯月十六日

長綴 一綴

碗類

一六 覚

(江戸期)子卯月十九日

一紙 一通

三左衛門より黒田源左衛門宛。在御足輕、預ケ馬、借シ米等諸費用書上

一七 覚

(江戸期)卯月十九日

一紙 一通

鞍、鎧書上

一八 覚

(江戸期)子卯月十九日

一紙 一通

睡鴨御召被成候御申具足、銀子三〇貫目外書上

一九 月岑涼慶大禪定門牌前

(江戸期)

卷紙 一通

漢詩、一貫詩歌等書上

二〇 一貫公御書写

(江戸期)

切紙(包紙入)一通

一九一

長尾文大夫の差遣候分、漢詩

三一 貫公御筆物

(江戸期)

絵并漢詩

(三六六三)

一紙 八枚

三 改名通知

(明治期)

三左衛門宛。黒田雅榮

(四七〇九)

切紙 一枚

(2) 御名拝領

三 庸公御名御拝領御折紙

安永三年八月二十五日

官途書出

(八〇六)

折紙(包紙)一通

三 被仰渡書

寛政五年十二月七日

美作宛。御一字御折紙御刀拝領被仰付

(二四八)

巻紙(包紙)一通

三 御一字斉隆公ヨリ御拝領

寛政五年十二月七日

斉隆(花押)の黒田美作宛。一字書出

(九二)

折紙(包紙)一通

三 御称號一定公御拝領

寛政八年九月三日

長順(斉清)の加藤源左衛門宛。可為黒田

(九四)

折紙(包紙)二通

三 1 此度御治定二相成候御供御行粧等之控

文化十年八月

(二九の二)

長帳 一冊

2 格式被仰付候節入用二相成候書類

文化十年八月

(二九の五)

長綴(包紙)一綴外

3 格式蒙仰候節為見合手元留書之内書拔置候分

(二九の四)

文化十年八月

4 格式蒙仰候節奉書出来御請案

文化十年八月朔日

折紙(包紙)二通

(二九の三)

5 格式被仰付候節之被仰渡書類

文化十年八月朔日

切紙(包紙)一通

(二九の六)

6 格式被仰付候節之手数付

文化十年八月朔日

切紙(包紙)三通

(二九の一)

黒田一定

長帳 一冊

三 御称號一條様御拝領

文政七年三月十五日

(九五)

折紙(包紙)一通

斉清(黒印)の加藤源左衛門宛。可為黒田

三 播磨と改名之節取調子候書付類

文政八年二月十三日

切紙(包紙)八通

(二二七)

文政八年比若年寄之御名付居の面名元、御老中若年寄之御名付居の面々名元、文政八年比御並様之御名付居の面々名元、中務差問の廉之書付、氏之遠祖名元書付此内より重疊差問有無山路藤十郎調子相頼播磨二相決外

三 御一字斉清公ヨリ

文政十二年二月二十八日

折紙(包紙)一通

(九七)

斉清(花押)の黒田播磨宛

三 御一字折紙写

文政十二年三月

切紙(包紙)二通

(二七六)

斉清の黒田播磨宛

三 殿様御一字拝領被仰付候節之御意書写

文政十二年三月十九日

切紙(包紙)二通

(一八三六)

播磨

三 一條公御名御拝領

(九一)

天保六年四月

淡路

四 名折紙

天保九年正月

清定(花押)に加藤半之丞宛。黒田

五 1 一 整様御別格被為蒙仰候御書付

嘉永四年五月十五日

2 一 整公御家督

(江戸期)

黒田三左衛門宛。播磨遺跡無相違被下

3 書状

(江戸期)二月十三日

榎橋又之進に黒田三左衛門宛。年頭御祝儀遂披露に

六 一 道様御称號御折紙

嘉永四年六月十六日

加藤三左衛門宛。可為黒田

七 溥御一字被仰渡

安政二年九月二十五日

齊溥に黒田播磨宛。加冠状

八 御一字拝領ニ付手数附

安政二年十月

播磨今般御一字拝領

九 1 (仮題)御称号拝領

慶応二年二月十九日

加藤三左衛門宛。可為黒田

2 照公黒田御氏御免之御折紙

三奈木黒田家文書 (一、江戸時代史料)

折紙(包紙入一通)

(九三)

折紙(包紙入二通)

(七〇の一)

切紙(包紙入五通)

(七〇の二)

切紙(包紙入一通)

(七〇の三)

切紙(包紙入一通)

(九六)

折紙(包紙入二通)

(九八)

折紙(包紙入二通)

(三八一)

切紙(包紙入一通)

(八の一)

折紙 一通

(八の二)

(江戸期)

継高に加藤国松宛

四 美作被仰付先格之覚

(江戸期)

四 先格之覚

(江戸期)

諸事格式先代之通被仰付候事

四 御一字拝領被仰付候ニ付実名及相談并返答之書附写

(江戸期)卯九月二十四日

溥整

四 覚

(江戸期)

御称号御拝領被遊候御折紙

四 実名(溥整)真草行

(江戸期)

榎田駿平認

四 被蒙仰書写

(明治初年)五月二十七日

加藤一雄に京極常撰宛。称号拝領願

四 (仮題)覚

(江戸期)

播磨宛。一字被仰付

(3) 屋敷地

四 (仮題)覚

天明七年

折紙(包紙入一通)

(二五四七)

切紙(包紙入二通)

(二五六二)

巻紙 一通

(三八五一)

切紙(袋入二通)

(二三八二)

切紙 一通

折紙(包紙入一枚)

(三七一一)

切紙(包紙入一通)

(四八六九)

切紙 一通

(四八四二)

切紙 一通

(二六七〇)

切紙 一通

須崎御下屋敷御船方御用に付被召上、代屋敷薬院原ノ町に拝領

四 浜屋鋪普請之管ニ而指図出来候分 (四五〇〇) 一枚

(江戸期)

四 薬院下屋敷間数覚 (二六六九) 一枚

(江戸期)

五 浜原町下屋鋪表口入間数書付 (二六六八) 一枚

(江戸期)

五 覚 (四二二八) 一通

(明治期)

覚院、浜屋敷の処分の事

(4) 婚姻・生誕

三 血着届相済候後御免ノ上御礼振遂詮議候先例書 (二六八五) 一通

文化十一年三月

黒田美作一庸ニ二女子出生

三 初名 (四八一七) 一通

文化十一年三月十五日

三 誦うふ名もくろく (三八八六) 一枚

文政四年四月八日

於田鶴

三 内縁申談之儀ニ付郡平馬方野村太郎兵衛ニ相渡候書付 (六七七) 一通

(江戸期)正月廿三日

平馬右太郎兵衛宛。美作末娘の縁組

三 英 (仮題) 誕生覚 (三九八七) 一通

(江戸期)

大納言、力之助、庸姫外

(5) その他

三 拝領物并御尋御請留書 (二七二二) 一冊

(江戸後期)

三 文章控 (五五四) 一冊

慶應二年正月〜明治二年

付、戸原春坪右黒 大参事宛書状(焼鱒の礼を長徳様より仰せつけられたよ

し)

三 御残品物附 (九四二) 一冊

(江戸後期〜明治初年)

三 覚 (二六七五) 一冊

(江戸期)

下座方来ル書付。人物評

三 書状 (二五六九) 一通

(江戸期)

源左衛門へ家政を譲り保養する様にとの進言書

三 覚 (六七二) 一綴

(江戸期)九月十二日

三 御不用之品之分 (九四〇) 一冊

御矢倉取寄物、日用品、建具類外書上

三 御残し之品 (九三八) 一冊

(明治初年)

三 品物書上 (六七二) 一綴

(明治初年)

三 覚 (六七二) 一綴

(明治初年)九月十六日

下座御引取に付諸事手順

宅御数奇道具福岡行分

(明治初年)

(九四二)
長帳 一冊

六 控

(明治初年)

(九四三)
長帳 一冊

諸道具書上

17 文 化

一 源氏物語

(江戸期)。木版

(一三五六)
書冊 三〇冊

二 源氏物語(写)

(江戸期)

(四三四〇)
一卷

三 土佐日記 上・下

寛文元年八月。木版

(一三五九)
書冊 二冊

出雲寺和泉掾版

四 大和物語抄 一〜六

承応二年。木版

(一三六〇)
書冊 六冊

大坂柏原屋与左衛門版元

五 鴨長明「四季物語」春夏秋冬

貞享三年四月。木版

(一三六一)
書冊 四冊

洛陽二条通田原仁左衛門・福嶋甚右衛門板行

六 平家物語

元禄四年文月。木版

(一三五七)
書冊 一二冊

大坂磯野三郎右衛門版元

七 伊勢物語 上・下

(一三五八)

三奈木黒田家文書 (一、江戸時代史料)

宝曆六年。木版

大坂柏原屋与市版

八 東海道中膝栗毛

(文化期)木版

(一三七三)
書冊 一八冊

十刃舎一九編。本所相生町糸代屋利助版

九 続膝栗毛

(文化期)木版

(一三七四)
書冊 二五冊

十刃舎一九編。本所相生町糸代屋利助版

一〇 西洋道中膝栗毛

(江戸期)木版

(一三七五)
書冊 一八冊

仮名垣魯文著。伊丹屋善兵衛外発行

一一 滑稽富士詣

(江戸期)木版

(一三七六)
書冊 一四冊

仮名垣魯文戯作

一二 三家類題抄

文政元年。木版

(一三七七)
書冊 二冊

尾張櫛社中蔵版

一三 倭漢三才図會

正徳三年

(一三七七)
書冊 八十一冊

島良安尚順編

一四 漢画指南 下

安永九年刻、文化九年再版。木版

(一三七九)
書冊 一冊

建凌岱孟喬著述。御幸町菱屋孫兵衛蔵版

一五 本邦刀劍考

寛政七年刻、同九年再版。木版

(一三八〇)
書冊 一冊

神原一学源長俊著。日本橋前川六左衛門版元

一六 世寶傳受囊 上・中・下

(江戸期)

書冊 三冊

(一三八二)

心齋橋和泉屋卯兵衛版

一七 草木奇品家雅見 天・地・人

文政十年

書冊 三冊

(一三八二)

金太著

一八 金工鑑定秘訣 天・地

文政三年

書冊 一冊

(一三八三)

野田敬明編。鍛冶町北島長四郎版元

一九 雛形千歳袖

(江戸期)

書冊 一冊

(一三八四)

着物の模様

二〇 雛形染色の山

(江戸期)

書冊 一冊

(一三八五)

着物の柄

二一 和漢珍書考

(江戸期)

書冊 五冊

(一三八六)

鶴飼信興撰

二二 清俗紀聞

寛政二年十月。木版

書冊 六冊

(一三八七)

赤峰脇田順著

二三 制度通

(江戸期)

書冊 五冊

(一三八八)

二四 二十一代集

(江戸期)木版

書冊 二冊

(一三六二の二)

1 古今和歌集

(一三六二の一)

2 後撰和歌集

(江戸期)

書冊 一冊

(一三六二の二)

3 拾遺和歌集

(江戸期)

書冊 一冊

(一三六二の三)

4 後拾遺和歌集

(江戸期)

書冊 一冊

(一三六二の四)

5 金葉和歌集

(江戸期)

書冊 一冊

(一三六二の五)

6 詞花和歌集

(江戸期)

書冊 一冊

(一三六二の六)

7 千載和歌集

(江戸期)

書冊 一冊

(一三六二の七)

8 新古今和歌集

(江戸期)

書冊 一冊

(一三六二の八)

9 新勅撰和歌集

(江戸期)

書冊 一冊

(一三六二の九)

10 続後撰和歌集

(江戸期)

書冊 一冊

(一三六二の一〇)

11 続古今和歌集

(江戸期)

書冊 一冊

(一三六二の一)

12 続拾遺和歌集

(江戸期)

書冊 一冊

(一三六二の二)

13 新後撰和歌集

(江戸期)

書冊 一冊

(一三六二の三)

14 玉葉集

(江戸期)

書冊 一冊

(一三六二の四)

15 続千載和歌集 (江戸期) 書冊 一冊 (二三六二の一五)

16 続後拾遺和歌集 (江戸期) 書冊 一冊 (二三六二の一六)

17 風雅和歌集 (江戸期) 書冊 一冊 (二三六二の一七)

18 新千載和歌集 (江戸期) 書冊 一冊 (二三六二の一八)

19 新拾遺和歌集 (江戸期) 書冊 一冊 (二三六二の一九)

20 新後拾遺和歌集 (江戸期) 書冊 一冊 (二三六二の二〇)

21 新統古今和歌集 (江戸期) 書冊 一冊 (二三六二の二二)

三 百人一首抄 (江戸期) 書冊 一冊 (二三六三の二)

享和四年正月。木版
石原喜左衛門正明版元

三 百人一首抄 (江戸期) 書冊 一冊 (二三六三の二)

三 夫木和歌抄 春夏秋冬及び雜 (江戸期) 木版 書冊 一冊 (二三六四)

三 新古今和歌集 (慶長期) 木版 書冊 四冊 (二三六五)

三 芭蕉門古人真蹟 丹山隱士玄旨版元 書冊 四冊 (二三六六)

三 奈木黒田家文書 (二、江戸時代史料)

三〇 誹番匠 天明二年。木版 書冊 一冊 (二三六八)

誹諧堂湖春書 (江戸期) 書冊 一冊 (二三六八)

三 類題和歌集 (江戸期) 木版 書冊 一冊 (二三六九)

三 萬葉集類葉抄 上 (江戸期) 書冊 一冊 (四七三八)

三 萬葉集類葉抄 下 (江戸期) 木版 書冊 一冊 (四七三八)

三 戲百人一首 天保四年。木版 書冊 一冊 (一三七二)

三 御歌書類 越谷山人述著。竹内孫八版 元文五年外 切紙(包紙入)一八通 (八二二)

三 繼高公御詠歌 (江戸中期) 書狀(袋入)八通 (九の二)

1 烏丸光胤御点御褒美書等有之御詠歌御清撰之写 (江戸期) 書冊 一冊 (九の二)

2 当秋御紀行之御詠歌 (江戸期) 卷紙(包紙入)一卷 (九の三)

3 御詠歌 (江戸期) 折紙(包紙入)一通 (九の四)

4 光胤卿方御賞美有之候御詠歌 (江戸期) 切紙(包紙入)一通 (九の四)

5 (仮題) 御詠歌

(江戸期)

巻紙 一通

(九の五)

6 (仮題) 御詠歌

(江戸期)

折紙二通・切紙一通

(九の六)

七 平八様御筆詩歌

(江戸期)

色紙(包紙入)二枚

(三の六)

八 春祺藻

一、二

書冊 二冊

(四三二七)

天明四年
足立清省撰、漢詩文・和歌

九 無法様御筆(破損甚し)

天保七年八月十六日

扇面 一枚

(一四七)

天王寺屋正次郎方差上ル和歌

一〇 監池述意

(江戸期)

卷子 一卷

(二五八)

獨立方一貫宛

一一 (仮題) 名流墨跡

(江戸期)

巻紙 一卷

(二五六)

一貫も有

一二 連歌

(江戸期)

巻紙 一卷

(二五七)

一三 (仮題) 名流墨跡

(江戸期)

巻紙 一卷

(二六〇)

獨立・一貫・黒田源左衛門宛

一四 御所当座詩歌・西郷玉津嶋社奉納和歌

享保二年九月二日

小横帳 一冊

(一三四)

一五 享保十九歳御會始

享保十九年正月二十四日

小横帳 一冊

一六 詩歌当座御會

享保二十年三月三日

小横帳 一冊

一七 公宴和歌御會始

享保二十年五月十三日

小横帳 一冊

一八 探題詠当座和歌

寛保元年五月

書冊 一冊

一九 探題当座和歌、嘉豊興行和歌外

寛保元年五月外

書冊 一冊

二〇 宇佐八幡宮御奉納御製五十首和歌

延享元年十月十七日

小横帳 一冊

二一 洞中和歌御會始

延享五年正月十三日

書冊 一冊

二二 三社御法楽和歌

延享五年六月二十五日

書冊 一冊

二三 七夕御会和歌

延享五年

書冊 一冊

二四 和詞集

延享五年八月十五日

書冊 一冊

二五 洞裏和歌御會始

寛延二年正月十二日

書冊 一冊

二六 下座郡三奈木社奉納和歌

寛延三年三月十一日

書冊 一冊

二七 和歌御會始

寛延四年六月十二日

書付 一冊

二八 当座御會(歌)

(三七七八)

宝曆二年正月二十八日

五 聖廟八百五十年忌奉納二十五首詩歌

宝曆二年

六 和歌御会始

宝曆二年五月

六 和歌御当座

宝曆三年三月二十七日

三 和歌御会始

宝曆三年正月二十四日

三 月次御會

宝曆三年二月二十四日

三 月次御會

宝曆三年四月二十四日

三 月次御會

宝曆三年五月二十四日

六 月次御會

宝曆三年六月二十四日

七 詩歌当座御會

(宝曆三年)三月十三日

六 和歌御会始

宝曆九年正月二十四日

六 月次御會

宝曆九年十一月二十八日

七 和歌御会始

宝曆十年正月二十四日

七 冷泉中納言為村卿御添削詠草

三奈木黒田家文書 (一、江戸時代史料)

折紙 一通

(二一六)

小横帳 一冊

(二四〇)

書冊 一冊

(二二八)

小横帳 一冊

(二二九)

小横帳 一冊

(二三〇)

小横帳 一冊

(二二三)

小横帳 一冊

(二二七)

小横帳 一冊

(二二四)

小横帳 一冊

(二二五)

小横帳 一冊

(二八一)

書冊 一冊

(二一四)

書冊 一冊

(二七九)

書冊 一冊

(二一八)

三 連歌

(江戸期)

一貫外

三 連歌

(江戸期)

一貫・宗因・玄三・重種外

三 連歌

(江戸期)

重種・一貫

三 連歌(前欠)

(江戸期)

笠・鎮・貫

三 連歌

(江戸期)

一貫と正一

七 一貫公、一利公御歌

(江戸期)

御直出(葉合法ケ条書)。住吉宮奉納歌書写

六 連歌

(江戸期)

宗因・一貫・重種・重婦外

六 (仮題)詠草

(江戸期)

冷泉為村烏丸光胤御捨子をよむ歌

六 為村卿御添削詠草

書綴 一綴

(二六六)

卷紙 一卷

(二九九)

卷紙 一卷

(二九六)

卷紙 一卷

(二九七)

卷紙 一卷

(二六三)

卷紙 一卷

(八七)

一紙(包紙入)五通

(二六八)

卷紙 一卷

(四四〇〇)

折紙 一通

(一一一)

(江戸期) 長帳 一冊

一誠 (江戸期) 長帳 一冊

二 為村卿御添削詠草 (江戸期) 長帳 一冊

一誠 (江戸期) 長帳 一冊

三 為村卿御添削詠草 (江戸期) 長帳 一冊

一誠 (江戸期) 長帳 一冊

三 歌書 (江戸期) 長帳 一冊

一誠 (江戸期) 長帳 一冊

四 (仮題) 一誠詠草 (江戸期) 長綴 一綴

五 一誠詠草 (江戸期) 長綴 一綴

六 歌書 (江戸期) 長綴 一綴

一誠 (江戸期) 長綴 一綴

七 歌書 (江戸期) 長綴 一綴

一誠 (江戸期) 長帳 一冊

八 歌書 (江戸期) 長帳 一冊

一誠 (江戸期) 長綴 一綴

九 (仮題) 歌書 (江戸期) 書冊 一冊

六 靈光院十七回聖忌有栖川宮勸進之和歌 書冊 一冊

寛延元年八月六日 (二一九)

七 勅撰集外歌仙 (江戸期) 書冊 一冊

八 長嘯五十回忌追悼之歌 (江戸期) 小横帳 一冊

九 撰笏醫王山薬師佛奉納和歌 (江戸期) 小横帳 一冊

十 連歌(尾欠) (江戸期) 卷物 一卷

十一 無法様御筆御歌 (江戸期) 卷紙 五通

十二 □吟五題 (江戸期) 卷紙 一通

知黙庵 (四六三五)

十三 衆議評夏季発句 (江戸期) 四通

冬季・秋季 (三七八六)

十四 和歌 (江戸期) (包紙入)九首

十五 歌二首 (江戸期) (四三〇三)

海常陸介每保 切紙(包紙入)一通

十六 海辺霞 (江戸期) 長綴 一綴

一誠和歌 (四四八六)

一〇一 初雪

(江戸期)

(四四六〇)
切紙 一通

一〇二 歌

(江戸期)

(四二八九)
巻紙 一通

君が世外

一〇三 (仮題) 和歌

(江戸期)

(二二三〇)
切紙(包紙入)一枚

一〇四 (仮題) 覚

(江戸期)

(二三七七)
巻紙 二通

文学関係(歌並七夕等に付)

一〇五 鴨長明家集(写)

(養和元年五月)

(二七七)
書冊 一冊

歌集

一〇六 和歌集

(江戸期)

(二七二)
書冊 一冊

一〇七 禁裏御記録所御障子名所和歌、聖廟御法楽詩歌当座御会

(江戸期)

(二七三)
書冊 一冊

一〇八 仲秋月夜御会 全

(寛分)延宝頃)

(二七四)
書冊 一冊

和歌

一〇九 (仮題) 墨蹟

(江戸期)

(二八六)
巻紙 一卷

櫻花三十韻

一一〇 名集御書付

(江戸期)

(六三二)
切紙(包紙入)五通

三奈木黒田家文書 (一、江戸時代史料)

一一一 筑前名寄写

(江戸期)

(六二五)
小横長 一綴

歌集の中より地名毎に集めたもの

一一二 (仮題) 漢詩と和歌

(江戸期)

(二二六六)
一紙 一通

到電門山見紅葉

一一三 (仮題) 漢詩文

(江戸期)

(四四七八)
巻紙 三通

一一四 玉室和尚筆ノ添状

(江戸期)小春十九日

(二七七九)
切紙(包紙入)一通

藤岡三〇

一一五 土佐歌仙極礼

(江戸期)

(二七八〇の二)
札(包紙入)三枚

一一六 啓書記極礼

(江戸期)

(二七八〇の二)
札(包紙入)三枚

一一七 (仮題) 花房藤九郎状

(江戸期)

(四八九五)
切紙(包紙入)一通

漢文

一一八 (仮題) 歌集

(江戸期)

(四七六〇)
書冊 一冊

一一九 (仮題) 歌集

(江戸期)

(四七五九)
長綴 一綴

一二〇 雑詩 一

(江戸期)

(四七四六)
折本 一冊

漢詩

一二一 梅庵詩鈔 乾坤

(明治三十年)

省軒亀谷行撰

巻紙 二通

二三 唐詩選画本

(天明期)

石峯書画 書肆嵩山房藏

書冊 一冊

二三 東海道中詩

天保八年。木版

小畑行簡著、江戸和泉屋庄治郎外版元

書冊 一冊

二四 倭漢朗詠集

(江戸期)

三三 (仮題) 漢詩文

(江戸期)

二六 (仮題) 山本喜惣次利為書

嘉永三年五月

大和の歌云々

折本 一冊

二七 李千鱗唐詩選

宝曆三年。木版

二六 (仮題) 京極一品宮岩倉山江御参詣の節御歌

(江戸期) 九月

二九 菊送多秋

(江戸期)

和歌

三〇 組題詩歌 廿五首

(江戸期)

三三 禁中七夕

(江戸期)

二三 新古今和歌集序(写)

文化二年

和歌、題者右衛門督、奉行光胤

(四三二四)

二三 義経衣川百首

(江戸期)

折本 一冊

一定

二四 龍光院様高樹院様御遠忌二付御両殿様奉始御用人迄御連歌御奥上行之
扣

嘉永六年十一月十五日

折紙(包紙入四通)

二五 増補武短歌(写)

(正徳六年)

書綴 一綴

二六 秋季五題発句合

(江戸期)

切紙 一通

配殿式十七章

二七 (仮題) 漢詩

(江戸期)

切紙 一通

二六 (仮題) 詠草

(江戸期)

長綴 一綴

二九 伏見殿一座懐紙三首和歌

為村卿

(二二七八)

三〇 衆評夏季五題

(江戸期)

小横帳 一冊

三四 諸国地理大概

(江戸期)

切紙 一通

書冊 一冊

一四 改正日本輿地路程全圖

安永四年三月

(四五〇八)

一四 本朝往古沿革図説

文化十二年。木版

(四五二五)

水戸翠軒老人立原万書

折紙 一冊

一四 華夷地輿紀略

(江戸期)

(四五三一)

一四 大日本国郡附

(江戸期)

書冊 一冊

一四 筑前国図説

(江戸期)

小横帳 一冊

一四 世界地名

(江戸期)

長帳 一冊

一四 (仮題) 国名記

(江戸期)

長帳(小) 一冊

一四 朝鮮地名

(江戸期)

書冊(小) 一冊

一五 長崎志

(江戸後期)

小横帳 一冊

一五 有馬山十二景

(江戸期)

書冊 二冊

一五 江戸名所図會

天保五年。木版

書冊 一冊

松濤軒長秋編

書冊 一〇冊

一五 東海道名所図會

寛政九年。木版

書冊 六冊

三奈木黒田家文書 (一、江戸時代史料)

一五 木曾路名所図會

秋里籬島湘夕、書林柳原喜兵衛外
文化二年。木版

書冊 七冊

一五 近江名所図會

秋里籬島
文化十一年。木版

書冊 四冊

一五 都名所図會

泰石田・秋里籬島輯
安永九年新版、天明六年再版。木版

書冊 六冊

一五 拾遺都名所図會

秋里湘夕選者、画工春朝齋竹原信繁
天明七年新版

書冊 五冊

一五 都林泉名勝図會

秋里舜福湘夕、画工竹原信繁
寛政十一年

書冊 六冊

一五 紀伊国名所図會

秋里籬嶋、画工佐久間草偃外、小川多左衛門梓
文化六年

書冊 五冊

一六 外宮宮内伊勢參宮按内記 上、下

宝永四年
勢州山田一志、藤原長兵衛版元

書冊 二冊

一六 伊勢參宮名所図會

寛政九年

書冊 六冊

一六 河内名所図會

享和元年
秋里籬嶋、画師浪速丹羽桃溪

書冊 六冊

一三 和泉名所図會

寛政八年。木版

書冊 四冊

(一四〇〇)

秋里湘夕、画工竹原信繁

一四 撰津名所図會

寛政七年。木版

書冊 八冊

(一四〇一)

小川左左衛門外版元

一五 大和名所図會

寛政三年。木版

書冊 七冊

(一四〇二)

秋里湘夕、画工竹原信繁

一六 播州名所巡覧図繪

文化元年。木版

書冊 五冊

(一四〇三)

柏原屋清右衛門外版元

一七 四国名勝図會

文化八年。木版

書冊 二冊

(一四〇四)

一八 山海名産図會

寛政二年。木版

書冊 五冊

(一四〇五)

木村孔恭識、画図法橋関月

一九 三河後風土記(写)

(江戸期)

書冊 一三冊

(一四〇六)

二〇 諸国奇談 東遊記

寛政七年、後編九年。木版

書冊 一〇冊

(一四〇七)

松本慎

二一 諸国奇談 西遊記

寛政七年。木版

書冊 五冊

(一四〇八)

二二 清正真傳記 二(一)五

文化九年。木版

書冊 四冊

(一四〇九)

書林英栄堂

二三 早川物語(写)

(江戸期)

書冊 一冊

(二四一〇)

二四 □芝罘獨語(写)

(江戸期)

書冊 一冊

(二四一一)

二五 南窓隨筆(写)

元禄十三年

書冊 一冊

(二四一二)

二六 元寇始末

天明七年

書冊 一冊

(二四一三)

水戸小宮山昌彦録

二七 四海太平記

正徳五年。木版

書冊 一八冊

(二四一四)

南山隠士叙、大和屋伊兵衛外板行

二八 常山紀談(写)

明和四年

書冊 五冊

(二四一六)

赤穂赤松勲

二九 東鑑

寛永三年。木版

書冊 二五冊

(二四一七)

杉田良庵玄与開板

三〇 雲萍雜志抄

(江戸期)

書冊 一冊

(二四一八)

柳里菜稿

三一 本佐録(写)

享保十年

書冊 一冊

(二四一九)

鳩巢室直清、阿波国儒員柴邦彦著

三二 松永道齋記

(二四二〇)

延宝六年三月六日

貝原篤信

書冊 三冊

一八三 落穂集(写)

(一四二二)

享保十二年

書冊 一三冊

知足軒友山

一八四 講武輯略

(一四二二)

(江戸期)

書冊 一冊

一八五 御画像贊

(二七〇六)

(江戸期)

一紙(包紙)二通

石館蘆銘黒田一定室(文化四年卒)、萬年崇福寰海書享和元年九月四日

一八六 関原軍記大成

(一四一五)

正徳三年

書冊 三〇冊

一八七 拂郎察国水戦軍令大略紀聞

(四三二四)

(明治初年)

書冊 一冊

一八八 信刃戸石合戦之書

(三五七七)

(江戸期)

一枚

一八九 覚

(江戸期)

小横帳 一冊

語句、諺

(二三八)

一九〇 語源語彙書付類

(四〇六三)

(江戸期)

一紙 九通

一九一 唐熙字典

(一三二七)

安永七年。木版

書冊 四一冊

日本翻刻

書冊 一冊

一九二 日本史同外史名乗字引

(四七三二)

慶応四年。木版

書冊 一冊

三奈木黒田家文書(一、江戸時代史料)

竹山塾刊行

一九三 増益四書字引大成

(四七二五)

(江戸期)。木版

書冊 一冊

武陽書林前川権兵衛

一九四 安政雜書萬曆大成

(四七四二)

(江戸期)。木版

書冊 一冊

江戸宋林堂

一九五 さいけん

(四七四三)

天保十一年。木版

書冊 一冊

版元山下半兵衛外

一九六 御跋趙孟頫十札法帖

(四三三一)

(江戸期)

折本(板表紙)一札

一九七 蘭亭記帖

(四三三〇)

漢文

折本 一冊

文徵明著

一九八 趙子昂真草千文

(四三二九)

(江戸期)

折本(板表紙)一冊

一九九 文徵明書

(四三二八)

(江戸期)

折本 一冊

漢文

二〇〇 清水堂

(四三二七)

(江戸期)

折本(板表紙)一冊

子昂書、漢文

二〇一 醉翁亭記

(四三二六)

乾隆四十有八年

折本 一冊

会稽梁国治書

二三 黄岡竹樓記

至大二年。木版

趙孟頫書

二三 山静日長

(江戸期)

□然書

二四 文選

六臣註 序 卷一〜卷六〇

寛文二年。木版
書堂野田庄右衛門重周外

二五 孟子集註 卷之十一

元禄十三年。木版

書林吉野屋權兵衛外

二六 春秋左傳註疏正義 二〜二〇

(江戸期)。木版

出雲守和泉掾外藏版

二七 白氏長慶集 序

(江戸期)。木版

二八 絶句類選 一・二・三・十

弘簡堂藏版、書林須磨勘兵衛版

文政八年。木版

書林伊丹屋善兵衛

二九 唐詩訓解 序・一〜七

万曆戊年。木版

書林田原勘兵衛藏版

三〇 唐詩選画本

(一三四四)

天明八年。木版

書林小林新兵衛藏版

三一 清詩選

宝曆五年。木版

書林赤石有馬屋莊口外

三二 韻府一隅

文化十一年。木版

朱翠峯、華安愚同輯。養賢堂藏版

三三 有節錄

明治二年。木版

青雲閣城兼文輯

三四 五雜組

(江戸期)。木版

陣留謝肇瀨著

三五 言志録

弘化三年

佐藤捨藏著

三六 多々益辨

(江戸期)

漢ノ高祖

三七 (仮題) 覚

(江戸期)

宗太祖皇帝に付

三八 集書

天保十一年

不慮の死等

書冊 四冊

(一三四五)

書冊 四冊

(一三四七)

書冊 二冊

(一三五〇)

書冊 一冊

(一三五三)

書冊 八冊

(一三五四)

書冊 一冊

(一三六二)

切紙 一通

(一三三五)

切紙(包紙入)一通

(一五七五)

書冊 一冊

三九 うち出野浜日記

延享三年

書冊 一冊 (二七六)

三〇 (仮題) 政道物語写

(江戸後期)

書綴 一綴 (一五九九)

井上主計の徳川家康への進講

三一 (仮題) 物語

(江戸期)

書冊 一冊 (四七七〇)

正行願くハ云々

三二 赤壁賦

文化二年八月

折本 一冊 (四二八二)

吉見篤致

三三 豊国記行

元禄七年

書冊 一冊 (四二六五)

貝原篤信記

三四 女小学

(江戸期)

書冊 一冊 (四二六〇)

三五 練心膽

(江戸期)

書冊 二冊 (四二四八)

澹齋長沼廣敬著伝兵要録之中書抜

三六 列藩一覽

慶応四年

長帳 一冊 (四二四七)

御用御書物所村上勘兵衛・井上治兵衛

三七 服職次第抄

天保六年七月。木版

折本 一冊 (四二四六)

三八 兵要録 一〇十三(九・十欠)

(江戸期)

書冊 二六冊 (四二四四)

三奈木黒田家文書 (一、江戸時代史料)

三九 武家學要

(江戸期)。木版

小横帳 一冊 (二〇六)

三〇 武家學要

文政十三年初春。木版

長綴(小) 一冊 (四二四五)

三一 若松流竿獵并諸獵作法総傳

(江戸期)

書冊 一冊 (四二四三)

三二 木曾路記 上、下

宝永六年

書冊 二冊 (四二四二)

三三 函書目録

貝原篤信記

書冊 一冊 (四二三五)

三四 宗祇称味名物鶉餅来由

文政十二年

書冊 一冊 (四二三四)

駿谷欽溪舍散人元魯誌之、深夜□鬼屋敷(嘉永四)

三五 改正増補萬代寶鑑 御席附

文化十四年。木版

折本 一冊 (四二三三)

三六 和漢武経要務全書 序

須原屋茂兵衛版元

書冊 一冊 (四二三二)

三七 増補江戸年中行事

(江戸期)。木版

書冊 一冊 (四二三一)

江戸書物問屋西村源六版

三八 風月往来

寛政二年

折本 一冊 (四三三七)

内海甚六書

三九 諸傳法目録

(四四〇九)

(江戸期)

食物外項目のみ

長帳 一冊

三四 和漢武経要務全書軍用目録

(江戸期)

(四四三六)

書冊 一冊

三五 清正真傳記

(江戸期)。木版

(四六三一)

書綴 一綴

三六 文林大和鑑

(江戸期)。木版

(四六三二)

書綴 一綴

三七 女中書

元禄九年

(四七二六)

書冊 三冊

水嶋卜也之成、伊車郷右衛門

三八 兼好法師家集

(江戸期)

(四七三〇)

書冊 一冊

三九 消息往来

(江戸期)

(四七二八)

書冊 一冊

四〇 婦家日記

(江戸期)

(四七三四)

小横帳 一冊

四一 白川候言行録

(江戸期)

(四七三三)

書冊 一冊

井上氏通女

四二 卮言抄 上・下

武士の心得
元和六年七月

(四七二三)

書冊 二冊

道春編

四三 五龍日記

(四七三五)

明和三年八月

書冊 二冊

浮雲齋、一瓢散人識

四四 靖獻遺言 全

慶応元年。木版

(四七三七)

書冊 一冊

四五 女教かがみ

(江戸期)

(四七五七)

書冊 一冊

四六 (仮題)道成寺物語絵巻(破損本)

(江戸期)

(三四)

卷子 一卷

四七 (仮題)書物目録

(江戸期)

(三九三八)

切紙 一通

四八 周ノ制

(江戸期)

(四〇六四)

切紙 一通

四九 はや里うた集

(江戸期)

(四三二六)

書冊 一冊

五〇 篤斎叢書抜

(江戸期)

(四二六二)

書冊 一冊

五一 謡曲本類

(江戸期)

(三三七八)

書冊 七八冊

五二 此方久佐・名務揚火御覽之節相図附

天保七年八月二十六日

(二六二の五)

切紙(包紙入)一通

五三 箱崎御茶屋下ニおゐて角力御覽之節取組

天保五年六月廿七日

(二六二の六)

長綴(包紙入)一綴

五四 喜多流仕舞格式秘事

(江戸期)

(二七八)

書冊 一冊

五五 囃子組わり

(二七一)

二六 番組 (江戸期) 七月六日

切紙 一通 (三四九)

二六 御能組

(江戸期) 西九月朔日外

一紙 三通 (二六八八)

二五 於手元三味線等遠慮之日書付

文化十三年

切紙(包紙入)八通 (二六八四)

二四 御能組

嘉永七年四月二十九日

切紙 一通 (二六六三)

二三 箱崎芝居萬入目銀之覚

(延宝期) 八月二十九日

一紙 一通 (二七四七)

二二 新御宮奉法楽

(江戸期)

切紙(包紙入)一通 (四四三八)

二一 鞠

(江戸期)

書冊 一冊 (四三三三)

二〇 大會吾妻(トふし)

(江戸期)

書冊 一冊 (四三三二)

一九 蹴鞠稽古倭歌

天保五年十二月

書冊 一冊 (四二九六の二)

三木尚徳方相送

三奈木黒田家文書 (一、江戸時代史料)

二七 蹴鞠稽古歌之卷

(江戸期)

(四二九六の二) 書冊 一冊

二六 蹴鞠意辨

(江戸期)

(四二九六の三) 書冊 一冊

二五 蹴足鞠十七ヶ條

(江戸期)

(四二九六の四) 書冊 一冊

二四 蹴鞠六條

(江戸期)

(四二九六の五) 書冊 二冊

二三 (仮題) 覚

(江戸期)

(三六五九) 切紙 一枚

御囃子組人名覚

二二 (仮題) 茶会の作法覚

(江戸期)

(三七二七) 巻紙 二通

二一 御神祭濟御能二付書付類

嘉永七年

(三九〇一) 切紙 三通

二〇 (仮題) 謡曲関係

(明治期)

(四四八三) 一括

18 宗 教

一 勝善寺門之差図

寛文十三年九月六日

(二二三六) 切紙(包紙入)二通

勝善寺方長浜四郎右衛門宛。借屋の事

二 圓福寺開帳之訴状

寛文十三年

(二二二五) 一紙(包紙入)一通

浅原九兵衛外二名方長尾惣右衛門宛

三 御理申上口上之覚

(二六二八)

延宝二年三月三日

巻紙 一通

清岸寺鋤煙を進藤八郎兵衛宛。土地訴訟之事

四 怡土郡高祖村高祖大菩薩鳥井木指出し仕上ル事

(二七五二)

延宝二年六月二十四日

一紙 一通

高祖村庄屋藤八を原田専右衛門・原市郎左衛門宛

五 崇福寺繕の書付

(二二八六)

延宝二年九月十五日・二十二日

一紙 二通

崇福寺奉行外を長濱四郎右衛門宛

六 新町正覚寺墓所荒戸浜ヲ拜領仕度由願之絵図并正覚寺清無之理り書

(二一七三)

延宝三年七月

一紙(包紙入)二通

正覚寺清玄方長濱四郎右衛門宛

七 紅葉松原八幡宮いかき廻り破損之訴状

(二二〇三)

(延宝期)六月二十三日

一紙(包紙入)一通

西光寺快儀を大野四郎右衛門・高橋与三右衛門宛

八 口上之覚

(二五八)

(江戸期)丑五月六日

(包紙入)一紙一通・長綴一綴

千眼寺龍岩を黒田源左衛門留守居衆宛。古證文返進の事、天祐和尚祠堂

銀預申事(黒田源左衛門外を美山禪師・鹿苑禪師宛。元禄十四年)

九 入定寺之記文

(二二六四)

宝永四年八月

書綴 一綴

一〇 春日宮祭田寄附證書之写

(三二九)

宝永七年七月二十六日

一紙(包紙入)二通

宮崎作左衛門を。春日神祠祭田記・奉寄附祭田證書(黒田美作一利を)

二 聖廟御法集

(二二六)

(宝曆三年)二月二十五日

小横帳 一冊

三 松原稻荷大明神奉献和歌二十首

(三八一九)

(宝曆四年)

長綴 一綴

三 播磨国柳本社御奉納御法楽

(一一七)

宝曆十年五月十八日

書冊 一冊

歌書

四 龍光院様式百回御忌御法事

(六二〇の一)

享和元年三月

一紙(包紙入)一通

五 毎日月々御祥月御霊供月々御祥月御代参元帳

(五四八)

文化六年十月を

長帳 一冊

六 田地寄附證文之事

(三七〇三)

文化二・七年

切紙(包紙入)二通

間九大夫を清岩寺天外和尚宛

七 書状

(四二八四)

文化二年

折本 一冊

龍田詣の事

八 諸士中寄附錢指引目録

(二六二七)

文化三・五・十一年

一紙(包紙入)五通

安陪久右衛門を。付、御寺納錢指引書上外

九 (仮題)雲翔院殿永代為御回向料寺納仕證文

(三七〇二)

文化七年十二月

巻紙(包紙入)二通

一〇 穂波郡飯塚村太養院覚書写

(三八八八)

文化十年二月

巻紙 一通

由緒

三 美作を相達

(二四六八)

文政二年四月十五日

小横綴 一綴

香椎宮江御社領之相増其上護国寺獨禮武内出雲守町奉行直支配被仰付候達
書写

三 御国中真言一派書上覚書之内抜書

文政三年十一月

長帳 一綴 (一七二一)

寺社奉行手元江西光寺大乘寺吉祥院方

三 御神祭御次第書抜

文政五年

小横帳一冊・折紙一通 (六二二)

興雲院様式百回御忌御法事御執行有之以後御神祭御次第書之内入用之廉々
斗書取置。付、年始益家老中御代參相勤候覚

三 涼慶様百五十年之為当候付前年十二月取趣佛祭且正月祝等之節見合ニ
相成候書付類

文政六年正月十五日

切紙 一〇通 (一八三五)

三 書状

(文政)六月二十四日

切紙 一通 (二五〇六)

敬徳院様二十五回忌法事

三 大信院様七回御忌御法事記

天保十年正月十九・二十日

長帳 一冊 (一六二の三)

三 清岩寺御寄附田畠之書付

天保十年六月

切紙 九通 (三七〇四)

三 寄附證文

天保十四年五月

(包紙)一紙二通・折紙一通 (二八八七)

加藤忠左衛門外方清岩寺逸童和尚宛

三 永代売渡田地之事

文化十年三月

卷紙(包紙)一通 (二八八八)

清岩寺天外方安陪久右衛門宛

三 林田宮御寄附書

(四〇八八)

三奈木黒田家文書 (一、江戸時代史料)

明治三年八月

折紙 一通

四郎丸村庄屋長野善次郎方尾野寛治宛

三 盆季諸事

明治四年

長帳 三冊 (九二六)

三 東長寺證文

明治三年閏四月外

長綴 二綴外 (五四五)

東長寺輪玄方黒田一雄宛。御預ケ金寺納願

三 三十三間堂矢数帳

(江戸期)

小横帳 一冊 (五六〇)

三 獵之儀ニ付道機様御筆

(江戸期)

切紙(包紙)一通 (三三六)

供養之儀ニ付御書取

三 奉歎願口上之覚

(江戸期)九月廿九日

書綴 一綴 (五四六)

正傳庵・棟翁方黒田一美宛。当庵継続の歎願

三 覚

(江戸後期)

長綴 一綴 (八七六)

寺社への扶持等書上

三 書状

(江戸期)二月二十五日

切紙 一通 (二一〇五)

松野外記能勝方万寿寺宛。山門再興に付寄附の件

三 祝詞写

(江戸期)

卷紙 三通 (二四一五)

付、御勸請御祭式出席者名並に御行列略

三 書状

(江戸期)十月十六日

切紙 一通 (二四〇四)

檜橋仁左衛門方□□伊左衛門宛。龍宮寺門の為松原始末請願について

四 御侘言申上候事

(江戸期)十月十二日

一紙(包紙入)一通 (三六二六)

博多龍宮寺方長濱四郎右衛門宛。松原枯木買上被仰付度

四 参詣之手続覚

(江戸期)

巻紙 一通 (四〇一五)

四 書状

(江戸期)閏十月二十七日

切紙 一通 (四一一二)

旧墓位牌本堂へ遷座の件

四 口上

(江戸期)十一月

切紙 一通 (四五〇九)

弓徳院百五十回忌法事執行報知

四 御碑銘写

(江戸期)

書冊 一冊 (二六一二)

龍光院(如水)、功崇院(継高)

四 諸士社預り山坪付帳

(江戸期)

書綴 一綴 (二六七四)

郡奉行中

四 (仮題)祠堂御寄附覚

(宝曆・天明期)

切紙 二通 (二〇〇八)

四 奉納御弓矢目録

(江戸期)

一紙 五通 (三六二〇)

鯛并手綱外

四 (仮題)宮寺間取図并拝順路覚

(江戸期)

切紙 二二枚 (三六二四)

付、警固宮御先参心得、大頭・中老木屋間取図外

四 覚

(江戸期)

切紙 一通 (三六八九)

正月斗御被御頼相成儀

五 (仮題)覚

(江戸期)

一紙 一通 (一一三三)

長嘯子五十回忌に付

五 覚

(寛永十九年〜明暦三年)

切紙 一通 (四六七六)

院号勝智院外

五 (仮題)覚

(江戸期)

切紙 一通 (二四八の七)

時宗寺書上(福岡藩)

五 上屋敷覚書

(江戸後期)

切紙(包紙入)三通 (一九〇四)

観音信心の事

五 (仮題)黒田家旦那寺書出

(江戸期)

小横帳 一冊 (二四〇)

三奈木黒田家

五 御寺破損之覚

(江戸期)十月四日

一紙 一通 (三七五四)

源光院

五 (仮題)崇福寺並びに東長寺覚

(江戸期)

切紙 一通 (三九五五)

五 染井山訴状

(江戸期)丑八月十四日

切紙(包紙入)一通 (二二三三)

□伽井坊方原田専右衛門外宛。薬師堂開扉願

壬 承天寺内一作畠有之ヲ寺内ニ仕度旨願之絵図

(江戸期)

(二三七二) 絵図(包紙入)一通

弄 嶋村宇八より指遣候書付

(江戸期)

(四〇六七) 切紙(包紙入)三通

遠忌御祭延ちぢめ之儀及問合候書付

六 (仮題) 龍光院様御法事関係覚

(江戸期)

(四〇一七) 切紙 六通

六 (仮題) 覚

(江戸期) 卯月二十八日

(二四五五) 巻紙(包紙入)一通

小河内蔵允・桐山丹後守外。当浦観音堂為上下舟如水之立置候条船老體

ニ付一日ニ老人持之石拾宛寄進の事

三 (仮題) 覚

(江戸期)

(二五〇八) 切紙 一通

町奉行宛。少将様旅中安全之御祈禱神納の事

三 鏡天神絵馬再興之儀ニ付差出候書付

(江戸期) 酉二月

(二五二四) 切紙(包紙入)二通

宮司北之坊外

三 御霊塔場御書付

(江戸期)

(三七一〇) 切紙(包紙入)四通

崇福寺御代参の次第

三 圓徳寺訴状并絵図

(江戸期) 九月五日

(二一七四) 切紙(包紙入)二通

圓徳寺右長濱四郎右衛門宛。墓地の件

六 (仮題) 覚

(明治初期)

(四八四三) 切紙 一通

播磨・左衛門宛。寺社用向之儀被仰付

三奈木黒田家文書 (一、江戸時代史料)

六 再拜目録

(江戸後期)

(二三一〇) 書冊 一冊

寺社拜礼再拜

六 再拜腕被註文

(江戸後期)

(二三一一) 一紙(包紙入)一通

六 (仮題) 覚

(明治初期)

(四〇五七) 切紙 一通

香椎宮社領上宮増米

七 (仮題) 覚

(明治初年) 四月

(四〇二六) 切紙 一通

代々將軍祭祀受持、竈門山修験皆ハ神職ニ不被仰付

七 書状

(明治初年)

(九一七の六) 切紙(包紙入)一通

博多東長寺外黒田一雄宛。涼慶様御塔の横通路に仕度

三 御改祀御次第

(明治初年)

(五四七) 長帳 一冊

三 (仮題) 在福寺社寄附地并合力米金取調帳

(明治初年)

(六四五) 長帳 一冊

三 (仮題) 覚

(明治期)

(四九九九) 一紙 一通

真乘院殿月岑涼慶大禪定門法号の一軸修覆の事

三 年始盆家老中御代参相勤儀節覚

(江戸期)

(二八〇二) 切紙 一通

三 (御目見) 覚

(江戸期)

(四〇一六) 切紙 一通

19 書 状

一一任公ヨリ一貫公江被進御書

(江戸期)

卷子 一卷

1 書状

(江戸期)二月七日

三左衛門源左衛門宛。元升に御目にかかりたし

2 書状

(江戸期)二月七日

三左衛門源左衛門宛。元升との出会

3 書状

(江戸期)二月十四日

三左衛門源左衛門宛。新敷鯛料理申付け

4 書状

(江戸期)三月二十九日

黒(田)三左衛門源左衛門宛。実相院請人も無く不吟味成弟子を取申

儀不調法に付

5 書状

(江戸期)三月二十九日

三左衛門源左衛門宛。殿様外爰元御発駕飯塚へ御越成されい

6 書状

(江戸期)卯月朔日

三左衛門源左衛門宛。鶉の礼、新造様平産祝儀の事

7 書状

(江戸期)卯月朔日

三左衛門源左衛門宛。実相院一件吟味の事

8 書状

(江戸期)卯月二日

三左衛門源左衛門宛。殿様御帰館の件

9 書状

(江戸期)五月十九日

三左衛門源左衛門宛。我等はかた矢倉門屋敷ニ移り申間敷、我等一代ハ姪

浜ニ住宅仕り今の屋敷にて死に可申ときめ申い

10 書状

(江戸期)五月二十四日

三左衛門源左衛門宛。矢倉門屋敷普請の件

11 書状

(江戸期)六月十一日

三左衛門源左衛門宛。三郎左衛門祝言の事

12 書状

(江戸期)六月二十三日

三左衛門源左衛門宛。当月中にはえくれす船の到来も可有之、御成座敷出

来の件

13 書状 (後欠)

(江戸期)

三郎左衛門拝領屋敷の件、三郎左衛門への渡し銀

14 書状

(江戸期)七月二十二日

三左衛門源左衛門宛。大おどり指留い事

15 書状

(江戸期)八月十二日

三左衛門源左衛門宛。若殿様源左衛門宅に御成名月御覧可被遊い

(三三三の八)

一通

(三三三の九)

一通

(三三三の一〇)

一通

(三三三の一一)

一通

(三三三の一二)

一通

(三三三の一三)

一通

(三三三の一四)

一通

(三三三の一五)

一通

16 書状 (江戸期)八月十二日 (三三三の一六) 一通

三左衛門と源左衛門宛。我等能成今朝より八座敷内あるき申い

17 書状 (江戸期)九月八日 (三三三の一七) 一通

三左衛門と源左衛門宛。我等死に申い跡女房共への合力の事

18 書状 (江戸期)十月十六日 (三三三の一八) 一通

三左衛門と源左衛門宛。貴殿三奈木出立春日一宿その後帰福いよし

19 覚 (江戸期)十一月十三日 (三三三の一九) 一通

三左衛門と源左衛門宛。書状書上

20 書状 (江戸期)十二月四日 (三三三の二〇) 一通

三左衛門と源左衛門宛。宮内様福岡御着いは、貴殿を以御悦御申可給。付、裏文書有(同内容)

21 書状 (江戸期)十二月十一日 (三三三の二一) 一通

三左衛門と源左衛門宛。めがね十二年先におらんだかびたんよりもらい申

22 覚 (江戸期) (三三三の二二) 一通

料理振舞、供人名書上

二 従諸方来る書簡 (六五) 一通

(天保七年仕立)

1 書状 卷子(袋入)一卷 (六五の二) 一通

三奈木黒田家文書 (二、江戸時代史料)

(江戸期)皐月六日 (六五の二二) 一通

井 主馬と黒田作州宛

2 書状 (江戸期)一月二日 (六五の二二) 一通

黒 監物と黒 作州宛。十庵老と秋月への状相調、大膳殿を参い状送付

3 書状 (江戸期)七月十六日 (六五の四) 一通

栗 大膳と黒 作州宛

4 書状 (江戸期)五月十日 (六五の五) 一通

道栢と黒 美作宛。十三日の晩奉待い

5 書状 (江戸期)卯月十五日 (六五の六) 一通

小 内蔵允と黒 作州宛。御差図次第七郎右可申談い由

6 書状 (江戸期)酉ノ六月二十九日 (六五の七) 一通

小河内蔵允と黒田美作宛。隠居の件

7 書状 (江戸期)三月二十四日 (六五の八) 一通

毛利吉左衛門と黒田美作守宛。茶会への招待

8 書状 (江戸期)九月十日 (六五の九) 一通

□□五郎女と三左衛門宛。一封届申い

9 書状 (江戸期)十月三日 (六五の一〇) 一通

立花□左衛門と黒田三左衛門宛

10 書状

(江戸期)極月二十三日

(六五の一二)

一通

久世半三郎・倉八大夫外黒田美作守宛。馬参着

11 書状

(江戸期)

(六五の一三)

一通

浦上彦兵衛外黒田三左衛門宛

12 書状

(江戸期)七月九日

(六五の一四)

一通

齋藤忠兵衛外黒田清左衛門外宛。御香奠献上被仰付

13 林又右衛門佐賀江御使参ひ節同所家老返礼之写

(江戸期)六月十九日

(六五の一五)

一通

鍋嶋志摩外黒田清左衛門外宛。右衛門佐様御卒去に付長崎御番所の件

三 従諸方来ル書簡

(天保七年仕立)

(六七)

卷子袋入一卷

1 書状

(江戸期)十月十五日

(六七の一)

一紙 一通

樋口孫左衛門外黒田三左衛門宛。右衛門佐様への礼

2 書状

(江戸期)十一月十九日

(六七の三)

一通

根本金大夫外黒田源左衛門宛。緩々御休息様にと被思召

3 書状

(江戸期)九月十三日

(六七の四)

一通

浦上彦兵衛外黒田源左衛門宛。殿様長崎御越、御婚礼首尾好調外

4 書状

(江戸期)十一月二十八日

(六七の五)

一通

彦兵衛外源左衛門宛。三左衛門跡役の儀、若殿前髪御取被成

5 覚

(江戸期)十月二十七日

(六七の六)

一通

五郎左衛門外源左衛門外宛。殿様御勝手別而差聞申ひにつき儉約の事

6 覚

(江戸期)七月七日

(六七の七)

一通

齋藤忠兵衛外黒田清左衛門外宛。大殿様御卒去に付長崎御番の件

7 覚

(江戸期)卯三月二十五日

(六七の八)

一通

筑前素行につき

四 犬萬様御書并御條令書且従諸方来ル書簡

(天保七年十一月仕立)

(六八)

卷子袋入一卷

1 書状

(江戸期)三月九日

(六八の一)

一通

黒田大方(花押)外黒田源左衛門宛。歳暮の礼

2 條々

寛永十五年正月十四日

(六八の二)

一通

戸田左門、松平伊豆。幕法

3 書状

(江戸期)九月二十二日

(六八の三)

一通

高木三助宗香外黒田三左衛門宛。礼状差上

4 書状

(江戸期)七月二日

(六八の四)

一通

宗対馬守内平田隼人外松平右衛門佐宛。信使日本料理ハ給馴不被申外故

5 書状

(江戸期)十月十五日

(六八の五)

一通

田嶋十郎兵衛成次外黒田三左衛門宛。朝鮮人能書手跡額進覽

6 書状

(江戸期)十月十五日

田嶋十郎兵衛成次と黒田三左衛門外宛。右衛門佐よりの進物の礼

(六八の六) 一通

7 書状

(江戸期)十月十五日

原五助一政外と黒田三左衛門宛。右衛門佐と拝領物の礼の取次依頼

(六八の七) 一紙 一通

8 書状

(江戸期)十月十五日

田中善右衛門成久と黒田三左衛門外宛。右衛門佐様より礼状の取次依頼

(六八の八) 一紙 一通

9 書状

(江戸期)十月十四日

原五助一政と黒田三左衛門宛。礼状

(六八の九) 一紙 一通

10 書状

(江戸期)十月二十一日

斎藤忠兵衛外と黒田源左衛門宛。貴様御暇伺に付

(六八の一〇) 折紙 一通

11 書状

(江戸期)七月九日

斎藤忠兵衛と黒田清左衛門外宛。刺髪免じゆ面々

(六八の一) 折紙 一通

五 先祖以来之書簡

(天保七年十一月仕立)

1 書状

(江戸期)二月二十七日

黒 美作守と大鳥居信岩宛。神前供物御酒の事

(六九の一) 卷子(包紙入)一卷 一通

2 書状

(江戸期)十二月二十四日

黒 美作守一成と中山佐右衛門宛。其元運上銀調

(六九の二) 一通

3 書状

(江戸期)卯月十六日

黒 美作守と聴松庵宛。豊前方の来状、葉種依頼

(六九の三) 一通

4 書状

(江戸期)七月六日

三左衛門と九郎左衛門宛。酒の礼

(六九の四) 一通

5 書状

(江戸期)十一月

三左衛門と。あじ・このしろの礼、風引返し

(六九の五) 切紙 一通

6 書状

(江戸期)三月朔日

三左衛門と吉留村正右衛門宛。節句祝のかうがいの礼

(六九の六) 折紙 一通

7 書状

(江戸期)八月二十五日

黒 三左衛門と吉留村正右衛門宛。底井野御越、生匏持参の礼

(六九の七) 折紙 一通

8 書状

(江戸期)九月六日

黒 三左衛門と吉留村正右衛門宛。生匏の礼

(六九の八) 折紙 一通

9 書状

(江戸期)十二月二十四日

黒 三左衛門と吉留村正右衛門宛。歳暮の礼

(六九の九) 折紙 一通

10 書状

(江戸期)五月三日

三左衛門と吉留村龜次郎宛。為端午之祝儀鯉の礼

(六九の一〇) 折紙 一通

11 書状

(江戸期)八月十三日(破損)

(六九の一) 折紙 一通

黒 美作守。おせん様万吉様息災、来年の普請の件

12書状

(江戸期)七月二十四日

黒田美作一利方斎藤忠兵衛宛。宣政様容体何度

(六九の一二)
折紙 一通

13書状

(江戸期)七月二十七日

黒田美作一利方斎藤忠兵衛宛。為上使三浦老岐守御出、香奠拝受

(六九の二三)
折紙 一通

六 光台院様御直書

享和元年九月二十八日外

切紙(包紙入三通)
(二五三)

幾左母方源左衛門宛。無事御着祝儀申上

七 清定公御書類

天保九年

(二五〇)

清定様御滞府方被下し御書簡

1書状

(天保九年)五月二日

切紙(包紙入三通)
(二五〇の一)

播磨清定方三左衛門宛。着阪の事、道中の事

2書状

(天保九年)六月十三日

切紙(包紙入一通)
(二五〇の二)

播磨清定方三左衛門宛。八月初には帰着の筈

3書状

(天保九年)五月二十七日

切紙(包紙入三通)
(二五〇の三)

播磨清定方三左衛門宛。着府報知

八 黒田美作より黒田源左衛門宛ノ書状

1書状

(江戸期)二月朔日

切紙(包紙入一通)
(二四七の一)

美作隆方源左衛門宛。獵の事、あげ巻の礼

2書状

(江戸期)四月四日

切紙 一通
(二四七の二)

美作方源左衛門宛。昨夜紙役所江差火之様子、夜廻等の儀

3書状

(江戸期)

切紙 六通
(二四七の三)

美作方源左衛門宛

4書状

(江戸期)九月二十八日

切紙(包紙入三通)
(二四七の一)

黒田美作方黒田源左衛門宛。甲斐守今日御発足、紅毛船荷積残り等長崎方の

報知

5書状

(江戸期)二月十一日

切紙(包紙入一通)
(二四七の二)

美作隆方源左衛門宛。遊獵の報知

6書状

(江戸期)十月十六日

切紙(包紙入一通)
(二四七の三)

黒田美作隆方黒田源左衛門宛。蘭船の模様

7書状

(江戸期)二月十四日

切紙(包紙入一通)
(二四七の四)

黒田美作隆方黒田源左衛門宛。長崎の報知、石火矢手入等に付

8書状

(江戸期)二月晦日

切紙(包紙入一通)
(二四七の五)

黒田美作隆方黒田源左衛門宛。長崎より、石火矢御蔵入相済いハ、罷帰

9書状

(江戸期)十一月十日

切紙(包紙入三通)
(二四七の六)

美作方黒田源左衛門宛。狩獵の報知

10書状

(二四七の一)

(江戸期)十月二十八日

黒田美作隆と黒田源左衛門宛。和蘭船出帆

切紙(包紙入)一通

11書状

(江戸期)十月二十二日

黒田美作隆と黒田源左衛門宛。長崎より

切紙(包紙入)一通

12書状

(江戸期)七月十日

美作と源左衛門宛

切紙 一通

13(仮題)覚

(江戸期)二月五日

承知の者の名前書上

切紙 一通

九 天保九年在府中清定公と御書簡

天保九年

1書状

(天保十年)九月二十日

播磨清定と三左衛門宛。無恙着崎。付、家臣書上

切紙(包紙入)二通

2書状

(天保十年)十一月十七日

播磨清定と三左衛門宛。着府報知

切紙(包紙入)一通

3書状

(天保十年)十二月八日

播磨清定と三左衛門宛。近況報告

切紙 一通

4書状

(天保十年)十一月朔日

播磨清定と三左衛門宛。帰着報告

切紙 一通

5書状

(二九四の五)

(江戸期)十二月二日

播磨清定と三左衛門宛。帰着後報知

切紙 一通

6書状

(天保十年)十月二十二日

播磨清定と三左衛門宛。蘭船出払いに付明日爰元出立

切紙 一通

7書状

(天保十年)十月三日

播磨清定と三左衛門宛。長崎よりの報知

切紙 一通

8書状

(天保十年)正月十八日

播磨清定と三左衛門宛。江戸での勤方並びに病状手当の勧め

切紙(封筒入)二通

9書状

(天保十年)十二月二十日

播磨清定と三左衛門宛。近況報告

切紙(袋入)二通

一〇書状

(江戸期)七月十日

野村東馬と黒田美作宛。御出福有之候様

切紙 一通

一一書状

(文政四年)八月二十八日

竹中主税助重光と黒田美作宛。使者差遣相願候趣御承知被下

折紙(包紙入)二通

一二書状並案文

(文政四年)六月二十八日

黒田美作一定と竹 主税助宛。使者指越の件

折紙(包紙入)二通

一三書状

(江戸期)七月十一日

小 山城守長寛と黒田美作宛。佐渡守隠居被仰付

折紙 一通

一四書状

(江戸期)九月五日

巻紙 一通

(江戸期)二月四日

切紙 一通

山城^ら播磨宛。長門様^ら御銀拝借之儀

市内へ相渡候積のところ立跡にて飛脚便にて差出

切紙 一通

一五書状

(江戸期)

切紙(袋入)二通

(江戸期)三月二十二日

切紙 一通

山城^ら播磨宛。上京被仰付云々、拝領物周旋の礼

市内出京一条二付讃州連名之責書の事、侍従様御轡拝領被仰付有難

(江戸期)七月三日

切紙 一通

一六書状

(江戸期)

切紙 六通

吉(田) 式部^ら美作宛。御茶屋御出之刻限承知

切紙 一通

城州^ら山崎宛。山城^ら播磨宛。御内含御引入何日位に至候而御内慮御伺之思召に可被為在哉

黒田播磨様江之書翰

一紙(包紙入)四通

(江戸後期)正月五日

(江戸期)五月十八日

一七書状

山城^ら播磨宛。大樹公上洛之儀、侍従様下国の事

切紙 一通

斎藤忠大夫勇友^ら黒田播磨宛。明十九日川崎駅御着直二出殿。付、滞府中手数付外

一紙(包紙入)四通

一八書状

(江戸期)

切紙(包紙入)一通

(文久二年)二月二十八日

書綴 一綴

黒田山城外^ら黒田播磨外宛。侍従様明日帰城

自笑庵宛。国之進・岩虎の跡目相続に關して

巻紙(包紙入)二通

一九書状

(江戸期)

切紙 二通

(文久二年か)二月五日

巻紙(包紙入)二通

讃岐^ら播磨宛。着京報告、備前領播州領台場等の報告

黒田自笑庵^ら黒田播磨宛

切紙 一通

二〇書状

(江戸期)三月四日

切紙(包紙入)二通

(江戸期)

切紙 一通

数馬正春^ら播磨宛。姫様御引越御用懸の件

播磨宛。長崎江差遣

切紙(包紙入)二通

二一書状

(江戸期)正月二十五日

切紙(包紙入)一通

(往返)

切紙(包紙入)二通

枚市内^ら播磨宛。着京報告

濱兵大夫^ら播磨宛。博多御通行之節長州御家中長尾増平^ら難願筋有之

切紙(包紙入)一通

二二御書状付紙

(江戸期)七月二十六日

切紙(包紙入)一通

(江戸期)七月二十六日

切紙(包紙入)一通

黒 兵庫頭方播磨宛。礼状

三 書状

(二五五六)

文政十三年十一月十二日

巻紙(包紙入)一通

黒田源左衛門一脩方播磨宛。市右衛門出立日延、その他近況報告

三 書状

(二三九五)

(江戸後期)十二月十七日

巻紙 一通

浦上信濃外方黒田播磨・立花山城外三名宛。御上洛の際の御供の事、その他長崎当番の状態など

三 書状

(四六四四)

(江戸期)

切紙 一通

播磨方おうや宛。進物の礼

三 書状

(二六二の二)

(江戸期)十月

長綴 一通

黒田播磨宛。海防備、乾龍院様御年回、下国の件

三 書状

(三五九七)

(江戸期)卯月十七日

折紙 一通

睡鴨方策安老宛。井上半兵衛方為養生上方衆罷登候付船中同道仕度

三 書状

(二三九四)

(江戸後期)八月二十一日

巻紙 一通

近江方美作宛。出先方財用に付、送金願

三 書状

(二四九〇)

(江戸期)正月六日

切紙(包紙入)一通

適斉方源左衛門宛。年始祝儀の礼

三 (仮題) 覚

(二六一三)

(江戸期)

切紙 六通

うさぎ・花火の事

三六 幸次事書

(二六一四)

(江戸期)

切紙(包紙入)一通

幸次病の事

三六 書状

(二六一五)

(江戸期)

切紙(包紙入)二通

適斉方美作宛。獮・目白のこと、長崎方帰着祝

三六 書状

(二六二〇)

(江戸期)

切紙 一五通

病状の事、鶉遣候事外

三六 書状

(二六二二)

(江戸期)正月九日

切紙(包紙入)二通

竹田安兵衛・帆足肥富方黒田適斉宛。寒中見舞に付侍従様よりの申達の事

三六 覚

(二六〇六)

(江戸期)

切紙 一通

鶉の事

三六 覚

(二六〇七)

(江戸期)

切紙 二通

日白の事、うその事

三六 (仮題) 覚

(二六〇八)

(江戸期)

切紙 一通

毛長之女犬の事

三六 書状

(二六〇九)

(江戸期)

切紙(包紙入)五通

適斉方美作宛。圭光院様御遺物拝領外

三六 書状

(二五九二)

(江戸期)十一月二十九日

巻紙(包紙入)一通

適斉と源左衛門宛。出獵云々

四書状

(江戸期)

適斉と源左衛門宛。獵の事

切紙(包紙入)二通

(二五九二)

四書状

(江戸期)卯月三日

適斉と源左衛門宛。源左衛門方滞留中の礼

切紙(包紙入)一通

(二五九三)

五書状

(江戸期)

適斉とおかつ宛。はしか流行云々

切紙(包紙入)一通

(二五九四)

五書状

(江戸期)閏六月十三日

適斉と源左衛門宛。兎の事

切紙(包紙入)一通

(二五九五)

五書状

(江戸期)

適斉と源左衛門宛。鹿情報

切紙 一通

(二五九六)

五書状

(江戸期)

適斉とおかつ宛。多吉郎祝の件、子供の守の事

切紙(包紙入)二通

(二五九七)

五書状

(江戸期) 月二十三日

適斉とおかつ宛。宗山参り滞留いたし候

切紙(包紙入)一通

(二五九八)

五書状

(江戸期)十二月二十七日

適斉とおかつ宛。うその事

切紙(包紙入)一通

(二五九九)

五書状

(二六〇〇)

(江戸期)三月九日

適斉と源左衛門宛。痲瘡わずらい

切紙(包紙入)一通

五書状

(江戸期)

適斉とおかつ宛。多吉郎の事外

切紙 三五通

(二六〇一)

五書状

(江戸期)九月十四日

適斉と美作宛。諸事無滞相済み出度存い

切紙 一通

(二六〇二)

五書状

(江戸期)

適斉と源左衛門宛。長崎と帰着祝、鹿獵外

切紙(包紙入)八通

(二六〇三)

六書状

(江戸期)十月九日

適斉と源左衛門宛。鶉取候

切紙(包紙入)一通

(二六〇四)

六下座との書状

(江戸期)

適斉と源左衛門宛。進物に対する礼、出獵の事

切紙(包紙入)五通

(二四一六)

六書状

(江戸期)十二月三日

適斉と美作宛。贈物の礼状

切紙(包紙入)一通

(二三八三七)

六書状

(江戸期)十月晦日

適斉とおかつ宛。美作帰着報告、多吉郎に付

切紙(包紙入)一通

(二九〇五)

六書状

(江戸期)三月十二日

適斉と美作宛。獵の事、獵犬

切紙(包紙入)一通

(二九〇六)

五書状

(江戸期)五月二十一日

適齊とおかつ宛。勝次郎病気見舞、贈物の礼

切紙(包紙入)二通

(一九〇七)

六書状

(江戸期)九月三日

適齊とおかつ宛。子供の事

切紙 一通

(一九〇八)

七書状

(江戸期)九月二十三日

適齊とおかつ宛。子供等に関して、近況

切紙 一通

(一九〇九)

八書状

(江戸期)八月十六日

適齊とおかつ宛。遺物、近況

切紙 三通

(一九一〇)

九書状

(江戸期)

適齊(カ)。学問するに当たつての教諭

切紙 一通

(一九一一)

十書状

(江戸期)十一月二十五日

適齊とおかつ宛。贈物、近況

切紙 一通

(一九一二)

十一書状

(江戸期)三月二十日

適齊とおかつ宛。子供の事、近況

切紙(包紙入)一通

(一九一三)

十二書状

(江戸期)十一月三日

適齊と源左衛門宛。山獺に付

切紙(包紙入)二通

(一九一四)

十三書状

(江戸期)十月二十五日

切紙(包紙入)一通

(一九一五)

十四書状

(江戸期)八月五日

適齊とおかつ宛。多吉郎の事に付

切紙(包紙入)一通

(一九一六)

十五書状

(江戸期)九月二十二日

適齊と源左衛門宛。阿蘭陀人連れ来候漂流人の事

切紙(包紙入)一通

(一九一七)

十六書状

(江戸期)正月二十三日

適齊と源左衛門宛。猪鹿獺に付、雉のお礼

巻紙 二通

(一九一八)

十七書状

(江戸期)

適齊カ。多吉郎の遊び物にうさぎ遣す

切紙 一通

(一九一九)

十八書状

(江戸期)三月二十九日

適齊とおかつ宛。近況報告

切紙 一通

(一九二〇)

十九書状

(江戸期)十一月三日

適齊と美作宛。遺物・魚

巻紙(包紙入)一通

(一九二一)

二十書状

(江戸期)卯月二十四日

適齊と源左衛門宛。子供の事、出獺の事

切紙(包紙入)一通

(一九二二)

二十一書状

(江戸期)六月二十日

適齊と源左衛門宛。近況

切紙(包紙入)一通

(一九二三)

二十二書状

(一九二五)

(江戸期)七月七日

巻紙 一通

適斉らおかつ宛。多吉郎の事

三 書状

(江戸期)九月十四日

切紙 一通

適斉ら美作宛。進物の礼

四 書状

(江戸期)

巻紙 一通

適斉カ。流行病(はしか)に付

五 書状

(江戸期)

巻紙 一通

鱈料理に付

六 書状

(江戸期)

切紙(包紙入)三通

適斉ら源左衛門宛。御首途成諸事無滞相済云々、兎ノ子の飼育に付

七 書状

(江戸期)六月二十四日

巻紙(包紙入)一通

適斉ら源左衛門宛。獵の事、近況

八 書状

(江戸期)三月二十七日

巻紙(包紙入)一通

適斉ら源左衛門宛。出獵云々

九 書状

(江戸期)十二月二十日

巻紙(包紙入)二通

適斉ら源左衛門宛。夜廻りの事、吉左衛門祝儀相済目出度

十 書状

(江戸期)十月七日

切紙 一通

適斉ら美作宛。早く阿蘭陀船出帆いたし候様云々

十一 書状

(江戸期)五月十四日

切紙 一通

適斉らおかつ宛。近況報告

十二 書状

(江戸期)十一月十日

切紙(包紙入)一通

適斉らおかつ宛。美作長崎ら帰着、機嫌伺状

十三 書状

(江戸期)六月二十七日

切紙 一通

適斉カ。猪子飼育

十四 書状

(江戸期)六月三日

切紙 一通

適斉らおかつ宛。時候あいさつ等

十五 口上

(江戸期)十月六日

切紙 一通

適斉カ。病状に付

十六 書状

(江戸期)三月二十九日

巻紙 一通

適斉らおかつ宛。近況報告

十七 書状

(江戸期)卯月十四日

切紙 一通

浜屋敷御成諸事無滞相済、その祝

十八 書状

(江戸期)十二月六日

切紙 一通

適斉ら美作宛。大雪の状況報告

十九 書状

(江戸期)十月五日

切紙(包紙入)一通

一〇〇 書状
適斉とおかつ宛。滞留中のあやつり、酒の事
(江戸期)二月八日

切紙(包紙)一通
(一九四三)

一〇一 書状
適斉と美作宛。多吉郎儀
(江戸期)八月二十七日

巻紙(包紙)二通
(一九四四)

一〇二 書状
適斉と美作宛。琉球花夜来香の説明、平戸久兵衛薩摩之商船頭に頼手に入
(江戸期)正月三日

切紙(包紙)一通
(一九四五)

一〇三 書状
適斉と源左衛門宛。年頭あいさつ
(江戸期)十一月七日

切紙(包紙)二通
(一九四六)

一〇四 (仮題)覚
植樹
(江戸期)

切紙 一通
(一九四七)

一〇五 書状
適斉とおかつ宛。近況報告
(江戸期)正月十日、閏十二月二十二日

巻紙(包紙)二通
(一九四八)

一〇六 書状
適斉と美作宛。鶉飼育等、近況
(江戸期)

切紙(包紙)二通
(一九四九)

一〇七 書状
適斉と源左衛門宛。礼状、年賀
(江戸期)正月三日

切紙(包紙)二通
(一九五〇)

一〇八 書状
三奈木黒田家文書 (一、江戸時代史料)

(一九五一)

一〇九 覚
適斉と源左衛門宛。礼状
(江戸期)十二月十九日

巻紙(包紙)一通
(一九五二)

一一〇 書状
適斉カ。まじないに用ひ候白なすび外
(江戸期)五月九日

巻紙 一通
(一九五三)

一一一 (仮題)覚
適斉とおかつ宛。近況報告
(江戸期)

切紙 一通
(一九五四)

一一二 書状
適斉カ。此品は会津方もらい申候
(江戸期)七月七日

巻紙 一通
(一九五五)

一一三 書状
適斉とおかつ宛。ほうふら等の出来具合等
(江戸期)十一月二十八日

切紙 一通
(一九五六)

一一四 書状
適斉とおかつ宛。礼状、近況
(江戸期)十月十日

切紙(包紙)一通
(一九五七)

一一五 書状
適斉とおかつ宛。多吉郎の儀
(明和期)十月六日

切紙(包紙)一通
(二〇六五)

一一六 書状
適斉と源左衛門宛。到来物の礼状。(二〇六五)二〇七九明和六年下座方之
書状
(明和期)正月七日

切紙(包紙)一通
(二〇六六)

二二五

適斉と源左衛門宛。礼状

二七 書状

(明和期) 九月十四日

適斉と源左衛門宛。近況報告

切紙(包紙)一通

(二〇六七)

二六 書状

(明和期) 八月六日

適斉と源左衛門宛。御本丸御社完成祝

切紙(包紙)一通

(二〇六八)

二九 書状

(明和期) 四月二十七日

適斉と源左衛門宛。婚姻祝

切紙(包紙)一通

(二〇六九)

三〇 覚

(明和期)

秋月山有之灰岩内々手筋ヲ以致所望候処云々

切紙(包紙)一通

(二〇七〇)

三一 書状

(明和期) 八月十四日

適斉と源左衛門宛。弓の羽に付

切紙(包紙)二通

(二〇七一)

三三 書状

(明和期) 十一月二十六日

適斉と源左衛門宛。狸の話

切紙(包紙)一通

(二〇七二)

三三 書状

(明和期) 三月朔日

適斉と源左衛門宛。近況報告

巻紙(包紙)一通

(二〇七三)

三四 書状

(明和期) 正月四日

適斉と源左衛門宛。礼状

切紙(包紙)一通

(二〇七四)

三五 書状

(二〇七五)

(明和期) 二月二十二日

適斉と源左衛門宛。狸の事

三六 書状

(明和期) 七月十一日

適斉と源左衛門宛。山狸のはなし

巻紙(包紙)一通

(二〇七六)

三七 書状

(明和期) 十月二十三日

適斉と源左衛門宛。礼状

切紙(包紙)一通

(二〇七七)

三六 書状

(明和期) 八月七日

適斉と源左衛門宛。犬遣候

切紙(包紙)一通

(二〇七八)

三九 書状

(江戸期)

適斉カ。近況報告など

切紙 五通

(二八六四)

三〇 覚

(江戸期)

適斉カ。時候の挨拶

切紙 一通

(二八六五)

三三 覚

(江戸期)

適斉。水仙の事

切紙 一通

(二八六六)

三三 書状

(江戸期) 六月朔日

適斉と美作宛。近況

切紙 一通

(二八六七)

三三 口上

(江戸期)

適斉カ。あめ遣候

切紙 一通

(二八六八)

一四 書状

(江戸期)三月二十三日

適齊ら美作宛。目白とれ申候

(二八六九)
切紙(包紙入)一通

一三 書状

(江戸期)

適齊ら美作宛。薩州桜島変異の書付、多吉郎の事、長崎らの帰着祝

(二八七〇)
切紙(包紙入)三通

一二 書状

(江戸期)五月二十一日

適齊らおかつ宛。多吉郎の様子

(二八七一)
切紙 一通

一七 覚

(江戸期)

適齊カ。あまねりの拵様習得候云々

(二八七二)
切紙 一通

一六 書状

(江戸期)十一月六日

適齊ら美作宛。髪置之祝儀云々

(二八七三)
巻紙 一通

一五 口上

(江戸期)九月十日

適齊。虫、あめの事

(二八七四)
巻紙 一通

一四 書状

(江戸期)十月十八日

適齊ら美作宛。鉄砲台木に付

(二八七五)
巻紙(包紙入)二通

一三 書状

(江戸期)如月二十九日

適齊ら。源左衛門宛。近況

(二八七六)
巻紙(包紙入)二通

一二 書状

(江戸期)九月三日

(二八七七)
切紙 一通

三奈木黒田家文書 (一、江戸時代史料)

一三 書状

(江戸期)八月六日

適齊らおかつ宛。兔の事

(二八七八)
巻紙 一通

一四 覚

(江戸期)

適齊カ。風の被害覚

(二八七九)
切紙 一通

一四 覚

(江戸期)二十三日

適齊。虫等の事

(二八八〇)
切紙 一通

一四 書状

(江戸期)九月十九日

適齊らおかつ宛。食物・あめに付

(二八八一)
切紙 一通

一四 書状

(江戸期)十月十四日

適齊。美作よりの状の返事の件

(二八八二)
切紙 一通

一四 書状

(江戸期)三月十九日

適齊らおかつ宛。病氣見舞

(二八八三)
切紙 一通

一四 口上

(江戸期)

適齊カ。ぼうふらの出来具合など

(二八八四)
切紙 一通

一五 (仮題) 覚

(江戸期)

上座しはの者の娘の事

(二八八五)
切紙 一通

一五 書状

(二八八六)

(江戸期)七月二十六日
適斉とおかつ宛。時候のあいさつ

巻紙 一通

一五 口上

(江戸期)
適斉カ。外記方の土産の礼

切紙 一通

一五 覚

(江戸期)
適斉カ。出福いたし兼

切紙 一通

一五 (仮題) 覚

(江戸期)
賜り物云々、襟巻の礼、日田もめんの事外

切紙(包紙入)二通

一五 書状(一部破損)

(江戸期)九月十四日
適斉とお美作宛。菓子ノ礼

巻紙 一通

一五 口上(破損部あり)

(江戸中期)九月二十三日
近況報告

巻紙 一通

一五 覚

(江戸期)
三奈木の鱈の事

切紙 一通

一五 書状

(江戸期)十二月六日
適斉とお美作宛。多吉郎誕生日祝云々

切紙(包紙入)二通

一五 覚

(江戸期)
竹の子、目白の事

切紙(包紙入)一通

一六 (仮題) 覚

(江戸期)六月十三日

切紙 一通

一六 書状

(江戸期)三月二十六日
獺犬・獺に付

切紙(包紙入)二通

一六 書状

(江戸期)九月十一日
適斉とお美作宛。家名改の祝儀云々

切紙 一通

一六 (仮題) 覚

(江戸期)
治療の事に付

切紙 一通

一六 書状

(江戸期)九月十日
適斉とお美作宛。獺之儀云々

巻紙 一通

一六 書状

(江戸期)十一月廿一日
適斉とおかつ宛。多吉郎へ遣候あめのことなど

巻紙 一通

一六 書状

(江戸期)九月二十一日
適斉とおかつ宛。吹出物の事

巻紙 一通

一六 (仮題) 覚

(江戸期)
適斉カ。あめの作り方など

切紙 一通

一六 書状

(江戸期)十二月二十八日
適斉とおかつ宛。食物の事外

巻紙 一通

一六 書状

(江戸期)十二月十九日

適齊におかつ宛。滞留中の礼

(一九〇〇の五)
切紙 一通

一七〇 書状

(江戸期)十二月三日

適齊と源左衛門宛。奥方平産祈禱の札守云々、出産祝

(一九〇一)
巻紙(包紙入)一通

一七二 書状

(江戸期)正月十四日、五月二十七日

適齊におかつ宛。贈物、甚左衛門無事着

(一九〇二)
切紙(包紙入)二通

一七三 書状

(江戸期)九月四日

適齊と源左衛門宛。吉左衛門との面会の報告

(一九〇三)
切紙(包紙入)一通

一七三 書状

(江戸期)五月十一日

適齊と源左衛門宛。能の催しに付

(四〇一九)
切紙(包紙入)一通

一七四 書状

(江戸期)

適齊と美作宛。淋疾処方に関する件、養巴、道治、道盲へ手前を伝授いたし

(二五七)
切紙(包紙入)二通

置候業の事

一七五 下座よりの書状

明和三年十二月十六日

1 書状

(明和期)十月二日

適齊と源左衛門宛。無事相暮居中候

(二五二の二)
切紙(包紙入)一通

2 書状

(明和期)七月十六日外

(二五二の二)
切紙(包紙入)四通

3 書状

適齊と源左衛門宛。市右衛門病状の事、六太夫長崎へ被召連候儀外

(二五二の三)
切紙(包紙入)四通

4 書状

(明和期)九月二十六日
適齊と源左衛門宛。近年役人中之風俗甚不しまりに付、寛(鎮守)の事、女中等につき書上)

(二五二の四)
切紙(包紙入)一三通

一七六 内匠と半之允宛書状

1 書状

(江戸期)六月四日

内匠徳と半之允宛。見舞状

(二五六の二)
切紙 一通

2 書状

(江戸期)七月十五日

内匠徳と半之丞宛。式番々之面々交代の時期等報知

(二五二の二)
切紙(袋入)一通

3 書状

(江戸期)五月二十一日

内匠徳と半之允宛。菓子等送付報知

(二五六の三)
切紙(包紙入)一通

4 書状

(江戸期)八月二日

内匠徳と半之丞宛。式番衆と交代に付帰福予定等報知

(二五六の四)
切紙(袋入)一通

5 書状

(江戸期)

内匠徳と半之丞宛。ひしほ並びに茄子送付の礼

(二五六の五)
切紙(袋入)一通

6 書状

(二五六の六)

(江戸期)六月十二日 切紙 一通

内匠徳半之允宛。御家譜会一度有之たる由承知、病状報告

7書状 (江戸期)五月十七日 切紙 一通 (二五六の七)

内匠徳半之丞宛。病状、其元禮古筋之儀無油断御心掛可有之

8書状 (江戸期)七月二十二日 切紙 一通 (二五六の八)

内匠徳半之允宛。帰路道割の予定

9書状 (江戸期)六月二十三日 切紙 一通 (二五六の九)

内匠徳半之允宛。於御前会読之件

10書状 (江戸期)六月二十八日 切紙 一通 (二五六の一〇)

内匠徳半之允宛。子供等兎角食物など用心の事

11書状 (江戸期)五月十九日 切紙 一通 (二五六の一)

内匠徳半之允宛。新居間其外立具廻り之儀差図の事、庭のブドウにつき指

示 (江戸期)五月十九日 切紙 一通 (二五六の一)

一七書状 (江戸期) 切紙(包紙入)一通 (三六九一)

秋月藩内藤熊蔵三奈木間淇園・加藤樽園宛。縁談の事

一七書状 (江戸期) 卷紙 一通 (三七二三)

少将様旅行の件

一七書状 (江戸期) 切紙 一通 (三七二六)

(江戸期)六月二十五日

一八書状 内膳番播磨宛。連名に而差上候書付の事 (江戸期) 卷紙 一通 (三七七一)

一八書状 (江戸期) 歳暮、進上物 (江戸期) 池田市九郎・桜羽安兵衛長谷川左近右衛門宛。播磨様住吉辺出浮之儀 (江戸期) 切紙 一通 (三八三九)

一八書状 (江戸期) 平左衛門播磨宛。見舞状、拜領物の礼 (江戸期) 切紙(包紙入)一通 (三八四一)

一八書状 (江戸期) 折紙(包紙入)一通 (三八七七)

一八書状 (江戸期) 九郎兵衛三左衛門宛。見舞状 (江戸期) 五月十九日 折紙(包紙入)一通 (三八七九)

一八書状 (江戸期) 白字逸花静宛。御機嫌伺(歌を含む) (江戸期) 七月十六日 切紙 一通 (三八七九)

一八書状 (江戸期) 正月三日 卷紙 一通 (三九〇三)

一八書状 待井次郎兵衛播磨宛。年始のあいさつ (江戸期) 二月二日 切紙(包紙入)一通 (三九五〇)

一七書状 正大夫三左衛門宛。元日御規式延引掛合の事外 (江戸後期) 卷紙 一通 (三三八九)

一八書状 美濃守様御容体之儀並びに浪人共騒乱之儀に付 (江戸後期) 卷紙 一通 (三三九六)

一五 書状 (江戸後期)六月十三日
中村到方大和宛。政治社会状勢
巻紙 一通

一六 書状 (江戸後期)
長崎表事件の憂、桜井宮に祈念被遊可被為在哉
切紙 一通 (二四〇〇)

一七 書状 (江戸後期)正月二十二日
毛利内記・大音伊織方林掃部・黒田三左衛門宛。西洋砲衛稽古之儀
巻紙 二通 (二四〇三)

一八 道宗居士御書翰 (江戸期)五月八日外
切紙(包紙入) 一通 (二四三三)

一九 書状 (江戸期)五月十七日
安永(人名)一件に付
切紙(包紙入) 一通 (二四四二)

二〇 書状 (江戸期)正月十九日
櫛橋又之進方黒田三左衛門宛。黒田播磨看護の為出立の許可
切紙 一通 (二五四〇)

二一 道宗居士書翰 (江戸期)
切紙 一通 (二五五七)

2 書状 (江戸期)
四宮孫右衛門方源左衛門宛。主水筑後出立の際の事、光台院様病状、長崎御
番関係外
切紙 一通 (二五五七)

3 書状 (江戸期)
源左衛門方小野崎外宛。祝儀御礼外
切紙 一通 (二五五七)

三奈木黒田家文書 (一)、江戸時代史料)

二二 書状 (江戸後期)
御書御請並びにその例
切紙 三通 (二五六五)

二三 書状 (江戸期)三月九日
加藤吉左衛門一敦方源左衛門宛。爰元隠居様子
切紙(包紙入) 二通 (二六〇五)

二四 書状 (江戸期)
小河団右衛門・浅香登方源左衛門宛。少将様・侍従様江御礼寛外
切紙(包紙入) 四通 (二六一〇)

二五 書状 (江戸期)七月三日
上屋敷宛。暑中見舞、なすびのこと外
切紙(包紙入) 四通 (二六一二)

二六 書状 (江戸期)正月七日
四宮源次郎方奥様宛。年始のあいさつ
折紙 一通 (二六一二)

二七 書状 (江戸期)五月七日
加藤吉左衛門一敦方美作宛。刀之儀、御煙筒之儀
切紙 一通 (二六一六)

二八 書状 (江戸期)正月十七日
毛屋主水久親方播磨宛。粕谷岡右衛門墓参願に付
巻紙 一通 (二六五二)

二九 書状 (江戸期)正月十八日
病気につき勤務出来兼その断状
切紙 一通 (二六五四)

三〇 書状 (江戸期)三月四日
折紙(包紙入) 一通 (二六九八)

二〇四 書状

黒田三左衛門(二任)と加藤半允宛。鶉に対する礼状

(二六九九)

(江戸期)六月十三日

折紙(包紙入)一通

二〇五 書状

黒田源左衛門(二貫)と加藤半允宛。礼状

(二七三三)

文政三年

切紙(包紙入)四通

二〇六 道崇居士御書翰

上野清五郎江着差遣候節之書状並びにその返礼

(二七八二)

(江戸期)

切紙 四九通

二〇七 書状

四宮源右衛門と源左衛門宛。勤め方関係、礼状、病状報告外

(二三三三)

(江戸期)七月二十七日

切紙(包紙入)二通

二〇八 書状

河村暁山(武格)と三左衛門宛。御内話申上候趣(尊公様老衰相増)

(二〇〇〇)

(江戸期)四月二十六日

切紙(包紙入)一通

二〇九 書状

湯浅七郎兵衛と村田兵左衛門宛。了簡違いに付詫状

(二〇九九)

(承和四年カ)八月五日

黒田三左衛門(二任)と黒田源左衛門・黒田又左衛門宛。中務卿逝去の件、久留米に居申祐筆の事

二一〇 覚

(江戸期)九月十四日

一紙 一通

木付三郎四郎と飯田角衛・月瀬宅兵衛宛

二一一 書状

(江戸期)八月五日

切紙 一通

金十郎と喜兵衛宛。借用依頼状

二二三 書状

(江戸期)十一月十四日

切紙 一通

安部藤三郎と萩本伊右衛門・間九太夫宛。切手銀落手

二二三 書状

(江戸期)八月九日

切紙 一通

銭請取為持進候

二二四 書状

(江戸期)八月二十九日

切紙 一通

藤村一学・瀬川三木之介と大原加兵衛宛。銀子の御礼

二二五 書状

(江戸期)正月二十五日

切紙 一通

加藤三郎左衛門と源左衛門宛。招待の断り

二二六 書状

(江戸期)六月十三日

切紙 一通

加藤四郎右衛門と源左衛門宛。病状報告

二二七 書状

(江戸期)正月八日

切紙 一通

建部太左衛門と源左衛門宛。健康状態に付

二二八 書状

(江戸期)四月十七日

切紙 一通

加藤七郎左衛門と源左衛門宛。長崎と帰着祝

二二九 書状

(江戸期)十月十一日

切紙 一通

加藤直右衛門と源左衛門宛。仕舞への招待に対する礼状

二三〇 書状

(江戸期)七月二十八日

切紙 一通

三三 書状 加藤七郎左衛門一敦源左衛門宛。時候の挨拶

(江戸期)三月二十六日

切紙 一通 (二四八五)

半之丞源左衛門宛。会合延引に付

三三 書状

(江戸期)四月七日

切紙 一通 (二四八六)

市左衛門源左衛門宛。勅使御領内御入込に付

三三 書状

(江戸期)四月二十二日

切紙 一通 (二四八七)

小河遊外源左衛門宛。到来物に対する礼状

三四 書状

(江戸期)十一月二十四日

切紙 一通 (二四八八)

晴字源左衛門宛。太宰府参詣並びに獵の誘い

三五 書状

(江戸期)二月二十一日

切紙 一通 (二四八九)

重之助古之丞宛。源左衛門太宰府参詣の際のお供

三六 御書通写

(江戸期)

長帳 一冊 (五六二)

中村善兵衛宛。礼状外

三七 書状

(江戸後期)七月九日

切紙(包紙入)二通 (三五八)

黒田三左衛門源正太夫外宛

三八 書状

(江戸期)

折紙 一通 (三四三)

黒田美作吉田六郎太夫外宛。太刀・馬献上候処御書被成下に付

三九 書状

(江戸期)

折紙 一通 (三四一)

三〇 書状 (江戸期)閏九月二日 久野四兵衛一本三左衛門宛。着崎目出度、黒田珍事一件外 切紙 二通 (三三七)

美作源左衛門宛。此箱之内一族之家老衆江改を受候二不及候

(江戸期)

切紙 一通 (六二九)

道崇居士御書翰

(江戸期)

四宮孫右衛門源左衛門宛。礼状外 切紙(包紙入)二通 (二七八四)

三三 書状

(江戸期)卯月二十一日

黒宮内源左衛門宛。見舞 折紙 一通 (二七九五)

三三 書状

(江戸期)十月二十三日

三太殿内組のこと願の件 折紙 一通 (四三〇四)

三三 書状

(江戸期)

美作宛。当地御滞留二付御機嫌伺状外 切紙 一通 (四〇三三)

三三 書状

(江戸期)

山獵一件 折紙 一通 (四〇四〇)

三三 書状

(江戸期)

鶴祝言之事云々、外 折紙 一通 (四〇四九)

三三 書状

(江戸期)六月六日外

面談のこと、長崎手当に関する書付の事 折紙 一通 (四〇四九)

三三 書状

(江戸期)

面談のこと、長崎手当に関する書付の事 折紙 一通 (四〇四九)

三三 書状

(江戸期)

面談のこと、長崎手当に関する書付の事 折紙 一通 (四〇四九)

三三 書状

(江戸期)六月六日外

面談のこと、長崎手当に関する書付の事 折紙 一通 (四〇四九)

三三 書状

(江戸期)六月六日外

面談のこと、長崎手当に関する書付の事 折紙 一通 (四〇四九)

三三 書状

(江戸期)六月六日外

面談のこと、長崎手当に関する書付の事 折紙 一通 (四〇四九)

三六 断簡

(江戸期) 切紙 一枚 (四〇五五)

贈答品のお礼

三九 書状

(江戸期) 切紙 一通 (四〇六八)

面談の覚

四〇 書状

(江戸期)十二月十一日 切紙 一通 (四一七四)

内任村庄ヤ入江茂七郎方下村吉郎宛。雇入之者不埒之儀

四二 書状

(江戸期) 切紙(包紙入)二通 (四二一八)

大求馬方内匠宛。大伊兵衛の高砂川船入の件の書状添

四三 書状

(江戸期) 切紙 一通 (四四三七)

幕末社会政治情勢

四四 書状

(江戸期) 切紙 一通 (四四五七)

酒井侯御上之評論被為在候儀云々

四五 書状

(江戸期) 巻紙 一通 (四四七九)

見舞の礼

四六 書状

(江戸期) 切紙 一通 (四六六四)

播口用心之事

四八 書状

(江戸期) 切紙 一通 (二八二九)

四七 書状

引越のこと、父子祝儀に参候様之都合間合 (江戸後期) 一紙綴 一綴 (三七八七)

異国船の事、警備関係

四九 書状

(江戸期) 一紙 一枚 (三八一一)

習字の手本か。内祝の会への出席通知

五〇 某書状

(江戸期) 切紙 二通 (四〇七二)

女性方の書状

五一 清香院自書

(江戸期) 切紙(包紙入)三通 (四〇二八)

美屋方源左衛門宛。御機嫌伺

五二 光台院様御直書

(江戸期) 切紙(包紙入)三通 (二七七)

母方源左衛門宛。菓子有礼

五三 年始状

(江戸期) 切紙 三通 (二七六八)

立花平左衛門方三左衛門宛。又之進祐恕方播磨外宛。櫛橋又之進外方浦上

彦兵衛宛

五四 書状

(江戸期)正月十四日 切紙 一通 (四二二二)

篠原村樹・中山静門・篠原真方間淇園・加藤樽園宛。江藤良英出福の事

五五 書状

(江戸期)十月十七日 切紙 一通 (四二二三)

佐左衛門方忠左衛門宛。加左衛門方調べの件

三五 書状

(明治初年)

間淇園・加藤樗園宛。一雄の件

卷紙 一通 (四二一五)

三六 書状

(明治初年)十二月六日

加藤樗園方間淇園宛。籠稽古の儀、太田久平出銀道付之儀

卷紙 一通 (四二一六)

三七 書状

(明治初年)四月七日

淇園方静眠宛。病氣に付面会の断り状

切紙 一通 (四一四二)

三八 書状

(明治初年)二月十七日

加藤樗園方間淇園宛。若殿代理により判形取調子の儀

切紙 一通 (四一六八)

三九 書状

(明治初年)一月二十四日

森田喜平次方黒田一雄内阿部庄作宛。御屋敷様出銀願

切紙(包紙入)一通 (九一七の八)

四〇 書状

(明治初年)

鳥居篤後方

卷紙(包紙入)一通 (四二一九)

四一 書状

(明治初年)二月九日

加藤樗園方間淇園宛。一作地見分、加藤直右衛門役儀の件

卷紙 一卷 (五五七)

四二 書状

(明治初年)五月二十五日

郡英暉方黒田一美宛。出勤要請

切紙 一通 (三七八九)

四三 書状

(明治初年)十二月二十一日

切紙 一通 (三七九〇)

三奈木黒田家文書 (一、江戸時代史料)

四四 書状

(明治初年)四月九日

樗園方静眠宛。御布告写の事

切紙(包紙入)一通 (四一六七)

20 その他

一道下公碑銘

寛永元年

書冊 一冊 (二六一二)

二春芳園之記

元禄九年

書冊 一冊 (四六三四)

三(仮題)覚書

享保十一年三月二十七日

書冊 一冊 (四二六八)

四柳川加藤一卜考書

明和二年十一月

切紙(包紙入)三通 (二四六)

五(仮題)絵図覚

寛政四年

切紙 一通 (二四八の九)

六警固宮幣占名「田鶴」

唐絵目利石崎慶太郎図之由

折紙(包紙入)一通 (四八一六)

七日暈之図

文政五年正月二十一日

一紙 一枚 (二〇三七)

五半時ヨリ四半時マテ(太陽)

八 修学院村御茶家寿月観蔵六庵御幸御列写

文政七年九月二十一日

九 御並様御名元書付山路藤十郎より差遣候

文政八年

順序

一〇 深秘心之覚

天保七年

山獵・大筒・網獵の事

二 諸事控

未ノ十二月迄(明治四年カ)

三 婦人たるもののおすれましくつとむへき条々

(江戸期)

三 年号

(江戸期)

天文ノ文政

四 志摩郡大蛇崎實録

(江戸期)

正保から慶応までの記録

五 家紋考

(江戸後期)

六 覚

(江戸期)

災害

七 (仮題)覚

(江戸期)

(二〇五)

長帳 一冊

(二二七二)

切紙(包紙入)一通

(二五四九)

切紙(包紙入)二通

(二〇一〇)

長帳 一冊

(三八三〇)

書冊 一冊

(四八六七)

切紙 一枚

(二九五二)

書冊 一冊

(二二〇二)

小横帳 一冊

(四六八三)

切紙 一枚

(二五九)

切紙(包紙入)一通

不換金と申葉の件

六 (仮題)覚

(江戸期)

書物目録

五 しん上目録

(江戸期)

染小袖外

三 猿歌

(江戸期)

三 (仮題)覚

(江戸期)

名所見物云々

三 (仮題)掛軸覚

(江戸期)

三 占い

(江戸期)

四 神号の事

(江戸期)

五 人生年名

(江戸期)

六 新花椿花形付

(江戸期)

七 (仮題)諸種桜覚

(江戸期)

六 新花椿

(江戸期)

(四六七七)

切紙 一通

(四六五三)

折紙 一通

(四六三九)

巻紙 一通

(四六三八)

巻紙 一通

(四四三九)

切紙 一通

(四三九八)

切紙 一通

(四〇六五)

一紙 一枚

(四〇六六)

切紙 一枚

(四〇二七)

長帳 一冊

(四〇五四)

切紙 一通

(四〇二二)

小横帳 一冊

三三六

元 朝顔作方

(江戸期)

(三七三四)
切紙 一通

三 上椿名覚

(江戸期)

(三七三五)
切紙 一枚

三 (仮題)花の種類

(江戸期)

(四七六二)
切紙 一枚

三 御庭摘花之内

(江戸期)

(四二九八)
切紙 一通

三 甲子循環之図

(江戸期)

(四三二〇)
一紙 一枚

観獄樓蔵版。干支

四 書付

(江戸期)木版

(四六七〇)
断簡 四枚

安政二年十月二日の地震の模様(一部)

三 総之様ヨリ御書二通

(江戸期)

(一九九五)
包紙のみ

三 四位五位皆具

(明治期)

(四三〇九)
一紙 一枚

束帯外

三 粧脇当雛形

(江戸中期)

(一三三〇)
切紙(包紙入)一通

衣装

三 周之王制略図

(明治以降)

(六三三三)
一紙 一枚

三 諸事控

(明治初期)

(九〇六)
長帳 一冊

三奈木黒田家文書 (一)、江戸時代史料)

四 (仮題)掛軸

(江戸期)

(四八八二)
巻紙 一卷

字書

四 (仮題)語源覚

(江戸期)

(二〇二五)
切紙 一通

母羅、母衣、氏羅外

四 覚

(江戸期)九月

(三九四九)
巻紙(包紙入)一通

四 覚

(江戸期)

同名一同御出会被成下候儀ハ延引願

(二六一八)
切紙 一〇通

とうなす、鹿狛、せきれい、ほうぶら、瓜種由来、その他風俗習慣

四 覚

(江戸期)

(二六一九)
切紙 八通

地藏へ願立、まじないのこと、厄除

四 凌湖先生真書千文

(江戸期)

(四七二二)
折本 二冊

日、月

四 四體世話千字文

明治七年刊、木版

(四七二二)
折本 一冊

柳原喜兵衛蔵梓

四 文覚報鎌倉將軍書(写)

(正治二年正月十日)

(四三五九)
巻紙(包紙入)一枚

習字手本、頼家より御祈禱被仰所高雄文覚上人より被参重而の御返事

四 (仮題)書状案文

(江戸期)丙寅年

(四三三九)
折本 一冊

四 (仮題) 書状案文
習字手本、江戸使者の件、饗応の礼、贈答外

(江戸期)

折本 一冊 (四三三八)

五 (仮題) 書状案文
習字手本、茶道具、花墨、和歌

(江戸期)

折本 一冊 (四三三六)

五 (仮題) 書状案文
習字手本、花見招待、帰着祝、普請、贈答外

(江戸期)

折本 一冊 (四三三五)

五 (仮題) 書状案文
習字手本、御参禮云々、接待

(江戸期)

折本 一冊 (四三三四)

五 (仮題) 書状案文
習字手本

(江戸期)

折本 一冊 (四三三三)

五 書状(写)
習字手本、招待状、贈答品の礼

(江戸期) 九月五日

巻紙 一通 (四二八六)

五 書簡集
習字手本、定家、寺社修覆のお礼

(江戸期)

折本 一冊 (四二八五)

五 書簡集
習字手本、儀礼的なもの

(江戸期)

折本 一冊 (四二八一・四二八三)

五 (仮題) 書状案文
習字手本

(江戸期)

折本 一冊 (四三三二)

五 (江戸期)
習字手本、招待状、贈答品の礼

五 書状(写)

(江戸期) 九月五日

巻紙 一通 (四二八六)

五 書簡集
習字手本、定家、寺社修覆のお礼

(江戸期)

折本 一冊 (四二八五)

五 書簡集
習字手本、儀礼的なもの

(江戸期)

折本 一冊 (四二八一・四二八三)

五 書状
習字手本

(江戸期)

一紙 一通 (二〇五〇)

五 下坐帳
習字手本、会合案内状

天保九年四月

小横帳 一冊 (二〇二二)

五 (仮題) 奇形シャムの雛覚
大名列記

(江戸期)

切紙一通・絵図一枚 (二六一七)

六 (仮題) 下絵
習字手本

(江戸期)

包紙入 三枚 (三九六一)

六 縫下絵
明治九年十一月

加藤瀧所有物

長帳 一冊 (四四三〇)

六 下絵
紀元二五四一年

一括

一括 (四三四七)

二、明治以降史料

1 国内政治

一 政体概略

(明治初年)

福岡藩知事

二 達

(明治二年) 十二月

藩知事職令について

三 (仮題) 覚

明治七年一月

旧武士の身のふり方等に対する意見書

四 (仮題) 覚

(明治以降)

征韓論一件

五 (仮題) 覚

(明治) 十年三月

鹿児島への航路模様

三奈木黒田家文書 (二)、明治以降史料)

似顔、縫

三 (仮題) 下絵

(明治以降)

四 (仮題) 覚

(江戸期)

花壇、上北沢村牡丹屋敷

(四七〇一)

一括

(二四八の五)

切紙 一通

六 貴族院令

明治二十二年二月十一日

七 書簡

明治三十三年印刷

八 意見書

伊藤博文と黒田一義宛。政友会の創立と加入勧誘

明治四十年二月印刷

板垣退助と黒田一義宛

九 書簡

明治三十八年十月三十日

不破国雄と黒田一義宛。当選の通知の事

二〇 (仮題) 覚

(明治初年) 二月

大藩中藩小藩の区別

二一 (仮題) 賞罰覚

(明治初年)

行政官と宇都宮宛

二三 於東京御処置相成候姓名

(明治初年)

付、御達書之写 (華族ト可称)

二四 (仮題) 覚

(明治初年) 二月

各藩より太政官江貢士差出様

(三三七七)

書綴 一綴

(三二一〇の二)

一通

(三二一〇の八七)

巻紙 一通

(四五八九)

一通

(三八五)

切紙 一通

(四四一三)

書綴 一綴

(四四二二)

書綴 一綴

(三八六)

切紙 (包紙) 一通

2 行政

一 (仮題) 通達 (四八二六)

明治五年四月九日 一通

黒田一葦外宛。行状明細提出の事

二 明細書雛形(草案) (四八二五)

(明治以降) 一綴

家督から隠居まで

三 御布告写 (九五五)

明治五年二月八日写 長綴 一綴

改姓名届出、士族卒商売取止メ之節届書

四 記 (四七五二)

明治六年七月四日 一通

小野少属と天野弥十郎宛。黒田一葦申告書云々

五 覚 (四二五〇)

(仮題) 明治六年 書冊 一冊

諸願、村政関係

六 漁船御検印願 (一一〇〇)

明治九年十二月 一通

黒田一雄と県令渡辺清宛

七 復名願 (二八〇)

明治十年七月二日 一通

黒田聴鶯と福岡県令渡辺清宛。俳名聴鶯が戸籍記載となつてゐるので一美

に復名したき由

八 福岡日日新聞附録 福岡縣広報 (三三三八)

明治二十八年二月二十一日 一通

九 記 (一一〇七)

(明治五年) 壬申七月 包紙のみ

黒田一雄と福岡県庁宛。稽古館二寸志差出置候處不用ニ付差下ケ願

一〇 盜難始末書付ヲ以奉申上候 (九六〇)

(明治五年) 壬申三月 一通

馬場新町上田甚五郎宛

二 記 (九六四)

(明治五年) 壬申十一月 一通

黒田一雄宛。御達之海軍水夫火夫望御座候

三 諸押米之儀ニ付伺 (三〇三〇)

明治七年 書綴 一綴

實属士族同論中総代黒田一雄外七名と県令渡辺清宛。禄制に関し

三 銃器寸志差上願 (九五六)

明治十年四月 書綴 一綴

黒田一雄聞次加藤三郎平と福岡県令渡辺清宛

四 銃器寸志差上願外 (三九二二)

明治十年四月二十一日 書綴一綴・二通

加藤三郎平宛。付、書簡(賊兵秋月と繰込候一件)

五 書状 (三二〇三)

(明治十九年頃) 一月二十六日 一通

年延上納の儀に付

六 特別御賞典之儀ニ付上申書(起案) (四三七九)

明治三十一年 書綴 一綴

賞典禄御下渡願

七 族称変届 (三三四四)

明治三十三年五月 書綴 一綴

黒田一義宛

八 戸籍訂正申請却下ノ決定ニ対スル抗告 (三三六一)

明治三十三年

黒田一義

書綴 一綴

一九(仮題)黒田家戸籍関係書類

(三三二四)

明治三十二・三十三年

書綴三綴・三通

謄本、戸籍訂正申請、稟伺

二〇第五回国庫債券募集要項

(三五三三の二)

明治三十八年四月二十日官報

五通

大蔵省第二十六号参照

二一第三回国庫債券募集関係

(三五三三の二)

明治三十七年十一月十九日

一通

黒田一義宛

三(仮題)申請書雛形

(二八三三)

(明治末カ)

一通

三(仮題)賞状

(三二一八)

明治十二年七月一日

一通

福岡県より黒田一雄宛。西南騒擾之際軍用の大小砲献納

三(仮題)兵役免除通知

(四六一一)

大正六年六月十一日

一通

黒田義夫宛

三(仮題)徴兵徴集猶予願并期限切通知

(四三五五)

明治四十五年一月二日

三通

黒田近雄外宛

三(仮題)覚

(四二七九)

(明治以降)

一通

黒田一葦宛。県庁出頭之事

三(仮題)決定謄本(写)

(三五八六)

三奈木黒田家文書 (二)、明治以降史料)

明治三十三年六月二十五日

戸籍訂正の決定

一通

三(仮題)墓地検査願

(三七〇六)

明治三十年

書綴 一綴

黒田一義

三(仮題)農商務省令改正

(三四一〇の二)

明治三十二年四月

一通

官有森林原野払下

三(仮題)家禄賞典禄全部給与ノ件出願不採用通知

(三五三三)

明治三十八・四十五年

(袋入)二通

大蔵省国債局

三(仮題)書簡

(三二一〇の五)

明治四十二年七月

一通

野村祐雄より黒田一義宛。家禄給与不足額下渡の義に付行政訴訟発起の件

三(仮題)那珂郡村々中へ達

(四七九八)

(明治五〇十年頃)

一紙綴 一綴

黒田播磨一雄外より。撃成様お迎え云々

3 竹槍一揆

一(仮題)明治六年六月一揆関係

1記(一揆の件)

(四二七八の二)

明治六年七月二十九日

一通

黒田一葦

2 縣内一揆蜂起ニ付参事水野千波殿證書

(四二七八の二)

明治六年六月

(包紙入)一通

三奈木黒田家文書 (二、明治以降史料)

3記(一揆関係)

明治六年七月三日

一通

(四二七八の三)

岩田葉山子

4(仮題)一揆関係覚

明治六年七月二十九日

一通

(四二七八の四)

5書状

明治六年七月三日

一通

(四二七八の五)

萩原静枝。今般不容易御事件ニ

6記(一揆の件)

明治六年七月二日

一通

(四二七八の六)

中村湊

7覚(一揆の件)

明治六年七月三日

書綴 一綴

(四二七八の七)

守田雪平

8記(一揆の件)

明治六年七月二日

(四二七八の八)

高宮村中嶋岩義・志間千方太

4 三奈木黒田家

(1) 履歴

一内願書

(明治以降)

(三三四五)

書綴 一綴

黒田一義家筋之儀。付、履歴書(黒田溥整)

二(仮題)先代播磨(一葦)の事蹟調

(四五八四)

(明治以降)

(2) 旧藩主関係

三續書

明治九年六月三十日

書冊 一冊

(三四〇七)

黒田長知統柄。華族開館江差出扣

四家憲写

明治十七年

書冊 一冊

(二八五〇)

黒田長溥

五記

(明治以降)

(三九一八)

家令、家扶者、料理人等の規程

六家憲

明治十七年十月九日

書綴 一綴

(四二四〇)

黒田長知、長成

七家憲

(明治以降)

書冊 二冊

(三二六七)

八憶記

(明治以降)

小横帳 一冊

(四二四九)

家憲、貸費生現則、黒田家基財産

九(仮題)覚

顧問之職ニ被仰付候件

書綴 一綴

(三九一六)

一〇書状

(明治以降)

長綴 一綴

(三九二〇)

顧問の職お断願

二(仮題)家則

(三三三〇)

三 長知書状 (明治以降)

明治二十年五月十日

一雄解雇の儀

書綴 一綴

(三九七八)

一通

三 長知公訓示

明治二十年十二月

故從二位公の遺産調査の事

(三五八四)

一綴

四 回章

(明治以降)

(三三六四)

一通

福沢涉・加藤新次郎各委員。黒田家財政会議案内

二五 (仮題) 所有財産并故從二位公ノ遺産調査報告書

(明治十七年以降)

(四三八〇)

書綴 一綴

二六 重器御預り願

明治二十五年四月

黒田一義と長成宛

(三二一〇の三一)

一通

二七 侯爵御名地役場拂

明治三十四年一月

税領収、黒田長成分

(三二〇五)

(袋入)一通

二八 侯爵御名地切符

明治三十五年一月

黒田長成分、税領収

(三二〇六)

(袋入)一通

二九 相談人会議概則

(明治以降)

書綴 一綴

(四二四二)

三〇 故從二位公御石棺之銘石摺

(明治以降)

(二八五五)

(包紙入)一通

(3) 一族関係

三 (仮題) 覚

明治十五年五月七日

加藤新太郎方財事の件

(四四〇五)

一通

三 林毛下座御用諸事控

明治二十一年十一月二十七日

吉川

(二九五八)

長帳 一冊

三分家願

大正五年

黒田一義叔父黒田八十雄、黒田一義弟黒田保吉、黒田一義弟黒田近雄

(二九六八)

書綴 一綴

四 書簡

大正五年十一月一日

黒田直躬と黒田一義宛。八十雄分家願の件

(三二一〇の五四)

一通

五 親族記名調印

(明治以降)

(三二一〇の三三)

一通

(4) 旧家臣関係

六 口上之覚

明治五年八月

江上寿。一族長作儀歎願御治定に相成迄拝借被仰付度

(五四三)

長綴(包紙入)一綴

七 覚

(明治五年) 申十一月

安岡市郎右衛門と福島長平・三原市蔵宛。拝借引当

(八七八)

長綴 一綴

八 御願書

(明治六年) 西十月

(二七四三)

書綴(包紙入)一綴

穂波郡内住村御建山馬廻千代田惣一と黒田一雄宛。炭焼小家普請願

元 旧御仕組金加藤十五郎老銘元金高 (三三〇一)

明治十五年・十六年 長帳 一冊

三〇 (仮題) 上士中名元覚 (三九一九)

明治十五年六月十六日 一通

三二 證文 (二七七八)

明治十七年四月 一通

伊藤六右衛門と黒田一美宛。藩中御借入金證書隠失ニ付云々

三三 証書 (二七七九)

明治十七年四月 三通

栗原伊三郎と黒田一美宛・春田三郎と黒田一義宛。旧藩中の出金証書の返上

三四 書簡 (三一五四の一)

明治十七年四月 一通

黒田一義。旧藩中用達金家来共方差入たる証書差返す旨通知に付進入す、

付、請取書(明治二十三年)

三五 且那就用事年賦出金預申証文之事 (三一五四の二)

嘉永七・安政三・文久三・元治二・慶応二年 一紙 六通

三六 被官出方差引帳 (三〇三五)

明治十七年二月〜同十八年二月 長帳 一冊

三七 書簡 (三一〇一)

明治十八年 一通

加藤孚一族高岡九郎平と黒田邸委員宛。加藤孚家財政困難に付兼而同人より差出置候自分金貸付目録御下渡被下度

三八 黒田家旧附属親會着到簿 (三二八五)

明治二十二年二月十七日 長帳 一冊

三九 證明書 (四五八〇)

四〇

明治三十一年十月二十五日 一通

黒田一義。林彦吉外八六名旧藩中黒田家臣であった (四五五六)

四一 証明書 一通

明治四十三年十月九日

黒田一義。明治五年二月附属兵員タリシ

四二 黒田男爵家旧附属名簿 (四二五三)

大正元年十二月 書冊 一冊

四三 借用証 (四九九二)

大正三年五月十一日 一通

内野虎雄と黒田一義宛。附属分限帳

四四 書簡 (三九一七)

(明治以降) 四月三日 一通

筋目之面々当家江出願之義ハ一美江引合候上差出の事

四五 日記 (三二一〇の一四五)

(明治以降) 一通

比良松・坂下・走下にいる黒田家出入者名

四六 (仮題) 黒田家親睦會通知状 (五二二九)

(明治以降) 書綴 一綴

四七 (仮題) 黒田家親睦會通知状 (五三三三)

(明治以降) 一通

四八 常盤組頭取田村峯太郎と借用金扣 (四三五四)

(明治以降) 一通

四九 口上覚 (三五八八)

(明治以降) 十一月 書綴 一綴

土岐益延。退身願

五〇 (江藤徳家人数) 覚 (四二一〇)

四 (仮題) 覚 (明治以降) (包紙入) 一通 (四五九五)

金光駿太郎一族書上 (明治以降) 一通

五 (仮題) 大庭家人数覚 (四二一九)

(明治以降) 六月十日 一通

五 家族数下書 (四一三八)

(明治以降) 一通

加藤構園

(5) 華族会

三 (仮題) 旧藩執政及一門末家ノ履曆取調通達 (三三一八)

明治十六年五月二十一日 二通

華族局と黒田長知宛。付、明治十六年六月黒田一義と。記(旧禄高、所有田畑等書上)

三 贈位願 (二八三五)

明治十七年六月 書綴 一綴

黒田一美外六名

四 宮内省辞令 (三三二〇の三二) 四枚

明治十七年・十八年

御用掛外と黒田一雄宛

五 宮内省へ差出タル履歴書 (三九七六)

明治十七年八月二十日 (包紙入) 一通

黒田一雄

五 参省通知 (三九七五)

明治十八年七月十五日 (袋入) 一通

五 華族同方会報告 (四九六一)

宮内省と華族局御用掛黒田一雄宛 明治二十三年〜二十四年 書冊 九冊

第十四〜二十六号

五 (仮題) 宮中ノ宴会ニ不参御断書差出方の通達 (三二一〇の一三五)

明治二十九年一月、四十年二月 (袋入) 二通

爵位局と黒田一義宛

五 陳情書 (三四〇六)

明治三十一年一月 書冊 一冊

加藤十五郎外と黒田侯爵令扶宛。三奈木黒田家授爵願

六 (仮題) 一義授爵ニ付通知 (三四〇九の二)

明治三十三年五月 一綴

六 書簡 (三四〇九の二) 一通

明治三十三年五月

山中立木と黒田一義宛。授爵通知

六 授爵恩命ヲ蒙リ上京日記 (四九三八)

明治三十三年五月九日 書冊 (小) 一冊

六 授爵関係書類 (三二六六) 一括

明治三十三年

一雄叙位に付御知せ名元外

六 御授爵ニ付御知せ名元 (二八三六)

明治三十三年五月九日 長帳 一冊

一義男爵ヲ被授

六 辞令ノ写 (四五七二)

明治三十三年八月六日 (袋入) 一通

授爵云々

六 慰問使派遣ノ件通知

明治三十三年九月七日

(三二一〇の七〇) はがき 一葉

華族会館長徳川家達と黒田一義宛

七 爵位(仮題)一雄叙爵ニ付その必要書類等の連絡通知

明治三十三年

(三二一〇の六九) 一括

黒田一義宛

六 爵位局ヨリ照会ニヨリ出生ノ控

明治三十三年九月

(三三三四三) 二枚

黒田家分

五 授爵之件ニ付諸費

明治三十四年

(三三三二一) 書綴 一綴

七 華族会館報告

明治三十四年〜大正九年

(四九五八) 書冊 四〇冊

七 華族名簿

明治三十四年〜大正五年

(四九五七) 小横帳 二〇冊

欠、明治三十七年分

七 男爵会関係

明治三十五年・三十六年

(三二一〇の一三六) 一括

華族会館報告、男爵会規則、同会会費

七 皇室略牒

明治三十五年〜大正四年

(四九五六の一〜一五) 小横帳 一五冊

欠、明治三十六年・三十九年・大正元・三年

七 書簡

明治三十六年六月

(四七八九) 袋込 一枚

男爵会幹事と黒田一義宛。領収書

七 書簡

(三二一〇の四)

明治三十七年十月二十九日

二枚

黒田一義と華族会館宛。第三回国庫債券募集の儀、叔父八十雄の事

七 男爵会ニ於ケル法学博士穂積八束君講話

明治三十七年十二月八日

(四九五九) 書冊 二冊

七 華族会館定款

明治三十七年

(四九八七) 書冊 一冊

七 貴族院男爵議院補闕選挙人名簿

明治三十七・三十八年

(四九八六) 小横帳 四冊

七 書簡

明治三十七年〜大正六年。

二二通・はがき三葉その他一括 (三二一〇の五六)

華族会・男爵会・協同会と黒田一義宛。選挙書類外

六 男爵会規則

明治四十・四十一年改正

(四九六二) 書冊 二冊

六 男爵会規則中改正案

明治四十年十二月

(三三四八) 三通

六 男爵会二十年報告

明治四十一年

(四九六三) 書冊 一冊

六 登極令・摂政令・立儲令・皇室成年式令

明治四十二年二月十日刊

(四九五五) 書冊 一冊

六 書簡

明治四十三年十月

(三三五二) 一通

華族会館と黒田義夫宛。華族会館定款・来館規定

六 書簡

明治四十三年七月

(三二一〇の九二) 一通

黒田家執事と黒田一義宛。義夫叙位ニ付宮内省へ御禮御請書

六 書簡

(三二一〇の六四)

明治四十四年十一月

黒田一義宛。一葦様御贈位の祝状

六七 一葦様御贈位関係

明治四十四年

(四四六五)

六八 書状

大正二年六月

黒田直躬と黒田一義宛。従四位昇進ニ付

(三三二〇の一一)

六九 書簡

大正三年七月

甘木郵便局と黒田一義宛。集金郵便通知書(男爵会費請求)

(三三二〇の五八)

七〇 住所所爵位届

大正四年十月八日

黒田一義

(三三二〇の六〇)

七一 (仮題)招待状

大正四・五年

宮内大臣男爵波多野敬直と黒田一義宛。宴会

(四九八五)

七二 (仮題)選挙の件

大正五年三月

宮内省宗秩寮と黒田一義宛

(三三二〇の三四)

七三 (仮題)招待状

大正六・七年

宮内大臣と黒田義夫宛。紀元節に付

(四九七四)

七四 書簡

大正六年

華族会館と黒田義夫宛

(三四二八の一)

七五 (仮題)授爵祝

三奈木黒田家文書 (二)、明治以降史料)

(四九七七)

二一通・はがき一二葉

大正八年一月二十二日

男爵会幹事と黒田一弘宛

七六 口上覚

(明治初年)五月二十七日

加藤一雄と京極常樹宛。称号拝領ニ付札

(四五七七)

七七 口上覚

(明治初年)五月二十七日

加藤一雄と京極常樹宛。称号拝領被仰付

(四八一八)

七八 (仮題)授爵の際心得

(明治以降)

一通

七九 書簡

明治三十三年五月三十日

爵位局と黒田一義宛。出頭令

(三三二〇の六八)

(6) 家 政

書綴

八〇 (仮題)證

(明治四年)辛未五月

福岡藩庁。黒田一美倅一雄家督相続認可

(四四一七)

八一 記

明治五年七月

黒田一雄各隊編入不仕候事

(一一〇三)

八二 記

明治六年十一月

黒田一雄。戸籍関係

(一一〇二)

八三 記

二四七

(三九一三)

明治十五年十二月五日

一通

荒木定方黒田一美宛。和馬具拝借の件外

一四 黒田一美ヨリ申談候ケ条書之大意

(三九一四) 書綴 一綴

明治十五年三月

真藤利明。不動産之事・遷有舎之事・開拓一条之事外

一五 辞令

明治四・十七年

(四四一六) 二通

黒田一雄・加藤一雄

一六 御隠居様六十歳御賀祝控

(二二八二) 長帳 一通

明治二十二年五月

一七 当分の覚記

明治二十二年

(二二四) 小横帳 一冊

修猷館上納金の件、三奈木払物代、銀行入込高二二七株

一八 (仮題) 覚

明治二十二年六月一日

(三三二〇の二二) 一枚

長成と黒田一雄宛。辞表受理

一九 黒田一美遺言書写

明治二十六年十月二十八日

(二八〇三) 二通

二〇 (仮題) 戸籍謄本

明治三十五年四月二十六日

(三一七九) 一綴

戸主加藤一匡

二一 書簡

明治三十六年・三十七年

(三三二〇の二四) 三通

尾野実信と黒田一義宛。保吉一件

二二 徵集猶豫願并証書

明治三十七年〜大正四年

(四七〇八) 一綴

二三 書簡

明治三十九年

(三三二〇の七二)

黒田美代と黒田一義宛。保吉病気の事

二四 書簡

明治三十九年

(三三二〇の七四)

原田到と黒田一義宛。保吉病気の事

二五 (仮題) 新聞切抜集

明治四十一年二月

(四九六五) 一冊

黒田一郎氏に付

二六 写真

明治四十二年五月二十七日

(四八一五) 一枚

二七 黒田保吉関係書類

明治四十三年外

(三三二〇の五七) 一括

婚姻願出・徴兵猶予願外

二八 証明書

明治四十三年十月

(四三五二) 二通

黒田一義身分

二九 旧福岡藩大老黒田一葦老 完

明治四十四年十月二十四日刊

(四二五二) 書冊 一冊

編輯兼発行者江島茂逸

三〇 書簡

大正四年八月十日

(三三二〇の六六) 一通

尾野少将と黒田一義宛。黒田一雄履歴の件

三一 書簡

大正五年五月

(三三二〇の五) (袋入) 一通

小山里ツ子と黒田一義・多喜子宛。連子身上

二三 (仮題) 黒田義夫改名許可証 (四九六八)

大正七年十二月二十六日 一通

朝倉郡長堀須介。一弘と改名

二三 書簡 (三二一四の二)

大正七年 一通・はがき一葉

徴兵検査并徴集猶豫通知

二三 書簡 (三二一三の七)

大正九年一月 一通

原田到ら黒田一弘宛。墓参済報告

二三 (仮題) 初名届 (三二二〇の一四六)

(明治以降) はがき 一葉

黒田近雄ら黒田一義宛

二三 黒田一義履歴書・印鑑届・本籍地届 (三二二〇の六七)

(明治以降) 三枚

二三 (仮題) 戸籍 (九六五)

(明治) 書綴 一綴

黒田一雄・黒田一葦家族書上げ

二三 病前覚書 (四六〇九)

(明治以降) 一通

遺言

二三 一美様御賀祝ニ付御次第書ノ類 (二七五四)

(明治以降) 長綴 二綴

六十歳ノ賀

二三 黒田一美一家人数并□□書上申事(破損) (四一〇三)

(明治以降) (包紙入) 一通

二三 (仮題) 一葦・一雄・一義に関する覚 (四一八五)

三奈木黒田家文書 (二)、明治以降史料)

二三 記 (明治以降) 一綴

(明治以降) (四一八八) 一通

黒田篤ら戸長・副戸長宛。兵役不相勤事

二三 (仮題) 進言書 (三五八九の二)

(明治以降) 一綴

嫡庶の相続ニ関スル意見書

二三 愚存大意 (三五八九の二)

(明治以降) 乙亥一月 書綴 一綴

土岐逸翁

二三 従四位様本月廿三日武蔵御入湯ら三奈木江御這入御手続 (三七九二)

(明治以降) 長綴 一綴

二三 覚 (三六八四) 一通

(明治以降) 七月

二三 歎願書 (三八〇二の二) 一綴

黒田一雄。屋敷地の相談の件

二三 書状 (三八〇二の二) (袋入) 一通

(明治以降) 三月二十五日

篠原林樹・加藤團ら奥山亭・荒木定宛。一雄の事

二三 口上覚 (四四一九) 一通

(明治初年) 五月二十七日

篠原林樹・加藤團ら一美宛。歎願書の事

二三 勤務御免願(破損) (四四一八) 一通

明治〇年二月七日

加藤一雄ら京極常盤宛。称号願

明治〇年二月七日

二四九

黒田一雄、奥山亭・荒木定宛

一四 貸費願(裏)・家政整理の件(表)

(明治期)

第一部第一高等学校受験為致度

(四五八二)

一通

一三 書状

(明治以降)十一月三日

黒田一義、村山真三郎宛。家督引受願

(四五七九)

一通

(7) 家 計

一四 (仮題) 覚

(明治五年)

物産会所、黒田一義宛。物産会所、拝借金年賦未納ニ付大蔵省官員取調候

ニ付、この関係書類

(九一七の二)

四通

一四 三奈木御商法之豚長崎県ニ而御買上差引之覚外

明治四年五月

(九一七の三)

長綴一綴・三枚

一四 奉願口上之覚

(明治五年)壬申九月

(九一七の九)

長綴 一綴

博多錫町上石蔵嘉六、播磨様役人宛。古借返済願

一四 拝借金返納目録

(明治六年)癸酉一月十九日

(九一七の二)

二通

古賀与八、中村運平外宛

一四 覚

(明治初期)

(九一七の五)

一通

家従への心付、物産会社へ上納銀の事外

一四 覚

(明治初期)

(九一七の一〇)

二三通

米・銀算用覚

一四 覚

(明治期)

(九一五の一〇)

一通

石櫃村酒屋。米預り覚

一五 覚

明治五年三月二十四日

(九一一の九)

長綴 一綴

田中國生、加藤静眠宛。福岡行宰府字美共諸私

一五 (仮題) 扶助米不下賜候事

(明治五年)壬申七月

(四八二四)

一通

福岡県、黒田一葦宛

一五 記

明治五年十月

(九五〇)

一通

黒田一雄。拝借等仕居不申候

一五 借用證文

(明治五年)壬申十月四日

(二三〇五)

(包紙入)一通

萬屋(森田)喜平次、阿部庄作宛

一五 (仮題) 借用覚

(明治五年)申十一月二十七日

(四一三七)

一通

一五 借用證文

明治五年十一月

(二三〇六)

(包紙入)一通

野間積、安部正作宛

一五 覚

(明治五年)カ

(九一五の九)

一通

隠宅渡、等書上

一五 (仮題) 領収覚

(明治五・六年)

(二九三九)

一綴

江見彦右衛門宛。日雇・大工賃・上納費・紙代外
一五 御留守中金銀出入諸事控
明治五年

(九二一の二)

長帳

一冊

一六 飯塚御出後二付金銀請拂帳

明治六年三月より

長帳 一冊

板波

一五 壬申歳分終身賞給米請取證之事

明治六年三月二十九日

(四八二三)
一通

黒田一雄祖父黒田一葦と

一六 (仮題) 納税・学費・療養費その他経費覚

明治六年

(三三三三)
書綴 二綴

一七 證

明治五年九月・六年四月十八日

(二〇九九)
三通

黒田一雄と。割禄二付御扱米代金請取

一八 (仮題) (金子) 借用證并勝浦と上納金謝礼残

明治六年五月

(三九六四)
(包紙)二通

魚住直雄と高田作平宛

一九 御金出入差引

明治六年七月

(二〇一一)
長帳 一冊

二〇 日官出方帳

明治六年七月

(三三三八)
小横帳 二冊

日官改本平七

二一 記

(明治六年)

(二〇九八)
一綴

日用品代受取証

二二 御家従御扶助根帳

(二〇五六)

明治七年九月

長帳 一冊

御取次所

二六 御蔵米受拂差引帳

明治八年

(九〇七)
長帳 一冊

篠原善次

二七 (仮題) 山林地券税并二民費村費共

明治九〜十一年

(四六二二)
書綴一綴・七通

黒田一雄宛

二八 聴鷲様御登京御算用帳

明治八年七月

(二〇二八)
書冊 一冊

二九 明治九子年御算用帳

明治十年五月

(九二二八)
長帳 一冊

大塩行

三〇 入金簿

明治九年二月

(九二四)
長帳 一冊

大塩行

三一 御歳暮御葉礼御寺納金脇方御寺納御香典并諸々御山番給金共

明治九年冬

(九三三)

明治九年冬

三二 東京御算用帳

明治九年九月

(九二二)
長帳 一冊

篠原善次

三三 当时証拠

明治九年以来

(九九四)
長帳 一冊

大塩行

三四 金錢拂出帳

(九一九)

明治九年 長帳 一冊

大塩行。酒・上京・返済金・地稅外

一五 米・餅米・大豆・粟寛 (三二五八) 一通

(明治九・十年頃)

本宅并隠宅分

一七 小笹山平尾山塩原山三宅山春日山正租諸費一切拂相立計算表并關係書 (三二五七の二)

類

(明治九・十年) 長帳 一冊

一六 収納金通帳 (三二五七の二) 一綴外一括

明治九年 一綴外一括

黒田一雄 (四一九二) 一枚

一五 記 明治十年一月 一枚

加藤十五郎。恵比須屋払

一四 記 明治十年一月 一枚

加藤十五郎。金錢精算 (四一九四) 一枚

明治十年一月

一三 御算用差引目錄 (四一三〇) 一通

明治十年一月

篠原村樹 (二〇五二) 一綴

一三 御出府御算用帳 長綴 一綴

明治十年一月

篠原村樹 (四二〇五) 一枚

一三 寄付金願

明治十年十二月

黒田一雄と福岡県令代理宛

一四 御隠宅御貸附金根帳 (三三九六) 長帳 一冊

明治十年改

一五 (仮題) 覚 (四〇七三) 一通

明治十一年一月十五日

福岡県庁宛。金祿證書金子受取方に付

一六 (仮題) 諸代金支払覚 (三七九六) 長綴 一綴

明治十一年三月

篠原善次と板波有宛。料理代外

一七 (仮題) 支払覚 (三七九四) 長綴 一綴

明治十一年四月

篠原善次と板波有宛。酒代・御休所茶代

一八 拝借証 (四五五七) (包紙入) 二通

明治十一年十月

小呂嶋中と大塩行・板波有宛

一九 (民費) 請取 (四六一九) 二通

明治十一年十月十三日

大分村保長松岡平五郎と黒田一雄宛

二〇 受取 (四六二〇) 三通

明治十一年十一月

林税・地券税

二一 (仮題) 地券税第一期二分納証 (四六一八) 四通

明治十一年

大分村保長矢野与八郎と板波有宛。民費、村名代人届方之儀

二二 (仮題) 金錢出入簿 (二八一〇) 長綴 一綴

明治十一年

小作米代外

一三九 旧御仕組金 (三二九七) 一綴

明治十一〜十七年

加藤三郎十請持

一四〇 御蔵米指引目録 (三三五八) 一綴

明治十二年

一四一 金錢拂出簿 (二八〇五) 一綴

明治十三年一〜三月

一四二 金錢請拂差引目録 (二八二二) 一綴

明治十二年一〜三月

一四三 諸入金簿 (三一〇六) 一綴

明治十三年一月〇

一四四 米銭出納記 (三二〇八) 一綴

明治十二年四月〜十二月

加藤團

一四五 一雄様分金出納簿 (二九二三) 一綴

明治十二年四月〜十五年十二月

二〇〇 受金拂簿 (二八二二) 一綴

明治十二年十二月

篠原善次

二〇一 諸口取換金 (三二八八) 一綴

(明治十二〜十七年)

加藤孚

二〇二 金出納簿 (二九二六) 一綴

明治十三年一月〜十二月

二〇三 諸拂 (三三七二) 一綴

明治十三年

三奈木黒田家文書 (一、明治以降史料)

二〇四 (仮題) 兩替覚 (三三〇二) 一綴

明治十三年

二〇五 差引目録 (二九二四) 一綴

明治十三〜十七年

加藤十五郎

二〇六 出方簿 (三二四五) 一綴

明治十四年一月

石井嘉平

二〇七 染物御通 (三二四六) 一綴

明治十四年三月〇

大熊市作・加藤十五郎

二〇八 金出納簿 (二九一九) 一綴

明治十四年一月〜十二月

二〇九 諸拂金指引簿 (三四九六) 一綴

明治十四年

二一〇 諸拂目録 (三四四五) 八括

明治十四年

二一一 表様御久壽利簿 (三三三九) 一綴

地稅・小作米代・婚禮費・婦館の際費用外

二一二 御通 (三二四七) 一綴

明治十五年正月

竹屋甚平〇加藤十五郎宛

二一三 一路様御久壽利簿 (三二四四) 一綴

明治十五年正月

春生堂

三二 御蔵米指引目録

明治十五年一月

(三三六〇)

一通

三五 出方簿

明治十五年一月

(三三三九)

一冊

日官改本平七

三六 (金子) 借用証

明治十五年二月六日

(三七〇五)

二通

加藤一登方篠原丈平宛

三七 金錢覚

明治十五年二月

(三〇二五)

一綴

篠原善次

三八 現金御通 (隠宅)

明治十五年旧十二月

(三二四一)

一冊

安武甚平

三九 (仮題) 金錢覚

明治十五・十六年

(二九九一)

一綴

三〇 証書

明治十五・十九年頃

(二九四九)

一九通

借用証・預り証

三一 金出納簿

明治十五年一月・十二月

(二九二二)

一冊

加藤十五郎

三二 (仮題) 拝借金返済猶預願

明治十五年十二月・十六年十二月

(四三六四)

二綴・二通

山口直則方黒田一葦宛

三三 明治十四年大風二付損所繕諸費目録

(三三〇七)

明治十五年

長帳 一冊

三四 黒田家福岡大工町濱屋敷一件金請拂御纂用帳

明治十五年

(二八一四)

長帳 一冊

江見金嬉

三五 記

明治十五年九月六日

(三九〇〇)

一通

宗像郡勝浦村方納候金子

三六 地方税目録

明治十五年

(三四二〇)

一綴

三七 諸拂目録

明治十五年

(三四三三)

二括

三八 油御通

明治十五・十六年

(三四一六)

二冊

三九 御通

明治十五・十六年

(三二四〇)

三冊

竹屋(安武)甚平。黒田本宅分

三〇 油御通

明治十五年

(三二四二)

一冊

野津原半平

三一 御上屋敷葉簿

明治十五年

(三二四三)

一冊

春生堂

三二 (仮題) 御備金御仕組金精算書貸借覚

明治十五・十七年

(四五五〇)

書綴一綴・二通

三三 一雄様御登京御仕舞金受拂簿

明治十六年一月

(三五〇二)

長帳 一冊

三三 諸品御通

明治十六年六月

(三四一五)

小横帳 一冊

三三 (仮題) 財産調査

明治十六年六月

(三九五八)

一通

三三 春子様御成行金貨受拂帳

明治十六年二月

(二八〇九)

長帳 一冊

三七 黒田家福岡大工町浜屋敷一件金受拂別帳相違有之清算改帳

明治十六年三月

(二九四〇)

長帳一冊・書綴一綴・一通

江見金嬉

三六 現貨拝借控簿

明治十六年十月四日

(三五三〇)

小横帳 一冊

拝借人野村祐亮

三六 御蔵米指引目録御算用帳

明治十六年十月

(三三五七)

長綴 二綴

篠原善次方加藤十五郎宛

三四 地稅一切

明治十六年

(三三二三)

一括

三二 (仮題) 覚

明治十六年

(二九四一)

八通

江見金嬉出張旅費・黒田家計算帳相違分

三三 御蔵米指引目録

明治十六年

(三四一四)

長綴 一綴

三三 御隠宅御財事御算用帳

明治十六年一月〜十七年三月

(三三九九)

長帳 一冊

三四 買物諸覚

明治十六・十七年分

(三五二四)

一綴

三奈木黒田家文書 (二、明治以降史料)

三三 一雄様分諸拂勘定帳

明治十六年一月〜十七年一月

(二九三〇)

書冊 一冊

三三 金出納簿

明治十六年一月〜十七年

(二九二七)

書冊 一冊

三三 賣上其他雜書

明治十六・十七年頃

(三一五六)

二袋

車代・酒代外

三三 金出納簿

明治十七年一月〜二月

(二九二八)

書冊 一冊

三三 御蔵入・明治十六年分小作入口合計差引簿

明治十七年二月

(三三五九)

書綴 一綴

福嶋多八方

三三 御算用帳

明治十七年二月〜十二月

(二九二五)

書冊 一冊

板波有

三三 御蔵現穀改記

明治十七年三月

(三四一七)

長綴 二綴

三三 御備金出納簿

明治十七年五月

(二九一八)

書冊 一冊

加藤字外二名

三三 一雄様分御所有地二係ル正稅雜稅諸切符

明治十七年六月方

(三〇二六)

一袋

三三 (仮題) 家政補助差免之事

明治十七年七月三十日

(四七五〇)

一通

黒田一雄宛

三三 黒田家御預ケ金記

(三三〇八)

明治十七年八月

書冊 一冊

三三 奥様御子様方御登京二付諸事

(三〇〇八)

明治十七年十月九日

長帳 一冊

三三 奥様御上京二付諸拂御算用帳

(三〇二二)

明治十七年十一月

書冊 一冊

三三 受取証

(三五一九)

明治十七年

一括

三五 養巴ノ丁御貸家計算表

(三四九九)

明治十七年分

長帳 一冊

三六 (仮題) 諸税納付書并その他入用費覚

(三五〇〇)

明治十七年

一綴

三六 所有物代価見込附、御屋敷江振換金目録・所有地目録

(三二八七)

(明治十七年九)

一綴

加藤字分

(三二九一)

三六 地所売却代金差引帳

(三二九一)

明治十七年

書冊 一冊

三六 宇美村役場諸切符

(三〇三三)

明治十七年

一袋

三六 書簡

(三二一〇の二七)

(明治十七年九)

三通

八十雄入費覚、金子受取証入

(四三六六)

三六 借用証書外

(四三六六)

明治十七年三月・十八年

(包紙入)九通

十七銀行株券抵当の事

(三三八四)

三六 一美様一雄様役場切符

(三三八四)

明治十七・十八年

一括

三六 荷原村役場諸切符

(三一四三)

明治十七年~十九年

三六 御歳暮一切控

(三〇三一)

明治十七年度(十八年二月)

三六 御備金、旧御仕組金覚その他金銭覚

(三〇九八)

明治十七~十九年頃

三七 加藤十五郎所有地御屋敷差出候分正租諸掛り記・金入拂帳

(三〇九九)

明治十七~十九年

三七 金員出納帳

(二九二二)

明治十八年一月

三七 請金帳

(三一〇九)

明治十八年一月

三七 酒御通

(三四〇二)

明治十八年二月

三七 一雄様御備金

(三二九三)

明治十八年二月

三七 毎月請拂小割差引帳

(二八〇四)

明治十八年四月

三七 金借用証

(四五九七)

明治十八年五月十八日

吉岡軼次郎・浅香茂明と黒田一雄宛

(包紙入)一通

三七 加藤十五郎材木受取帳并諸物品賣却帳

(三〇八五)

明治十八年旧九月二十三日

三七 書簡

(三五三二)

明治十八年十月二十一日

一通

神武半三郎・百田万作ら大塩行宛。山林税送金依頼

三九 一葦様御成行ニ付諸費

明治十八年十二月

(三二一三) 長綴 一綴

三〇 御備金計算帳

明治十八年

(三二八九) 書冊 三冊合綴

三一 御仕組差引帳・年賦貸附金

明治十八年

(三二九〇) 書冊 三冊合綴

三二 明治十六年度支拂帳

明治十八年

(三二九二) 書冊 一冊

三三 受持金差引残リ一覽表

(明治十八年九)

(三二九八) 書綴 一綴

加藤十五郎

三四 三奈木役場諸切符

明治十八年

(三三三二) 一袋

三五 (仮題)家計費

明治十八年

(三三三六) 一括

領取証外

三六 御歳暮一切控

明治十八年度(十九年二月)

(三三三五) 長帳 一冊

三七 旧明治十八年向中薬價記

明治十八年

(三三三四) 書綴 一綴

三八 御備并御仕組金請持ヨリ上納金控

明治十八年

(三三八五) 書冊 一冊

三九 諸目録

明治十八年

(三四〇五) 一括

四〇 諸品御通・當時御通・酒豆腐御通・鉄物材木御通

(三〇二九の二)

明治十八年

三一 酒御通

明治十七年

小横帳 五冊 (三〇二九の二) 小横帳 一冊

三二 小熊山御拂扣

(明治十八年頃カ)

長帳 一冊 (三二二二)

三三 於瀧様御引越諸入費

(明治十八年頃カ)

長綴 一綴 (三二二一)

三四 金員出納帳

明治十九年一月

書冊 一冊 (二九二九)

三五 委員より納金之記

明治十九年一月カ

小横綴 一綴 (二九五六)

三六 金請拂細目帳

明治十九年一月カ

長帳 一冊 (三二〇七)

三七 金子受取証

明治十九年七月二十日

(包紙入)二通 (三九八二)

建部彦磨ら黒田一雄宛

三八 加藤十五郎惣請持金差引及元金差引見込記

明治十九年九月改

長帳 一冊 (三〇八六)

三九 御仕組金加藤十五郎貸付記

明治十九年九月改

長帳 一冊 (三〇八八)

四〇 御備金加藤十五郎受持分現金上納記

明治十九年九月改

長帳 一冊 (三四〇〇)

四一 御備金加藤十五郎受持分現金并ニ田畑諸品上納記

明治十九年九月改

長帳 一冊 (三一〇〇)

四二 御備金御仕組金一雄様御備金計算差引記

明治十九年九月改

長帳 一冊 (三〇九六)

加藤三郎平受持分

三〇三 御倉家根修善諸拂

明治十九年十二月

(三四九七)

六通

三〇四 三奈木村役場諸切符

明治十九年

(三三〇五)

一袋

付札に「吉木村御一作旧反歩等書類」とあり

三〇五 (仮題) 米代金覧

明治十九年

(四七七三)

書綴一綴・一三通

小作米覧等も含む

三〇六 諸目録

明治十九年

(三五一六)

五括

領収書類

三〇七 雑事抜書

明治十九年度

(二八〇六)

長帳 一冊

金銭簿

三〇八 (仮題) 領収覧

(明治十九年頃カ)

(二九七三)

一括

食品代外

三〇九 諸目録

明治十九年

(二九九二)

一括

日用品

三一一 売却目録

明治十九年

(二九九三)

書綴 一綴

本

三一二 (仮題) 諸目録

明治十九年外

(三〇二八)

三綴

三三 加藤十五郎上納金記

(明治十九年カ)

(三〇八四)

長綴 一綴

三三三 記

(明治十九年カ)

(三〇九三)

長綴 一綴

加藤三郎平請持分元利高

三四 倉の前諸品売拂帳

(明治十九年カ)

(三〇九二)

長帳 一冊

三五 諸品売捌根帳

(明治十九年カ)

(三〇九一)

長帳 一冊

三六 隠宅諸品賣捌根帳

(明治十九年カ)

(三〇九〇)

長帳 一冊

三七 御上屋敷江現品差上記

(明治十九年カ)

(三〇八九)

長帳 一冊

三八 賣却物直段付ヨリ賣捌込雇入人名

(明治十九年カ)

(三〇九七)

長綴 一綴

三九 諸目録

明治十九年度十月分・四月分

(三一五三)

一括

三〇 金請拂細目帳

明治二十年一月カ

(三〇二二)

長帳 一冊

三一 當時証拠

明治二十年一月改

(三〇七)

長帳 一冊

金銭出納

三三 金貸附帳

明治二十年一月

(二九〇二)

書冊 一冊

三三三 記

明治二十年四月

(二九六三)

一通

地所代、売却高

三四 弥能子様御病中并ニ御死去後諸費拂帳

明治二十年十月

(三〇二〇) 長帳 一冊

三五 於八重様大隈御引越ニ付諸費支払帳

明治二十年十二月

(三五三六) 長帳 一冊

三六 金員出納帳

明治二十年

(三〇〇六) 書冊 一冊

三七 諸目録

明治二十年度

(四四二二) 一袋

衣食住費

三八 金子受取証

明治二十年頃

(三九八四) 一括

三九 (仮題) 黒田家借財帳

明治二十年

(三〇二三) 長帳 一冊

四〇 借用証并受領証その他切符

明治二十年頃

(三〇二七) 一括

四一 借用証

明治二十年・二十一年

(二九六二) 三通

黒田一義宛

四二 金子預証

明治二十年・二十一年・二十五年

(三九七二) 三通

預り主加藤團方一雄宛

四三 (仮題) 金銭受取証

明治二十年・二十一年

(三五二八) 七通

四四 御歳暮一切扣

明治二十年・二十一年

(三四〇四) 長帳二冊・五通

三奈木黒田家文書 (二、明治以降史料)

三五 御蔵清算簿

明治二十年度・二十一年度

(三三一六) 書冊 一冊

三六 (仮題) 租税関係書類

明治二十〇四十年

(三四四四) 一括

三七 金請拂細目帳

明治二十一年一月

(二九五三) 長帳 一冊

三八 金銭出納簿

明治二十一年一月

(二九〇六) 小横帳 一冊

三九 東京御出発ヨリ御帰朝迄道中諸入費払立帳

明治二十一年二月調

(三五二九) 二綴

中山静門

四〇 収支予算案・受払精算書

明治二十一年度

(四二八八) 書綴 二綴

四一 役場切符

明治二十一年

(三三八三) 一袋

四二 諸目録

明治二十一年

(三五一八) 一袋

四三 御蔵米・粟・大豆支払精算書

明治二十一年度

(二九二〇) 書冊 一冊

四四 相談人会決議録

明治二十一年

(二九五五) 書冊 一冊

加藤十五郎・篠原村樹・加藤團・中山静門・木原正則。二十一年度収支予算

四五 出入決算書

明治二十一年度

(三一一五) 書綴 一綴

四六 明細書

明治二十一年度分

(三二一四) 書冊 一冊

糧米・鳥の飼粟ノ部外

三〇七 薬価目六

明治二十一年

(三四一一)

三〇八 諸拂記

明治二十年・二十一年度分

(三五八二)

三〇九 決算簿

明治二十一年〜二十四年

書綴 一綴 (三三三二)

三一一 出納額

明治二十一年度〜二十四年度

書綴 一綴 (三三八七)

三一二 金請拂細目帳

明治二十二年一月〜

長帳 一冊 (三三八二)

三一三 諸目録

明治二十二年

(三二〇八)

三一四 金拝借証

明治二十二年五月三十日

一通 (二九四七)

木原正利方黒田一義宛。好次郎学資金

三一五 領収証

明治二十二年頃

(三九九三)

日常品購入。貨物料

三一六 萬御通

明治二十二年六月

(三四八九)

三一七 (仮題) 所得税額通知

明治二十二年八月五日

小横帳 一冊 (四六五九)

上座下座夜須郡長土方和親

三一八 決算書類

明治二十二年九月〜二十四年十二月

(三一四一)

書綴五綴外一括

付、借用証(黒田一義方田主丸銀行宛)

三一九 予算并決算書

明治二十二年

(三三八二)

三二〇 薬價表

明治二十二年・二十三年

(三五〇五)

三二一 諸金請拂細目帳

明治二十三年一月〜

長帳 一冊 (二九〇三)

修繕費・婚儀準備・教育費外

三二二 (仮題) 手当金支給額覚

明治二十三年一月

(四八九四)

黒田一義方加藤十五郎宛

三二三 金借用証書

明治二十三年

(三二一〇の二八)

借主黒田一義方福島文寿宛

三二四 諸目録

明治二十三年一月〜二十四年十二月

(三三五五)

三二五 山積明細帳

明治二十三年

(二九五四)

三二六 切符纏

明治二十三年九月〜二十三年二月

長帳 一冊 (三三一〇)

三二七 (仮題) 受領証類

明治二十三年〜二十五年

(三一四〇)

借入金返済、借入金証書外

三二八 受取証

明治二十四年六月十六日

(三二一〇の二七)

松岡九内方黒田一義宛。預金返済分

一通

三六 入金証

明治二十四年二月十三日

(四〇六〇) 一通

代理加藤樗園方加藤三郎平・尾野省三宛。一雄別備金。

三六 諸目録

明治二十四年

(三二四二) 一括

三〇 請金仮帳

明治二十四年

(二九〇四) 一綴

三七 岩崎(勝平)書状

明治二十四年

(三三一五) 一綴

一路様分仕拂目録・木原仕拂目録

三七 葉價調

明治二十四年度

(二八二六の二) 書綴 二綴

三七 (仮題) 葉價書類

明治二十五年

(二八二六の三) (袋入) 三通

福島文濤方木原正利宛

三七 黒田直躬助勢金備帳

明治二十五年一月調制

(三一六四) 書冊 一冊

三七 役場諸切符

明治二十五年一月方

(三三八〇) 一袋

三七 改革中諸費用

明治二十五年一月方

(二八八二) 書冊 一冊

三七 諸目録

明治二十五年二月方

(三三一) 一袋

領収書類

三七 請金假帳

明治二十五年二月方

(三三八六) 長帳 二冊

三七 諸品公賣帳

明治二十五年二月七日

(三〇四八) 書冊 二冊

八十雄分・本宅分

三〇 (家政整理) 添願書扣

明治二十五年二月

(四九四二の二) 書綴 一綴

旧附属總代安陪庄作外方長成宛

三一 家政整理繼續願ニ付添願

明治三十年十月五日

(四九四二の二) 書綴 一綴

黒田一義相談人加藤十五郎外方

三二 家政整理方法繼續ノ義ニ付御願

明治三十一年二月

(四九四二の三) 書綴 一綴

黒田一義・一雄方長成宛

三六 林毛御帰住ノ際諸拂目録

明治二十五年三月

(三二一三の二) 一綴

三六 (相続人選定) 御伺

明治二十五年四月二十日

(三一六七) 書綴 一綴

黒田一義方長成宛

三〇 書簡

明治二十五年四月

(三二一〇の二三) 一通

奥山享方黒田一義宛。御聞濟負債額壹万余携帶村山氏御差越しの件御達書

三九 金小拂之簿

明治二十五年四月三日方

(二八七三) 小横帳 一冊

台所用。多喜請持

三三 御繰替金御下渡願ノ重器御預願外

明治二十五年

(三一六六) 書綴 一綴

家計整理の爲

三三 (仮題) 領収証 (三三二〇の三七)

明治二十五年 六通

常盤組外黒田一義宛

三四 (仮題) 金銭覚 (四八九七)

明治二十五年 一通

常盤社借銀

三五 仕分金出納簿 (四三五〇)

明治二十五年 長帳 一冊

三六 記 (四六八四)

明治二十五年度前半期 折紙 一通

東京御渡金精算書

三七 黒田直躬殿方備へ金同家へ仕向請取類 (三五二〇)

明治二十五年 一括 (二八七二)

三八 請金小拂之簿 小横帳 一冊

明治二十五年七月〜二十六年一月

三九 御拂品記并売却品根帳類 (二八八四)

明治二十五年 長帳二冊・長綴五綴外

四〇 金出納帳 (二八八三)

明治二十五年 書冊 一冊

四一 決算帳 (二八八二)

明治二十五年 野紙綴 一綴

四二 藤沢葉價通及寺納受取り (三三〇七)

明治二十五年 小横帳一冊・一通

四三 (三奈木黒田家財政)改革 (三三三二)

明治二十五年度・二十六年度 書綴 二綴

明治廿五年度精算書并明治廿六年豫算書

四四 (仮題) 三奈木黒田家財政改革関係書類 (三五三四)

明治二十五年〜二十七年 書綴 六綴

家則・別居中心得・相続人設置并会議規則

四五 書簡 (三三一七の五)

明治二十五年七月 一通

西島種美と黒田一美宛。財政処理の件

四六 書簡 (三三二〇の八〇)

明治二十五年・二十六年 九通

森部静夫と黒田一美宛。八十雄学資出納帳及請取類

四七 記 (四一七九)

明治二十五年〜二十八年 一通

元利精算書

四八 薬價目録 (三〇〇四)

明治二十五年・二十八年 書冊 二冊

四九 (仮題) 家財改革に関する書簡控 (四五八二)

明治二十五年〜二十九年 小横綴 二綴

五〇 借入金之簿 (四一八一)

明治二十五年〜三十一年 長綴 一綴

五一 (仮題) 黒田一義家御経費金書類 (三三〇〇)

明治二十五年〜三十三年 書綴 一綴

五二 金出納帳 (三三九五)

明治二十六年一月迄 書冊 一冊

五三 (仮題) 覚 (四六二九)

(明治二十六年カ) 一通

虫風害に付小作米収入並びに拝借金返納金等勘定覚

五四 書簡 (三三二〇の三一)

明治二十六年十一月

泉研介と黒田一雄宛。黒田家々政改革の件

四二 積立金出入記

明治二十六年

(三二二六)

四六 精算書

明治二十六年度

(三二九六)

四七 豫算外

明治二十六年度

(三三〇〇)

四八 請金ノ記

明治二十六年・二十七年

(三三七九)

四九 役場諸切符并諸目録

明治二十六年

(三〇五九)

黒田一義分

一袋

四〇 記

(明治二十六年九)

(四五五九)

家令宛。御下与金

二通

四一 請金仮帳

明治二十六年

(三〇六二)

四三 台所用請金御拂帳

明治二十六年

(三〇六一)

四三 蔵米出シ帳

明治二十六年

(三〇六〇)

四四 (仮題) 精算書

明治二十六年度・二十七年度

(三三二六)

四五 所得税調根帳

明治二十六年〜二十八年・廿五年

(二九六五)

三奈木黒田家文書 (二、明治以降史料)

長帳・書綴一組ニシテ五組

四三 明治廿七年度收入予算・明治廿六年度余米指引簿

明治二十七年一月

(三三七六)

黒田一義と長成宛

書綴 一綴

四七 台所用請金小拂帳

明治二十七年一月

(三四五五)

四六 廿六年度葉價目録

明治二十七年二月四日

長帳一冊・長綴二綴

福島薬局と黒田一義宛

(三二一〇の八二)

四九 書簡

明治二十七年二月十五日

書冊一冊・一通

四〇 支出豫算

明治二十七年

(三二一〇の一五〇)

四一 余米支出豫算

明治二十七年

(三二一〇の八二)

四三 金出納簿

明治二十七年

書綴 一綴

四三 精算書

明治二十七年

書冊 一冊

四四 役場諸切符

明治二十七年

書綴 一綴

四五 葉價目録

明治二十七年

(三四五四)

四六 諸目録

明治二十七年

書冊 一冊

四六 諸目録

明治二十七年

一袋

四七 娛月様方財事計算書

明治二十七年・二十八年

(三九一二)
書綴 二綴

四八 黒田一義殿分勘定書

明治二十七年〜二十九年

(三一二七)
書冊 一冊

四九 書簡

明治二十七年〜卅年

(三二一〇の七六)
八通・はがき一枚

四〇 (仮題) 三奈木黒田家収支諸計算書

(明治二十一年〜二十八年)

(四七九五)
書綴外一括

四一 書簡

明治二十八年一月二十七日

(三二一〇の四二)
一通

原田到方黒田一義宛。廿七年度決算報告

四二 金銀出納簿

明治二十八年一月

(四二七〇)
書冊 一冊

四三 台所用請金小拂帳

明治二十八年一月

(二八八六)
長帳 一冊

四四 倉米粟出納ノ簿

明治二十八年一月

(二八八五)
長帳 一冊

四五 倉米出納帳

明治二十八年一月

(三〇一三)
長帳 一冊

四六 金拝借証

明治二十八年三月十二日

(四三六七)
(包紙入)一通

木原正利方黒田一義宛

四七 不納米上納約定証

明治二十八年五月十七日

(三五三七)
書綴 一綴

四八 書簡

(三二一〇の三六)

明治二十八年十二月十七日

(袋入)一通

黒田長成家扶方黒田一義宛。鉄道株券のことなど家計関係

四九 書簡

明治二十八年十二月

(三二一〇の九〇)
一通

黒田侯爵家扶方黒田一義宛。十七銀行領収書外

五〇 書簡

明治二十八年

(三二一〇の七七)
三通

篠原村樹方黒田一義宛。林毛経費に付

五一 豫算并精算書

明治二十八年

(四二六九)
野紙綴 一綴

五二 役場諸切符

明治二十八年度

(二九六一)
一袋

五三 領収書

明治二十八年度

(二九六〇)
一袋

四四 台所用請金小拂帳

明治二十九年一月

(三〇一五)
長帳 一冊

四五 書簡

明治二十九年六月

(三二一〇の二二)
一通

村山真三郎方黒田一義宛。特別恩賜金中積立金の義に付伺御指令書

四六 別途御貸与金ノ義ニ付願

明治二十九年十二月二十六日

(四五七五)
一通

黒田一義方長成宛

四七 役場諸切符

明治二十九年度

(三三三二)
一袋

四八 金出納帳

明治二十九年度

(三三三〇)
書冊 一冊

四五 諸目録 (三三三三) 一袋

明治二十九年

四六 精算書 (三〇一八) 一綴

明治二十九年

四七 豫算 (三〇一七) 書綴一綴・一通

明治二十九年

四八 葉價目録 (三〇一九) 書冊 一冊

明治二十九年

四九 書簡 (三二一〇の九一) 六通

明治二十九年〜三十三年

村山真三郎と黒田一義宛。黒田家會計

五〇 林毛関係書類 (三一九四) 二通

明治二十九年・三十二年

林毛糧米仕向ノ記。林毛田地諸税納

五一 (仮題) 金銭出納簿 (二九〇五) 一綴

(明治二十年代)

五二 一雄様病氣ニ付臨時拂記 (二八四五) 長帳 一冊

明治三十年五月

五三 役場諸切符并雜目録 (三〇七一) 二袋

明治三十年

五四 金銭出納帳 (三〇七二) 書冊 一冊

明治三十年

五五 小作米取立帳 (三〇七三) 長帳 一冊

明治二十九年十一月〜明治三十年

五六 倉米出納帳 (三〇七四) 長帳 一冊

明治二十九年十二月ヨリ

三奈木黒田家文書 (一、明治以降史料)

四七 葉價目六 (三〇七五) 書冊 一冊

明治三十年

四八 長屋修繕費 (三〇七六) 長綴 一綴

明治三十年三月

四九 小作米代納及拂米記 (三〇七七) 長帳(小) 一冊

明治三十年

五〇 豫算 (三〇七八) 書綴 一綴

明治三十年

五一 精算書 (三〇七九) 書綴 一綴

明治三十年

五二 学資精算 (三〇八〇) 書綴 一綴

明治三十年九月・十二月分

五三 小作米精算書 (三〇八一) 書綴 一綴

明治三十年

五四 1書簡 (三二一〇の一二) 一通

明治三十年九月

五五 2書簡 (四五八五) 一通

(明治三十年)

五六 改革滿期の際御送附ノ財産計算書 (三一七二) (袋入) 二通

黒田。家政改革年限終ニ付

五七 改革滿期の際御送附ノ財産計算書 (二九六九) 書冊二三冊外

明治三十年九月

五八 家政整理繼續願并その関係書類 (明治三十〜四三年) 家則(明治二十五年)

村山真三郎と黒田一義宛

五九 家則(明治二十五年)

明治二十五年

四八 黒田一雄様御病氣中諸目録

(三三二〇の二三)

明治三十年

二二通

四九 諸臨時費書付

(二九八〇)

明治三十年

三綴

五〇 金借用証

(三四六三)

明治三十年・三十二年

二包

五一 出入計算書

(三二二五)

明治三十年〜三十二年

書綴 二綴

五二 粮米并拂米

(三二六四)

明治三十一年一月b

小横帳 一冊

五三 書簡

(三二一〇の二七)

明治三十一年一月

一通

村岡真三郎方黒田一雄宛。保吉別家の件伺御聞届書

五四 役場諸切符

(三三二二)

明治三十一年一月b

一袋

五五 特別費御下渡願

(三三六七)

明治三十一年二月

書綴 一綴

黒田一義方黒田侯爵宛

五六 金銭出納帳

(二八七五)

明治三十一年十一月b

書冊 一冊

五七 精算書

(三二六五)

明治三十一年度

一括

黒田一義方山中立木宛。小作米等

五八 諸目録

(四五八七)

明治三十一年度

一袋

受取証、計算書類

四九 所得取調根調

(三〇五五)

明治三十一年

書綴・長帳合綴

黒田一義

五〇 記

(四七七四)

明治三十一年〜三十五年

長綴 一綴

金銭出入計算書

五一 家政整理方法継続ノ義ニ付御願

(四九四二の三)

明治三十一年二月

書綴 一綴

黒田一義・一雄方長成宛

五二 豫算并精算書

(三二二四)

明治三十一年〜三十五年

書綴 二綴

五三 負債金調

(三二五八)

明治三十一年〜三十六年

書綴 一綴

五四 金銭出納帳

(三四五七)

明治三十一年一月b

書冊 一冊

五五 借入金之簿

(三三三三)

明治三十二年三月b

書冊 一冊

黒田

五六 借用証書

(三二一〇の九)

明治三十二年九月十四日

一通

借主黒田一義方甘木銀行宛

五七 保吉備金受拂之簿

(三三六二)

明治三十二年十月b

書冊 一冊

五八 林毛へ送金ノ記

(三四四一)

明治三十二年十月b

長冊 一冊

五九 保吉基本金計算簿

(二八五六)

明治三十三年十二月b

五〇三 領収書

明治三十二年

謄本手数料外

五〇四 役場諸切符

明治三十二年

五〇五 所得取調根調

明治三十二年

黒田一義b

五〇六 蔵米出納

明治三十二年度

五〇七 薬價目録

明治三十二年度

五〇八 (仮題) 薬價及新炭費その他諸雜費覚

明治三十二年

五〇九 諸目録

明治三十二年度

五〇一〇 (仮題) 金錢出入記

明治三十二・三十三年

五〇一一 履歴及山林願出筆耕料目録

明治三十二年一月

五〇一二 金錢出納帳

明治三十三年一月b

五〇一三 (仮題) 黒田一義家政ノ情况報告書

明治三十三年二月一日

村長b清水第一課長宛

三奈木黒田家文書 (二、明治以降史料)

書冊 一冊

(三二一〇の八)

一通

(三四五九)

一袋

(三〇五四)

書綴・長帳合綴

(三二一七)

一通

(三二五二)

書冊 一冊

(三二五〇)

一通

(三二四六)

一袋

(三二六〇)

罫紙綴 一綴

(三四六〇)

一綴

(三二一六)

書冊 一冊

(二八三七)

書綴 一綴

五〇一四 書簡

明治三十三年二月二日

村山真三郎b黒田一義宛。金子返済催促

五〇一五 書簡

明治三十三年三月十三日

森部静夫b黒田一義宛。男爵家財政に関する書類に付

五〇一六 受取証

明治三十三年七月

黒田一義b福岡十七銀行宛。甘木銀行へ廻送分請取

五〇一七 明治三十三年分所得金額決定通知

明治三十三年七月二十三日

甘木稅務署b黒田一義宛

五〇一八 玄米御通

明治三十三年九月b

福島文濤。黒田本宅分

五〇一九 委任状

明治三十三年十月二十二日

黒田一義

五〇二〇 書簡

明治三十三年十二月

篠原b黒田一義宛。預金算用

五〇二一 木原氏発病ニ付諸費

明治三十三年

五〇二二 (仮題) 家計書

(明治三十三年九)

拝借金明細表、授爵ニ付諸費予算、一カ年歳入出予算表

(三二一〇の八)

一通

(三二一〇の二七)

一通

(四七九二)

一枚

(三〇五七)

(袋入)一通

(三四四三)

小横帳 一冊

(三二一〇の二九)

一通

(三二一〇の四七)

一通

(四七八三)

長綴 一綴

(三三三七)

罫紙綴 一綴

二六七

五三 薬價目録

明治三十三年度

書冊 一冊

(三四五八)

五三 蔵米差引

(明治)三十三年度

一通

(二八七八)

五四 借用證文

明治三十三年

五通

(二九六七)

借用主黒田一義方日新合資社宛

五五 所得取調根調

明治三十三年

書綴・長帳合綴

(三〇五六)

黒田一義

五六 (仮題) 受領証

明治三十三年

一二通

(三一〇五)

運送費、預り金計算、米代計算、新聞代外

五七 役場切符并諸目録

明治三十三年

二袋

(三一二〇)

五八 粮米高

(明治)三十三年度

小横綴 一綴

(三一一九)

五九 豫算表

明治三十三年度

書綴 一綴

(三一五二)

六〇 決議録

明治卅四年一月廿日

書綴 一綴

(四九四二)

家政改革相談人会議。加藤啓十郎、加藤新次郎、福沢清

六一 金銭出納帳

明治三十四年一月ふ

書綴 一綴

(二八二三)

六二 決算報告書

明治三十四年三月

書綴 一綴

(二八三八)

三奈木黒田家

五三 一美様石碑建築費金目録

明治三十四年七月

書冊 一冊

(四三六八)

日新株式会社方の返金証共

五三 明治三十三年小作米精算書

明治三十四年十一月

書綴 一綴

(三二一〇の一四)

五四 蔵米差引

(明治)三十四年度

書綴 一綴

(二八二二)

五五 臨時費出納簿

明治三十四年

書冊 一冊

(二八四〇)

五六 精算書

(明治)三十四年度

一通

(二八七七)

林毛粮米

五七 明治参拾四年度薬價

明治三十四年度

書綴 一綴

(二八八〇)

福嶋千濤。付、福嶋氏茶覚

五八 精算

明治三十四年度

書綴 一綴

(三〇五二)

五九 役場諸切符并諸目録

明治三十四年度

書綴 一綴

(三二六一)

六〇 (仮題) 金子請取

明治三十四年〜三十七年

六通・はがき二葉

(三二一〇の一〇六)

黒田勇方黒田一義宛

六一 (仮題) 会計報告

明治三十四年〜三十五年

書綴 一綴

(三一五五)

黒田長成会計大久保直雄と黒田一義宛。拝借金計算書

五三 保吉備金差引 (二九八三)

明治三十四年～四十二年 長綴 一綴

五三 金銭出納簿 (三〇四七)

明治三十五年一月 書冊 一冊

五四 書簡 (三二二〇の一)

明治三十五年(六)年二月二十二日 一通

尾野実信と黒田一義宛。黒田家会計に付

五四 書簡 (三二二〇の三)

明治三十五年十一月十七日 一通

山中立木と黒田一義宛。財政整理関係。付、書簡(森部静夫と加藤十五郎宛)

五四 書簡 (三二二〇の六二)

明治三十五年十二月 一通

黒田一郎と黒田一義宛。十一月分計算報告

五四 役場切符 (三四〇八)

明治三十五年 一袋

五四 諸目録 (三一七六)

明治三十五年 一袋

五九 (仮題)覚 (四六四五)

(明治三十五年カ) 一通

家政改革満期云々

五〇 (仮題)黒田様薬價目録 (二八二六の一)

明治三十五年 書冊 一冊

福島文瀾

五三 歳入出予算 (二八二五)

明治三十五年 書綴 一綴

三奈木黒田家文書 (一、明治以降史料)

黒田一美

五五 金出納簿 (三二五六)

明治三十六年一月～三十九年 書冊 一冊

五五 書簡 (三二二〇の二九)

明治三十六年三月 一通

森部静夫と加藤熊十郎宛。黒田家々政の件に関して。付、書簡(尾野実信と黒田一義宛)

五六 書簡 (三二二〇の一八)

明治三十六年三月 三通

森部静夫外一名と黒田一義宛。財政整理上に付願書

五七 書簡 (三二二〇の三〇)

明治三十六年九月二十九日 一通

尾野実信と黒田一義宛。一義家財政関係

五六 家政整理継続願并その関係書 (三二五九の一)

明治三十六年 一綴

黒田一義と長成公御家令山中立木宛

五九 田畑付口米高調 (三二五九の二)

明治三十一～三十五年 九通

歳入出記

五六 書簡 (三二二〇の二)

明治三十六年(カ) 一通

森部静夫と黒田一義宛。八十雄結婚費用に付

六一 書簡 (三二二〇の二二)

明治三十六年 (袋)一通

山中立木と尾野実信宛。刀剣等売却、貸費生採用等の決定

六一 (仮題)覚 (四七六四)

二六九

明治三十六年 書冊 一冊

家政整理に付御家へ出願の件集會

五三 一義入院中諸費目録 (二九七七) 五通

明治三十六年

五四 (仮題)坂ノ下地租書附類 (二九八八) 九通

明治三十六〜四十二年頃

五五 諸品御通 (三二三八) 小横帳 二冊

明治三十六年二月・三十七年二月

五六 (仮題)所得税關係書類 (二九八一) 一〇通

明治三十六年〜大正二年

五七 書簡 (三二一〇の二一) 二通・はがき一葉

明治三十七年一月十二日

森部静夫と黒田一義宛。保吉学資の件、宝物売却等之報告

五八 麦作補償金台帳 (二八九〇) 書冊 三冊

明治三十七年二月

地主黒田一義・長成・一雄

五九 葉價目録 (三四五六) 一括

明治三十七年度

五〇 積立金出納計算書 (三二二六) 書綴 一綴

明治三十七年

五一 書簡 (三二一〇の二七) 四通・はがき二枚

明治三十七年〜大正四年。

黒田美代と黒田一義宛。金子受取外

五二 服部預ケ米代金計算書 (三〇五八の二) 二通

明治三十八年八月二十一日

五三 株の売却代并日新株式会社受取証 (三〇五八の二)

明治三十八年八月 四通

黒田一義

五四 (仮題)覚 (四五七八) 一通

明治三十八年九月

黒田一義と山中立木宛。財政整理の件

五五 (仮題)家禄給与不足額下渡願不採用通知 (三三七〇) 書綴 一綴

明治三十八年十月十日

大蔵大臣曾祢荒助と黒田一義宛

五六 米代金元利計算書 (二八九三) 一通

明治三十八年十二月二日

黒田一義と大隅清孝宛

五七 書簡 (三二一〇の二七) 一通

明治三十八年

原田到と黒田一義宛。一義所有国庫債券売渡關係并官地私下土地に付

五八 諸目録 (三二五二) 一袋

明治三十八年

五九 書簡 (二八四六) (袋入)一通

明治三十八年

木原好次郎と黒田一義宛。茂夫学資ノ件

五〇 出納帳 (三〇四五) 書冊 一冊

明治三十八年

家計

五一 臨時拂 (三一三六) 一通

明治三十八年

五二 蔵米精算書 (三一三五) 書綴 一綴

明治三十八年度

五三 役場諸切符 (三三三二) 一袋

明治三十八年

五四 通常費之簿 (三三三一) 一冊

明治三十八年

五五 通常費之簿 (三三三三) 一冊

明治三十九年一月

五六 書簡 (三三二〇の二四〇) (袋入一通)

明治三十九年八月二十八日

糧米の受取、保吉の容体外

五七 書簡 (三三二〇の二四一) (袋入一通)

明治三十九年九月二十二日

原田到ら黒田一義宛。保吉入病費用の件外

五八 歳入出精算書その他會計書 (三三二五七) 書綴 二綴外

明治三十九年度

五九 諸目録 (四一八七) 一袋

明治三十九年

金子受領証、支払証

六〇 役場諸切符 (三三二五二) 一袋

明治三十九年

六一 (仮題) 学費書類 (二九八六) 一枚

明治三十九年

六二 出納帳 (三〇四六) 一冊

明治三十九年

家計

六三 借り入金記 (二八六八) 一綴

明治三十九〜四十三年

六四 出納帳 (三〇四三) 一冊

明治四十年

六五 はがき (三三二一〇の五〇) 五葉

明治四十年

黒田美代・保吉ら一義宛

五六 明治四十年歳出入精算書 (二八六九) 一綴

(大正四年まで)

五七 利子金精算書控 (四一七七) 一通

明治四十一年一月十五日

黒田家代理人吉田新三郎ら大隈清孝宛

五八 出納帳 (三〇六九) 一冊

明治四十二年

五九 歳米(出入)計算書 (三三八九) 四通

明治四十二年

六〇 歳出入予算書 (三三八八) 一通

明治四十二年

六一 臨時出入覚 (四七八一) 一通

明治四十二年

六二 (仮題) 近雄諸人用費 (四七八〇) 一通

明治四十二年

六三 金出納帳 (三三九三) 一冊

明治四十三年一月

六四 (仮題) 東京旅費計算書 (三三八四) (袋入四通)

明治四十三年九月

六五 金子受取 (三三二〇の二四七) 一通

明治四十三年八月

原田到る黒田一義宛

六〇六 金借用証書

明治四十三年十一月

(三三二〇の二一四)

一通

負債者黒田一義に加藤啓十郎・加藤清宛

六〇七 金出納(仮帳)

明治四十三年

(三四二九)

長帳 一冊

六〇八 書簡

明治四十三年

(三三二〇の九八)

二通

甘木区裁判所より黒田一義宛

六〇九 諸目録并役場諸切符

明治四十三年

(三二七九)

二袋

六一〇 蔵米賣却帳

明治四十三年

(三二八二)

長帳 一冊

六一一 出納帳

明治四十三年

(三三二九)

書冊 一冊

六一二 御認可伺

明治四十三年一月十五日

(三一九二)

(袋入)一通

黒田一義に家令山中立木宛。相談人原田到撰定

六一三 本宅経費精算

明治四十三年度

(三三九〇)

一枚

六一四 臨時出納

明治四十三年度

(三三九一)

書綴 一綴

六一五 御本宅分歳入出予算

明治四十三年

(二九七〇の二)

書綴一綴・長綴一綴外

六一六 御隠宅歳入出高

(明治中期以降)

(二九七〇の二)

一通

六一六 財産総高

(明治中期以降)

(二九七〇の三)

一通

六一七 歳入豫算

(明治中期以降)

(二九七〇の四)

一通

六一八 (仮題)貸付金御聞届之通達

明治四十三年

(二九七一)

一通

六一九 金出納帳

黒田家山中立木に黒田一義宛

(二八五七)

書冊 一冊

六二〇 書簡

明治四十四年二月二十七日

(三三二〇の二〇〇)

一通

山中立木に黒田一義宛

六二一 金員受渡通

明治四十四年四月

(三〇三九)

小横帳 一冊

六二二 役場諸切符

(明治)四十四年度

(四三一八)

一袋

六二三 米歳入

明治四十四年度

(三三九四)

一綴

六二四 借入金証并利子拂目六

明治四十四年

(三四三三)

一綴

日新社より一義宛

六二五 歳出

(明治四十四年九)

(二八六一)

書綴 一綴

六二六 歳出

(明治四十四年九)

(二八六二)

一通

六二七 金米差引精算

(明治四十四年九)

(二八六三)

一通

(明治)四十四年度

三六 歳米賣却帳

明治四十四年

一通 (二八六〇)

三九 歳入

(明治)四十四年

小横帳 一冊 (二八五九)

三〇 (仮題) 金銭出入

明治四十四年~四十五年

一通 (二八九七)

三二 記

(明治)四十四年頃

小横綴 一綴 (二九七八)

諸費払

四通

三三 諸目録

明治四十四年

一通 (三〇六六)

三三 金出納簿

明治四十五年一月

一袋 (三四八四)

三四 金出納簿

明治四十五年一月

長帳 一冊 (二八九六の二)

三五 歳出入予算

明治四十五年

書冊 一冊 (二八九六の二)

三六 金借用証

明治四十五年一月

書綴 一綴 (三三二一〇の四六)

黒田一義より日新株式会社宛

二通

三七 書簡

明治四十五年六月・大正三年十二月

(三三二一〇の五五)

尾崎朝景より黒田一義宛。山中立木より黒田一義宛。公債利子

一三通

三八 役場諸切符

明治四十五年・大正元年改

(二九〇〇)

(袋入)二六通

三九 出納帳

明治四十五年

(三〇四四)

四〇 (仮題) 大隈余米代金覚

(大正元年)

書冊 一冊 (二九一一の二)

四一 大隈預け米内訳

大正二年度

小横綴 一綴 (二九一一の二)

四二 金出納帳

大正二年一月

一通 (三四三〇)

四三 出納帳

大正二年

長帳(小) 一冊 (三〇七〇)

四四 領収書類

大正二年

書冊 一冊 (二九一六)

四五 金出納簿

三奈木村より。日新株式会社宛

一袋 (二九〇九)

四六 歳米精算

大正二年度

書冊 一冊 (二九一〇)

四七 歳入(出)予算表

大正二年度

一通 (二九一三)

四八 (仮題) 計算書

明治四十三・大正二年

書綴 一綴 (三三三四)

四九 書簡

大正二・三年

三通 (三三二九の四)

森部静夫より黒田隠宅奥様宛。本宅・隠宅同居の件、本宅家計の事

四通

五〇 経常費出納簿

大正三年一月

(三四七五)

長帳 一冊

六五二 (仮題) 上京費覚

大正三年三月

(四五五四)

長綴 一綴

六五三 (仮題) 臨時費用覚

大正三年五月

(三三二七)

書綴 一綴

原田到

六五四 御上京中御留守諸入費受拂日計簿

大正三年三月〜六月

(三三三五)

一綴

六五五 収入之部

(大正三年力四年)

(四四八〇)

一通

三奈木黒田家

六五六 (仮題) 粮米代覚

大正三年

(三四八〇)

一綴

六五七 經常費臨時拂目録

大正三年

(三四七八)

一括

六五八 役場諸切符

大正三年度

(三四七七)

一袋

六五九 金出納簿

大正三年度

(三四七六)

書冊 一冊

六六〇 大正三年度歳入予算

大正三年度

(三四七三)

書綴 一綴

六六一 粮米通

大正三年

(三四七二)

小横帳 一冊

六六二 粮米通

大正三〜五年

(三二八六)

小横帳 三冊

六六三 金借用証書

大正三〜六年

(三一八一)

二綴

六六三 書簡

大正四年一月二十九日

(三二一〇の三三)

(袋入)一通

黒田一義より新株式会社宛

六六四 經常費出納簿

大正四年一月

(三〇四一)

長帳 一冊

六六五 大正四年度歳米差引精算

大正四年度

(三一八三)

一通

六六六 金出納簿

大正四年

(三二七一)

書冊 一冊

六六七 東京滞在中諸目録

大正四年

(三二七二)

一括

六六八 書簡

大正四年

(三二一〇の九四)

二通

山中立木より黒田一義宛。公債利金送付通知

六六九 粮米通

大正四年度

(三二七四)

小横帳 一冊

六七〇 (仮題) 療養費覚

大正四年

(三二七五)

一綴

六七二 大正四年度歳暮

大正四年

(三二七六)

一通

六七三 大正四年度役場切符

大正四年

(三二八〇)

一袋

六七四 (仮題) 大正四年度諸費用覚

大正四年

(三二八一)

一袋

加藤啓十郎より黒田家執事宛

六四 蔵米差引精算 (三二八三)

大正四年度 書綴 一綴

六五 田地負担調財産調負債調 (二八〇二)

(大正四年以降) 書綴 一綴

六七 經常費出納簿 (三四六二)

大正五年一月迄 長帳 一冊

六七 役場諸切符 (三四三五)

大正五年一月〜七月 一袋

六八 所得金額申告書 (二八四四)

大正五年四月 二通

黒田一義

六九 三奈木男爵家財産整理ニ付御願之條々 (三一八七)

大正五年七月 書綴 一綴

六〇 (仮題) 財産整理記録 (三四五〇)

大正五年七月 書綴 二綴

三奈木黒田家

六一 書簡 (三二一〇の六)

大正五年七月 二通

本原好郎・黒田一義と加藤啓十郎宛。負債の整理方法についての相談

六二 金借用證書 (三一七二)

大正五年八月九日 一綴

黒田一義と尾野実信宛

六三 (仮題) 出入金覚 (三四三六)

大正五年 書綴 一綴

六四 粮米通 (三四三四)

大正五年度 小横帳 一冊

三奈木黒田家文書 (二、明治以降史料)

六四 相談人會協議決定事項 (三二三〇)

大正五年八月九日 書綴 袋入 一綴

六五 (仮題) 相談役の囑託依頼 (四九七五)

大正五年八月十日 一通

黒田一義と森部静夫・尾野実信宛

六六 案 (四五七〇)

大正五年八月十日 一通

黒田一義。加藤新次郎外当家相談役辞任に付

六六 書簡 (三二一〇の八六)

大正五年〜大正六年 三通

森部静夫と黒田一義宛。財政整理の事

六七 男爵家御預り金計算書(関係) (二八三九)

大正五・六年 書綴 一九綴

本原好次郎

六七 受取証 (三二一〇の一三)

大正六年 一通

尾野実信と黒田一義宛。登記受附に係る貸金元利

六八 金銭出納簿 (三四六一)

大正六年 長帳 一冊

黒田多喜

六九 1 書簡 (三二一〇の八五)

大正六年十一月十二日 一通

尾野実信と黒田一義宛。森部氏相談人辞退

七〇 2 書簡 (三二一〇の八四)

大正六年十月三十一日 一通

相談人辞退の事

六九 領収書

(三三三二)

大正六・七年

四綴外

黒田一雄

六〇 はがき

(三三三三の六)

大正九年十二月

一葉

原田到・加藤一匡と黒田一弘宛。家禄不足額請求に関する委任状通知

六一 金員受渡通

(三〇四〇)

大正九年十二月下旬

小横帳 一冊

六二 黒田家出納簿

(三三二五)

大正九年

書冊 一冊

加藤清

六三 公私領収書類

(三一六一)

大正十年度

一袋

六四 大正十一年公納金領収証

(四九九三)

大正十一年

一二通

黒田一弘宛

六五 大正十一年度小作米林毛分清算書外

(四九九二)

大正十一年

(袋入)二通

六六 支払領収証

(三四四九)

大正十一年

一袋

六七 (仮題) 諸金諸払帳

(二九一四)

(大正)

長綴 一綴

祭典費・学費・修繕費外

六八 亥夏御東行用諸払算用帳并ニ売上

(九〇九)

(明治以降)

長帳(包紙入)二冊

六九 覚

(九一五の八)

長綴 一綴

一本の正味斤数書上。下座分

七〇 領収書類

(三二七〇)

(明治後)大正

六通

日新株式会社。余米

七一 書記

(三二六九)

(明治以降)

一通

原田到と黒田男爵宛。計算書

七二 (仮題) 豫算

(三二六八)

(明治以降)

書綴 一綴

四家合同予算(家政整理書類)

七三 売却品計算簿

(三一六五)

(明治以降)

書綴 一綴

七四 記

(三八〇一)

(明治以降)十月二日

書綴 一綴

松浦格弥。黒田家家政に関する覚

七五 (仮題) 諸代金支払目録

(三七九七)

(明治以降)

三綴

七六 記(代金支払)

(三七九五)

(明治以降)

一通

七七 (仮題) 記

(三三三二)

(明治以降)

二通

借入金、支払等、計算具

七八 (仮題) 四家合同豫算

(三三二八)

(明治後期)

書綴 一綴

七九 負債記

(三三二一)

(明治期) 二綴・一通

林毛負債記、祐雄と一義宛書簡(三月三十日)

七〇 (仮題) 諸費計算書 (三二二二)

明治と大正 五通

家売却代、解家買入代外

七一 書簡 (三二二〇の一四九の二) 一通

(大正期カ)

加藤弥助と一義宛。送金通知

七二 受取通知 (三二二〇の一四九の二) はがき 一葉

(大正四年)十二月二十二日

藤原静枝と黒田一義宛

七三 書簡 (三二二〇の一四八) (袋入)二通

(大正期)

八十雄と黒田一義宛。金子拝借并返済

七四 書簡 (三二二〇の一四四) 一通

(明治以降)

賀来文式と木原宛。薬価の事

七五 書簡 (三二二〇の一四三) 一通

(明治以降)

緒方春山と木原宛。謝儀としての給金の礼

七六 はがき (三二二〇の一三一) 二葉

大正三年

黒田みよと黒田一義宛。金子領収外

七七 書簡 (三二二〇の一三〇) 一通

(明治以降)七月二日

黒田一義と。黒田家家政に関する事

三奈木黒田家文書 (二、明治以降史料)

七八 書簡 (三二二〇の一〇) 一通

(明治末と大正初)

篠原村樹と黒田一義宛。金子請取

七九 書簡 (三二二〇の一〇九) 五通。葉書一葉

(明治末と大正初)

いさ外と黒田一義宛。金子請取

七〇 書簡 (三二二〇の一〇八) 三通

(明治末と大正初)

保吉と黒田一義宛。金子請取并見舞状

七二 書簡 (三二二〇の一〇七) 一通

(明治以降)

吉本朝夫外と黒田一義宛。金銭送附願并受取証

七三 書簡 (三二二〇の一〇六) 一通

(明治以降)五月二十五日

北原久吉と黒田一義宛。浪米受取

七四 書簡 (三二二〇の一〇五) (袋入)一通

(明治以降)八月九日

参謀本部尾野実信と黒田一義宛。黒田家財産の事

七五 書簡 (三二二〇の一〇四) (袋入)二通

(明治末と大正)

原田到と黒田一義宛。黒田家家計の事

七六 書簡 (三二二〇の一〇三) 一通

(明治以降)二月

西島種美と一美宛。大音素雪上京の際の諸費用

七七 書簡 (三二二〇の一〇二) 一通

(明治以降)七月十八日

二七七

尾野実信と黒田一義宛。株代金拂込に付

七六 (仮題) 金子精算書

(四九七三)

(明治以降)

一綴

家計費

七五 (仮題) 金子精算書

(四九七二)

(明治期)

(袋入)一通

丸山範平と黒田宛。売払覚

七四 (仮題) 金銭覚

(四八九八)

(明治以降)

一通

米代金

七三 書簡

(四六四一)

(明治以降) 八月九日

一通

尾野実信と男爵宛。一郎様費用過不足明細書送附の件

七二 萩原静枝御算用目録

(四四二七)

(明治以降)

一括

税外

七一 一葦様御逝去以後拂出金員記

(四四二四)

(明治以降)

長綴 一綴

七〇 一雄様桑ノ葉代・衣類代等差引

(四四二六)

(明治以降)

長綴一綴・一通

六九 買物一通

(四四二二)

(明治以降) 十月二十四日

小横帳 一冊

黒田

六八 覚

(四二〇九)

(明治以降)

一通

買物覚

七六 記

(四一八二)

(明治以降)

一通

諸払分。男爵会費外

七五 記

(四三四八)

(明治以降)

一通

公債証額計算書

七四 (仮題) 生糸かけぬり染代

(四三五八)

(明治以降)

一通

あへなみ

七三 (仮題) 石油配布覚

(四四一四)

(明治以降)

一綴

黒田

七二 取調書

(四四七〇)

(明治以降)

二通

黒田一義。生計ノ情况

七一 記

(四四八二)

(明治以降)

一通

三奈木黒田家米不足分計算書

七〇 (仮題) 覚

(四五四六)

(明治期)

書綴 一綴

木原と加藤宛。黒田家財政取調子の件

六九 (仮題) 田よりの収益覚

(四五四八)

(明治以降)

一通

六八 (仮題) 家政改革覚

(四五五二)

(明治以降)

三通

六七 覚

(四五六〇)

（明治以降） 三通

月渡金のための諸条件(学費カ)。家政救済願

七四 (財政) 覚書 (四五六二) 三通

(明治以降) 三通

七三 (仮題) 拝借金返納の事 (四五六八) 一通

(明治以降) 一通

村山宛

七二 金田拝借ノ義ニ付御願 (四五七六) 一通

(明治三十年頃) 一通

一義カ。長女とみ結婚ニ付

七一 (仮題) 家政関係ケ條書 (四六五八) 二通

(明治以降) 二通

七〇 書付 (四六六六) 二通

(明治以降) 二通

林毛取仕舞の事

六九 諸品御通帳 (四七四八) 一冊

(明治以降) 九月八日

鶴屋本宅カ加藤啓十郎宛

六八 (仮題) 旅費覚帳 (四七四九) 一冊

(明治以降) 一冊

六七 (仮題) 財産高覚 (四七六五) 一通

(明治以降) 一通

鉛筆書

六六 (仮題) 買物覚并支払覚 (四七七二) 長綴三綴・四通

(明治ノ大正) 長綴三綴・四通

工賃支払等も含む

七五 (仮題) 米売払覚 (四七七二) 四通

(明治ノ大正)

七四 御倉米払渡一覽表 (四七七五) 一通

(明治以降) 三月廿六日ノ六月廿五日

七三 (仮題) 財政出入覚 (四七七六) 二通

(明治以降)

七二 記 (四七七八) 一通

(明治以降) 一月十九日

一葦、加藤団へ預ケ金利

七一 領収書類 (四七八二) 一袋

(明治ノ大正期)

七〇 書簡 (四七八八) 二通

(明治期) 二通

豊田医院カ黒田一義宛。領収書

六九 覚 (四七九三) 一通

(明治以降) 西十月

永野徳三郎カ江見礼宛。松板代金

六八 八十雄受領書 (四七九四) 三通

(明治以降)

六七 一雄様御病氣ニ付諸費 (三三二〇の一五) 長綴 一綴

(明治末)

六六 書簡 (三三二〇の一四) 一通

(明治後期)

六五 (仮題) 三奈木黒田家財産整理并家計書類 (三三六八) 一括

(明治ノ大正期)

七六 夜具類賣立帳

(明治以降)

(三三〇三)

長帳 一冊

七七 諸品賣捌根帳

(明治以降)

(三三〇四)

長帳 一冊

七八 諸目錄

(明治以降)

(三三一四)

一括

受領書類

七九 所有財産

(明治以降)

(三三二五)

一綴

黒田一義、一雄等

七〇 表様御久壽利簿

(明治期)

(三三四〇)

小横帳 一冊

七一 石碑建築ニ付石屋其他江加勢人江出シ用酒肴代并並受負

(明治以降)

(三三三七)

一括

七二 (仮題) 所有財産高

(明治以降)

(三三四六)

一綴

黒田一義

七三 親睦会諸目錄

(明治以降)

(三三六八)

一括

献立・費用

七四 資産取調

(明治以降)

(三三六九)

長綴 一綴

七五 蔵米賣却明細書

(明治以降)

(三四八二)

一綴

七六 蔵米出納精算

(明治以降)

(三四六五)

野紙 一通

七七 御本家御手入覚

(明治以降)

(三五〇一)

一綴

七八 諸目錄

(明治〜大正期)

(三五一七)

一袋

衣食住等の出費覚

七九 (仮題) 薬價目六

(明治〜大正期)

(三五二七)

書綴(袋入)一綴

福嶋文壽方黒田一義宛

七〇 記

(明治以降)

(三五二六)

書綴 一綴

油代覚

七一 一ヶ年御割合廉々内譯

(明治以降)

(三五八三)

野紙綴 一綴

七二 (仮題) 家計整理ニ関スル意見書

(明治以降)

(三五九〇)

一綴

七三 (仮題) 年賦覚

(明治以降)

(三八〇五)

切紙 一通

七四 書簡

(明治以降)

(三八〇九)

一通

林毛邸売却に付

七五 登京旅費諸拂帳

(明治以降)

(三九六八)

長綴(小) 一綴

七六 金子受領証

(明治以降)

(三九八二)

一通

越後屋三五郎方黒田一雄宛

七七 金子受領証

(三九八三)

七六 (仮題) 諸目録 (明治以降) 五通 (三九九四) 一括

七九 所得税調査ニ要スル物価表 (明治〜大正期) 一通 (二八四九)

三奈木村役場と黒田一義宛

五〇 父子上京旅費一切 (明治末カ) (二八七六) 書綴 一綴

五一 みよ病氣ニ付臨時仕拂之部 (明治以降) (二八七四) 小横綴 一綴

五二 金銭算用覚 (明治中期以降) (二九五九) 六通

樫美代、余米代等

五四 所有財産 (明治後期以降) (二九九七) 書綴 一綴

五五 (仮題) 金銭覚 (明治期) (三〇一〇) 長綴 一綴

一美分余米代、米売却代

五六 一義様御病氣付雜記 (明治以降) (三〇三八の二) 長帳 一冊

五七 お安病氣ニ付臨時支出簿 (明治以降) 十月十五日 (三〇三八の二) 長帳 一冊

五八 公賣品帳 (明治中期以降) (三〇五〇) 書冊 一冊

八十雄分

五九 公賣品帳 (三〇四九)

三奈木黒田家文書 (二、明治以降史料)

(明治中期以降) 書冊 一冊 (三〇四二) 本宅分

八〇 日新社負債并ニ役場負債元利記 (明治以降) 書綴 三綴 (三〇五一)

八一 御本宅分賣却代金受取記并関係書類 (明治以降) 長帳 二冊外 (三〇八三)

八二 諸品賣立代金合計記 (明治以降) 三月三十一日改 長冊 一冊 (三〇八二)

八三 諸品賣捌帳 (明治以降) 長冊 一冊 (三〇九五)

八四 隠宅衣類賣捌帳 (明治以降) 長帳 一冊 (三二二九)

八五 御整理後蔵出入予算 (明治以降) 書綴 一綴 (三二二八)

八六 歳出入豫算 (明治〜大正期) 長綴外 八点 (三二〇四)

八七 書簡 (明治以降) 一通

八八 一政様仕分米成ノ年分 福嶋文濤と黒田一義宛。薬価、診察代の件 (明治以降) 亥一月四日 (二〇二三)

八九 記 安陪庄作と田中園生宛 (明治以降) (二〇二五)

九〇 (仮題) 受取証書 領取証 一綴 (九一四)

(明治以降)

一綴

日用品代

(八二九)

小横帳 一冊

(明治以降)

長綴 三綴

(四四二五) 一綴

受取証

八三(仮題)家計出入覚

(四〇〇九)

(三七〇八) 一括

(明治以降)

長綴 六綴

(四一六) 一括

八三(仮題)御算用差引目録

(四二二九)

(三七〇九) 一括

(明治以降)

一通

八四記

(明治以降)

一通

御隠居東京御出、諸費分

八五覚

(明治以降)

(四一五四)

(三九一一) 一括

米代等金子出入

八六 口上覚

(明治以降)

(四一五九)

(三九四七) 一通

加藤團。蔵米の要求

八七(仮題)覚

(明治以降)

(四六二八)

(三〇一一) 一冊

大塩操と黒田家執事宛。家政

八八(仮題)金子受取証

(明治以降)九月六日

(三八九九)

(九七二) 一綴

松尾昇と萩原静枝宛

八九 林毛ニ関スル書類

(明治末年)大正期

(三〇六八)

書綴 一綴

林毛分家一件書類、林毛へ譲渡分耕地整理費、別居申心得外

八三〇 一葦様御贈位并一路様不幸諸費

(二九七四)

(明治後期)

小横帳 一冊

八三一(仮題)算用覚

(明治以降)

長綴 一綴

八三二 五月分諸目録

(明治以降)

(三七〇八) 一括

八三三 二月分諸目録

(明治以降)

(三七〇九) 一括

八三四 払物諸目録

(明治以降)

(三九一一) 一括

八三五 八十雄結婚費諸目録

(明治以降)

(三九二五) 一括

八三六(仮題)金錢覚

(明治以降)

(三九四七) 一通

八三七 遠近一作名寄帳

(明治以降)

(三〇一一) 一冊

(8) 土地

八三六(仮題)覚

明治四年三月改

(九七二) 一綴

八三六(仮題)覚

明治四年六月

(九七二) 一綴

下座郡八重津村庄屋松岡一三郎と福岡県庁宛。黒田一美支配空地の出入

八三六記

(明治四年)辛未十二月

書綴 一綴

戸籍、黒田一雄預り山立木の件

〇三 口上覚 (九五八)

(明治四年)辛未十二月 書綴 一綴

黒田一雄方県庁宛。御笠郡乙金村一作山立木申受度

〇二 口上覚 (九五四)

明治四年十二月 一通

黒田一雄方県庁宛。御笠郡乙金村抱一作山立木申受度

〇一 口上覚 (四六七)

(明治四年)辛未十二月 一通

黒田一雄。春日村抱立木伐拂願

〇三 老作荒畠立木伐拂願 (二一〇八)

(明治五年)壬申四月 紙一通

黒田一雄方県庁宛。那珂郡春日村抱

〇四 (仮題)竹木伐拂之儀ニ付抱界糺事 (四一〇四)

(明治五年)壬申二月 一通

〇五 證拠之事 (二三二七)

明治五年三月 一通

春日村組頭取卯作外方白石徳磨宛

〇六 畠地売渡澄文 (三八九二)

明治五年七月 (包紙)二通

児嶋義郎方黒田一葦宛

〇七 土地売買證文 (三八九八)

(明治五年)壬申七月 (包紙)一通

魚住直雄方高田作平宛。付、借用證文之事、明治五年八月高田正平方志間寿

平宛。(平尾村御山屋敷代)

〇八 奉願畑地売買之事 (三九六九)

三奈木黒田家文書 (二)、明治以降史料)

明治五年七月 一通

〇三 粕屋郡宇美邑黒田一美様従前拝領老作見込帳 (三三二二)

売渡人博多行ノ丁幸七方買受人黒田一葦宛 書冊 一冊

明治五年七月 (八六八)

〇四 御用地村々余米帳 (三三二三)

明治五年八月 長帳 一冊

〇五 旧附属之面々従前立山坪数 (四一六二)

明治五年九月 書綴 二綴

黒田一雄方県庁宛

〇六 (仮題)覚 (四一六二)

(明治五年)壬申十一月 一通

従前帝釈寺組中拝地之事

〇七 覚 (四〇九九)

(明治五年)壬申十一月 一通

安岡孫十郎。櫛実契り手間賃

〇八 村々下作入口除米帳 (八六六)

明治五年十二月 長帳 一冊

〇九 覚 (九一五の二)

(明治五年)壬申十二月 一通

安岡孫十郎。小隈村年貢、櫛契入用分

〇一〇 山林願 (三九六六)

明治六年四月 書綴 五綴

黒田一雄方

〇一一 (仮題)土地購入ニ付登録願 (三八九七)

明治六年 一通

黒田一葦方春吉村副戸長宛

八四 山林願

明治六年

書綴 四綴

(三〇二四)

八五 山林願

(明治六年)癸酉一月

書綴 一綴

(二八三四)

黒田一雄。粕屋郡宇美

八六 記

明治六年一月

書綴 一綴

(九五七)

黒田一雄。第二十区戸長井手習宛。下座郡長田村一作地小作人との熟談調書

八七 記

明治六年一月

書綴 一綴

(九四六)

黒田一雄。第二十区戸長井手習宛。長田村抱千年川筋老作地小作人との熟談兼候件

八八 老作願

明治六年一月十日

書綴 一綴

(八四八)

黒田一雄

八九 老作願

明治六年一月

一通

(九四九)

黒田一雄。御笠郡乙金村抱一作地

九〇 老作願

明治六年二月

書綴 一綴

(九四八)

黒田一雄。御笠郡乙金村抱一作地私銘頭に被仰付度

九一 老作願

明治六年二月

一通

(一一〇一)

黒田一雄。参事塩谷處外宛。乙金村抱。付、老作山立木申請御願申事、那珂郡春日村老作畑山伐払御願申上ル覚(明治五年四月)

九二 山林願

明治六年四月

書綴十九綴・地図二枚

(二八二一)

黒田一雄

九三 記

明治六年五月

書綴 一綴

(九四七)

長田村保長齋藤嘉平外。権令沢簡徳外宛。長田村抱老作地一件

九四 一作願

明治六年五月

書冊 一冊

(九四五)

黒田一雄。福岡県権令沢簡徳外宛。下座郡長田村抱千年川筋一作地小作人との不調整に付

九五 老作願

明治六年五月四日

一通

(四〇八〇)

黒田一雄。聞次安陪庄作。福岡県宛

九六 老作之儀ニ付添願

明治六年五月三十一日

書冊 一冊

(三二二二)

黒田一雄。福岡県権令沢簡徳宛。粕屋郡宇美村抱老作之儀

九七 田畑畝高帳

明治六年八月

長帳 一冊

(八六九)

黒田。下三奈木村分

九八 田畑畝高帳

明治六年八月

長帳 一冊

(八六五)

黒田一雄。上三奈木村

九九 一作願

明治六年五月

書綴 一綴

(六四〇)

黒田一雄。福岡県権令沢簡徳外宛。長田村抱千年川筋一作地拙者銘頭に可相成儀と存

八六 (仮題) 覚 (三六八二)

明治六年九月 一通

柳原源右衛門。預ヶ山

八五 林反別覚 (四〇九〇)

明治六年九月 一通

八四 (仮題) 覚 (四一六〇)

明治六年九月 一通

旧帝釈寺組。御預ヶ山地税の件

八三 下作入口差引帳 (六四七)

明治六年十一月 長帳 一冊

三奈木家

八二 穂波郡大分村抱蛇谷五万坪父黒田一美拝領山図面 (四六二五)

明治六年十一月 一枚

黒田一雄

八一 記 (四六八二)

明治六年十二月 書綴 一綴

三宅村大庭友吉と安陪正作宛。山林払下げ願

八〇 黒田一雄元拝領老作名頭願 (三三二四)

明治七年一月 書綴 一綴

福岡県権参事山根秀介宛

七九 質券証書 (二六〇)

明治七年六月 (包紙入) 書綴一綴・一通

熊本清五郎と黒田聴鷲宛。質田地壳渡候。付、地券御渡奉願候事(明治六年

九月、黒田聴鷲と)

七八 田畑名寄帳 (三七五三)

明治九年六月 書冊 一冊

三奈木黒田家文書 (一、明治以降史料)

八三 1 地券 黒田。下座郡小隈村抱 (三一五九の二)

明治十年、明治十三〜二十年 一二七枚

2 地券請下覚 (三一五九の二)

明治十六年 一通

八二 明治十年小作取立 (三三九七)

明治十年 長綴 一綴

八一 明治十年願ニ依り拝領主黒田一雄へ御下渡候分土地図面 (四五九二)

明治十年 山林 二枚

八〇 記 (三六八三)

明治十年九月 一通

黒田一雄代理大塩行と二小区扱所宛。新地券渡方依頼

七九 代人設置御届 (四六一七)

(明治十年九) 三通

七八 春日山御壳渡約定書 (四六一六)

明治十一年三月六日 (包紙入) 一通

那珂郡春日村保長藤才吉と大塩行宛

七八 (仮題) 覚 (四六二三)

明治十一年三月十三日 (包紙入) 一通

水城村百姓中の中嶋田村板並有宛。山御払下の礼

八六 三奈木村抱田畑宅地林数名寄帳 (二八八九)

明治十一年四月写 書冊 一冊

八一 記 (四六一五)

明治十一年十二月二十四日 一通

二八五

水城村の黒田一雄宛。大谷山林代金

八三 金送り状

明治十一年十二月二十四日

(四六一四) 一通

水城村買受人中の黒田一雄宛。大谷山林拂下代金

八三 下作入口差引帳

明治十一年十二月

(二九三二) 一冊

八四 下作餘米大豆粟受拂簿

明治十二年一月

長帳 一冊 (二八〇八)

鬼木安達

八五 下作餘米大豆粟受拂簿

明治十二年一月

長帳 一冊 (二八一八)

篠原善次

八六 小作米御蔵入帳

明治十二年

長帳 一冊 (二九三二)

八七 小作入口差引帳

明治十二年

長帳 一冊 (二九三三)

八八 記

明治十三年六月四日

(四一一三) 一通

売渡人黒田一雄の買受人脇山卯吉郎宛。林壳拂

八九 小作米御蔵入帳

明治十三年

長帳 一冊 (二九三四)

九〇 小作人米并大豆粟差引帳

明治十三年

長帳 一冊 (二九三五)

九一 下作人米大豆粟出納簿

明治十三年十一月

長帳 一冊 (二八一七)

篠原善次

八三 下作人米大豆粟出納簿

明治十四年

(二八一五) 長帳 一冊

八三 小作米并大豆粟御蔵入帳

明治十四年

(二九三六) 長帳 一冊

八四 小作米并大豆粟差引帳

明治十四年十二月

(二九三七) 長帳 一冊

八五 養巴ノ丁宅地建家御買入二付売渡証

明治十四年十二月三十日

(三〇三六) 書綴(包紙入)一綴

買元重松新吾、売元黒田一輩

八六 明治十五年小作米代納目録

明治十五年

(三四二二) 一括

八七 (仮題) 地所取調子

(明治十五年以降)

(四五九二) 一通

山林

八八 1 山林代地御下附願

明治十五年六月十日

(三四一〇の二) 一通

2 農商務省令改正

明治三十二年四月

(三四一〇の二) 一通

官有森林原野払下

八九 約定書

明治十五年八月

(二六八) 一通

宗像郡勝浦村八十名連印。拝領老作田十六町余地所銘頭改定義、出訴に付拝願之通承諾被下

九〇 献上目録

明治十五年九月

(四六四七) 一通

宗像郡勝浦村小作人惣代花田善次郎外三名と

九〇二 小作米大豆粟出納帳 (二八二六)

明治十五年十二月 長帳 一冊

九〇三 長洲并またら川差引目録 (三五〇三)

明治十五年・十六年 長綴一綴・一通

九〇三 明治十五年分小作米大豆粟指引帳 (二九三八)

明治十六年二月 長帳 一冊

九〇四 明治十六年度小隈村地税并小作差引目録 (四四二〇)

明治十六年度 一括

九〇五 米大豆粟取立帳 (三三五六)

明治十六年分 長帳 一冊

九〇六 明治十六年度小作米出納 (三四一八)

明治十六年度 一通

九〇七 (仮題) 田畑調査 (三九四五)

明治十六年六月 一通

黒田一雄

九〇八 御隠宅小作米出納帳 (三四一三の二)

明治十六年十一月 長帳 一冊

九〇九 御隠宅様分明治十六年分小作米取立帳 (三四一三の二)

(明治) 長帳 一冊

九一〇 御隠宅小作米御蔵出納指引 (三四一三の三)

明治十七年 一通

九一二 明治十六年分小作米差引帳 (三四一三の四)

(明治) 書綴 一綴

九一三 小作米大豆粟出納帳 (二八一三)

明治十六年十一月 長帳 一冊

九一三 一美様御所有地并小作附口記 (三三九八)

三奈木黒田家文書 (一、明治以降史料)

明治十六年 長帳 一冊

九一四 (仮題) 小作米取立 (三四〇一)

明治十七年十月 長綴 一綴

安陪庄作ち加藤三郎平宛

九一五 差引目録 (三五二五)

明治十七年 一綴

小作米(粟・大豆)納覚

九一六 明治十七年分水城村御余米納目録 (三〇三四)

明治十七年分 書綴 一綴

九一七 明治十七年度余米・櫛目録 (三〇三七)

明治十七年度 一括

九一八 地券進達目録 (二九四三)

明治十七・十八年 三通

黒田一義

九一九 長洲分代地目録 (二九四六)

明治十七年 書綴 七綴

証人安陪庄作、地券名換控、地所売渡証外

九二〇 (仮題) 小作米受領証 (三五二二)

明治十八、二十八、三十一、大正元、三年 二冊外

九二一 所有地所目録 (三二九四)

明治十八年 書綴 一綴

加藤十五郎

九二三 御備金ヨリ買入部地方目録 (三二九九)

明治十八年二月 書冊 一冊

九二三 地所永代売渡証 (三一〇二)

明治十八年二月九日 一枚

松本卯作と黒田一義宛

四三 所有地調

明治十八年三月

地価など

四四 加藤孚畑境界立会改

明治十八年五月十三日

四五 地券

明治十五、十八年

四六 (仮題) 当事証拠

明治十七年六月、十八年改

板波。田畑諸掛り費用覚

四七 仮預証

明治十八年十月二十五日

四八 地所永代売渡証

明治十八年

加藤字外と黒田一義宛

四九 地所永代売渡証

明治十九年九月二日

売主加藤字外と黒田一義宛

五〇 地所永代売渡証

明治二十三年九月十九日

売人福嶋文瀟と黒田一義宛

五一 委任状

明治十八年十一月十日

黒田一義。穂波郡内住民官林盜伐事件に付

(四三六二)

二通

(四六〇三)

一通

(二九五〇)

一七通

(三二〇九)

長帳 一冊

(二九四八)

(包紙入) 一通

(二九四二の一)

書綴 一四綴

(二九四二の二)

書綴 二綴

(二九四二の三)

書綴 一綴

(四一四一)

一通

五三 記

明治十八年十二月

尾野省三と黒田一義執事梅野四郎宛。田畑収益覚

五四 古熊山売却并ニ諸入費計算帳

明治十九年四・五月

五五 古熊山拂代請取記

明治十九年

五六 御備金加藤孚請持分現金田畑上納記

明治十九年九月改

五七 一雄様分御所有地小作米并ニ金差引簿

明治十九年度

五八 地所永代売渡証

明治二十年

五九 (仮題) 覚

明治二十一年二月

宮崎貞徳外一名。山代不足金計算

六〇 田畑名寄帳

明治二十二年改

六一 (仮題) 地價帳

(明治二十二年)

六二 田畑小作米粟大豆附口帳

明治二十二年改

六三 地所売渡約定証

明治二十四年二月一日

黒田一義と古林興六宛

(四七七七)

一通

(二九五七の二)

長帳 一冊

(二九五七の二)

長帳 一冊

(三〇八七)

長帳 一冊

(二八〇七)

長帳 一冊

(三五〇六)

書綴 五綴

(二九九〇)

長帳 一綴

(二九九八)

書冊 一冊

(三三二八)

書冊 一冊

(三五八二)

書冊 一冊

(三四二四)

一通

(三五九九)

一通

明治二十四年三月十八日

書綴 一綴

黒田一義と黒田一雄宛

九四 地所売却帳并畑地御拂却ニ付見積り明細帳

(二九九四)

明治二十四年

書冊 二冊

九四 地目交換目論見帳野取図入

(三五二二)

明治二十五年二月四日

一袋

九四七 (仮題) 土地売買証文

(二九九九)

明治二十五年十月二十九日

一通

買請人福島文瀾と木原正利宛

九四 地所米代売渡証

(三五三八)

明治二十五年十月二十九日

書綴 一綴

売渡人宮原又平と黒田一義宛

九四 (金子) 請取証

(四四七四)

明治二十五年十月三十日

一通

粕谷飛鳥と黒田一義宛。地所売買代金

九五 粕谷飛鳥畑地御買入記

(四四七二)

明治二十五年十一月一日

書綴 一綴

九五 小作米収入簿

(三〇六五)

明治二十五年年度

書冊 一冊

九五 所得税届書

(三〇六七)

明治二十五年

野紙綴 七綴

九五 邸内藪桑畑開墾田地ニ仕方替諸費

(四一七八)

明治二十六年

長綴 一綴

九五 明治廿六年度小作米差引

(三〇六四)

明治二十六年度

一通

九五 小作米収入簿

(三三七四)

三奈木黒田家文書 (二、明治以降史料)

明治二十六年度

書冊 一冊

九六 侯爵御名當田地役場拂并ニ保吉仕向金之記

(三四八三)

明治二十六年一月

長帳 一冊

九六 明治廿七年度小作米指引簿

(三三七八)

明治二十七年

一通

九六 明治廿七年度余米支出予算

(三三七七)

明治二十七年

一通

九六 地所売渡証書

(二九九五)

明治二十七年三月五日

書綴 一綴

売渡人加藤嘉市、買人黒田一義

九六 小作米収入簿

(三〇〇一)

明治二十四年度、二十七年

書冊 二冊

九六 小作証書

(三〇〇〇)

明治二十八年五月十七日

一綴

浦喜右衛門と黒田一義宛

九六 小作米出納簿

(三〇一一)

明治二十八年

書冊 一冊

九六 明治廿八年度小作米精算書

(三〇〇三)

明治二十九年四月

一通

黒田一義と村山与三郎宛

九六 小作米代金納帳

(三〇一四)

明治二十九年

長帳(小) 一冊

九六 明治廿九年度小作入口米精算書

(三〇一六)

明治二十九年十二月

一通

黒田一義

九六 国有沼及浜地下戻申請ニ付上申書(類)

(三一四五)

明治三十年代

二八一九、二八二二などの関係書類

九六 小作米取立帳

明治三十年十二月

一册 (三二六三)

九七 向浜出願及除米願等之件二付諸費

明治三十一年

長帳 一册 (四一八〇)

九八 小作證書

明治三十一年一月二十日

書綴 一綴 (三三三〇)

保坂才吉

九九 (仮題) 地所御下渡願関係

明治三十一年

(四五九三)

西戸崎拝領地ノ内

一〇〇 西戸崎沼及浜地下渡願

明治三十一年十二月

(二八一九の二)

黒田一義

一〇一 (仮題) 覚

明治三十一年、三十三年

(二八一九の二)

志賀島村地所下附願却下

一〇二 旧拝領地下渡請願ニ関シ取調ノ為答弁書

明治三十一年

(二八一九の三)

一〇三 西戸崎沼及浜地下渡関係書類

明治三十年

(二八一九の四)

一〇四 小作米代金納并売却米之記

明治三十一年度

書簡二通・野紙三枚・外十地点図等を含む (三二〇二)

一〇五 小作米取立帳

明治三十一年十一月

長帳(小) 一册 (三一四七)

長帳 一册

一〇六 小作米代納并拂米記

明治三十一年十二月、三十二年十一月

(三一四八)

一〇七 小作米精算書

明治三十二年

長帳(小) 一册 (三一四九)

一〇八 明治三十二年度小作米代金納并二拂米之簿

明治三十二年度

長帳(小) 一册 (三一一八)

一〇九 国有原野下戻申請書(姪浜町)

明治三十二年

書綴 一綴 (二八二九)

黒田一義

一一〇 山林下戻申請書

明治三十三年一月

書綴 一綴 (二八二〇)

黒田一義

一一一 小作米代金納并拂米記

明治三十三年度

小横帳 一册 (三〇〇二)

一一二 地所名前替届

明治三十三年四月

書綴 一綴 (三二〇一)

故人黒田一美、譲受人黒田一義

一一三 (仮題) 国有林下戻申請ケ所調査日割通知

明治三十三年十月十五日

はがき一葉・一通 (三五二一)

一一四 小作米取立簿

明治三十三年十一月

書冊 一册 (二八七九)

一一五 除虫油御通

明治三十三年・三十四年・三十九年

小横帳 三册 (三一三九)

一一六 明治卅四度小作米代金納并拂米記

明治三十四年度

小横帳 一册 (二八二四)

一一七 小作米取立簿

小横帳 一册 (二八二七)

明治三十四年十一月

九八 粮米記

(明治)三十四年

書冊 一冊

(二八七二)

九九 田地小作付口帳

明治三十四年改正

小横帳 一冊

(二八四一)

一〇〇 土地賃借契約証書

明治三十四年～三十八年

書冊 三冊

(三三一九)

一〇一 覚

明治三十五年

書綴 一九綴

(二八三二)

一〇二 小作米品評点数及賞品授与人名簿

明治三十三、三十四、三十七、三十八年

付口来、十二月二十六日大隈清孝へ引附ケ

書冊 三冊

(二九六四)

一〇三 石川忠四郎交換地名替へ登記済書類

明治三十五年六月

七通

一〇四 粮米記

売人石川忠四郎、買人黒田一義

小横帳 一冊

(三二〇三)

一〇五 除虫油記

明治三十五年八月

小横帳 一冊

(三〇五三)

一〇六 向濱等山林願書

明治三十六年

五通

一〇七 小作米取立帳

明治三十六年十一月

書冊 一冊

(三四八五)

一〇八 答申書

明治三十七年一月二十六日

一枚

(四六四〇)

三奈木黒田家文書 (二、明治以降史料)

黒田一義内務大臣伯爵桂太郎宛。志賀島村旧拝領地下戻申請に付

九八 小作米取立帳

明治三十七年十一月

書冊 一冊

(二八四二の二)

九九 小作米取立帳

明治三十九年十一月

書冊 一冊

(二八四二の二)

一〇〇 小作米取立帳

明治四十年十一月

書冊 一冊

(二八四二の三)

一〇一 (仮題)通知

明治三十七年

書綴 一綴

(二八四三の二)

三奈木村耕地整理事務所黒田長成宛。整理地假渡地付口米差引計算不足
交付付の通知

一〇二 (仮題)通知

明治四十年七月

書綴 一綴

(二八四三の二)

三奈木村耕地整理事務所黒田一義宛。整理地假換地交付通知

一〇三 小作米取立帳

明治三十七年十一月

書冊 一冊

(二八六七)

一雄分

一〇四 (仮題)黒田家整理地記録

明治三十七～四十年

書綴 一綴

(四五五三)

黒田長成外

一〇五 蔵米売却小作米代金納記

明治三十八年

長帳 一冊

(三三三四)

一〇六 土地売渡証并土地所有権移転二付登記申請

明治三十八年三月三十日

二通

月俣市次方黒田一義宛

一〇七 御隠宅御余米計算書

(二八六六)

明治三十八年度

書冊 一冊

1010 粮米ノ記

(三二一三三)

明治三十八年

小横帳 一冊

1011 明治廿八年度小作付口差引根帳

(三二五五四)

明治三十八年度

長帳 一冊

1012 三拾八年度林毛田地計算

(三二三七)

明治三十八年度

書綴 一綴

1013 蔵米売却小作米代金納

(三二五五)

明治三十九年

長帳 一冊

1014 明治四拾年小作付口差引帳

(二九八二)

明治四十年

長帳 一冊

1015 (仮題) 整理地麦田補償金相渡通知

(四三六三)

明治四十年一月

一通

耕地整理事務所

1016 土地賃借契約證書

(三二二三)

明治四十年一月

書綴 一綴

賃借人坂本芳吾、黒田一義宛

1017 はがき

(三二一〇四〇)

明治四十年十二月十日

二葉

黒田一義宛。姪浜地所登記済通知書外

1018 (仮題) 小作米領収書

(三二二一)

明治三十六、四十四年分

書冊 二冊

1019 耕地整理ニ関スル分

(三四四二)

明治四十年、大正十年

一包

1020 田税納額調査

(三四六六)

明治四十年分、大正元年

一通

林毛分

1021 小作米取立帳

(三三八六)

明治四十二年十一月6

書冊 一冊

1022 御隠宅分小作米取立帳

(三三九二)

明治四十二年十一月6

書冊 一冊

1023 小作米取立帳

(二八五八)

明治四十三年十一月分

書冊 一冊

1024 小作米取立帳

(二八六五)

明治四十三年十一月6

書冊 一冊

隠宅分

1025 仮売渡証并地図

(二八四八)

明治四十三年十二月二十八日

一通・地図一枚

黒田一義、山下亀吉宛。田

1026 隠宅田地売却計算書

(三四六九)

明治四十三年

書綴 一綴

1027 林毛田地精算

(三四七〇)

明治四十三年

一通

1028 粮米帳

(二八六四)

明治四十四年

小横帳 二冊

1029 明治四十四年度保吉分田地余米差引計算書

(二九六六)

明治四十四年度

四通

1030 (仮題) 山林境地証明書

(四六一〇)

明治四十四年四月十三日

一通

三奈木村長福澤涉

1031 小作米取立帳

(二八九五)

明治四十四年十一月6

書冊 二冊

隱宅分

二三 土地表示変更登記申請書

(二八四七)

明治四十四年一月

書綴 一綴外

所有権転移

二三 小作米取立帳

(二九〇七)

明治四十五年十一月

書冊 一冊

二四 (明治)四十五年度田地余米差引精算

(二八九八)

明治四十五年

一通

二五 粮米帳

(二八九九)

明治四十五年

小横帳 一冊

二六 保吉田地余米精算

(三二八六)

明治四十五年～大正三年

書綴四綴・三通

二七 (仮題)覚

(二九一五)

大正二年

書綴 一綴

三奈木村耕地整理事務所

黒田宛。生産力増加米割増付口米割調外

二八 小作米取立帳

(二九〇八)

大正二年十一月分

書冊 二冊

隱宅分

二九 粮米通

(二九一一)

大正二年度

小横帳 一冊

三〇 小作米取立帳

(三四七四)

大正二年十二月

書冊 一冊

隱宅分

三一 (仮題)第一回開墾費備金入費記

(三四六八)

大正二～三年

書綴 一綴

片峰山開墾費

三二 大正三年度蔵米差引精算

(三四七一)

大正三年度

一通

三三 耕地整理切符

(三四八二)

大正三年

一括

三四 土地賃借契約証書并現元作人記

(二九八四)

大正三・四年

六綴・一通

賃借人熊本文太郎外黒田一義宛

三五 小作米取立帳

(三二七〇)

大正三年十一月

長帳 一冊

三六 第六期整理費假賦課豫算

(三四八八)

大正三年十一月

一綴

三七 書簡

(三二二三の三)

大正三年二月二十四日

一通

原田到黒田一弘宅。姪浜土地寄付の件

三八 (仮題)小作覚

(四三九九)

大正三・六年

一通

三九 小作米取立帳

(三三五〇)

大正四年度

書冊 一冊

四〇 耕地整理関係書類

(三四六七)

大正四年六月十日

一通

耕地整理事務所黒田長成・一雄・一義宛。整理費請求

四一 小作帳二記ナキ分

(四六〇四)

大正四年十二月二日照会

一通

田畑覚

四二 (仮題)大正四年度小作付口惣高

(三二八四)

大正四年

一通

二五 大正四年度小作米受拂精算書 (三一八五) 一通

大正四年

二六 (土地) 売渡證書 (三一八〇) 一綴

大正五年八月五日

黒田長成と黒田一義宛

二七 黒田家登記書類 (四五九四) (袋入)五綴

大正五年

二八 定 (二八七〇) 八通

大正五年

小作米定、小作人呼出状

二九 (仮題) 所有山林地確認の件 (四九六九) 一綴

大正五年六月二十六日

山下ミヨと黒田家執事宛

三〇 整理費負担金調 (二八〇一) 長帳 一冊

大正三年月

黒田一義・一雄・長成

三一 大正六年度朝倉郡三奈木村大字三奈木耕地整理地区収支豫算書 (二九七五) (袋入)一綴

大正六年

三二 大正六年九月十三日売買土地目録并売却残地 (三四六四) 書綴 一綴

大正六年

三三 田畑下作簿 (三三五二) 書冊 一冊

大正六年度

三四 證 (三一九六) 一通

大正六年

売人黒田一義と買人大隈清孝宛。田地付口米売買證

三五 田地下作簿 (三一六二) 書冊 一冊

大正七年度

黒田

三六 (仮題) 田付口米覚 (三二七四) 一通

(大正七年)

本宅分

三七 小作台帳 (三一六三) 書冊 一冊

大正九年度

三八 山林売渡証 (三二一三の一二) 三通

大正十一年一月

黒田一弘宛。(仮証文入)

三九 土地貸付付口台帳 (四五三三) 書冊 一冊

昭和三年五月

黒田家執事

四〇 永代譲渡證文之事 (四〇九四) 一通

(明治以降)

黒田一雄内田中園生と中嶋源一宛。島、住居

四一 覚 (八七五) 長綴 一綴

(明治五・六年)

米、大豆の引上覚

四二 (仮題) 覚(破損) (九一五の四) 長綴 一綴

(明治以降)

島畝数、高書上

四三 田島売渡證文 (八八八) (袋入)五通

(明治以降)

下三奈木村庄屋熊本清五郎、下三奈木村新右衛門、原ノ町御屋敷讓假證拠、

御蔵番伊右衛門

103 老作之儀二付届

(明治以降)

書綴 一綴 (九六一)

夜須郡松延村・御笠郡吉木村老作願之儀

104 奉願口上覚

(明治以降) 三月

一紙 一通 (九五九)

江藤徳外と田中園生宛。先年献金を以御買人に相成居申候組付御余米地之内何程に而茂拜領被仰付被為下度

105 (仮題) 小作米覚

(明治中期以降)

長帳 一冊 (三〇六三)

106 記

(明治後期)

一通 (二八九二の二)

配水費

107 三奈木配水費田反別割

(明治末期)

書綴 一綴 (二八九二の二)

黒田一義

108 整理地

(明治以降)

書綴 一綴 (二八九一の二)

109 (整理地)記

明治

一通 (二八九一の二)

110 (仮題) 反別付口等覚

明治三十七年十月

書綴 一綴 (二八九一の三)

耕地整理事務所より黒田長成宛。

111 (仮題) 麦田補償金請取証案并耕地整理の際渡不足分請取書

(明治以降) (二八九一の四) 三通

112 麦作設計

(明治) 大正期以降

書綴 一綴 (三二一七)

113 作物栽培一覽表

(明治以降)

一綴 (三二一六)

114 (仮題) 小作米覚

(明治以降)

書綴 一綴 (四九八一)

115 (仮題) 小作米領収書

(明治以降)

小横帳 一冊 (四九八〇)

白紙

116 書付

(明治以降)

小横帳 一綴 (四六四八)

旧新小作米

117 子ノ年納記

(明治以降)

一通 (四二二七)

大豆(小作料カ)

118 (仮題) 新田覚

(明治以降)

一通 (四二一七)

下座郡三奈木一雄

119 覚

(明治) 八月二十八日

一通 (四一〇二)

江藤連と高橋太七郎外宛。田方ノ高、畠方ノ高

120 口上覚(一部破損)

(明治以降)

一通 (四一〇〇)

黒田一雄。畑地立木伐払願

121 記

(明治以降)

一通 (四五四九)

加藤孚。所有地の代価

三〇三 (仮題) 田畑覚

(明治以降)

(四五五二)

一通

三〇四 一雄様御余米御拂記

(明治以降)

(四五五八)

一通

三〇五 御家従分限并山番蔵番拝領米御一作受持拝領米等一切之覚帳

(三三二五)

(明治以降)

長帳 一冊

三〇六 (仮題) 地價書上

(明治)

(三三五四)

書綴一綴・一枚

三〇七 御隠宅土地代記

(明治以降)

(三三九五)

長綴 一綴

三〇八 (仮題) 小作米覚

(明治以降)

(三四一九)

四通

三〇九 地券御渡奉願事

(明治以降)

(三八九四)

一通

三〇〇 小作米不納之記

(明治以降)

(二八九四)

一通

三〇一 (仮題) 地価帳

(明治以降)

(二九〇一)

書綴 一綴

三〇二 長瀬村旧御所有田畑控

(明治以降)

(二九四五)

書綴 一綴

三〇三 三小区三奈木村之内熊本倉右衛門江預ヶ地帳

(明治以降)

(二九四四)

書冊 一冊

黒田

三〇四 田畑図

(二九八五)

(明治以降)

三〇五 地所明細帳

(明治中期以降)

(二九九六)

書冊 一冊

三〇六 (仮題) 土地關係覚

(明治以降)

(三〇〇五)

二通

三〇七 (仮題) 小作米覚

反別、小作米

(三〇〇九)

(明治以降)

一通

三〇八 書簡

(明治以降) 九月二十八日

(四〇八二)

一通

三〇九 書簡

加藤樗園と安陪庄作宛。長田村御一作教御申請願云々

(四六四六)

一通

三〇〇 書簡

(明治以降) 三月十八日

(袋入) 一通

三〇一 書簡

(明治以降) 七月六日

(四六四三)

(袋入) 一通

三〇二 萬帳

加藤と木原正朝宛。耕地整理地の件

(九七六)

三〇三 萬帳

(明治以降) 米・大豆諸払、米・大豆現目録外

小横帳 一冊

三〇四 表粕屋郡宇美村抱山坪数

(明治以降)

(三六七二)

一通

三〇五 (仮題) 覚

(明治以降)

(二六三二)

書綴 一綴

篠原真と木原正利宛。山地所有確認

三〇六 (仮題) 略書

(九一七の四)

(明治以降) 一月二十四日

出役福田志平と黒田一雄宛。三奈木村願木伐方禁止

二三 奉願上候事 (草案)

(明治以降)

黒田男爵執事と志賀嶋村役場宛

三四 (仮題) 神武原売却二付その関係書類

(明治以降)

三五 山坪控

(明治以降)

那珂郡、早良郡、御笠郡、夜須郡、粕屋郡

三六 (仮題) 山證文覚

(明治末カ)

三七 官有地下戻申請書御進達之儀二付上申書

(明治末頃)

三六 書状

(明治以降) 三月十六日

新免と静眠宛。帝釈寺御扶助田畠余米取調子の事

三九 (仮題) 山林図

(明治以降)

三〇 (仮題) 西戸崎国有沼地及び浜地下戻申請一件控

(明治以降) 七月十一日

黒田男爵執事と志賀嶋村役場宛

三三 (仮題) 所有地図面

(明治以降)

三三 松延村一作見地之図

(明治以降)

一通

(四一八)

一通

(三四九八)

書綴 三綴外

(三五一一)

長帳 一冊

(二八三〇)

書綴 一綴

(二八二八)

書綴 一綴

(四〇八九)

一通

(四六六三)

一枚

(四六二六)

一通

(四六二二)

一枚

(四〇八五)

一枚

(9) 冠婚葬祭

二三 (仮題) 死産届

明治五年七月

黒田一雄宛

(四一八九)

一通

二四 御出産二付諸事記

明治十三年一月十六日

二五 御出産二付諸事記

明治十五年十一月

二六 御出産二付諸事記

明治十五年七月十五日

二七 母はる変死二付始末書

明治十四年二月八日

黒田一義と甘木警察署宛

二八 於為年様御引越諸事帳

明治十五年三月十七日

二九 春姫命為御知先

明治十六年二月

三〇 一雄様奥様御引越ヨリ御婚姻ニ至ル迄諸拂記

明治十七年五月

加藤字

三三 書簡

明治二十四年六月

奥山亭と黒田一義宛。祖先菩提所御代香御差立ノ儀御達の書附

三三 書簡

二九七

明治二十六年三月 一通

奥山享と黒田一義宛。チヨ縁組ニ付諸費拜借願御聞濟書

二三 書簡 (三二一〇の二一五) 一通

明治三十年三月三十日

村山真三郎と黒田一義宛。幾久登美縁付に付諸費拜借の儀御聞濟書付

二三 屋須子死去ニ付諸事書類 (三七〇七) 一通

明治三十二年一月

二三 書簡 (三二一〇の二二〇) 一通

明治三十二年四月五日

村山真三郎と黒田一義宛。縁組費年賦上納方の儀伺

二三 書簡 (三二一〇の二一八) 一通

明治三十二年十一月十六日

山中立木と黒田一義宛。一美様死去ニ付祭祀費料被下分

二三 書簡 (三二一〇の一九) 三通

明治三十六年(カ)六月

加藤弥助と黒田一雄宛。八十雄婚儀費用。付、森部静夫と一義宛書簡一通

二三 書簡 (三二一〇の六三) 二十四通・はがき一四葉

明治四十一年

黒田一義宛。一郎死去ニ付吊詞状

二二 書簡 (三九三二) 一通

明治四十一年

西高辻信稚宛

二四 一郎不幸ノ際諸目録 (三三六六) 一綴

明治四十一年二月

二四 (仮題) 黒田一郎死去通知 (二九七二の二) 一綴

明治四十一年二月

二四 一郎葬式諸事控 (二九七二の二) 長帳 一冊

明治四十一年二月

二四 会葬者到着簿外 (二九七二の三) 長帳 一冊外

明治四十一年二月

二四 一郎様御死去通知人名控 (二九七二の四) 長帳 一冊

明治四十一年二月

二四 黒田家執事 (三五一四) 長帳一冊外一括

黒田家執事

二四 黒田一郎死亡通知その他葬儀関係 (四三五三) 一通

(明治期以降)二月三日

二四 婚姻届控 (四三五三) 一通

明治四十一年四月

二四 婚姻届控 (三四三七) 一通

黒田一義。元二郎夫妻分

明治四十三年

二四 婚姻同意書并婚姻届 (三二一〇の七五) (袋入三通)

宮内省。保吉結婚願出

明治四十三年・大正四年

二四 婚姻同意書并婚姻届 (三二一〇の六五) 三十三通とはがき三七葉

原田到と黒田一義宛。保吉・近雄分

明治四十三年

二四 書簡 (三二一〇の三四) 一括

明治四十一年

黒田一義宛。一路様死去ニ付吊詞状

二五 一路様葬式関係書類 (二九八七) 一括

明治四十一年

田辺敏夫と黒田一義宛。一雄追善謡曲会

明治四十四年

二五 御届 (四五四五)

明治四十四年十二月二十七日

黒田一義が宮内省式部局宛。忌中に付賀状断

二五 (黒田一雄)死亡届 (三三二〇の一)

大正元年八月

差出人黒田一義

二六 (黒田一義継母タマ)死亡届 (三三二〇の二)

大正五年三月

届出人黒田一義

二七 改葬届 (三四四〇)

大正二年六月

黒田一義が福岡警察署長宛

二八 書簡 (三三二一〇の四)

大正四年

黒田美代が黒田一義宛。近雄結婚の事

二九 (黒田近雄)婚姻届 (三四三八の一)

大正四年十二月

出生届

三〇 出生届 (三四三八の二)

大正五年三月

黒田近雄が

三一 野村結婚費用覚 (三一八二)

(大正五年)十二月

三二 御霊祭通知状并費用精算 (四一八三)

大正六年二月二十三日

三三 (仮題)命名証 (三三三七)

三奈木黒田家文書 (二、明治以降史料)

大正六年七月 五通

日本哲名学研究会

三四 一義様七日祭諸費覚 (三三二〇の三五)

大正七年十一月二十三日

三五 一美様五年祭目録 (三九二七)

(明治以降)

三六 報告祭目録 (二九八九)

(明治以降)

三七 目録 (四六五四)

(明治以降)

花嫁道具

三八 (仮題)結婚式関係の書付 (四六五六)

(明治以降)

三九 村山宛添書 (四五七四)

(明治以降)

一雄長女キクの結婚に付

四〇 式年祭祀 (四三七七)

(明治以降)

四一 (仮題)黒田一葦墓覚 (四四八五)

(明治以降)

四二 (御祝儀二付)覚 (三二六九)

(明治)大正

酒進早者名

四三 於安世様御葬式が初十日御際迄請払帳 (三三〇九)

(明治以降)

四四 (仮題)婚姻記 (三五一〇の一)

二九九

(明治以降)

二三 御婚姻手続

(明治以降)

一綴 (三五一〇の二)

二四 奥様御引越及ヒ御婚姻御手続

(明治以降)

一綴 (三五一一)

(10) 銃器関係

二五 獵用銃申出控

明治五年三月

書冊 冊 (八三四)

二六 記

(明治五年) 壬申三月

書綴 一綴 (八三五)

黒田一雄ハ福岡県庁宛。銃種類、数その他書上げ

二七 記

(明治五年) 壬申三月

書綴 一綴 (八三九)

黒田一雄ハ福岡県宛。鉄砲書上げ

二八 記

(明治五年) 壬申四月

一通 (八三三)

黒田一雄ハ福岡県庁宛。銃所持届

二九 鉄砲獵御免許御願申事

(明治五年) 壬申八月

一通 (八三七)

黒田一雄ハ福岡県庁宛

三〇 鉄砲獵免許御願申事

(明治五年) 壬申八月

書綴 一綴 (八四一)

黒田一雄ハ福岡県庁宛

三一 銃器献納之義ニ付伺

明治十年十二月

書綴 一綴 (四一九二)

三二 刃物入札

(明治十九年)

一冊 (三〇九四)

三三 故從二位様ハ下賜ノ獵銃買入證

明治二十二年

(包紙入) 書綴一綴・三通 (四六五一)

黒田一雄

三四 預証

明治二十四年

三枚 (三二一九の二)

黒田直躬外一名ハ加藤十五郎宛。刀・掛物類

三五 書簡

明治三十六年九月二十八日

一通 (三二一九の二)

黒田家家令山中立木ハ尾野実信宛。預置き刀劍類下戻

三六 書簡

明治二十六、二十九年

二通 (四五八)

大倉銃砲店ハ黒田一雄宛。代金受領書、銃砲買入免券

三七 書簡

明治二十七年・明治二十九年

三通 (三九七二)

大倉銃砲店ハ黒田一雄宛

三八 銃砲及附属品正価明細書

明治二十九年七月改正

一冊 (四九五〇)

銀座大倉銃砲店

三九 銃手出方記

明治三十六年・四十年・四十三年

八通 (三四三二)

小横帳一冊

四〇 抱大銃空彈発射願

明治四十一年二月九日

二通 (四六八一)

吉田新三郎ハ

四一 書簡控

(四五九〇)

(明治以降)四月二十九日

銃出来候に付残金額

一通

二五 調子

(明治以降)

所蔵刀

書綴

一綴

二六 覚

(明治以降)四月

野戦砲率頭。エンヒュールト筒購入に付支払依頼

(四一九〇) 一通

(11) 教 育

二四 駿州静岡県へ御留学トシテ被為行ニ付郵案ヲツヾリテ錢別シ奉リシ控

(三九八〇) 一通

明治四年十月二十一日

二五 東京芝新堀邸御発足ニテ駿河静岡岡県江御留学トシテ被為行ニ付郵案ヲ

ツヾリテ錢別シ奉リシ控

(明治期以降)

一綴

逸翁土岐政路

二六 寄附金願

明治十年十二月

黒田一雄方県令渡辺清代理森醇宛。三奈木小学校江寄付金仕度

(九六三) 一通

二七 三奈木小学校新築敷地図

明治十一年三月三日

二八 学費計算書

明治十六年十月一日

野村祐亮方黒田一雄宛

(三三二〇の九) 一枚

二九 学習院入学延期ニ付伺

(三五三二) 一通

三奈木黒田家文書 (一、明治以降史料)

明治二十五年

付、華族就学規則

書綴 一綴

三〇 委任状

明治三十一年十月三日

黒田一義。保吉貸費学費ノ件

(三三二〇の三三) 一通

三一 就学届

明治三十三年〜四十五年

黒田義夫、保吉外

(三三四一の一) 書綴 一綴

三二 選抜試験願(草案)

明治三十五年

(四五六七) 一通

三三 忌引届

明治三十五年二月二十七日

黒田義夫保護者黒田一雄方金川高等小学校宛

(三一九五) 一通

三四 学資計算書

明治三十五年四月二十五日〜十月

三五 書簡

明治三十七年三月・三十九年六月

黒田とも方黒田一義宛。学費の事

(三九七〇) 書綴 一綴

(三二二〇の七三) 一通・はがき二葉

三六 書簡

明治三十七年〜同四十五年

黒田近雄方黒田一義宛。学費の事、粮米受領

(三二二〇の七一) 一通

三七 義夫一郎八月分御貸費

明治三十八年八月

三八 黒田八十雄履歴書

明治三十八年

(三二二〇の二五) 一通

(三三四二) 一通

二綴・一通

三九 書簡

(三二二〇の九五) 一通

三〇一

明治四十年 三通

学習院と黒田一義宛。生徒募集

三〇 生徒募集 (三二一〇〇一三三) 一通

明治四十三年十二月・大正三年十一月

学習院と黒田一義宛

三二 書簡 (三二二〇の五九) 一通

(明治以降)

学習院と黒田一義宛。生徒募集

三三 書簡 (三二二〇の八九) 一通

明治四十年十二月

黒田一〇と黒田一義宛。学費請求

三三 (仮題) 学費書類 (二九八六) 一括

明治四十一年

三四 書簡 (二九七六の二) 一二通

明治四十二年

明治四十二年学費の件

三五 書簡 (二九七六の二) 一六通

明治四十一年

学費

三六 書簡 (三二二〇の九七) 一通

明治四十三年

義夫一高入校ニ付宮内省へ届出

三七 黒田近雄書簡 (三二七七) 四通・はがき一七葉

明治四十三年・四十四年

学費

三八 (仮題) 稔貸費外 (三二七三)

明治四十三年・四十四年 七通

三九 高等学校入学願 (三三四一の二) 一通

明治四十三年八月

黒田義夫

三〇 書簡 (三四八七) 一通

明治四十四年七月

尾崎朝景と黒田保吉宛。貸費返済受取

三一 書簡 (三二二〇の八三) 一通

明治四十五年六月

原田到と黒田一義宛。近雄卒業の際入費計算書

三二 書簡 (三二二四の二) 一通

(明治以降)

山中立木と黒田一義宛。稔貸費分

三三 書簡 (三二二四の三) 三通

大正二年四月〜十二月

稔学費

三四 今般本学生在学中所要ノ学資ニ関シ別紙ノ通概要取調候ニ付為御参考 (三二一〇一〇) 一通

通知

大正二年

東大学生監室と黒田一義宛

三五 書簡 (三二二〇の九三) 一通

大正二年十二月二十六日

執事と黒田一義宛。稔学費

三六 就学及修学成績届 (三三四一の三) 二通

大正五年

黒田正俊

三三 書簡

(明治以降)二月十一日

(二九九)

学校費三千円御寄附殘金一同渡方取計返書

一通

三三 文武御引立方して郡民存念之趣書

(明治以降)戌十一月

(三七一九)

三三 宮内省へ修業成績ニ付学校へ証明書下附願

(明治以降)

(四五七七)

三三 黒田稔関係書類

(明治以降)

(三二一四)

(12) 寺 社

三三 記

(明治五年)壬申十一月二十二日

(四〇九六)

江見礼方安陪正作宛。東長寺への支払い

一通

三三 (仮題)請取証

明治十六・十七年分

(三二一〇の六一)

寺納金

一綴

三三 崇福寺工費受取証

大正三年

(三四七九)

三三 書簡

大正十年

(三二二三の九)

原田到ら黒田一弘宛。崇福寺墓地関係

三通

三三 (仮題)覚

(明治以降)

(九一五の一一)

春日神社、神地書上げ

一通

三三 (仮題)光雲神社江奉納之鳥居の件に関する書付

(四五九六)

(明治以降)七月一日

書綴 一綴

(13) 日 誌

三三 日誌

明治六年三月〜二十二年五月

(四八〇四)

三三 従五位様有馬御出日記

明治十六年七月

小横帳 一五冊 (四八〇六)

三三 (従五位様)関西御旅行日誌

明治十六年七月

小横帳 一冊 (三五八五)

三三 御用憶記

明治十六年二月〜六月・同年十七年九月

書綴 一綴 (四八〇五の一一四)

三三 登京日誌

明治二十年十二月二十二日方

小横帳二冊・長帳二冊 (三九六七)

三三 日誌

大正三年

小横帳 一冊 (三二三六)

(14) 褒賞

三三 花瓶下賜目録

明治十年三月二十三日

書冊 一冊 (三三五)

三三 黒田一義賞状

宮内卿徳大寺實則方

一通 (三一九九)

三三 表彰状

明治十九〜三十一年

六通 (四四一五)

三三 (感)謝状

明治十一〜三十九年

黒田一雄。寄附に付 五通 (四五五五)

明治三十七年六月十六日 (包紙入一通)

日本赤十字社長伯爵松方正義と黒田一義・黒田一雄宛。寄付に付

三〇七 (仮題) 感謝状 (四八七八) 二通

明治三十八年七月・三十九年六月

黒田一義。寄付に付

三〇八 褒状 (四八八〇) 一通

明治四十一年十一月二日

黒田一義。稲作立毛品評会

三〇九 賞書 (四四六六) 一通

明治四十一年二月一日

黒田義夫宛。寄付二付

(15) その他

三一一 縮盟状 (三二一〇の一〇三) 一通

明治二十八年四月

日本赤十字と黒田一義宛

三一二 祝電 (四四六四) 六通

明治三十三年

黒田一義宛。受爵その他祝

三一三 陸軍地方幼年学校生徒志願者心得 (四五七三) 三通

明治三十五年

三一四 詔勅講話 (四六〇一) 一冊

明治四十一年十二月刊

峯玄光。鴻盟社刊

三一五 (仮題) 陸軍特別大演習御施行通知 (三二一〇の一〇一) 一綴・地図一枚

明治四十四年十一月十日

黒田一義宛

三一二 書簡 (三二一〇の五三) 一通

大正三年二月

東北九州災害救済会と黒田一義宛。義損金募集の件

三一三 (仮題) 来客名覚 (三九〇七) 一通他

(明治以降)

三一四 (仮題) 電文案 (四四七七) 一通

(明治以降)

三奈木黒田父子と山中立木宛。長知公の容体伺

三一五 到来見舞品 (四七七九) 一綴

(明治以降)

三一六 書簡 (三二一〇の九六) 一通

大正三年二月

筑紫史談会事務所と黒田一義宛

三一七 (仮題) 愛国婦人会会員の認定交付 (四六〇二) 一通

大正三年八月卅一日

同会々々長伯爵夫人阿部篤子

三一八 出征軍人の孤児及び廃兵の貧児保育に関する主意書 (四三五七) 一通

大正以降

愛国婦人会福岡支部長河嶋良久子

5 産 業

一 小船老艘上納證扱之事 (三八九三) 一通

明治五年九月

黒田一葦と県庁宛

二 人力車尅挺税金上納證拠之事并人力車免札御渡願 (三八九五)

明治五年 一綴

黒田一雄方県庁宛 (三八九六)

三 (人力車) 讓渡願 一綴

明治六年四月三十日 書綴

黒田一葦方 (四九九九)

四 半季實際考課状 書冊 二〇冊

明治二十年下半年 第(四九九九)

第十七国立銀行。第五(二十九回(欠号有))

五 第十七国立銀行受取証 (三四二五)

明治二十四年 一括

六 書簡 (三二一〇の二二)

明治三十一年七月 一通

十七銀行と黒田一義宛。株配当金払出通知 (三九七三)

七 長成書簡 (袋入) 二通

明治三十八年一月二十一日 福岡十七銀行財務整理に付 (三二二〇の二四)

八 書簡 (袋入) 一通

明治三十八年二月十日 不破国雄・中江正義と黒田一雄宛。十七銀行株券買請委任状の事 (三二一〇の二三)

九 書簡 五通

明治四十一年(四十三)年 山中立木と黒田一義宛。十七銀行株并利子の事 (三二一〇の九九)

一〇 書簡 二通

明治四十五年二月 黒田家々扶・山中立木と黒田一義宛。十七銀行株に対する配当金

三奈木黒田家文書 (二、明治以降史料)

二 書簡 (三二一〇の四五)

大正四年 (袋入) 一通

山中立木と黒田一義宛。十七銀行株上半期配当金 (三九五七)

三 記 一通

(明治以降) 五月二十一日 三奈木江篠原差越候加藤家の用向。十七銀行預金 (三二一〇の一五)

一三 書簡 一通

(明治以降) 福岡第十七銀行純益配当金流用計算の儀 (四九四七の一(五))

一四 株式会社福岡農工銀行定款 書冊 五部

明治三十年十一月八日 (四九四八)

一五 株式会社福岡農工銀行營業報告 書冊 二〇冊

明治三十一年前半期(大正五年前半期) 第一期(三十七期。欠号二(六・八)十三・十七(十八・廿・廿三)廿八・廿九・三十。 (三二七八)

一六 (仮題) 福岡縣農工銀行關係書類 (袋入) 一通・はがき十葉外

明治二十(四十)年 福岡農工銀行と黒田一義・黒田一雄宛。株主總會案内・決算報告書・株主払込通知外 (三二一〇の一三四)

一七 書簡 一通

明治三十四年二月十九日 山中立木と黒田一義宛。田地未代金農工銀行利子領收通知 (四五六六)

一八 委任状 一通

明治三十六年 黒田一義。農工銀行前半期利益受領の件 (四七九〇)

一九 記 三〇五

明治三十八年五月

一通

都合徳太郎と黒田一義宛。農工銀行仮株券返戻

三〇 福岡県農工銀行関係

(三二一〇の二七)

明治四十四年・大正七年

一括通

営業報告外

三一 (仮題) 農工銀行株券関係書類

(三二一〇の二二)

明治三十九年〜大正二年

七通

営業報告外

三二 (仮題) 福岡県農工銀行株券関係

(三一九〇)

明治三十一年・四十三年

二通

株券売渡承諾書并委任状

三三 福岡農銀ト勸銀ト合併ニツキ株券引換及端金売却及分配金請取ニ関スル書類

(三四四七)

大正十年十月〜十二月

一袋

三四 農銀第二新株第二回払込領収証

(三二二三の八)

大正十年

一通

黒田一弘

三五 通知書

(三二二三の二〇)

大正十三年廿三日

紙一通

蟻城銀行と黒田一弘宛

三六 金借用証

(三二二三の四)

大正八年・九年

二通

借主黒田一弘と蟻城銀行宛

三七 はがき

(三一九七)

(明治以降)

一葉

蟻城銀行と黒田義雄・一義・直躬宛。長田蟻城銀行証書書替通知状

三六 金員借用證書

(三一九一)

大正十年

一袋

黒田一弘と三奈木信用組合後藤新次郎宛。付、約束手形一通

三九 福銀甘木支店と借入金ニ関スル割引書類

(三二二三の二)

大正十年

二袋

黒田一弘

四〇 領収書

(三二二〇の二〇四)

(大正期)

一綴

甘木銀行と

四一 日新社へ係ル書類

(三二四四)

明治十六・十七年

(包紙八七通)

四二 (仮題) 日新社預金清算書

(三四四六の二)

明治十八年十二月

一通

日新社

四三 (仮題) 請求書

(三四四六の二)

明治十八年十二月

一通三枚

日新社と黒田一義宛。元利返済

四四 (仮題) 日新社負債金返済請求書

(三四四六の五)

明治三十九年六月一日

一綴

日新社と黒田一義宛

四五 通知書

(三四四六の三)

大正三年十二月

一綴

日新株式会社と。入金記帳

四六 日新社負債利子切符

(三四四六の四)

大正三年六月

一封

三 黒田御助勢預金明細帳

明治二十一年一月～三十五年

(三二八八の一) 書冊 一冊

日新加藤園

三 浅尾氏預金根帳

明治二十六年十二月改～三十五年

(三二八八の二) 書冊 一冊

日新合資会社社長加藤三郎平

三 真本常預金

(明治以降)

三 請取証并元金利子通知

明治三十七年四月・四十年十一月外

(三一八八の三) 野紙綴 一綴 (三一八八の四) 五通

三 記

明治二十四年六月

(四七八五) 二通

日新加藤三郎平と木原正利宛。借入金覚

三 日新加藤関係書類

明治二十五・二十六

(三二一〇の一六) 五通

三 記

明治三十一年

(三二一〇の一) 一〇通

日新合資会社と黒田一義宛。貸付書類

三 黒田保吉殿備金帳

明治三十二年十月七日

(三三六三) 書冊 一冊

日新合資会社

三 受取証

明治三十二年三月二十三日

(三二一〇の一〇五) 一通

日新合資会社と黒田一義宛

三 目録

明治三十二年十月七日

(三二一〇の一) 一通

三奈木黒田家文書 (二、明治以降史料)

三 記

日新合資会社加藤弥助と黒田一義宛。日新合資会社における黒田一義預金
精算書 (三二一〇の三) 一通

明治三十三年四月二日

日新合資会社加藤弥助と黒田一義宛。保吉学資・林毛家代金

三 受領証

明治三十三年四月

(四七九一) 二通

日新合資会社関係請取

三 (仮題) 日新加藤関係書類

明治三十四～四十六年

(三二七八の一) 一括

日新加藤関係請取

三 金借用證書

明治四十三年

(三二七八の二) 二綴

負債者黒田一義と日新加藤

三 日新加藤関係書類

明治四十一年～四十二年

(三二四二六) 二括

三 日新加藤ヨリ引取りタル古証書

明治四十三年十一月

(三二四三九) 一七通

三 (仮題) 日新加藤株式会社金利率計算書

大正四年

(三二二九の五) 一三通

黒田タマ

三 日新加藤負債合併二付古証書類

大正四年六月十九日

(三二二二) 三綴

三 日新加藤関係書類

大正五年

(三二八九) 四通

借用証・通知書 銀行との取引外

英 桑茶養之法方

(四二五八)

(明治以降)

書冊 一冊

五 養蚕ニ付諸拂目録

(三四二一)

明治十五年分

小横帳一冊・一綴

六 養蠶火助使否論上毛

(四八一二)

明治九年五日

長帳(少)一冊

田島武平述

五 櫛ちぎり立老切帳

(九二九)

明治七年十二月

長帳 一冊

六 櫛実掛渡

(三五〇四)

明治十三年・十四年

六綴一通

六 櫛ちぎり書類

(三〇三二)

明治十八年

書綴 一綴

三 明治十七年冬、櫛実契り、十八年九月売却迄の書付

(四四三三)

明治十七年冬、十八年九月

一括

萩原静枝御算用目録、荷原役場切符、茶製書付

三 櫛ちぎり費目六

(三四〇三)

明治十九年・二十年

三綴

付、年々歳暮帳

六 (仮題) 櫛実関係書類

(四三五六)

大正五年

一綴

空 櫛帛覚

(四〇八六)

(明治以降)

長綴 一綴

六 (櫛代) 受取

(四一四)

(明治以降)

二通

銀預

六 (葛粉預り) 覚

(四一二五)

(明治以降) 西四月

一通

安岡甚助、加藤忠左衛門宛

六 葛粉御算用調書

(四一二四)

(明治以降)

一通

六 製茶目六

(三五〇七)

明治二十四年

一綴

七 九州生命保険株式会社保険規則

(四九五二)

明治二十八年六月開業

書冊 二冊

七 大坂生命病傷保険株式会社保険規則

(四九五四)

明治二十八年十日改正

書冊 一冊

七 株主名簿

(四九五三)

明治二十九年一月一日現在

書綴 一綴

九州生命保険株式会社カ

七 厚保会々則并配当金請取證

(三九三五)

明治三十九年七月

書冊一冊・三通

七 厚保会関係

(三四四八)

大正十一年

三通・名刺六枚

会則・会員名簿

七 興風会々則并会員証

(三一七三)

明治四十年

(袋入)一通(四患)

黒田一義宛

七 共同社券状

(三一六〇)

明治十九年

六通

共同社社長野村祐雄・同幹事母里太兵衛、黒田一雄宛

七 共同社切符并書類

(三九三六)

明治十九年
炭山事業諸拂簿

七通一括
(五〇〇一)

明治二十二年一月〜七月五日

長帳 一冊

五〇〇一〜五〇〇三九炭山關係一括
1 春日原山

寛政八年二月

(五〇〇二)
一紙 一枚

2 神武原山絵図

寛政八年二月

(五〇〇三)
一紙 一枚

3 水城大谷野添山絵図

寛政八年二月

(五〇〇四)
一紙 一枚

4 水城大谷山絵図

寛政八年二月

(五〇〇五)
一紙 一枚

5 塩原・三宅山ノ図

寛政七年写

(五〇〇六)
一紙 一枚

6 雉子ヶ尾絵図

文政二年十二月十一日改分

(五〇〇七)
一紙 一枚

7 長尾御山図

寛政八年二月

(五〇〇八)
一紙 一枚

8 (仮題)尾田村附近絵図

(江戸期)

(五〇〇九)
一紙 一枚

9 (仮題)本村谷附近坑道図

(明治期)

(五〇一〇)
一紙 一枚

10 金出納簿

明治二十二年一月b

(五〇一一)
書冊 一冊

11 炭坑資金備入簿

明治二十二年

(五〇一四)
書冊 一冊

12 炭坑出納原簿

明治二十二年

(五〇一五)
書冊 一冊

13 採炭差引帳

明治二十二年

(五〇一七)
書冊 一冊

14 炭田借区約定証

明治二十二年一月

(五〇二一)
書冊 一冊

15 炭田借区約定証

明治二十二年一月

(五〇二五)
書冊 一冊

16 金出納簿

明治二十二年一月ヨリ

(五〇二二)
書冊 一冊

17 諸拂帳

明治二十二年十月b

(五〇三二)
書冊 一冊

18 生炭焼炭賣立代金收入簿

明治二十二年十一月

(五〇二六)
書冊 一冊

19 金出納簿

明治二十二年十二月起
大谷炭坑

(五〇二七)
書冊 一冊

20 大谷炭坑事務章程

明治二十三年一月四日

(五〇三三)
書冊 一冊

21 採炭差引帳

明治二十三年

(五〇一八)
書冊 一冊

22 石炭代収納帳

明治二十三年一月
大谷炭坑

(五〇三三)
書冊 一冊

23 小売炭・焼炭掛売代金取約々帳

明治二十三年三月三十一日調

(五〇二四)
書冊 一冊

24 大谷炭坑起業費受金簿

明治二十三年四月十六日改正

(五〇一六) 書冊 一冊

25 石炭代出納帳

明治二十四年一月起

(五〇二二) 書冊 一冊

大谷炭坑

26 採炭差引帳

明治二十四年一月創立

(五〇一九) 書冊 一冊

27 水帳

明治二十四年一月

(五〇二二) 書冊 一冊

坑夫賃外

28 金出納帳

明治二十四年一月起

(五〇二八) 書冊 一冊

大谷炭坑

29 中止后採炭及切賃並二日役賃金渡其他売立差引勘定帳

明治二十四年

(五〇二九) 書冊 一冊

第壹号ノ第四号

30 大谷炭坑起業費渡高

明治二十四年三月

(五〇二〇) 書冊 一冊

31 諸拂帳

明治二十四年三月?

(五〇三二) 書冊 一冊

32 金差引目録

明治二十四年四月改

(五〇二三) 書冊 一冊

33 炭坑出納仮規則

(明治以降)

(五〇三〇) 書冊 一冊

克 1 契約証并仮副証

明治二十一年十二月

(五〇三四の二三) 一通

黒田一義代理浜与四郎及瓦田丈七宛。炭坑借区の件

2 借契約証并仮副証

明治二十一年十二月二十五日

(五〇三四の二四) 一綴

瓦田丈七及黒田一義代理中山静門 浜与四郎宛。谷左炭坑借区券譲渡の件

3 受負約定証

明治二十二年四月三日

(五〇三四の二) 一綴

約定主岩崎栄三郎及黒田一義代理加藤團・中山静江宛

4 確約証

明治二十二年八月十日

(五〇三四の二) 一枚

確約主林市治及黒田一義代理加藤團外一名宛。炭坑器械一式注文に付

5 落札人名

明治二十二年三月三十日

(五〇三四の五) 一綴

6 約定証

明治二十三年七月二日

(五〇三四の六) 一枚

湯下嘉六及加藤十五郎外二名宛。パイプ通り採掘落成迄

7 石炭坑業ニ付道路搞梁損ニ係ル約定証

明治二十二年六月

(五〇三四の七) 一綴

黒田一義及粕屋郡宇美村々長安河内幸作外宛

8 約定証

明治二十二年六月五日

(五〇三四の八) 一通

黒田一義代理加藤團外二名及安川口作宛

9 約定証

明治二十二年六月四日

(五〇三四の二〇) 一通

加藤團及安河内伊右衛門宛。土地借用

10 受取証

明治二十二年六月四日

(五〇三四の二二) 一枚

安川左衛門代理瓦田末吉と黒田一義代理加藤團宛

11 炭田借區承諾証

(五〇三四の一三)

明治二十二年一月十八日

一通

安河内平次外二名と黒田一義宛

12 約定証

(五〇三四の一五)

明治二十二年六月四日

一綴

約定主瓦田末吉と黒田一義代理加藤團外一名宛。

13 (仮題) 石炭開業ニ付約定証預りの事

(五〇三四の一九)

明治二十二年六月六日

一通

安河内卯口と黒田一義代理加藤團・中山静江宛

14 確約定証

(五〇三四の二三)

明治二十三年一月九日

書綴 一綴

請負人入江弥七良外名と大谷炭坑事務所宛。坑道請負

15 風道新坑受負約定証

(五〇三四の四)

明治二十三年三月三十日

書綴 一綴

請負人瓦田弥兵衛と加藤十五郎宛

16 金借用証

(五〇三四の一)

明治二十三年七月一日

一通

借用証瓦田ノブと黒田一義代理加藤十五郎宛

17 記

(五〇三四の二〇)

明治二十三年八月十一日

一綴

大谷炭坑々主黒田一義代理加藤十五郎外一名。道路修繕費用分担の件

18 約定証

(五〇三四の二二)

明治二十三年六月十六日

一通

黒田一義・加藤十五郎と瓦田丈七宛。借地料の件

19 (仮題) 炭坑費用書上

(五〇三四の二五)

三奈木黒田家文書 (二)、明治以降史料)

明治二十三年十二月七日

20 田地貸渡約定証

(五〇三四の九)

明治二十三年七月一日

一通

瓦田ノブと黒田一義代理加藤十五郎宛

21 証

(五〇三四の一八)

明治二十四年二月二十七日

一綴

持田丈右衛門と大谷炭坑事務所宛。松材売渡の件

22 證

(五〇三四の一六)

明治二十六年八月二十二日

一綴

本村卯作と黒田一義宛。炭坑事業中入用ニ付松木売渡しの件

23 田地借受ニ付約定証

(五〇三四の一四)

(明治二十年代)

一通

24 田地借受約定証

(五〇三四の一七)

(明治二十年代)

一通

25 (仮題) 風道新坑費用覚

(五〇三四の二二)

(明治以降)

一通

㊦ 1 石炭坑増借区願ニ付承諾書外

(五〇三五の一)

明治二十二年六月

一綴

黒田一義と安場保和宛

2 農商務省指令 鈹第二〇六六・二九一六号

(五〇三五の四)

明治二十二年十一月一日

二通

農商務省大臣伯爵井上馨。谷左石炭借区譲渡願の趣聞届く

3 (仮題) 鈹災坑区税金請求書

(五〇三五の八)

明治二十二年十一月十四日

一通

宇美村役場と黒田一義宛

4 (仮題) 鈹区借区税領収書

(五〇三五の九)

明治二十二年十一月十五日 一通

国庫金出納所。黒田一義納

5委任状 (五〇三五の三) 一通

明治二十四年五月十一日

黒田一義。大谷炭坑売却の件

6電報 (五〇三五の五) 一通

明治二十四年五月十日

サクマイタルをキワラマサトシ宛

7電報 (五〇三五の六) 一通

明治二十四年五月九日

ヲラハラブへいをキハラマサトシ宛

8借区出願身元取調書 (五〇三五の二) 一通

(明治以降)

9書簡 (五〇三五の七) (袋入)一通

(明治以降)九月九日

坂元通交を中山静門宛

10記 (五〇三五の一〇) 一通

(明治以降)

郡役所宛。讓受渡指令書受取証雛形

八二 鑛業特許証下附願外 (五〇三六) 一綴

明治二十五年九月

黒田一義

八三 絵図 (五〇三七) 一枚

(明治以降)

呉服町附近

八四 送り炭合計・借用証 (五〇三八)

明治二十二年〜二十四年 一綴

八四 (仮題)金子精算覚 (四七六七) 一通

(明治以降)

炭坑の部

八五 書簡 (三二一〇の二六) 一通

明治三十七年四月三十日

山中立木を黒田一義宛。鉄道株配当金送付通知

八六 山陽鉄道株買入書類 (三二一〇の二三の一) (袋入)三通

明治三十九年

村山真三郎を黒田一義宛

八七 書簡 (三二一〇の二三の二) 四通

明治三十六年・三十七年

山中立木を黒田一義宛。尾野実信を黒田一義宛。山陽鉄道株式会社に付

八八 書簡 (三二一〇の四九) 二通

大正五年六月二十一日

山中立木を黒田一義・尾野実信宛。山陽鉄道公債利子

八九 書簡 (三二一〇の二〇) 一通

(明治以降)

尾野実信を黒田男爵宛。山陽株拂込の件

九〇 第三回通常総会云通知書 (三二二三の二) 一通

大正十二年一月二十一日

黒田一弘宛

九一 (特約店契約)念書 (三二二三の五) (袋入)四通

大正十年三月二十三日

東京革足袋株式会社東治平を黒田一弘宛

九二 記 (四六四二)

明治三十七年
山陽株・十七銀行株精算書
二通
三書簡
(明治以降)
(三二〇の三八)
(袋入一通)

原田到と黒田一義宛。姪浜石場使用料契約書入

6 文化

- 一 童子教訓書
明治五年
書冊 一冊 (四七二七)
- 二 二十八史略字引
明治十年二月刊
書冊 一冊 (一三五二)
- 三 續十八史略讀本 一〜五
(明治以降)
書冊 一冊 (一三五二)
- 四 文章軌範評林 三〜七
明治十一年刊
書冊 二冊 (一三四六)
- 五 新撰幼学詩韻
明治十一年刊
書冊 二冊 (一三四八)
- 六 新撰詩語粹金
高木熊三郎編輯・出版小川新助
明治十一年刊
書冊 一冊 (一三四九)
- 七 天道溯原金
高木熊三郎編輯
明治十三年刊
書冊 一冊 (一三五五)
- 八 (仮題) 道具由緒書
中村正直訓点。倫敦聖教書数会社刊行
明治十三年刊
書冊 一冊 (一三七五)

三奈木黒田家文書 (二、明治以降史料)

(明治以降)
一成所持鎗・陣刀外
九 庫本出納簿
明治二十年三月
黒田
書冊 一冊 (二八五二)

一〇 蔵書目録
(明治以降)
書冊 一冊 (二八五二)

二 從二位掣成老公略傳 完
明治三十八年十二月廿八日刊
書冊 一冊 (四二五七)

三 軸物目録
(明治以降)
書冊 一冊 (四二五六)

三 掛物手鑑類根帳
明治十七年八月
書冊 一冊 (四二五五)

四 記
(明治以降)
書綴 一綴 (四二五四)

所持物目録
二五 (仮題) 書画相庭
(明治以降)
紙一通
書冊 一冊 (四二二四)

一六 書籍目録
明治二十五年改
書冊 一冊 (四一八六)

一七 軸物目録
明治二十五年
書冊 一冊 (四二三六)

一八 函書目録
(明治以降)
書綴 一綴 (四二三七)

一九 目録
明治三十五年三月
書綴 一綴 (四七一八)

三 奈木黒田家文書 (二、明治以降史料)

栗山伊右衛門。如水書状目録

三〇 御拂書籍目録

明治二十年二月

(四三七八)

書綴 一綴

三二 西洋聞見録 前編

(明治以降)

(四七三六)

書冊 一冊

村田樞文夫纂述

三三 葬祭事略 一、六

明治八年刊

(四七四一)

書冊 五冊

戸田玄成著。三欠

三四 東京自慢

明治十一年三月刊

(四八〇九)

長帳(小) 一冊

三五 歌占外

(明治以降)

(四七二九)

長帳 一冊

謡曲カ

三六 黙鳳帳

明治二十一年刊。木版

(四七二四)

書冊 一冊

三七 (仮題)草木の種類覚書

(明治以降)

(四七一一)

一通

三八 文章

(明治以降)

(四七一九)

長帳 一冊

黒田一義宛

三九 (仮題)江南人兜・弓由来覚

(明治以降)

(四六一二)

一通

四〇 (仮題)太刀目録

(明治期)

(四一〇一)

(包紙入)一通

郡英暉ら加藤一雄宛

三〇 書簡

明治三十七年

(三二一〇の二五)

一通

森部静夫ら黒田一義宛。軸物売却

三一 (仮題)蔵書目録

(明治期)

(四九四四)

長帳 一冊

貸借覚

三二 新地別荘置附

(明治期カ)

(三九三四)

書綴 一綴

諸道具書上

三三 書籍目録

(明治期)

(二二二六)

書冊 一冊

三四 (仮題)和歌・詩文関係

(明治以降)

(四九九八)

一袋

三五 花三十首和歌

(明治以降)

(四八一二)

一通

三六 明治詩集

明治十六年九月

(四八一〇)

長帳 一冊

三七 四季ノ題

(明治以降)

(四三〇五)

書綴 一綴

佳友。俳句

三八 俳句・短歌・連歌集類

(明治以降)

(四三〇六)

書綴 二綴

佳友外。短冊有

三九 初秋夕

(明治以降)

(四四三二)

一通

四〇 短歌・俳句類

(四四七三)

四 春季五題発句・夏季発句集 (明治以降) 一括 (四七九六)

三 藤原定家歌外 (明治以降) 三通 (四七九七)

望 詠草一首 (明治以降) 八通 (四七九九)

四 (仮題) 日本画 (明治以降) 一通 (四八七五)

望 名家筆 (明治以降) 一卷 (四八七四)

哭 (仮題) 和歌 (明治以降) 一卷 (四八七六)

望 (仮題) 長成画 (明治以降) 二枚 (四八八三)

哭 (仮題) 梅谷書 (明治以降) 一枚 (四八八四)

哭 (仮題) 春波書 (明治以降) 一枚 (四八八五)

五 倭国賢女 (明治以降) 一枚 (四八八六)

三 (仮題) 鬼木申五郎歌一首 (明治以降) 短冊 一枚 (四八八七)

三 右衛門権佐御詠 (明治以降) 短冊 一枚 (四八八八)

三奈木黒田家文書 (二、明治以降史料)

三 東馬様御歌御自筆 (江戸期) 短冊 二枚 (四八八九)

四 (仮題) 香谷叔 (明治以降) 短冊 三枚 (四八九〇)

四 田園楽二首 (明治以降) 繪と文 一通 (四四三二)

五 (仮題) 短歌集 (明治九年) 少乘亀友草。漢詩 長帳 一冊 (四五六四)

五 升田氏之詠 (明治以降) 書冊 一冊 (五七三)

六 夏日奉陪 (明治以降) 鳴村晴。漢詩 一通 (四四八四)

7 書 簡

一 書簡 (明治十年十月) (四八五一)

二 書簡 (明治十年二月) (三九二八)

三 書簡 (長知当県江罷越候要旨に付) 一通 (三九五九)

明治十年二月 一通

長溥。西国筋不穩之趣ニ付云々

四書簡 (四五九九) (袋入)一通

(明治以降)四月十四日

長知と一雄・喜八宛。面談いたし度

五書簡 (三三二〇の三) 一通

(明治以降)十一月十一日

長知と黒田一雄宛。染筆之儀了承との事

六書簡 (三三二〇の四) 一通

明治二十八年五月十八日

村山真三郎と黒田一雄宛。八十雄滞京の際云々

七書簡 (三三二〇の五) 二通

(明治以降)十一月廿六日

立花種恭と黒田一雄当宛。病状の報告外

八書簡 (三三二〇の六) 一通

明治三十三年九月十日

黒田直躬と黒田一雄宛。叙位通知

九書簡 (三三二〇の七) 一通

(明治以降)六月八日

長知と黒田一雄宛。会議延引通知

一〇書簡 (三三二〇の八) 一通

(明治以降)十一月二十八日

黒田一雄宛。競馬の事

一一書簡 (三三二〇の九) 一通

明治十八年六月二十日

黒田一雄と。観能切符の件

一三(仮題)依頼状 (三三二〇の二〇) 一通

明治十八年八月二十四日

黒田一雄宛。本邸事務取扱依頼

一三書簡 (三三二〇の二六) 一通

明治二十八年十一月

村山真三郎と黒田一雄宛。黒田直躬殿方仕組の件村山氏照会ノ書付并空機銃拝借下ケ渡シノ書附

一四書簡 (三三二〇の二七) 一通

明治十九年一月二十八日

黒田一雄と黒田一美宛。登京之使に付

一五書簡 (三三二〇の二八) 一通

明治十九年二月十八日

黒田一雄と黒田一美宛。登京の使に付

一六黒田一雄関係覚 (三三二〇の二九) 一通

(明治以降)

一七(仮題)覚 (三三二〇の三一) 一通

明治二十二年六月一日

長成・長知と黒田一雄宛。特別慰勞金給与の事

一八書簡 (三三二〇の三三) (袋入)一通

(明治以降)十月十四日

黒田一雄と

一九書簡 (三三二〇の三五) (袋入)一通

(明治以降)三月一日

おとらと一雄宛。額面差送しこと

二〇書簡 (三三二〇の二六) (袋入)一通

(明治以降)十二月八日

おとらち一雄宛。面話致し度

三 書簡

(三三二〇の二七)

(明治以降)九月十八日

一通

義胤と黒田一雄宛。御参内の事

三 書簡

(三三二〇の二八)

(明治以降)

(袋入)一通

長溥と一雄宛。只今入用無之云々

三 書簡

(三三二〇の二九)

(明治以降)八月十日

一通

義胤と黒田一雄宛。御品々黒田侯と恵投被下その礼

三 書簡

(三三二〇の三〇)

(明治以降)八月八日

一通

黒田一雄宛。宿泊所の事外

三 書簡

(三三二〇の七一)

明治三十四年六月七日

一通

中江正義と黒田一義宛。文祿の役に関する旧記写

三 書簡

(三三二九の二)

大正三年三月

一通

尾野実信と黒田瑞子宛。幾久様の事

三 書簡

(三三二九の二)

大正二年四月二十四日

二通・はがき一葉

尾野実信と黒田隠宅奥様宛。一雄履歴の事

三 書簡

(三三二九の三)

大正二年十月十八日

一通

森部清子と黒田瑞子宛

三 書簡

(三三二七の二)

三奈木黒田家文書 (二、明治以降史料)

明治二十五年

一通

三 書簡

金子堅太郎と黒田一美宛。家政御改革に付見舞状

三 書簡

(三三二七の二)

明治二十五年十二月十五日

一通

奥山亨と黒田一美宛。両殿様と歳暮被下候に付送付通知の事

三 書簡

(三三二七の三)

(明治以降)

一通

西島種美と黒田一美宛。浅香出京之儀の返答

三 書簡

(三三二七の四)

明治二十五年五月

一通

早川勇と黒田一美宛。佐久間氏の事

三 書簡

(三三二七の六)

明治二十八年と三十年

一〇通

黒田一美と黒田一義宛。粮米請求并受取

三 書簡

(三三二八の二)

大正六年五月二十五日

一通

黒田義夫と山中立木宛

三 書簡

(三三二八の三)

大正六年五月十六日

一通

大坂毎日新聞と黒田義夫宛。日本比律賓オリムピック案内状

三 書簡

(三三二八の四)

大正六年二月

はがき 一葉

黒田義夫宛

三 書簡

(三三二八の五)

(仮題)義夫貸費覚

一通

三 書簡

(三三二八の六)

三二七

(大正期)八月七日

はがき 一葉

黒田義夫宛

四書簡

明治三十四年一月十七日

(四五八三の二) 一通

元 参拝通知并新年宴会通知

(三四二八の七)

大正五年・六年

二通・はがき三葉

宗秩寮総裁より黒田義夫宛

四書簡

(明治以降)

(四五八六) (袋入)二通

四 (仮題) 黒田義夫宛絵葉書

(三四二八の八)

(明治以降)

九葉

四書簡

大町より黒田一義宛。隠居のすすめ。近夫一件

(四六〇六)

舞奴等の写真付

四書簡

(三八〇四)

四書簡

森部静夫より一義・奥様宛。義夫入院の為原田にお供申付けらるゝ事外

(四六〇七) (袋入)三通

(明治以降)

私儀顧問之職且御依頼筋御断申上次第云々

四書簡

(四二〇七)

四書簡

福岡市天神町篠原村樹より大塩操宛。林毛参亭

(四六〇八) (袋入)一通

(明治以降)十一月五日

篠原真。御出産為御知云々

四 はがき

(四二〇八)

四書簡

(明治以降)十二月三日
山中立木より木原正利宛。三奈木黒田家の事

(四六二七) 二通

昭和三十一年十一月

古川清宛。御祭典の出欠

四書簡

(四四六九)

四書簡

(明治期)如月二十五日
一雄より研介宛。林毛御救済の件

(四六四九) 一通

明治三十三年六月十九日

木原。男爵帰福の件

四書簡

(四四七五)

四書簡

(明治期)三月二十六日
三左衛門宛。贈答品

(四六五〇) 一通

(明治以降)

らきりおつね宛。石竹たね惣左衛門様へ差上の依頼

四書簡

(四五八三の一)

四書簡

おとら。示談の内事処分云々

(四六五二) (袋入)一通

(明治以降)

加藤新兵衛より黒田男爵宛。ミヨ不行状に関する書簡の草稿

(袋入)一通

四書簡

(明治以降)二月二十一日

(四六五二) (袋入)一通

浅野長勲より黒田一雄宛宛。惣名方書渡された度
其 某書簡

(明治以降)

(四六五)

一通

肉粉(砵)細器械入手云々

至 書簡

(明治期)

(四六六〇)

一通

守城謙八宛。妹縁組ニ付贈物の礼

至 書簡

(明治以降)

(四六六一)

二通

農工銀行加入ノ件。保吉分家ノ儀外

至 書簡

(明治以降)

(四六六二)

一通

父病気容体報告

至 書簡

(明治以降)

(四六六五)

一通

男爵議員選挙の件

至 書簡

(明治以降)六月七日

(四六六八)

一通

萩原静枝より一義宛。保吉貸費下付の件

至 書簡

(明治以降)三月二十四日

(四六六九)

一通

黒田家執事より権藤文達宛。林宅引移の件

至 書簡

(明治以降)二月三日

(四六八〇)

一通

黒田家執事。一郎死去通知

至 書簡

(四七一)

(明治以降)十二月二十日
長溥より黒田一雄宛。一日の行動

至 書簡

(四七二三)

(明治以降)八月三十日

長溥より一雄宛。一美へ返翰の事

至 書簡

(四七一四)

(明治期)

蒲地より。返事の件

至 書簡

(四七一五)

(明治以降)八月

預ゲ物の件

至 書簡

(四七五二)

(明治期)四月六日

篠原真。系図・書継草稿差上云々

至 書簡

(四七六三)

(明治以降)

木原好次郎より正利宛。裁判抗告の件

至 書簡

(四七八四)

(明治以降)

奥山享より黒田一雄宛。褒賞金の事

至 書簡

(四七八七)

(明治以降)正月十七日

緒方春山より黒田宛。金子受取り

至 某書簡

(四八一四)

(明治以降)

身辺のことの注告

(四七一)

三 書簡

(明治以降)十月九日

(四九〇二) 一通

東條八太郎と岡村文衛門宛。御内命之後貫通之内状到来

四 書簡

大正四年五月

(三四二七) 五通

明治神宮奉賛会徳川家達と黒田一義宛。神宮外苑造営献金募集に付

五 書状

(明治以降)六月七日

(三九〇五) (袋入)一通

西嶋種美と一美宛。県地之形態種々入組候事件片付云々

六 書簡

(明治以降)二月二十九日

(三九〇六) 一通

小河愛四郎と一美宛。社寺改革の事

七 書簡

(明治以降)十一月二十日

(三九〇八) 一通

中村五平と黒田大老宛。某家之儀照会申上候末某氏不平之末混雜に相成由云々

八 書簡

(明治以降)四月五日

(三八〇三) 一通

黒田一雄と尊大人宛。篠原等へ愚存説明の事。二八〇二と関連史料

九 親展書

(明治以降)

(四五六九) 一通

男爵黒田と谷口書記官宛。皇太子着福の事

一〇 (仮題) 紀元節宴会召状

明治四十四年二月一日

(四四六三) (袋入)一通

宮内大臣渡辺千秋と黒田義夫宛

一一 書状

(四一六四)

(明治以降)二月十七日

一通

加藤樗園と間淇園宛。萩原静枝退職之件外

一二 書簡

(明治以降)

(四五六五) 一通

母上御登京ニ付御供之儀

一三 書簡

(明治以降)

(四六三〇) 一通

栗野真一郎宛。授爵の事外

一四 書状

明治四十一年二月四日

(三九二六) (袋入)二通・はがき一葉

鬼木申五郎と黒木一義宛。一郎突然死去に付帰郷通知

一五 書簡

大正六年九月

(三二一〇の八) 一通

明石と黒田一義宛。義夫病氣見舞

一六 書簡

大正三年十二月・四年七月・十一月

(三二一〇の四) 三通

黒田美代と黒田一義宛。近雄学費の事外

一七 書簡

明治四十年

(三二一〇の三) 一通

東京帝国大学坪井九馬三と黒田一義宛。史料借用の礼

一八 書簡

(明治期)

(三一九八) 三通一括

楽喜と母宛。一雄病気の件、おみまいの礼状外

一九 書簡

大正二年

(三一九三) (袋入)三通

尾野実信と黒田一義宛。黒田一雄の事に付

六〇 書簡 (二九七九)

大正三年 三通

加藤啓十郎と黒田一義宛。病氣見舞

六一 書簡 (三九四一)

(明治以降)三月二十六日 二通

西嶋種美と黒田一美宛。従二位様死去に付吊詞申上る、持病の件

六二 書簡 (三九四六)

明治二十年三月 (袋入)二通

松浦格弥と黒田一美宛。殉離の志士十年祭従二位様神葬の事

六三 書簡 (三九五二)

(明治以降)十二月十九日 (袋入)一通

小川と黒田宛。御人繰の件

六四 書簡 (三九五三)

(明治以降) (包紙入)一通

団平一郎と黒田一美宛。訪問したき云々

六五 書簡 (四二〇六)

(明治以降) 一通

職務の事

六六 書簡 (三九七四)

(明治期) 一通

溜池と黒田一雄宛。バラ名寄

六七 書簡 (三九七七)

明治十一年二月九日 一通

黒田長知と黒田一美宛。謝罪

六八 書簡 (三九七九)

(明治以降)一月一日 一通

三奈木黒田家文書 (一、明治以降史料)

六九 礼状 (三九八六)

一雄と立木宛。年頭祝詞 一通

(明治以降)

七〇 書簡 (四五七二)

先日御土産に対して 一通

七一 書簡 (四三九四)

(明治以降) 家令宛。十七銀行休業に付云々 一通

秩禄の件

七二 書簡 (四三九三)

(明治以降)五月十三日 一通

一美と。秩禄返上の事

七三 書簡 (三二一〇の二八)

(明治以降) 森部静夫と黒田一義宛。相談人の諸事務等の事 一通

(明治以降)

七四 書簡 (三二一〇の四三)

(明治以降) 緒方と黒田一義宛 一通

明治十八年

七五 書簡 (三一〇一)

加藤孚一族高岡九郎平と黒田邸委員宛。加藤孚財政難に付 一通

大正三年 (三二一〇の五一)

七六 書簡 (袋入)一通

明治紀念博覧会事務所と黒田一義宛。講演・催物の通知

(三二一〇の四一)

七七 書簡

(明治期)二月十日
福島文瀟と黒田一義宛。贈物の礼

8 その他

一 謡番附

(明治以降)

(四九一一)

長帳 一冊

二 謡回誌

(明治以降)

書冊 二冊

付、明治四十五年二月十八日催番組外

三 宝生院謡内外抜書集

(明治以降)

書冊(小) 一冊

四 時事新報

大正二年二月六日

(三四五二)

五 二六新報

大正二年二月十七日

(三四五三)

六 東京朝日新聞

大正二年二月十二日

(三四五三)

七 福岡日日新聞

明治三十年七月十四日

(四六九九)

八 福岡日日新聞

昭和十年六月十二日

(二四八の二三)

九 福岡日日新聞

大正二年三月二十二日

(四九九五)

一〇 国民新聞

大正元年九月十四日

(四九九六)

二 日刊野田経済研究所日報

昭和二十二年一月七日

(四九九四)

待遇問題

三枚

三 瓜生氏日本国畫 卷一外

(明治以降)

(四九八八)

一袋・断簡

三 ビスケツト製造必要趣

(明治以降)

(四四七一)

一枚

風月堂広告

四 (仮題)電文下書

(明治以降)

(四六七九)

一通

五 (仮題)暗号

(明治以降)

(四七六九)

書綴 一綴

六 (仮題)案内状

(明治以降)四月二十日

(二七八〇)

書綴 一綴

藤原静枝と瀬戸惣太郎外十二名宛。入来被下度

七 御夜具調子

(明治以降)

(三七九二)

長綴 一綴

八 御夜具積り

(明治以降)

(三七九三)

長綴 一綴

九 (仮題)覚

(明治以降)

(二九六八)

一通

林喜平次より見せ候分。蓮花の種類

三 御庭の分

(明治以降)

(二九六七)

一通

草花の種類

三 紀州中納言治貞卿御作文

(四九九七)

三 世界実観 (明治以降) (四九九〇) 書冊 一冊

大正四年
写真集広告

三 鏡 (明治以降) (四九〇一) 一通

鏡餅・位牌外

三 函謡□名 (四九一一) 長帳 一冊

明治十六年御用憶記トアリ

三 征露戦局指掌図 (四九四五) 一枚

明治三十七年六月三日刊

三 日独戦局明細図 (四九四六) 一枚

大正三年刊

三 日本赤十字社録事 (四九五二) 一枚

明治三十六年五月刊

三 園田孝吉君ノ演説筆記 (四九六〇) 三冊

明治三十七年二月二十三日

三 日清戦争談 (四九六四) 書冊 一冊

明治三十四年五月刊

美當一調氏講演

三 旧福岡藩喜多岡勇平遭難遺蹟 (四二五二) 書冊 一冊

明治三十九年刊

発行兼編輯者江島茂逸

三 報古公会則、細則、会員名(旧秋月藩士) (四九七六) 三綴

大正十一年十月

三 The Newly Completed Tenth Edition of The Encyclopaedia

三奈木黒田家文書 (一、明治以降史料)

Briannica (四九六六) 書冊 一冊

(明治以降)

三 南湖院絵葉書 (四九六七) (二袋)二枚

(明治以降)

外に舞奴の絵葉書

三 寄贈図書目録 (四九七二) 書綴一綴・一通

大正十一年三月三十一日

黒田一弘。福岡県立図書館への寄贈

三 辨慶状 (四九八三) 書冊 一冊

明治六年

加藤一義の習字の手本

三 御手本 (四九八四) 書冊 一冊

(明治以降)

三 加藤源七郎書 (四九八九) 書綴 一綴

(明治以降)

習字の手本

三 お田鶴様御ふふ髪 (二九五八) (包紙入)一包

(明治以降)

三 元覚 (一九七二) 一通

(明治以降)

三 花名カ (一九七三) 一通

四 (仮題)覚

(明治以降)

花の種類カ

四 (仮題)覚 (一九七四) 一通

(明治以降)

花の種類カ

四 梅垣之御指札之椿九月廿六日開花并梅垣の絵

(二九七五)

(明治以降) 九月二十八日

一通

四 御庭之摘花平内之差遣候花形付

(二九七六)

(明治以降)

一通

四 (仮題) 花覚

(二九七七)

(明治以降)

一通

四 感應院望之分

(二九七八)

(明治以降)

一通

花の種類

四 御覚書

(二九九一)

(明治以降)

包紙のみ

四 尊名熟字

(三三二二)

(江戸期)

一包

四 残留書記

(三三〇四)

(明治十九年頃)

長帳

一冊

四 呪記

(一〇二四)

明治八年外

一綴

宿泊料・電信・郵便代

五 覚

(九一五の三)

(明治以降)

一通

写真二枚代

五 写真并にネガ

(四八九一の一〜七二)

(明治以降)

六九枚

ガラス版有

五 記

(四七一〇)

五 電文

(明治以降)

一雄。接木

明治三十三年

(三三二〇三三)

一通

一九九四年三月十五日 印刷

一九九四年三月二十五日 発行

福岡市東区箱崎六一九一一

発行所

九州大学文学部附属
九州文化史研究施設

印刷所

正光印刷株式会社
福岡市西区周船寺三丁目
二八一一

